



ネットワークカメラユーザーマニュアル

日付：2022-01-18

目次

第1章 はじめに	5
1.1 著作権に関する声明	5
1.2 カナダ産業省 ICES-003 準拠	5
1.3 安全注意事項	5
1.4 EU適合宣言	6
第2章 製品説明	7
2.1 製品概要	7
2.2 主要な機能	7
2.3 ハードウェア概要	9
(AI) 赤外線対応ミニドームネットワークカメラ	9
(AI) 防犯型ミニドームネットワークカメラ	11
(AI) 防水型ミニドームネットワークカメラ	12
(AI) AFモーター駆動ミニドームネットワークカメラ	13
AIモーター駆動ミニドームネットワークカメラ	14
(AI 防水対応) ミニブルレット ネットワークカメラ	15
(AI) 防犯対応ミニバレットネットワークカメラ	16
(AI) 耐衝撃型モーター駆動ミニバレットネットワークカメラ	17
(AI) 180°パノラマミニバレットネットワークカメラ	18
(AI) 180°パノラマミニドームネットワークカメラ	19
(AI) (12倍オートフォーカス) モーター駆動プロ ブルレット ネットワークカメラ	20
AIモーター式Pro Bullet Plusネットワークカメラ	22
(レーダー) AI 4X/12X プロ ブルレット プラス ネットワークカメラ	23
5G AIoT 4X/12X Pro Bullet Plus ネットワークカメラ	24
(AI) モーター駆動プロドームネットワークカメラ	26
(ABF) プロボックスネットワークカメラ	29
AI Pro Box Plus ネットワークカメラ	30
2.4 アラームインターフェースへの接続方法	30
2.5 防水コネクタの接続方法	31
2.6 システム要件	32
第3章 ネットワーク接続	33

3.1	LAN経由でカメラを設定する.....	33
3.1.1	カメラをPCに直接接続する	33
3.1.2	スイッチまたはルーター経由で接続する	34
3.2	ダイナミックIP接続.....	34
第4章 ネットワークカメラへのアクセス.....		36
4.1	IP アドレスの割り当て	36
4.1.1	Smart Tools を使用して IP アドレスを割り当てる	36
4.1.2	ブラウザ経由でIPアドレスを割り当てる.....	41
4.2	ウェブブラウザからのアクセス	44
4.2.1	プラグインを使用したアクセス	44
4.2.2	プラグイン不要でアクセス	47
4.3	MilesightVMS（ビデオ管理ソフトウェア）からのアクセス	48
第5章 システム動作ガイド.....		50
5.1	ライブ動画	50
5.2	再生	53
5.3	ローカル設定	56
5.4	基本設定	57
5.4.1	ビデオ	57
5.4.2	画像	63
5.4.3	オーディオ	78
5.4.4	ネットワーク	81
5.4.5	日付と時間	103
5.5	詳細設定	104
5.5.1	ストレージ	104
5.5.2	セキュリティ	109
5.5.3	SIP	115
5.5.4	IoT（オプション）	118
5.5.5	ログ	135
5.6	イベント	136
5.6.1	基本イベント	136
5.6.2	VCAイベント	151

5.6.3	人数のカウント	179
5.6.4	ヒートマップ（オプション）	192
5.6.5	顔検出（オプション）	199
5.7	LPR（オプション）	207
5.7.1	ライブ動画	207
5.7.2	設定	208
5.7.3	スマート検索	228
5.8	システム	230
5.9	メンテナンス	232
5.9.1	システムメンテナンス	232
5.9.2	自動再起動	236
第6章	サービス	237

第1章 はじめに

当社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。ご質問やご要望がございましたら、お手数ですがお近くの販売店までお問い合わせください。

このマニュアルでは、ネットワーク上のMilesightネットワークカメラの使用方法および管理方法について説明します。製品を使用するには、ネットワークに関する知識が必要です。動作を開始する前に、このマニュアルをよくお読みになり、将来参照できるように保管してください。

このマニュアルには、技術的に不正確な部分や印刷ミスが含まれている可能性があります。また、内容は予告なしに変更される場合があります。更新内容は、このマニュアルの新バージョンに追加されます。当社は、マニュアルに記載されている製品または手順を、必要に応じて改善または更新いたします。

1.1 著作権に関する声明

このマニュアルは、Milesight Technology Co., Ltd（以下「Milesight」といいます）の書面による事前の許可なく、翻訳、改変、翻案などの派生作品を作成するために、いかなる形式や手段によっても複製することはできません。

Milesight は、このマニュアルおよび仕様を予告なく変更する権利を有します。Milesight の全製品の最新の仕様およびユーザーマニュアルは、当社の公式ウェブサイト www.milesight.com でご覧いただけます。

1.2 カナダ産業省ICES-003 準拠

このクラスBデジタル機器は、カナダのICES-003に準拠しています。
このクラスBのデジタル機器は、カナダのNMB-003規格に準拠しています。

1.3 安全注意事項

この説明書は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産の損失を防ぐことを目的としています。注意事項は、「警告」と「注意」に分かれています。

警告：これらの警告を無視すると、重大な怪我や死亡事故が発生する可能性があります。

- この製品の設置は、資格を有するサービス技術者によって行われ、地域の電気安全規制に厳格に従って実施する必要があります。

- 火災や感電の危険を避けるため、設置前に製品を雨や湿気から遠ざけてください。
- 熱くなる可能性がある部品（ヒートシンク、電源レギュレーター、プロセッサなど）には触れないでください。
- DC/AC 12VまたはPoEの電源を使用してください。
- プラグが電源ソケットにしっかり差し込まれていることを確認してください。
- 製品を壁や天井に設置する場合、装置をしっかりと固定してください
- 製品が正常に動作しない場合は、販売店までご連絡ください。カメラを自分で分解しないでください

注意：これらの注意を無視すると、怪我や機器の損傷の原因となる可能性があります。

- カメラを使用する前に、電源電圧が正しいことを確認してください
- 極端な高温または低温の場所、ほこりや湿気の多い場所での保管や設置は避けてください。また、高周波電磁波にさらさないでください
- メーカーが推奨する部品のみを使用してください
- カメラを落としたり、物理的な衝撃を与えないでください
- 熱の蓄積を防ぐため、カメラ周辺の空気の流れを妨げないでください
- レーザー光線は画像センサーを損傷する可能性があります。画像センサーの表面は、レーザー光線を使用する機器の近くに露出させないでください
- レンズカバーのほこりは、ブロワーで吹き飛ばしてください
- カメラの表面は、柔らかい乾いた布で拭いてください。頑固な汚れは、少量の洗剤溶液で湿らせた柔らかい布で拭き取り、その後乾いた布で拭き取ってください
- アルコール、ベンゼン、シンナーなどの揮発性溶剤は、表面仕上げを損傷するおそれがあるため、使用しないでください
- 輸送容器を将来の輸送用に確保するため、パッケージを保管してください

1.4 EU適合宣言

2012/19/EU（WEEE指令）：このマークが付いた製品は、欧州連合において未分別一般廃棄物として処分できません。適切なリサイクルのため、同等の新品を購入する際は、この製品を販売店に返却するか、指定の回収場所に。詳細については、www.recyclethis.info をご覧のうえ処分してください

2006/66/EC (電池指令): この製品には、欧州連合では一般廃棄物として処分できない電池が含まれています。電池の詳細については、製品のドキュメントをご覧ください。電池には、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字を含むこの記号が記載されています。適切なリサイクルを行うため、電池は販売店または指定の回収場所に。詳細については、www.recyclethis.info をご覧のうえ返却してください

第2章 製品説明

2.1 製品概要

Milesightは、お客様の要件を完全に満たす、一貫した、コスト効率に優れた信頼性の高いネットワークカメラを提供しています。組み込みLinuxオペレーティングシステムを搭載したMilesightネットワークカメラは、ローカルまたはリモートから、高い信頼性で簡単にアクセスおよび管理できます。高性能DSPビデオ処理モジュールを内蔵し、低消費電力と高い安定性を誇ります。最新のH.265/H.264/MJPEG動画圧縮アルゴリズムと業界をリードするHDデュアルストリーム技術に対応し、限られたネットワークリソース下でも最高レベルの動画画像品質を実現します。柔軟で包括的なアラーム連携機能、昼夜自動切替、プライバシーマスク機能など、多様な機能を備えています。

実際のアプリケーションでは、Milesightネットワークカメラは、LANで独立して動作することも、ネットワークに接続して強力な安全監視システムを構築することもできます。セキュリティのために、金融、教育、工業生産、市民防衛、医療などの分野で広く使用されています。

2.2 主要な機能

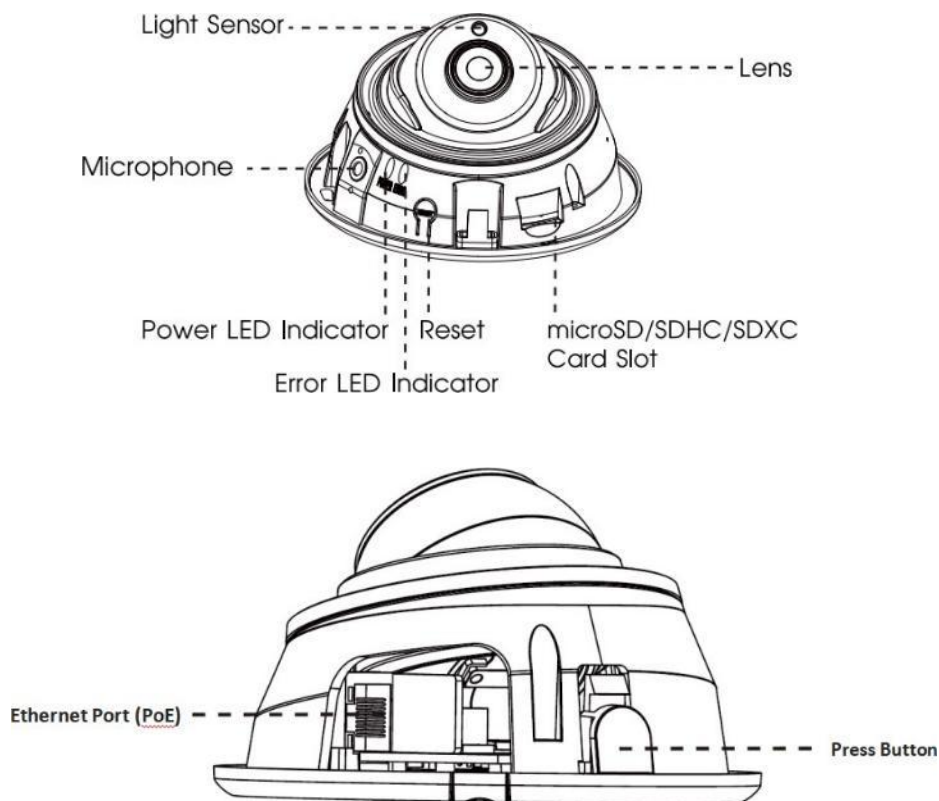
- Linux OSをベースにした高信頼性
- H.265/ H.264/ MJPEG動画圧縮機能
- プラグイン不要モードに対応
- スマートストリーム対応
- ONVIFプロファイルG、Q、S、Tに対応
- カメラのセキュリティ質問のアクティベーションと設定をサポート（V4x.7.0.69以降）
- プライマリストリーム/セカンダリストリーム/ターシャリストリームに対応
- PoEによる電源供給に対応
- ビデオコンテンツ分析をサポート
- 自動切替機能付きICRフィルター、真の昼夜モード
- 組み込みWEBサーバー、IE/Firefox/Chrome/Safariブラウザ対応
- IPCの簡単な管理のためのUPnPプロトコル
- Milesight DDNS に対応
- モーション検出、プライバシーマスク、ネットワーク障害検出、および ROI
- ヒートマップ機能対応
- FTPアップロード、SMTPアップロード、SDカード記録、SIP電話
- G.711/AACオーディオ圧縮機能
- アラームI/O（プロ用バレットカメラとボックスカメラに標準搭載、ドームカメラはオプション）
- 内蔵マイク（IRミニドーム、防犯用ミニドーム、防水ミニドーム、AFモーター式ミニドームに標準搭載、プロドームにはオプション）
- リアルタイム動画電子増幅

- 3段階のユーザー権限設定で柔軟な管理
- Micro SD/SDHC/SDXCカードローカルストレージ対応、エッジストレージの拡張
- ローカルPAL/NTSC信号出力（プロ・バレット用）
- スピードドーム：最大30倍光学ズーム、スピードドームII：42倍、ミニPTZバレット：23倍光学ズーム、ミニPTZドーム：23倍
- スピードドーム/スピードドームII用360°連続パンと0°～90°（オートフリップ）チルト
- ミニPTZバレット：360°連続パンと-45°～30°チルト
- ミニPTZドーム：360°連続パンと-5°～90°（自動反転）チルト
- 300プリセットポイント、8パトロール、4パターン
- Linux OSをベースにした高信頼性
- H.265/H.264/MJPEG動画圧縮機能
- AIビデオ解析対応
- プラグイン不要モード対応
- スマートストリーム対応
- ONVIFプロファイルG、Q、S、Tに対応
- カメラのセキュリティ質問のアクティベーションと設定をサポート（V4x.7.0.69以降）
- 自動切り替え機能付きICRフィルター、真の昼夜対応
- 組み込みWEBサーバー、IE/Firefox/Chrome/Safariブラウザ対応
- IPCの簡単管理のためのUPnPプロトコル
- Milesight DDNS に対応
- 自動追尾、3D位置測定、PTZモーション、PTZ制限、スケジュールタスク、自動ホーム機能
- ミニPTZバレット用ホワイトLED
- モーション検出、プライバシーマスク、ネットワーク故障検出、およびROI
- FTPアップロード、SMTPアップロード、SDカード記録、SIP機能
- G.711/AACオーディオ圧縮機能
- オーディオ入力/出力およびアラーム入力/出力
- 3段階のユーザー権限設定で柔軟な管理が可能
- Micro SD/SDHC/SDXCカードローカルストレージ対応、エッジストレージの拡張
- ローカルPAL/NTSC信号出力
- 10段階調整可能なH.265+により、帯域幅を70%～80%削減
- 最大25fps@4000×3000
- AIビデオ解析機能対応
- ハードウェアデワープとソフトウェアデワープに対応
- ヒートマップ機能対応
- 自動追跡機能に対応
- 多様なニーズに対応する11種類の表示モード
- オーディオ入出力とアラーム入出力に対応
- IK10 規格準拠の耐衝撃性金属カバーと、IP67 規格準拠の防水・防塵ハウジング
- スリムなデザインと洗練された外観
- 設置環境に溶け込みやすい
- Linux OSをベースにした高信頼性
- ONVIF Profile G、Q、S、Tに対応
- プラグイン不要モードに対応
- カメラのセキュリティ質問のアクティベーションと設定に対応（V4x.7.0.69以降）

- 自動切り替え機能付きICRフィルター、真の昼夜対応
- カメラの簡単管理のためのUPnPプロトコル
- Milesight DDNS に対応
- モーション検出、プライバシーマスク、ネットワーク障害検出、および ROI
- FTPアップロード、SMTPアップロード、SDカード記録、SIP機能
- G.711/AACオーディオ圧縮機能
- 柔軟な管理のための3段階のユーザー権限レベル
- Micro SD/SDHC/SDXCカードローカルストレージ対応、エッジストレージの拡張

2.3 ハードウェア概要

(AI) 赤外線対応ミニドームネットワークカメラ

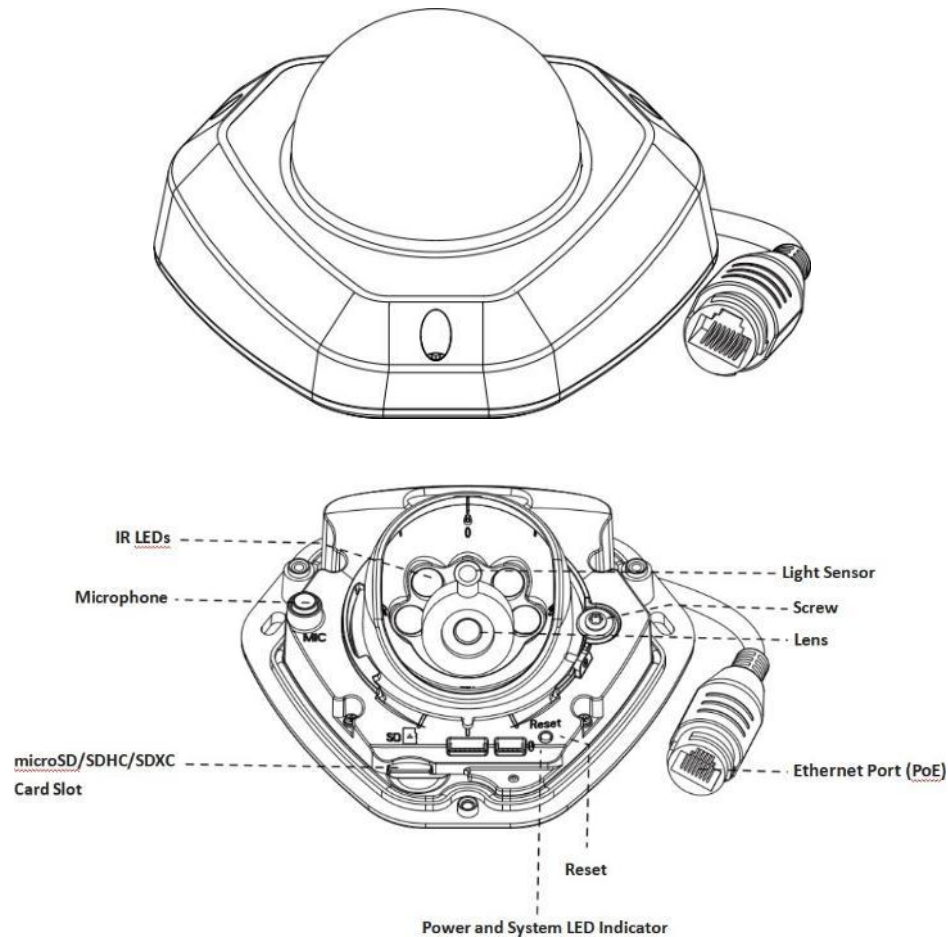


注

- エラーLEDインジケーター: デバイスが起動時またはエラーが発生した際に点灯します。

- リセットボタン: 「リセット」 ボタンを5秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。
- 電源供給にはPoEのみが利用可能です。

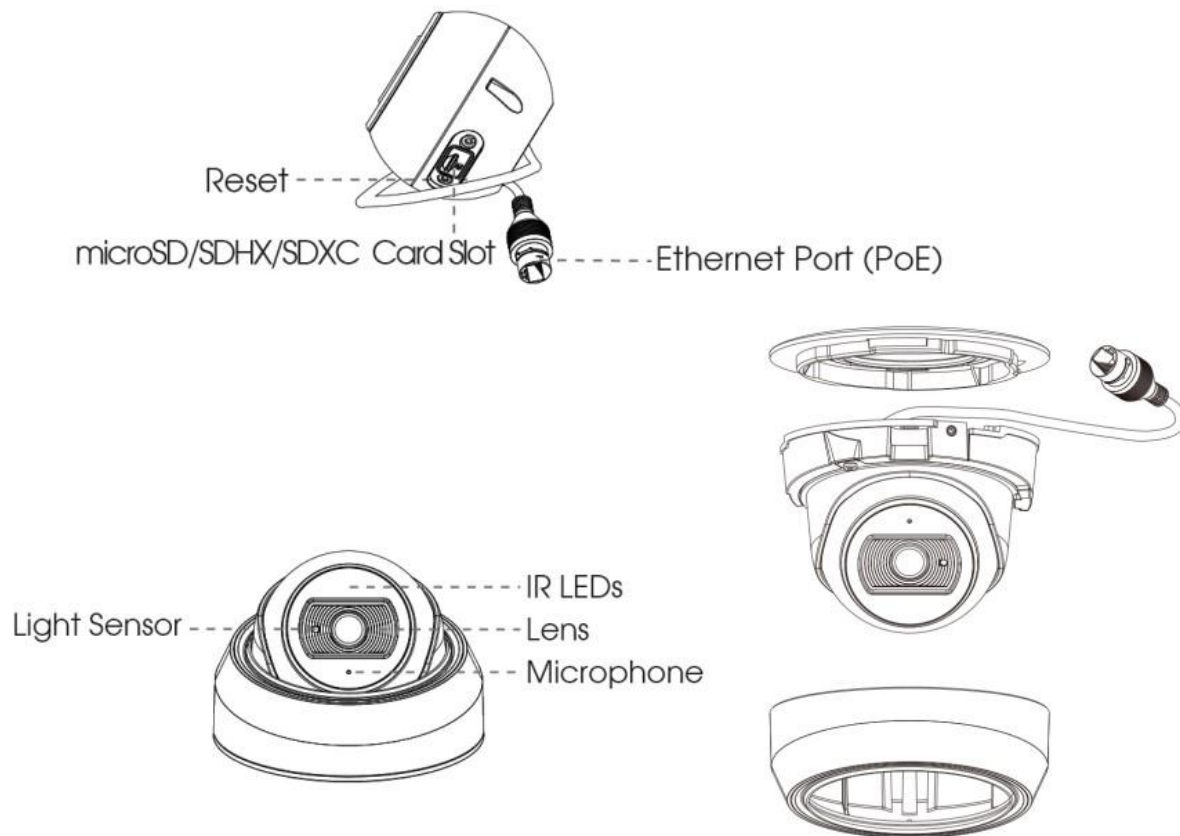
(AI) 防犯型ミニドームネットワークカメラ



注:

- エラーLEDインジケーター: デバイスが起動時またはエラーが発生した際に、エラーLEDインジケーターが点灯します。
- リセットボタン: 「リセット」ボタンを5秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。
- 電源供給にはPoEのみが使用可能です。

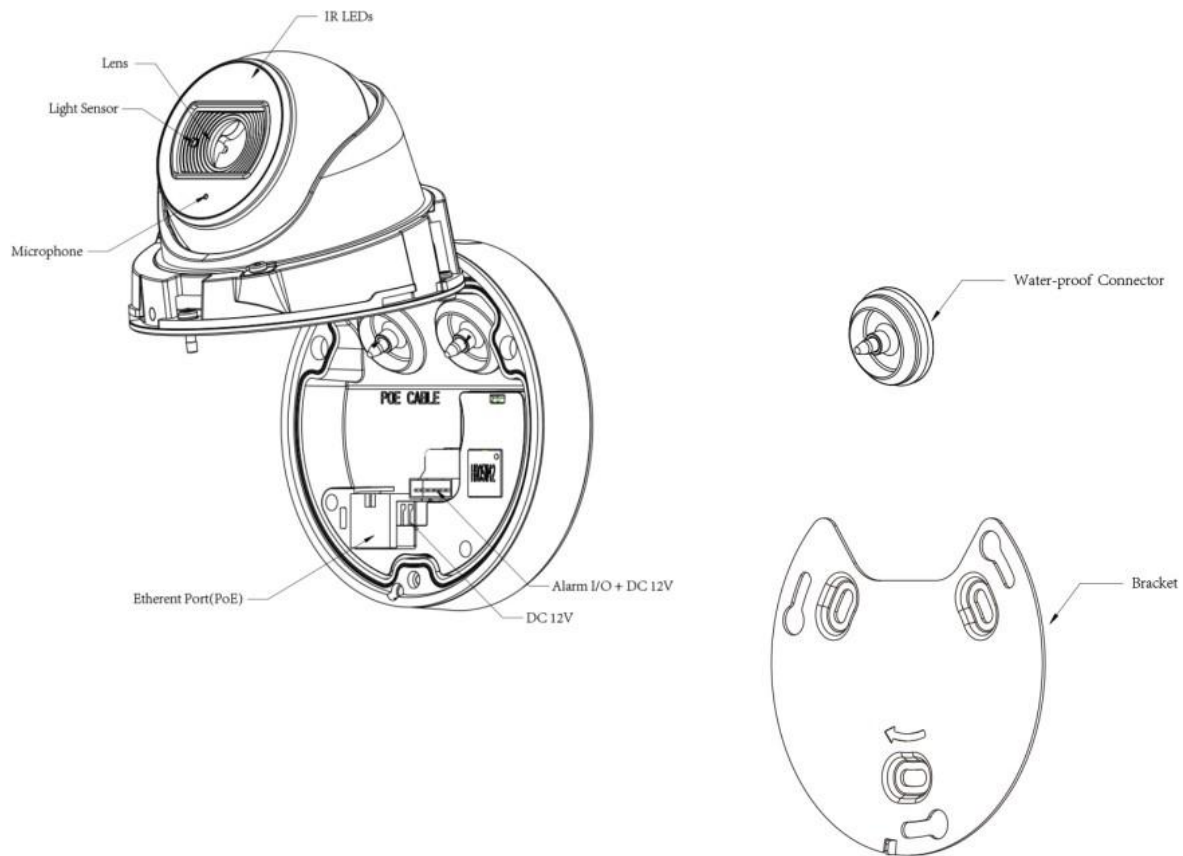
(AI) 防水型ミニドームネットワークカメラ



注

- リセットボタン: 「リセット」 ボタンを5秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。
- 電源供給にはPoEのみが利用可能です。

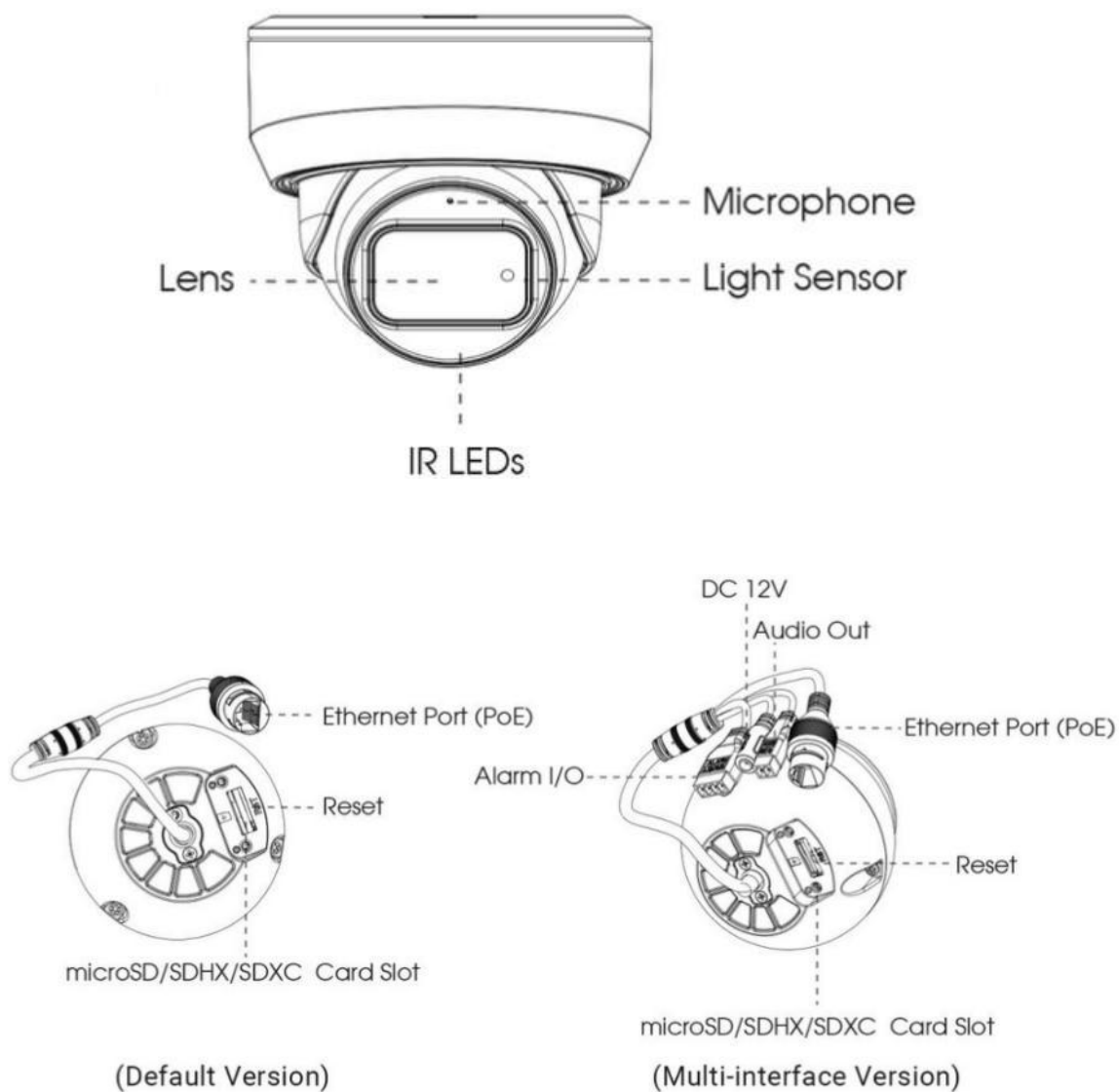
(AI) AF モーター駆動ミニドームネットワークカメラ



注意

- リセットボタン: 「リセット」 ボタンを5秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。
- 電源供給にはDC 12VとPoEが利用可能です。

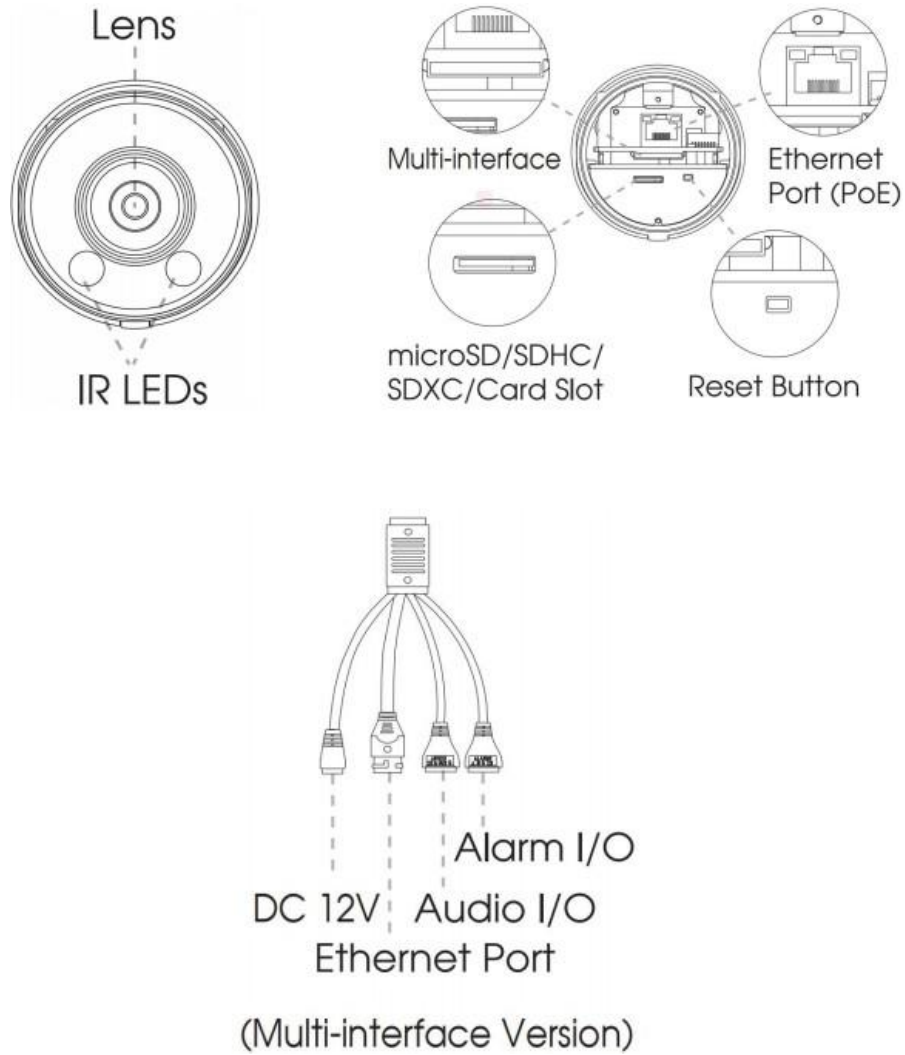
AIモーター駆動ミニドームネットワークカメラ



注

- リセットボタン: 「リセット」ボタンを5秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。
- DC 12V および PoE が電源として利用可能です。

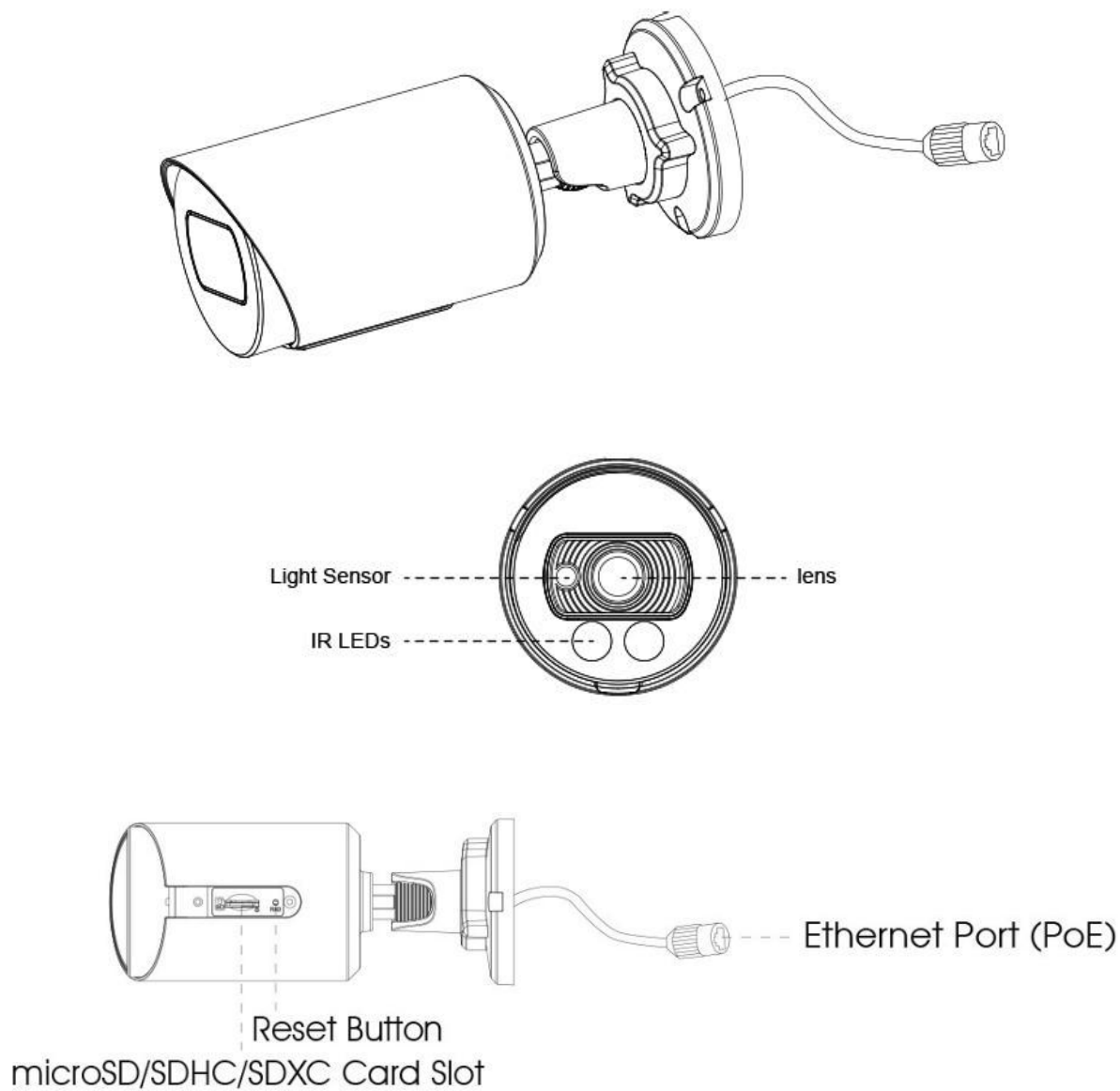
(AI 防水対応) ミニブルレット ネットワークカメラ



注

- DC 12V（マルチインターフェース版のみ）とPoEが電源として利用可能です。
- リセットボタン: 「リセット」ボタンを5秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。

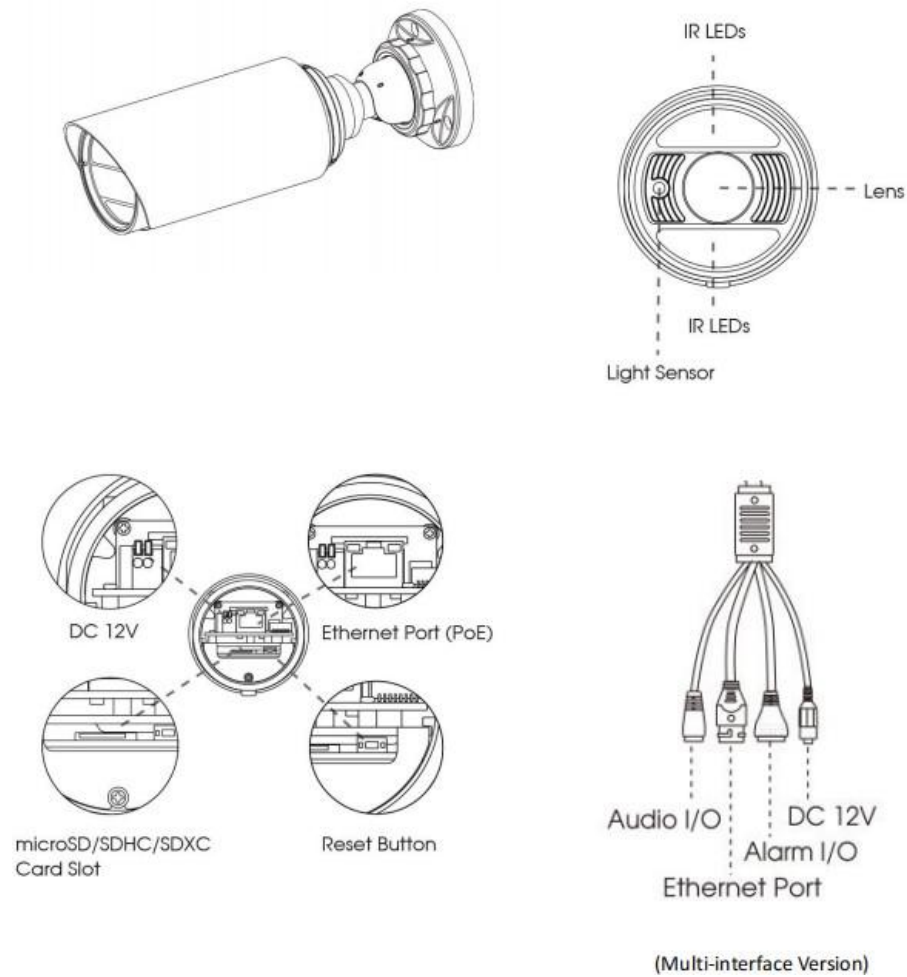
(AI) 防犯対応ミニバレットネットワークカメラ



ⓘ 注意

- 電源供給にはPoEのみが利用可能です。
- リセットボタン：リセットボタンを5秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。

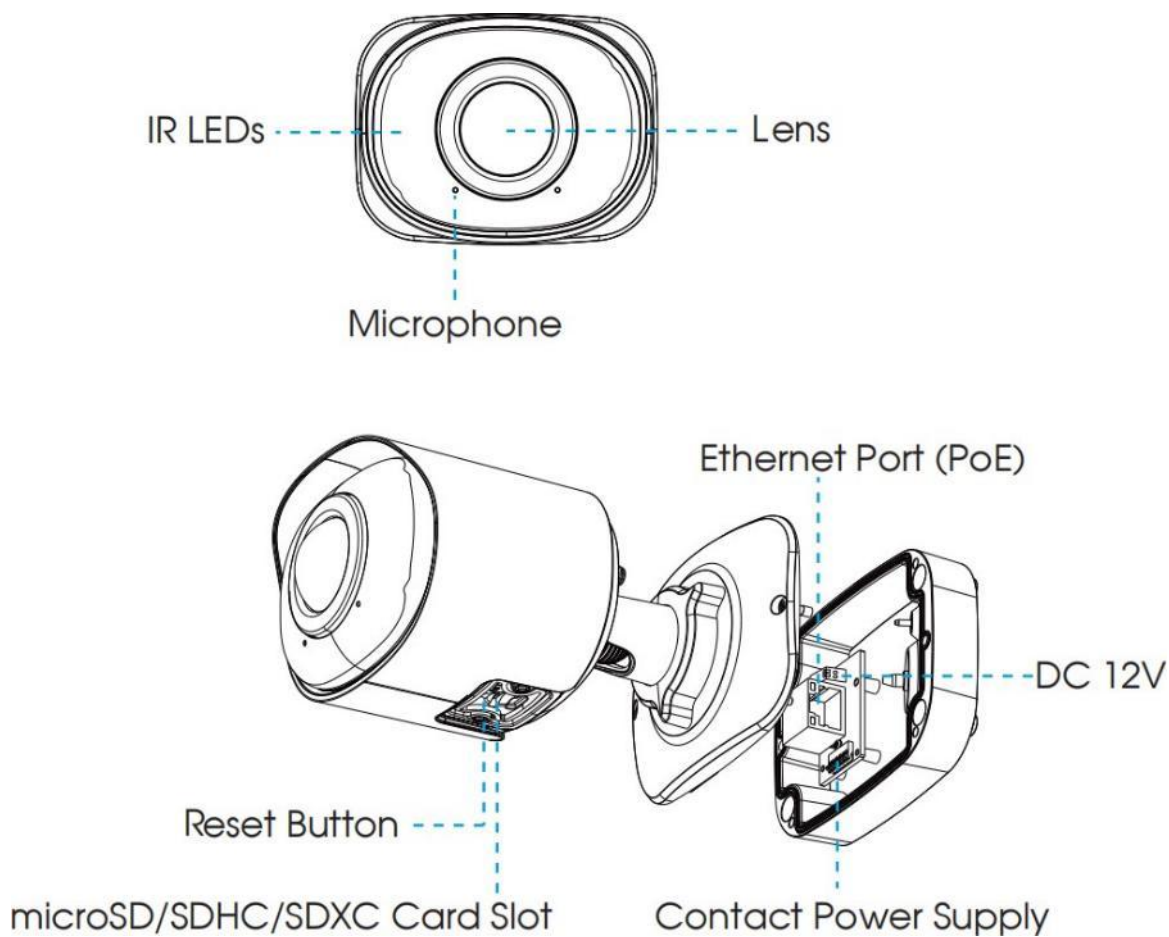
(AI) 耐衝撃型モーター駆動ミニバレットネットワークカメラ



注

- 電源供給にはDC 12VとPoEが利用可能です。
- リセットボタン：「リセット」ボタンを5秒間押し続けると、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。

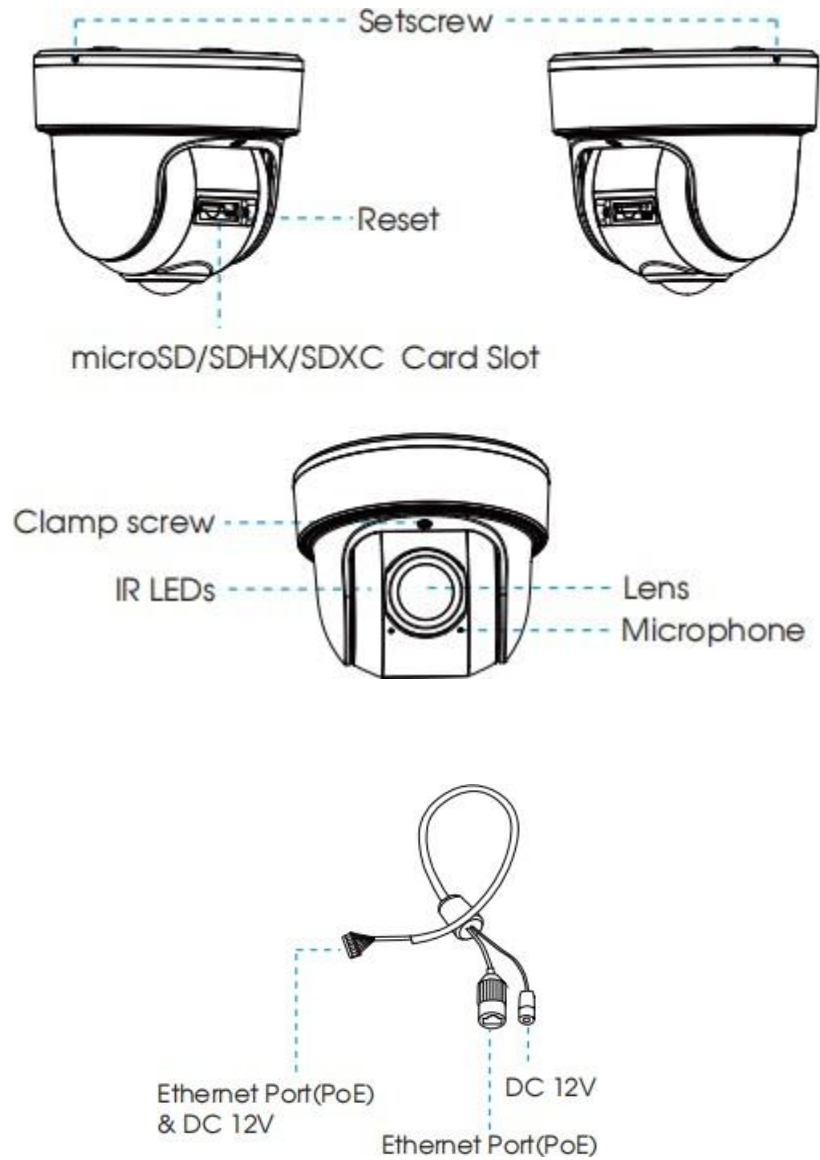
(AI) 180°パノラマミニバレットネットワークカメラ



注意：

- PoE による電源供給が可能です。
- リセットボタン：リセットボタンを5秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。

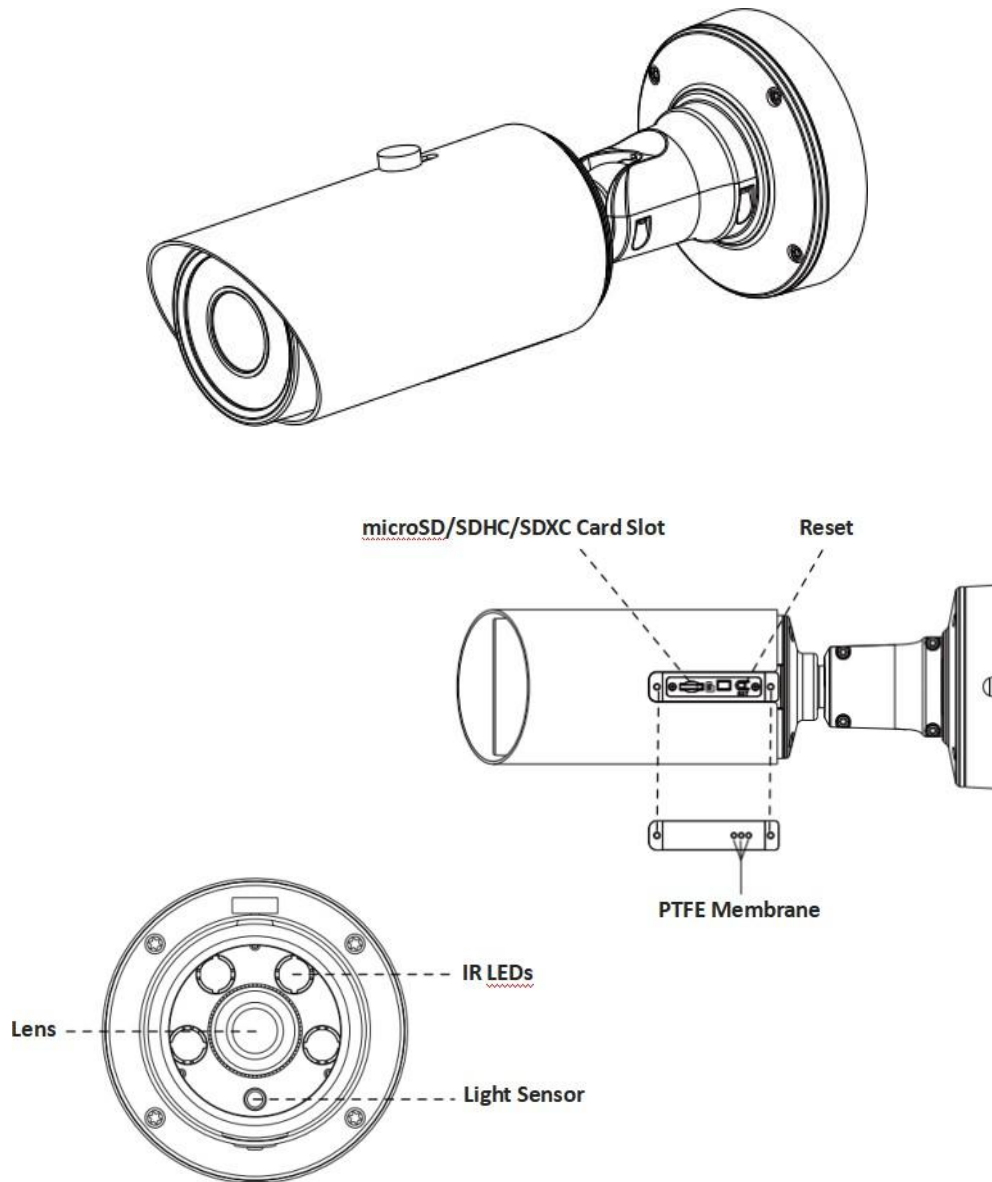
(AI) 180°パノラマミニドームネットワークカメラ



注

- PoEが電源供給に対応しています。
- リセットボタン: 「リセット」 ボタンを5秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。

(AI) (12倍オートフォーカス) モーター駆動プロ ブullet ネットワークカメラ

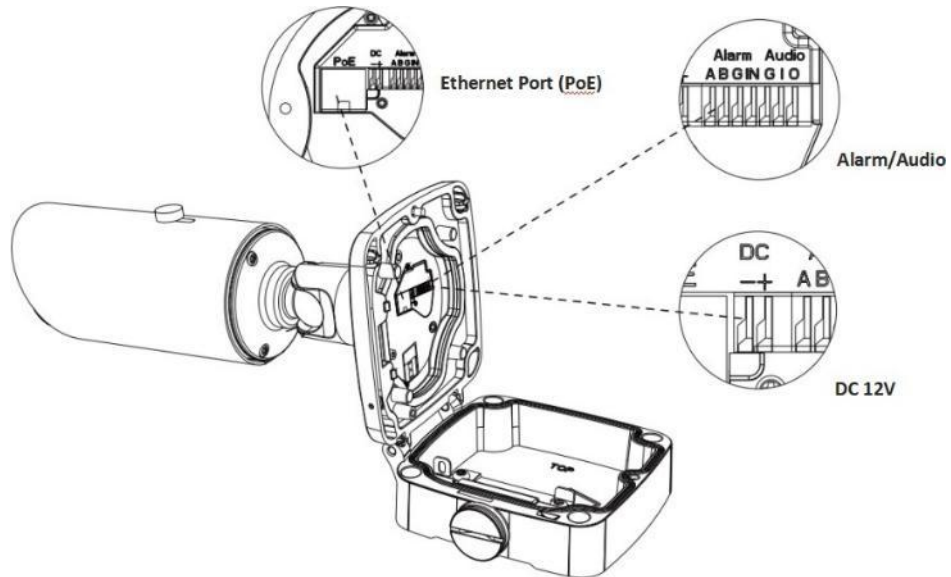


注

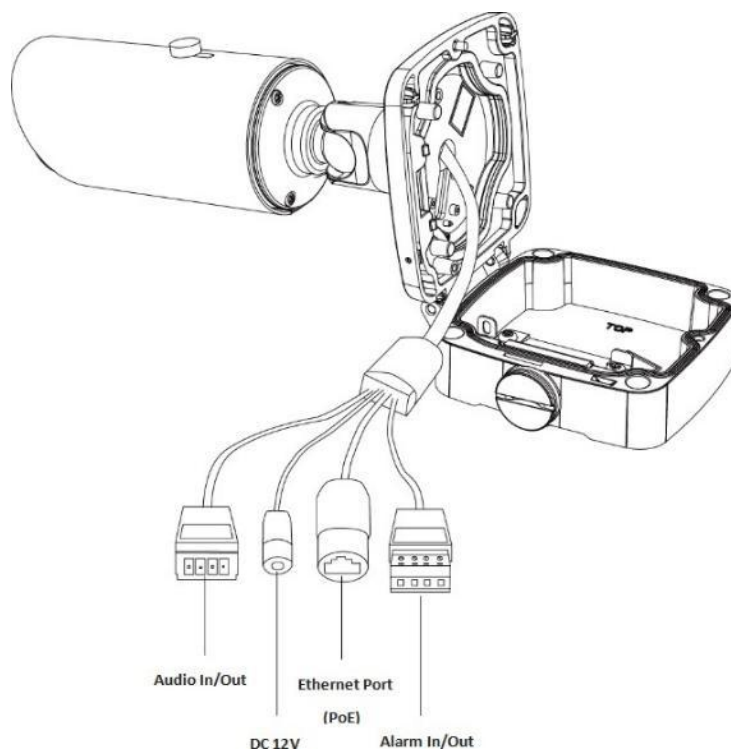
- DC 12V および PoE が電源供給に対応しています。
- リセットボタン: 「リセット」 ボタンを5秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。

- Pro Bulletには2つのバージョンがあります。インターフェースの画像は以下を参照してください。

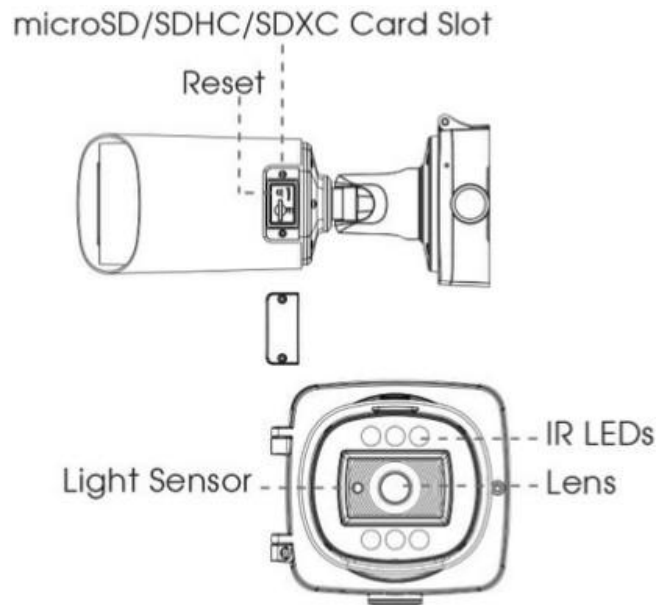
モーター駆動プロ・バレット・ネットワークカメラ (バージョンA)



モーター式 Pro Bullet ネットワークカメラ (バージョンB)

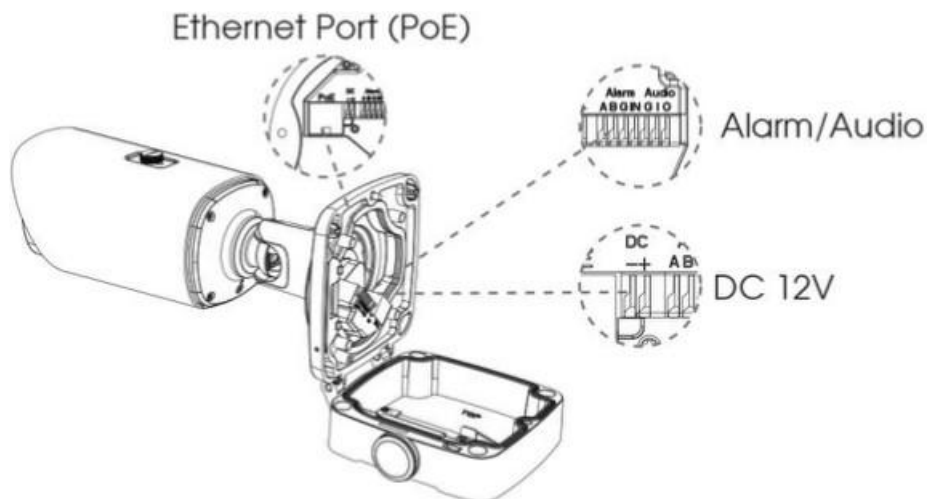


AI モーター式 Pro Bullet Plus ネットワークカメラ

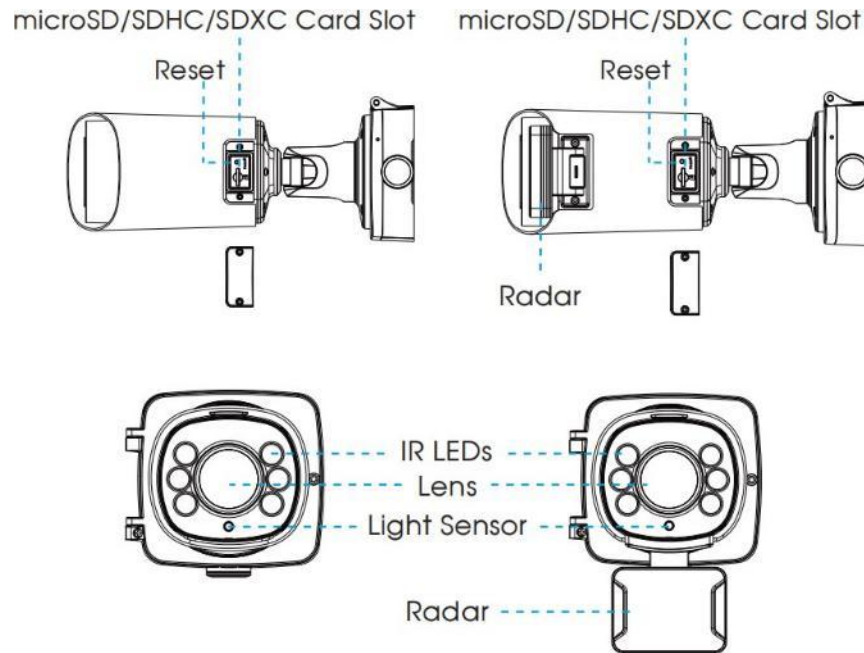


注意：

- 電源はDC 12VとPoEに対応しています。
- リセットボタン: 「リセット」 ボタンを5秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。

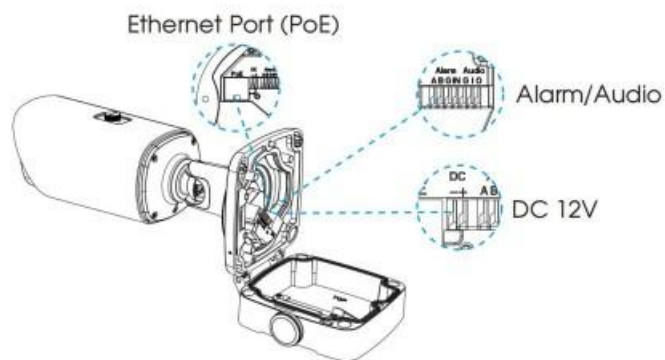


(レーダー) AI 4X/12X プロ ブルレット プラス ネットワークカメラ



注

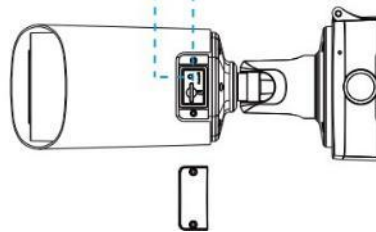
- DC 12V および PoE が電源として利用可能です；



5G AIoT 4X/12X Pro Bullet Plus ネットワークカメラ

microSD/SDHC/SDXC Card Slot
(Nano SIM Card Slot For 5G Camera)

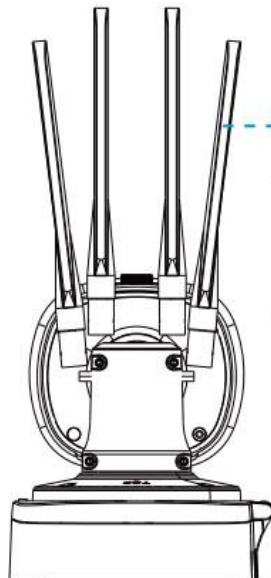
Reset



IR LEDs
Lens
Light Sensor

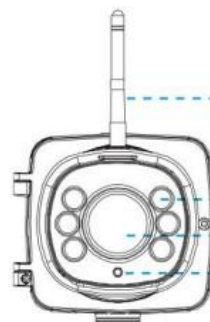
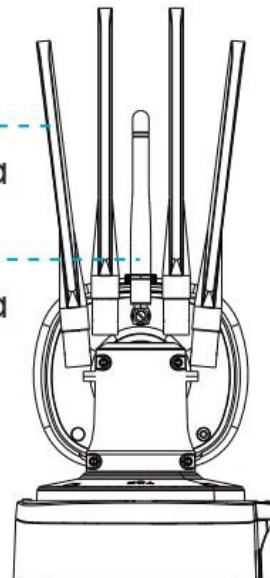
5G Camera

5G AIoT Camera



5G
Antenna

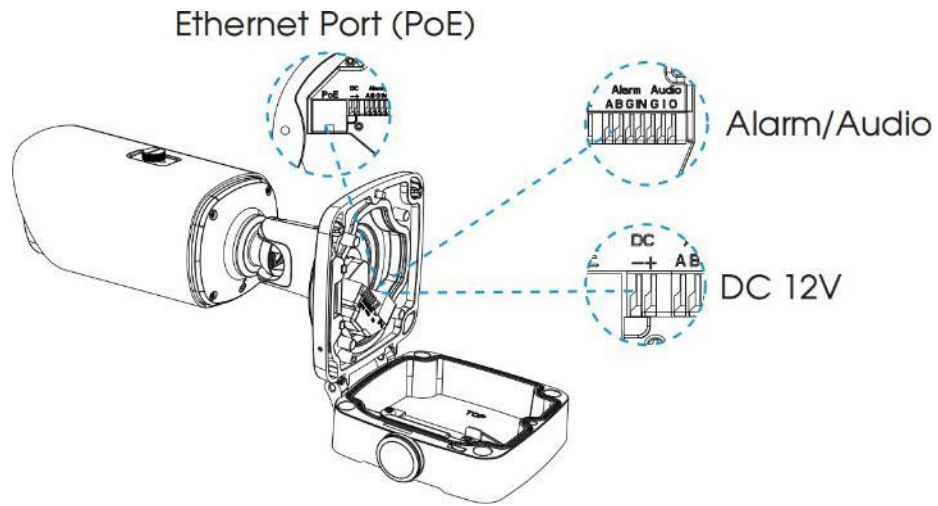
LoRa
Antenna



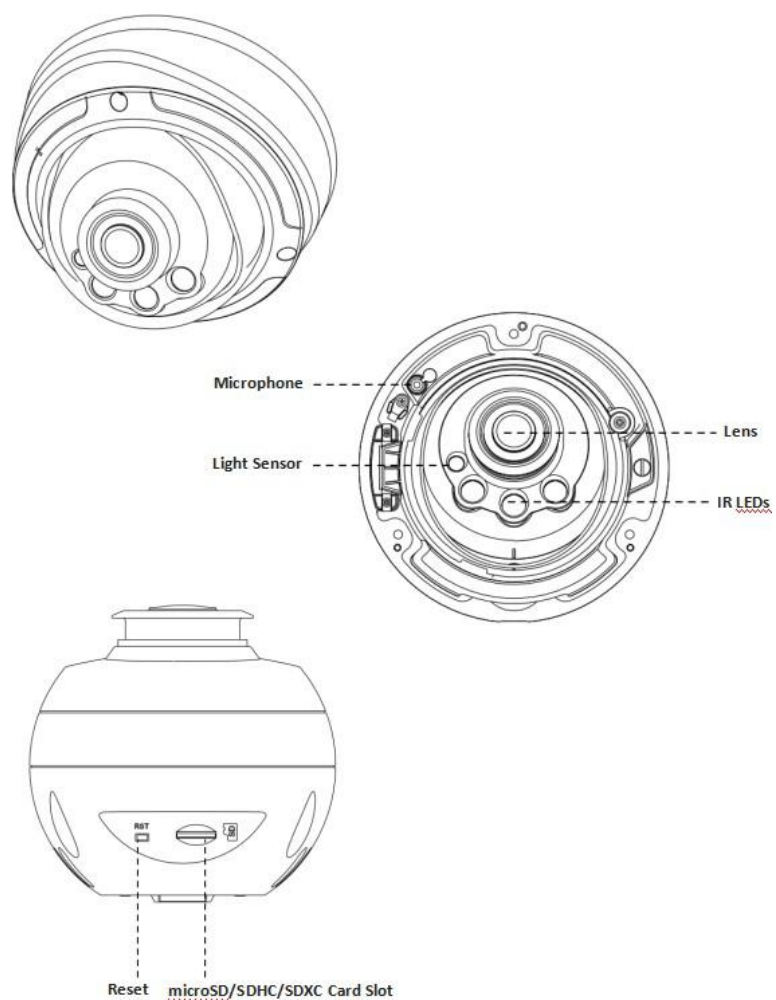
LoRa Antenna

IR LEDs
Lens
Light Sensor

 注 : DC 12VとPoEが電源として利用可能です。

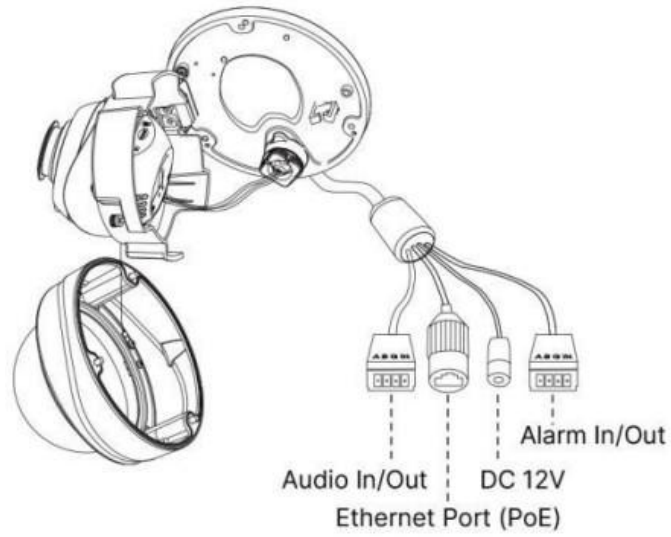


(AI) モーター駆動プロドームネットワークカメラ

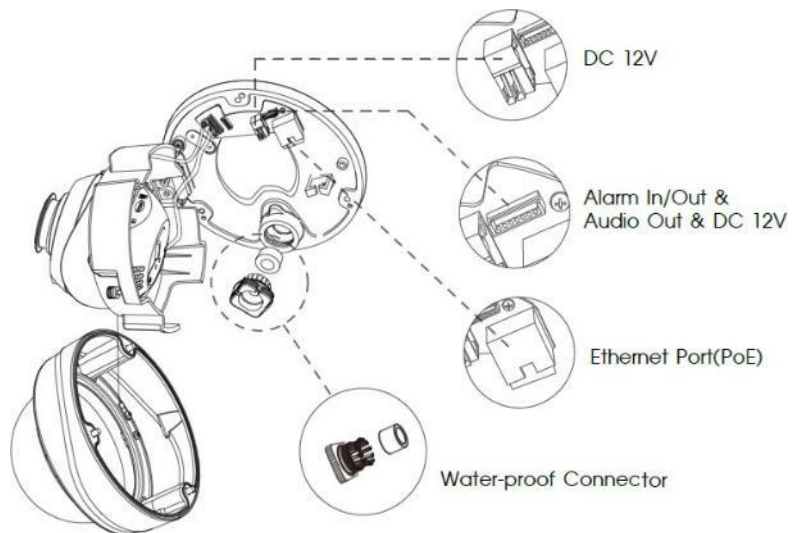


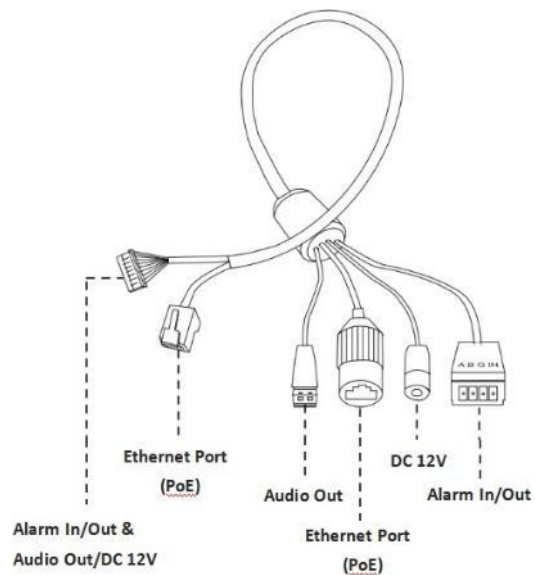
注：リセットボタン：リセットボタンを5秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。

(AI) モーター駆動プロドームネットワークカメラ マルチインターフェース (バージョン C)



(AI) モーター式プロドームネットワークカメラ マルチインターフェースケーブル (バージョンD)

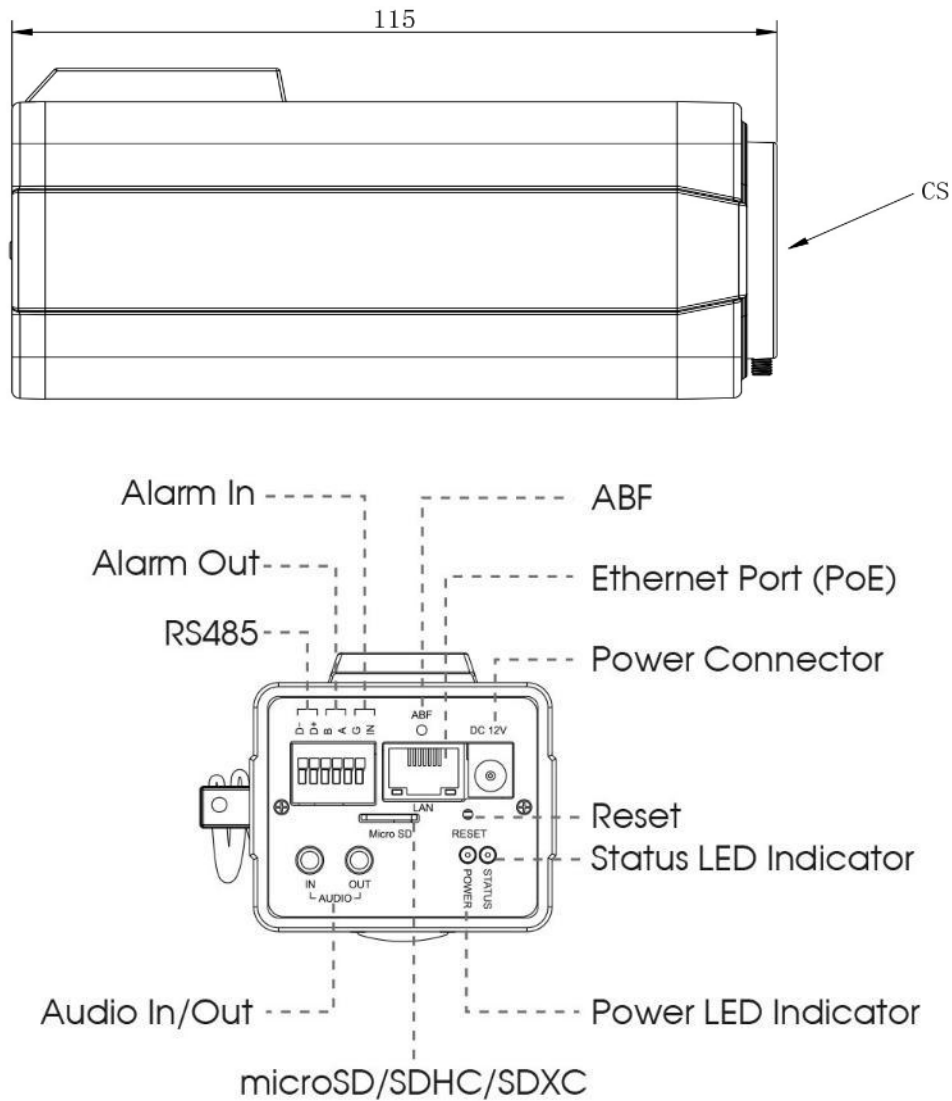




注

- AIモーター駆動プロドームネットワークカメラのデフォルトのマルチインターフェースはバージョンDです。
- モーター式プロドームネットワークカメラのデフォルトのマルチインターフェースはバージョンCで、オプションのマルチインターフェースはバージョンDです。

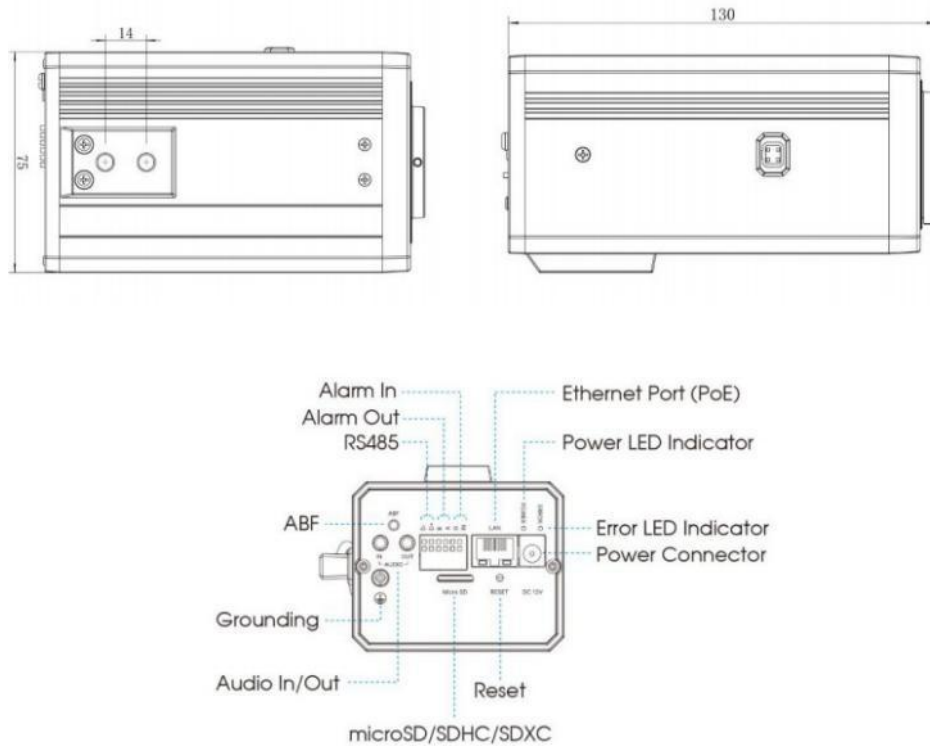
(ABF) プロボックスネットワークカメラ



注

- リセットボタン: 「リセット」 ボタンを5秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。
- 電源はDC 12VとPoEに対応しています。

AI Pro Box Plus ネットワークカメラ

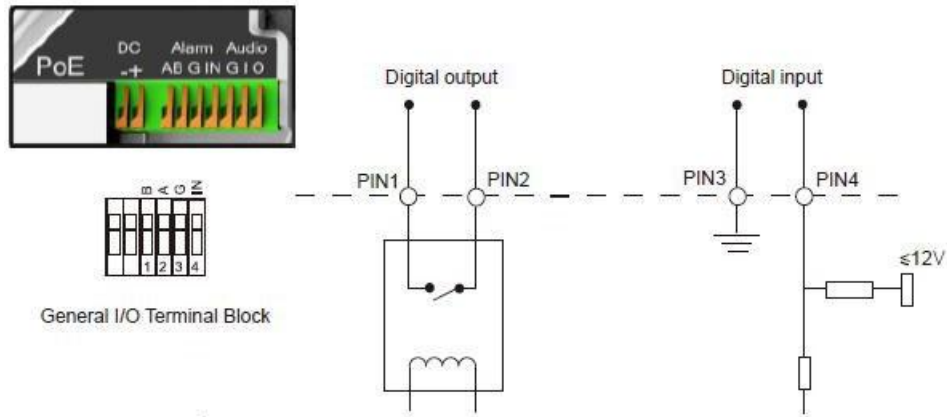


注

- リセットボタン：「リセット」ボタンを 5 秒間押すと、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。
- 電源にはDC 12VとPoEが使用可能です。

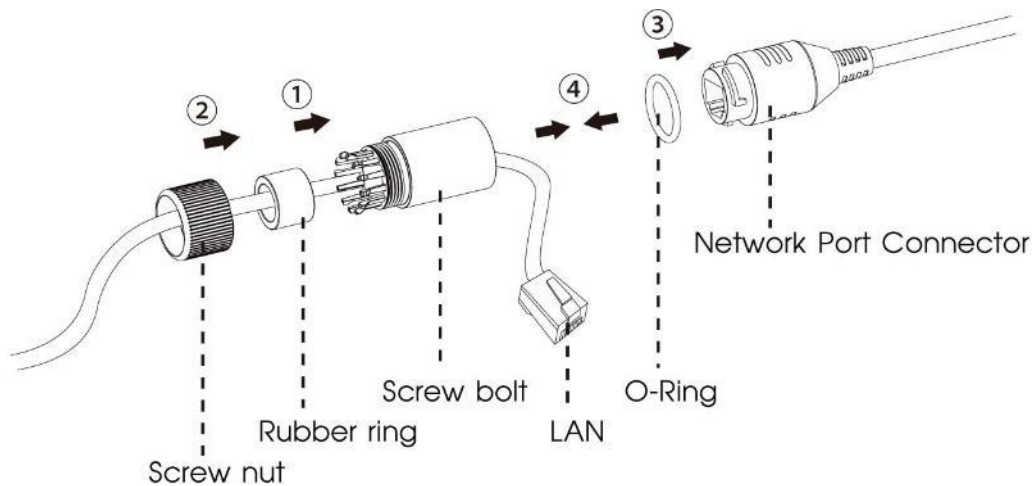
2.4 アラームインターフェースへの接続方法

カメラの外部インターフェースは次のとおりです。外部アラームデバイスの取り付けには、図を参照してください：



- PIN1: アラーム出力 NC/NO 24V DC 1A
- PIN2: アラーム出力 NC/NO 24V DC 1A
- PIN3: アラーム入力 NC/NO $\leq 12V$
- PIN4: アラーム入力 NC/NO $\leq 12V$

2.5 防水コネクタの接続方法



ステップ1: ネットワークケーブルをネジナット、ゴムリング、ネジボルトを通します。

ステップ2: ゴムリングをネジボルトに挿入します。

ステップ3: ネジナットをネジボルトに接続します。

ステップ4: Oリングをネットワークポートコネクタに装着します。

ステップ5 : RJ45をネットワークポートコネクタに接続し、ネジボルトとコネクタを締め付けます。

2.6 システム要件

オペレーティングシステム : Windows XP/Vista/7/8/10/Server 2000/Server 2008

CPU : 1.66GHz 以上

RAM : 1GB以上

グラフィックメモリ: 128MB 以上

インターネットプロトコル: TCP/IP (IPv4/IPv6)

ウェブブラウザ: Internet Explorer 8.0 以降、Mozilla Firefox、Google Chrome、Safari。

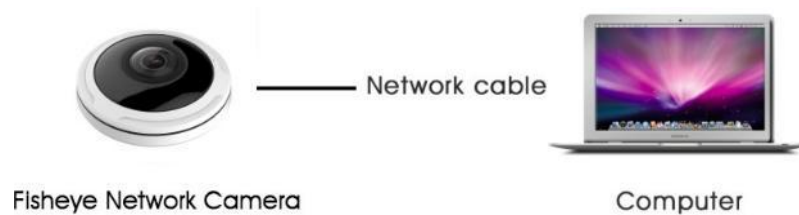
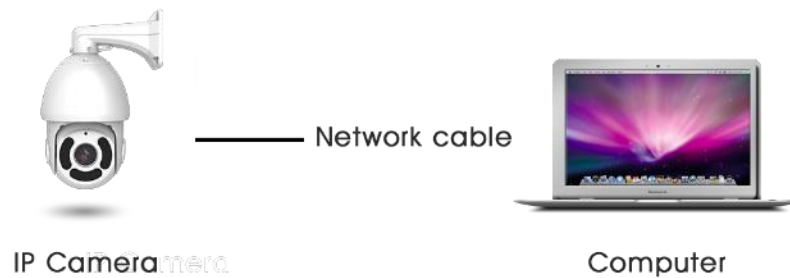
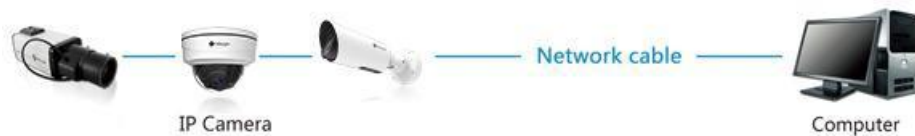
第3章 ネットワーク接続

3.1 LAN経由でカメラを設定する

カメラをスイッチまたはルーターに接続するのが最も一般的な接続方法です。カメラには、そのLANと互換性のあるIPアドレスを割り当てる必要があります。

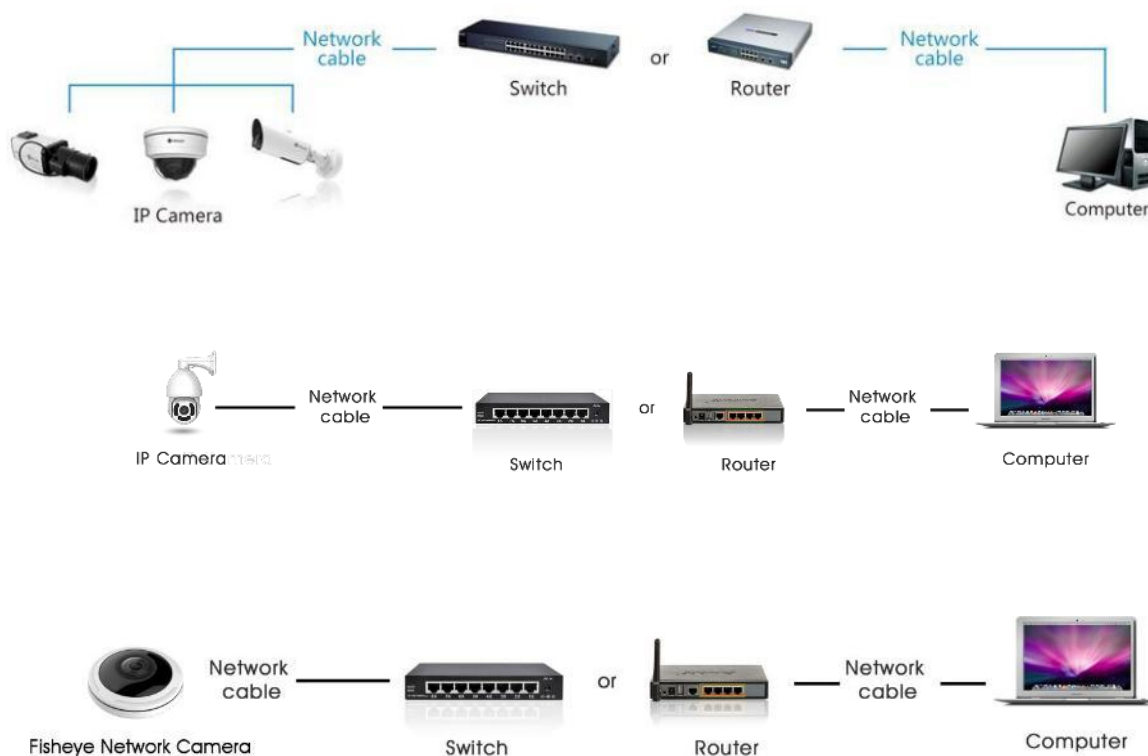
3.1.1 カメラをPCに直接接続する

この方法では、カメラに接続されたコンピュータのみがカメラを表示できます。カメラには、コンピュータと互換性のあるIPアドレスを割り当てる必要があります。詳細は以下の図を参照してください。



3.1.2 スイッチまたはルーター経由で接続する

スイッチまたはルーター経由でLAN上にネットワークカメラを設定するには、次の図を参照してください。



3.2 ダイナミックIP接続

ルーター経由でネットワークカメラを接続する

ステップ1：ネットワークカメラをルーターに接続します；

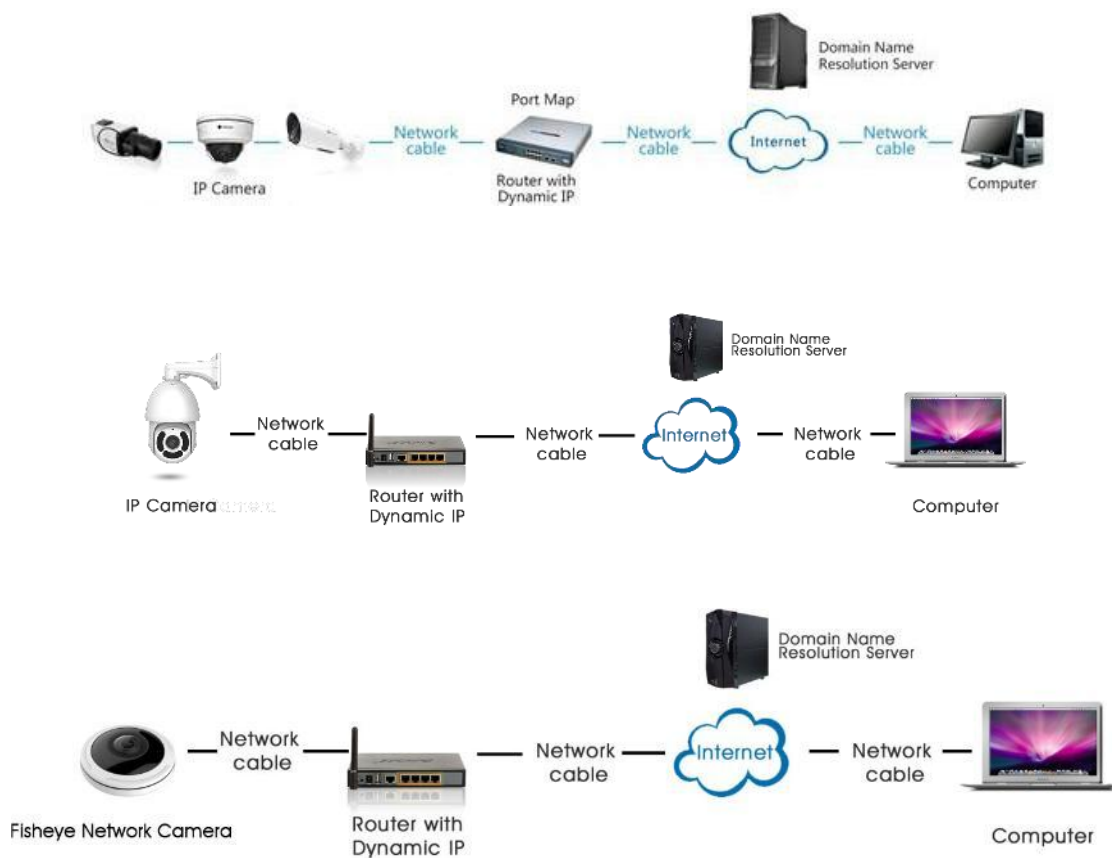
ステップ2：カメラで、LAN IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します；

ステップ3：ルーターでポート転送を設定します。例：80、8000、554ポート。ポート転送の手順はルーターによって異なります。ポート転送に関する詳細は、ルーターのユーザーマニュアルをご確認ください；

ステップ4：ドメイン名プロバイダーからドメイン名を取得します；

ステップ5：ルーターの設定画面でDDNS設定を構成してください；

ステップ6：ドメイン名を使用してカメラにアクセスしてください。



第4章 ネットワークカメラへのアクセス

カメラにアクセスするには、カメラにIPアドレスを割り当てる必要があります。

4.1 IP アドレスの割り当て

ネットワークカメラにアクセスするには、IPアドレスを割り当てる必要があります。
Milesight ネットワークカメラのデフォルトの IP アドレスは 192.168.5.190 です。

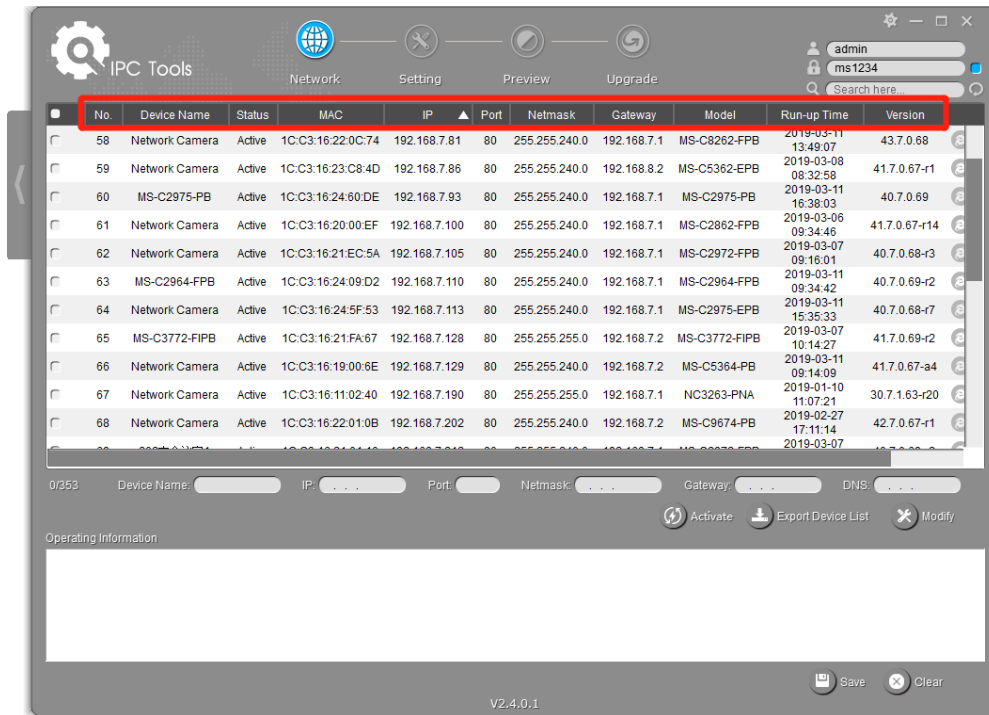
スマートツールまたはブラウザを使用して、カメラのIPアドレスを変更することができます。カメラをコンピュータと同じ LAN に接続してください。

4.1.1 Smart Tools を使用して IP アドレスを割り当てる

Smart Tools は、LAN 内の複数の Milesight ネットワークカメラを自動的に検出し、IP アドレスを設定し、ファームウェアのアップグレードを管理できるソフトウェアツールです。複数のカメラに IP アドレスを割り当てる場合に使用することをお勧めします。

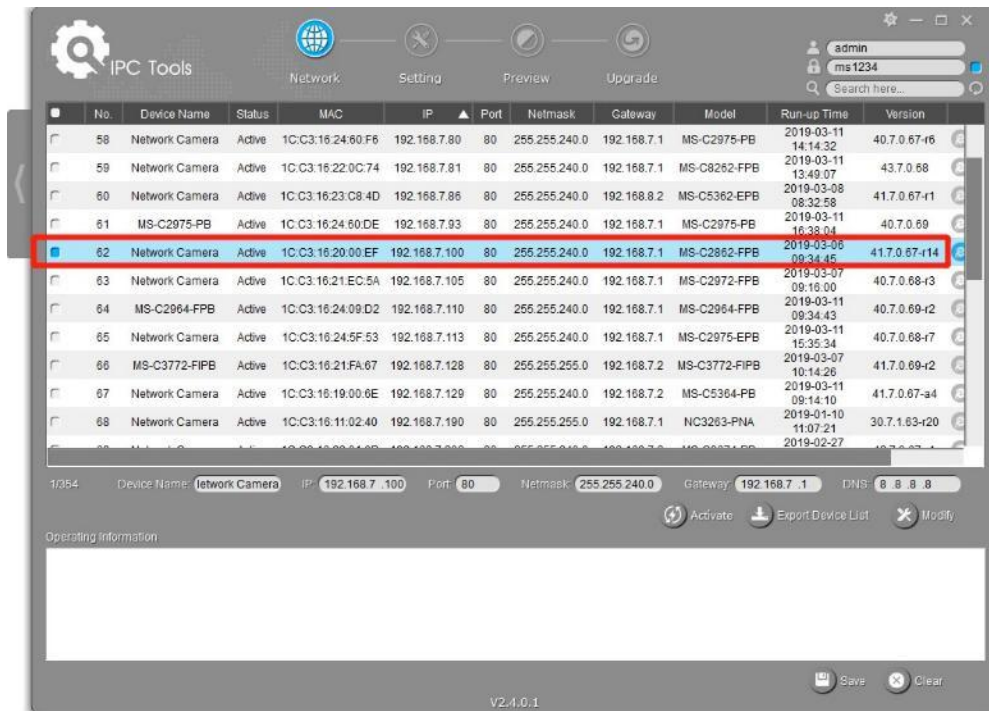
ステップ1： Smart Tools をインストールします（ソフトウェアは当社のウェブサイトからダウンロードできます）；

ステップ2： Smart Tools を起動し、[IPC Tools]ページをクリックして、IPアドレス、MAC アドレス、ステータス、ポート番号、ネットマスク、ゲートウェイなどのデバイス情報を入力すると、同じネットワークに接続されているすべての関連Milesightネットワークカメラが表示されます。詳細は、以下の図を参照してください。

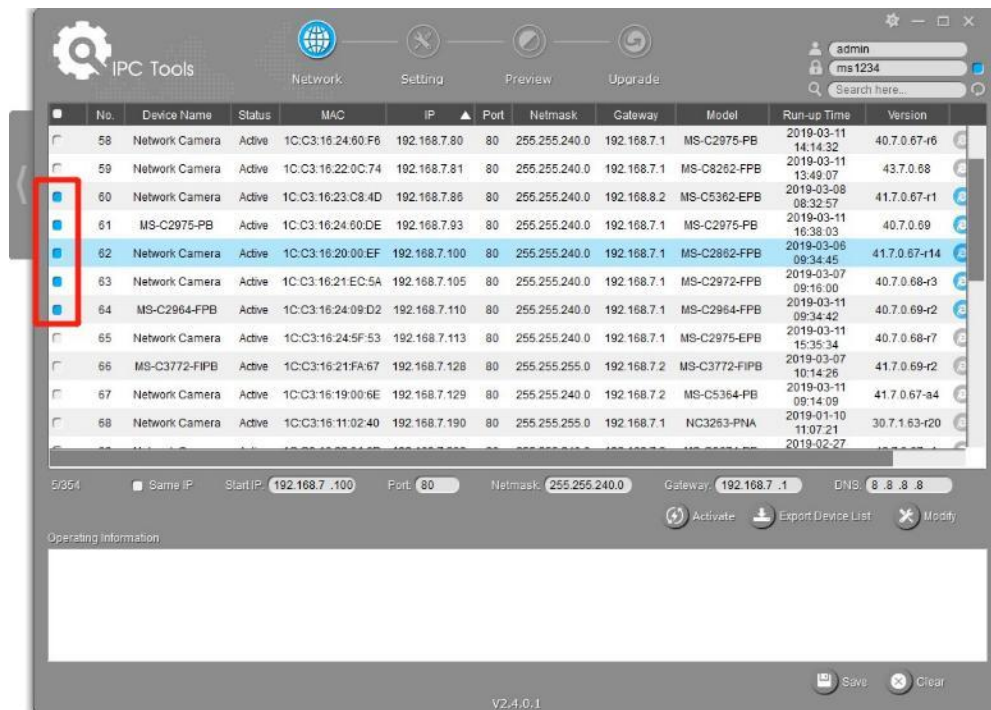


ステップ3 : MACアドレスに基づいて、カメラを1台または複数選択します ;

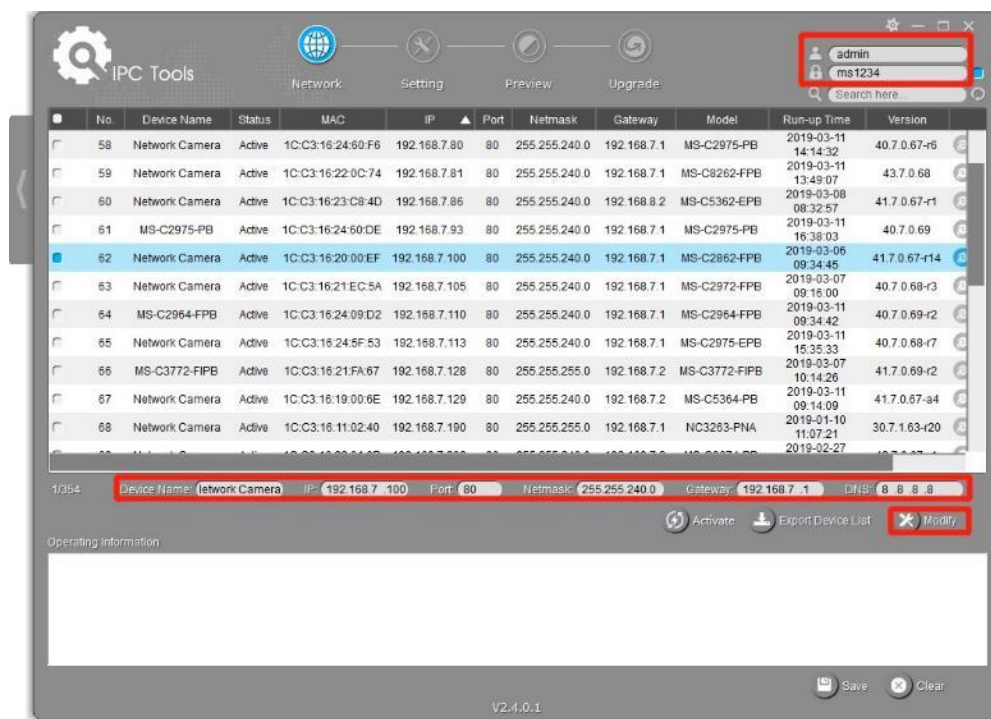
単一のカメラを選択する場合 :



複数のカメラを選択する場合 :



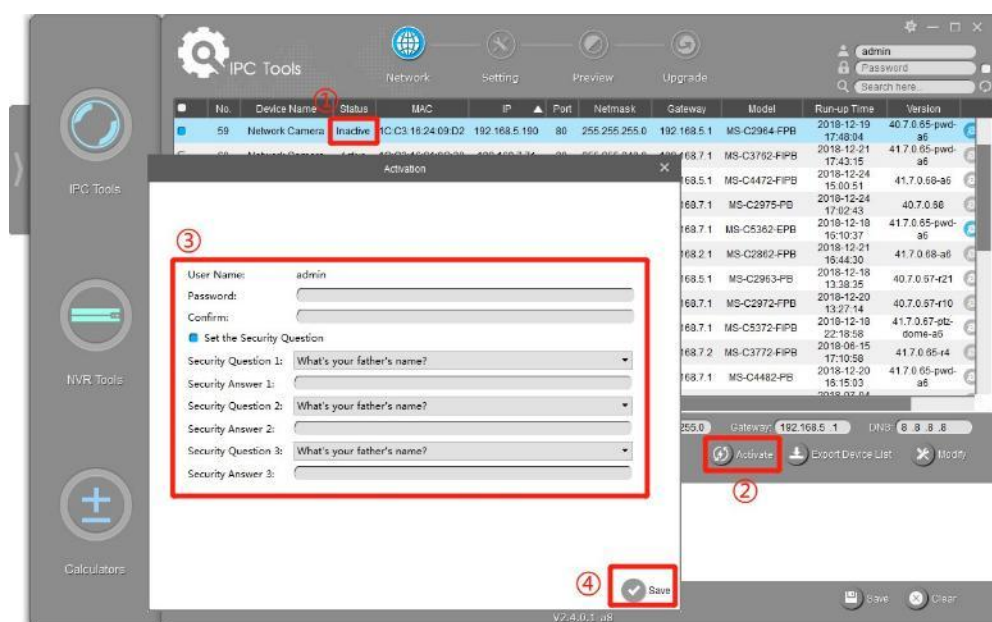
ステップ4: 選択したカメラがステータスバーに「Active」と表示されている場合は、ユーザー名とパスワードを直接入力し（バージョン4x.7.0.69以前のカメラは、デフォルトでadmin/を使用しています）、IPアドレスやその他のネットワークの値を変更して、「Modify」ボタンをクリックしてください。



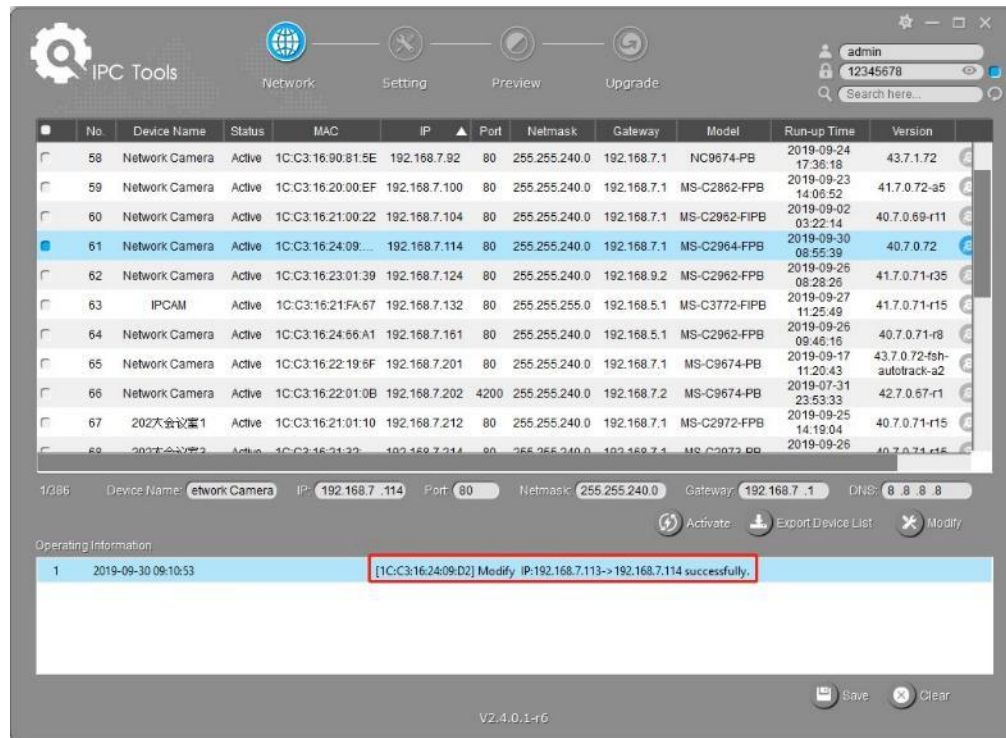
選択したカメラのステータスバーに「Inactive」と表示されている場合（バージョン V4x.7.0.69 以上のカメラ）、初めて使用する際は「 Activate」をクリックしてパスワードを設定してください。カメラをアクティベートする際、パスワードを忘れた場合に備えてセキュリティ質問を設定することもできます（3つのセキュリティ質問に正しく回答することでパスワードをリセットできます）。「Save」をクリックすると、アクティベーションが成功したことが表示されます。

注意：

- パスワードは8文字から32文字で、数字と英字をそれぞれ1つ以上含める必要があります。
- カメラをアクティベートするには、Smart Tools のバージョンを V2.4.0.1 以上にアップデートする必要があります。



アクティベーション後、IPアドレスやその他のネットワークの値を変更し、「Modify」ボタンをクリックすることができます。



ステップ 6 : 選択したカメラまたは目的のカメラのブラウザをダブルクリックすると、ウェブブラウザから直接カメラにアクセスできます。Internet Explorerウィンドウがポップアップ表示されます。



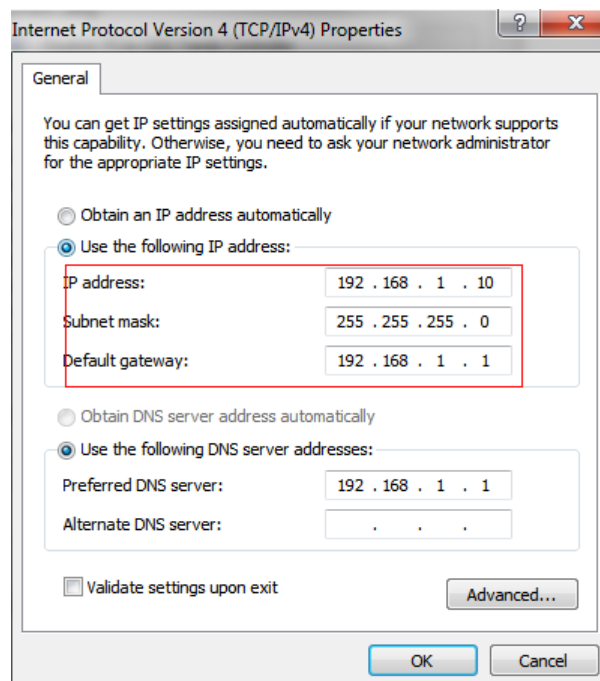
Smart Tools のその他の使用方法については、**Smart Tools ユーザーマニュアル**をご参照ください。

4.1.2 ブラウザ経由でIPアドレスを割り当てる

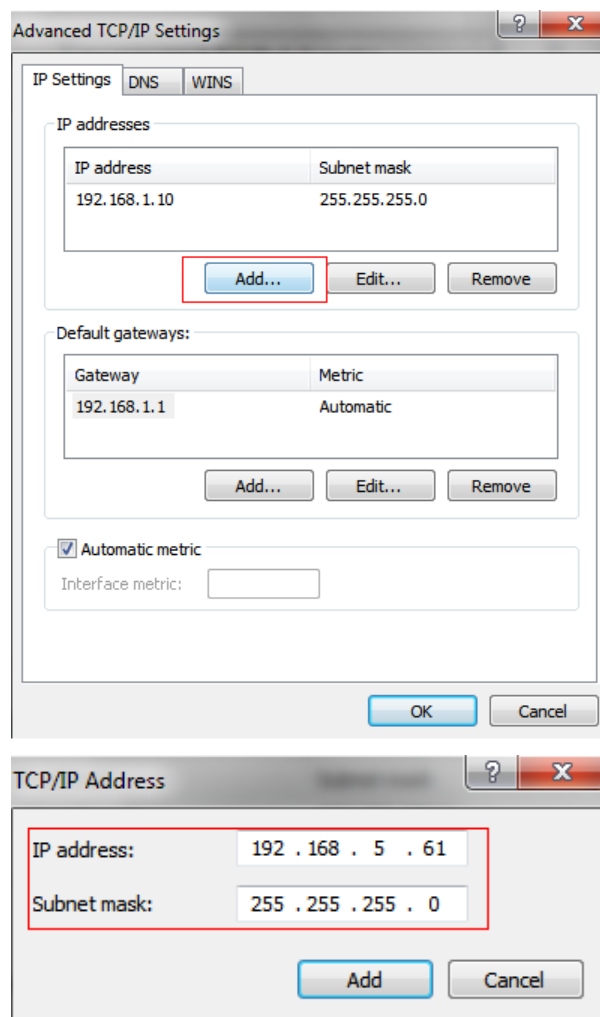
コンピュータとカメラのネットワークセグメントが異なる場合、以下の手順に従ってIPアドレスを変更してください：

ステップ1：コンピュータのIPアドレスを192.168.5.0セグメントに変更します。以下の2つの方法があります：

a. Start (スタート)→Control Panel(コントロールパネル)→Network and Internet Connection (ネットワークとインターネット接続)→Network Connection(ネットワーク接続)→Local Area Connection(ローカルエリア接続)をダブルクリックします；



b. 「Advanced(詳細設定)」をクリックし、「IP settings(IP設定)」→「IP address (IPアドレス)」→「Add(追加)」をクリックします。ポップアップウィンドウで、Milesightネットワークカメラと同じセグメントのIPアドレスを入力します（例：192.168.5.61。ただし、このIPアドレスは、既存のネットワークのIPアドレスと競合しないものにしてください）。



ステップ2 : ブラウザを起動します。アドレスバーにカメラのデフォルトIPアドレスを入力します : <http://192.168.5.190> ;

ステップ3 : カメラのファームウェアバージョンがV4x.7.0.69未満の場合、ログイン画面が直接表示されます。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力してください ;

- デフォルトのユーザー名 : admin
- デフォルトのパスワード :

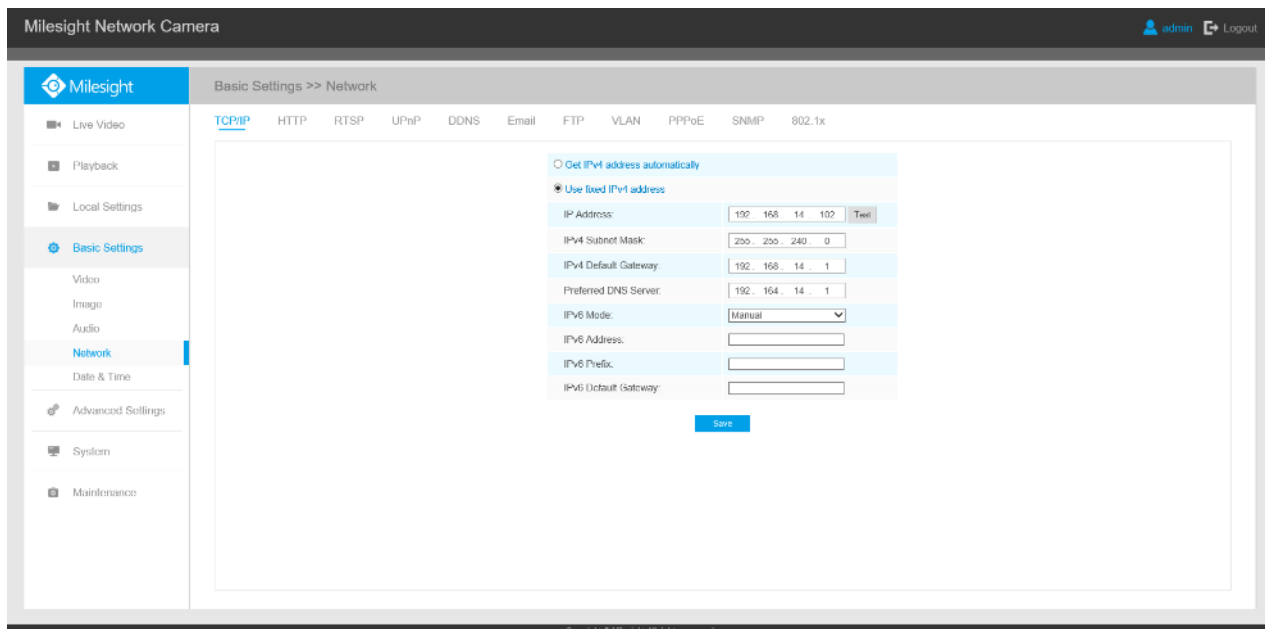


カメラのファームウェアバージョンがV4x.7.0.69以上の場合、初めて使用する際にはまずパスワードを設定する必要があります。また、アクティベーション後にデバイスに3つのセキュリティ質問を設定することもできます。その後、ユーザー名（admin）とカスタムパスワードを使用してカメラにログインできます。

注意：

- パスワードは8文字から32文字で、数字と英字をそれぞれ1つ以上含める必要があります。
- パスワードを忘れた場合、事前にセキュリティ質問を設定していれば、ログイン画面の「パスワードを忘れた場合」をクリックし、3つのセキュリティ質問に回答することでパスワードをリセットできます。

ステップ4: ログイン後、「Configuration」→「Basic Settings」→「Network」→「TCP/IP」を選択してください。ネットワーク設定画面が表示されます（以下の図を参照）；



ステップ5： IP アドレスやその他のネットワークの値を変更します。その後、「Save」ボタンをクリックします。

ステップ6： デフォルトのIPアドレスの変更が完了しました。

4.2 ウェブブラウザからのアクセス

カメラは、ほとんどの標準的なオペレーティングシステムおよびブラウザで使用できます。推奨ブラウザは、Internet Explorer、Firefox、Chrome、Microsoft Edge、Safari です。

4.2.1 プラグインを使用したアクセス

現在、カメラにプラグインを使用してアクセスできるのはInternet Explorerのみです。

IEブラウザ経由でのアクセス

ブラウザを使用してカメラにアクセスする前に、まずMsActiveXをインストールする必要があります。以下の手順を参照してください：

ステップ1： IEブラウザを起動し、カメラのIPアドレスを入力します；

ステップ2： ユーザー名とパスワードを入力し、「Login(ログイン)」をクリックします；

ステップ3： デバイスに初めてログインする際、ブラウザにコントロールのインストールを促すメッセージが表示されます。以下の図のように「Click here to download and install controls manually(ここをクリックしてコントロールを手動でダウンロードしてインストールしてください)」をクリックしてください；

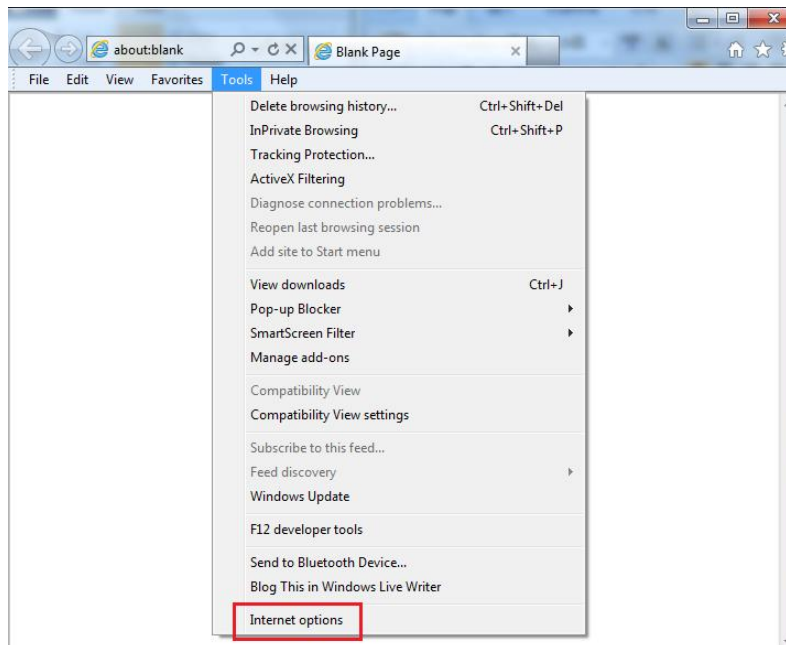
Click here to download and install controls manually

 **注意:** コントロールのインストール中は、ブラウザを閉じておいてください。

ステップ 4 : 指示に従ってコントロールをインストールし、インストールが完了すると、下図のようなウィンドウが表示されます。「Finish」をクリックしてブラウザを更新すると、ビデオが表示されます。

IE9 以上のブラウザを使用している場合は、Milesight ネットワークカメラのWebリンクを信頼済みサイトとして追加することをお勧めいたします。以下の手順に従ってください。

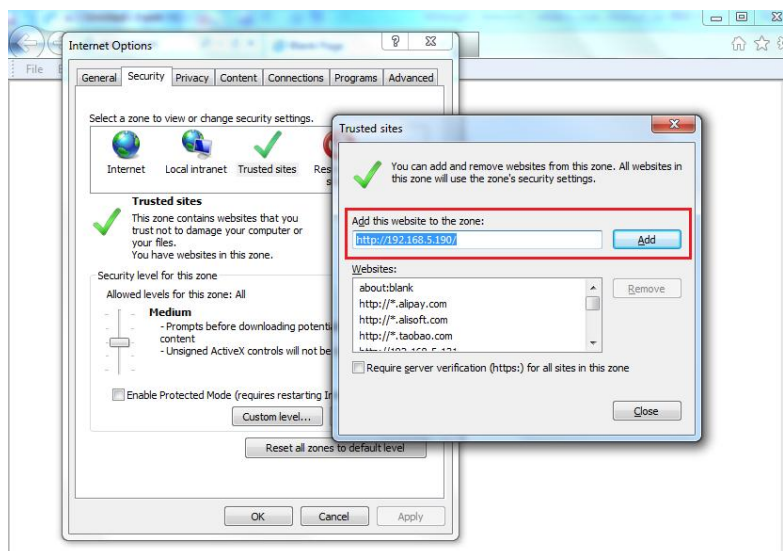
ステップ1 : IE9 またはそれ以降のバージョンのブラウザを起動し、「Tools (ツール)」→「Internet Options (インターネットオプション)」を選択してください；



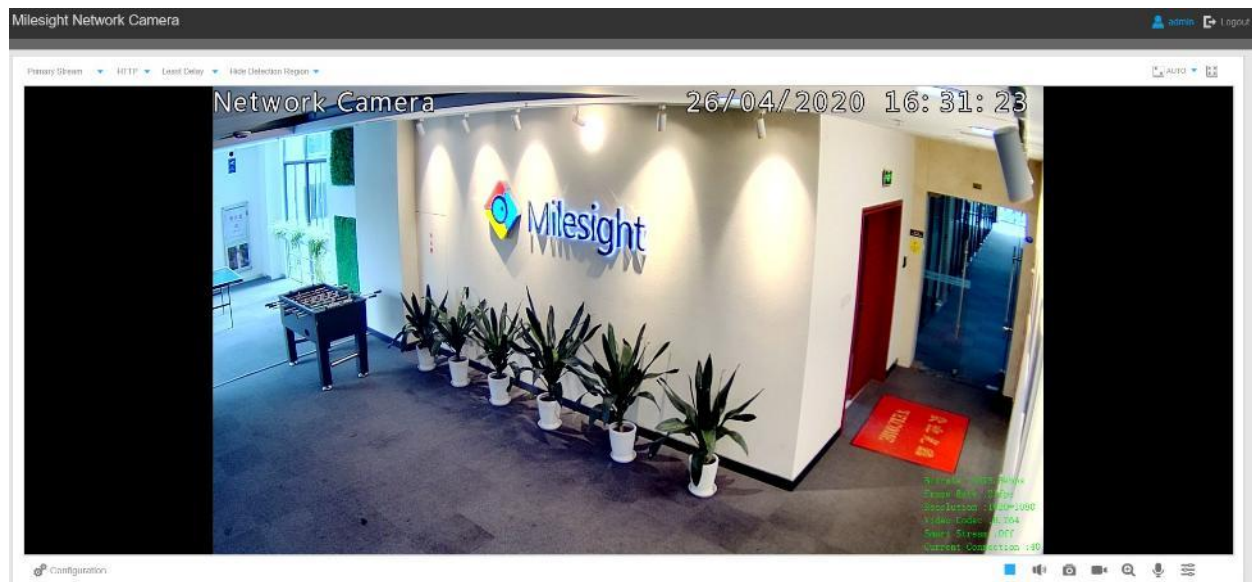
ステップ2 : 「Security (セキュリティ)」を「Trusted (信頼済み)」に設定します；



ステップ3 : カメラのIPアドレスを空白欄に入力し、「Add(追加)」をクリックしてください ;



ステップ4： IPアドレスを入力します。ネットワークカメラのウェブGUIに正常にログインすると、ユーザーは以下の手順でライブ動画を視聴できます。



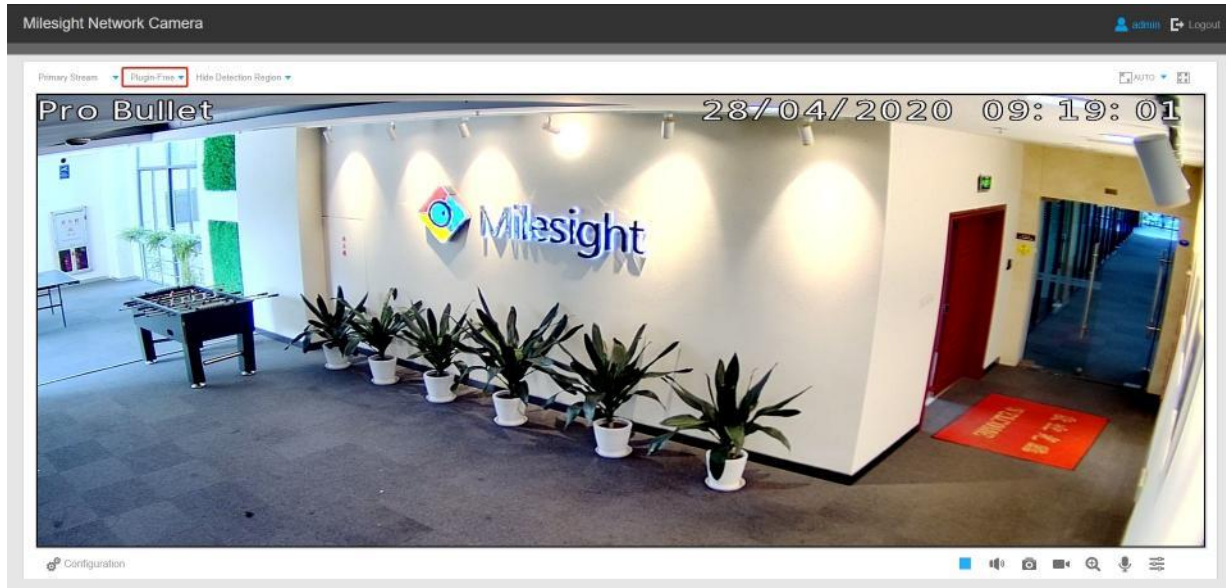
4.2.2 プラグイン不要でアクセス

ブラウザのセキュリティがますます重要になる中、一部のブラウザではプラグインのインストールがサポートされていません。ブラウザで動画を正常にプレビューできるように、カメラはプラグイン不要モードに対応するようにアップグレードされました。プラグインフリーモードでは、プラグインを使用せずにブラウザでビデオをプレビューすることができます。現在、プラグインフリーモードは、Windows システム、MAC システム、iOS システム、および Android システムの Firefox、Google Chrome、Safari、Edge ブラウザでサポートされています。カメラでは、H.265およびH.264ビデオコーデックの両方がプラグインフリーモードでサポートされており、デフォルトではセカンダリストリームが再生されます。

注意：

- プラグイン不要モードを使用するには、カメラをV4x.7.0.70以上にアップグレードする必要があります。
- V4x.7.0.74 未満のファームウェアを使用している場合は、ネットワークカメラをV4x.7.0.74以降にアップグレードしてください（ブラウザも最新バージョンにアップグレードしてください）。
- V4x.7.0.74以降では、ブラウザの設定なしでプラグイン不要モードをご利用いただけます（ブラウザを最新バージョンにアップグレードしてください）。

ライブビューインターフェースで「Plugin-Free Mode(プラグインフリーモード)」を選択すると、プラグインなしでビデオをプレビューできます。

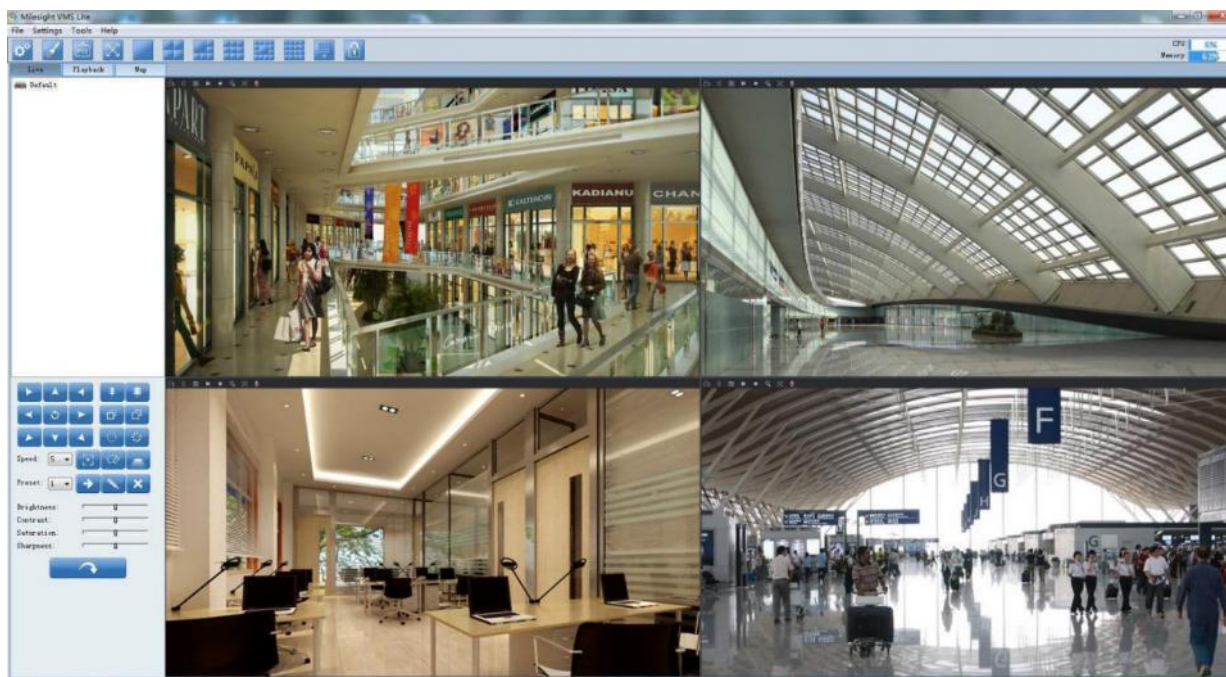


ライブビューおよびその他の設定インターフェースで動画のプレビューに対応しています。

4.3 MilesightVMS（ビデオ管理ソフトウェア）からのアクセス

Milesight VMS（ONVIF 対応）は、ビデオ監視、録画設定、イベント管理機能を提供するために、ネットワークカメラと連動するように設計された、便利で信頼性の高いアプリケーションです。Milesight VMSのインターフェースは、ライブビデオの表示、録画の検索、ビデオやスナップショットのエクスポートなど、最も一般的な操作に簡単にアクセスできる、非常に使いやすく直感的なものです。ONVIF を通じて他のデバイスと統合することができます。Windows XP/ 7/8/Vista/Server2000/Server2008で動作するように設計されています。ソフトウェアは、弊社のウェブサイト www.milesight.com からダウンロードできます

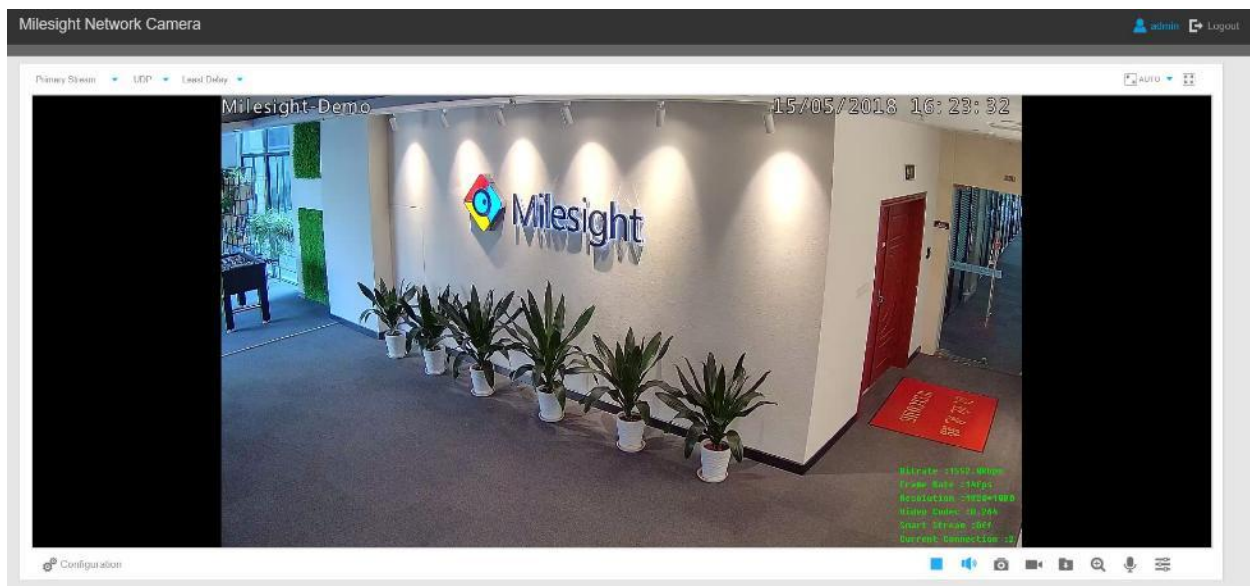
Milesight VMSをインストールし、プログラムを起動して、カメラをチャンネルリストに追加してください。ソフトウェアの使用法の詳細については、Milesight VMSのユーザーマニュアルをご覧ください。



第5章 システム動作ガイド

5.1 ライブ動画

ネットワークカメラのウェブGUIに正常にログインすると、ユーザーは以下の方法でライブ動画を表示できます。

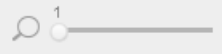
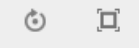


ライブビューインターフェース（マルチチャンネルモード）：

ライブビューインターフェース（バンドルストリームモード）：

表1. ボタン説明

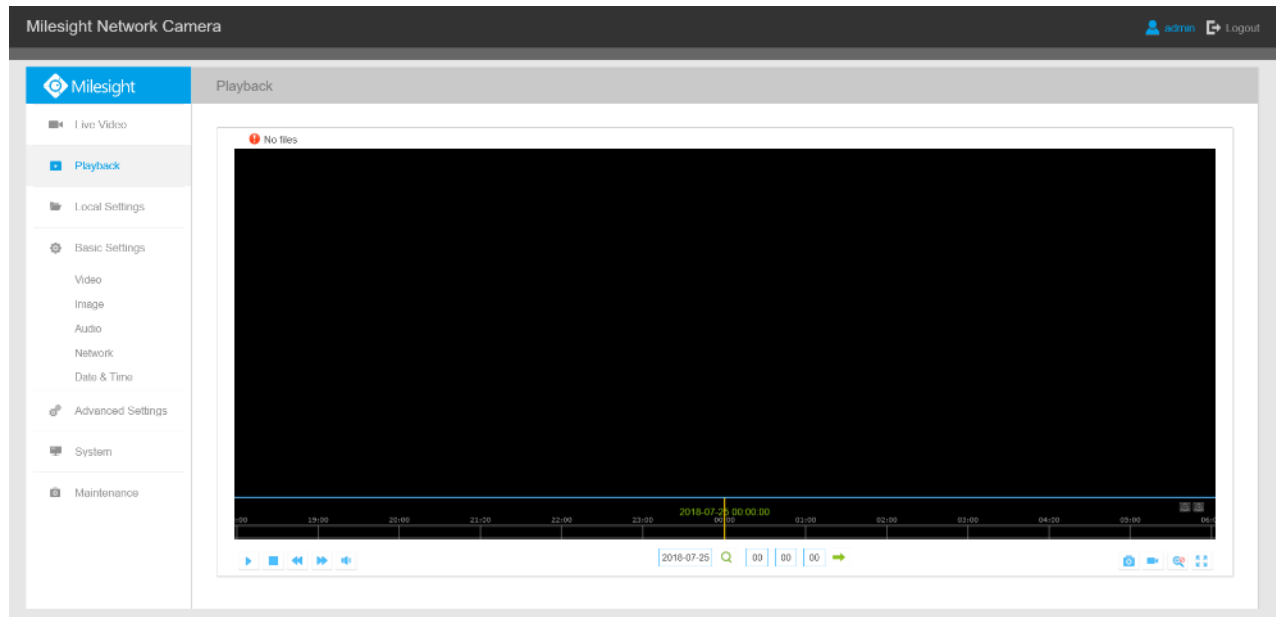
番号	パラメーター	説明
1	 画像設定	明るさ: シーンの明るさを調整します
		コントラスト: 色と光のコントラストを調整します
		彩度: 画像の彩度を調整します。彩度を高くすると色がより「純粋」に見え、低くすると「薄く」見えます
		シャープネス: 画像のシャープネスを調整します。シャープネスを高くすると、ピクセルの境界が鮮明になり、画像が「よりクリア」に見えます
		2D DNR/3D DNR: ノイズ低減レベルを調整します
1	画像設定	デフォルト: 明るさ、コントラスト、彩度をデフォルト設定に戻します
	 Configuration	クリックして設定ページにアクセスしてください
3	Primary Stream ▼	現在のビデオウィンドウに表示するストリーム (Primary/Secondary/Tertiary) を選択します。
4	Web Components ▼	ソフトウェアバージョンが 43 以上のカメラでのみ利用可能です Web Components: Firefox、Safari、Chrome (Chrome バージョン 44 以前) に対応しています。表示するにはコンポーネントのインストールが必要です。 MJPEG: Firefox、Safari、Chrome (Chrome バージョン 45 以降) で表示をサポートしています;  注: IEではデフォルトでWebコンポーネントモードが選択されません。この場合、オプションは表示されません
5	UDP ▼	TCP: より信頼性の高い接続; UDP: より即時的な接続ですが、ライブビューを正常に取得できない場合は、TCP接続に切り替えてください; HTTP: 特にインターネット環境において、より高速で安全な接続です。
6	Balanced ▼	Least Delay: 最も瞬時のモードです; Balanced: 最小遅延と最高の流暢さの間のバランスの取れたモード。流暢さを維持しつつ、許容可能な遅延を保ちます; Best Fluency: 最も流暢なモードです;

番号	パラメーター	説明
7	 AUTO ウィンドウサイズ	ウィンドウサイズで画像を表示するにはクリックしてください。
8	 100% 実際のサイズ	クリックして画像を実際のサイズで表示します
9	 フルスクリーン	クリックして画像をフルスクリーンで表示します
10	 録画	録画中はアイコンが赤色に変わります
11	 アラーム	スマートイベントのアラームがトリガーされると、アイコンが表示されます
12	 アラーム	モーション検出のアラームがトリガーされた場合、アイコンが表示されます
13	 アラーム	上記の2種類のアラームを除く、他のアラームがトリガーされた場合、アイコンが表示されます
		レンズのズーム長を調整します（カメラにモーター駆動レンズが搭載されている場合のみ機能します）
		レンズの焦点を調整します（カメラにモーターレンズが搭載されている場合のみ機能します）
		アイリスのサイズを調整します（カメラにP-アイリスが搭載されている場合のみ機能します）
		補助フォーカスとレンズの初期化（カメラにモーター駆動レンズが搭載されている場合のみ機能します）

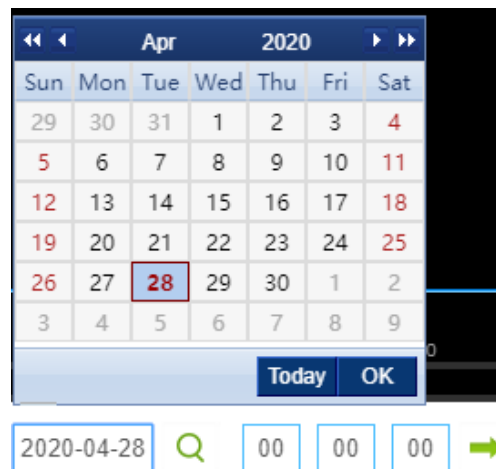
番号	パラメーター	説明
		このチェックボックスをオンにすると、アイリスを自動的に調整します（カメラにP-アイリスが搭載されている場合のみ機能します）
14	 /	ライブビューの開始/停止
15	 キャプチャ	クリックして現在の画像をキャプチャし、設定されたパスに保存します。デフォルトのパスは次のとおりです：C:\VMS\+-1\ IMAGE-MANUAL
16	 /	録画開始
17	 オーディオを再生	オーディオの入出力を有効にします。オーディオ設定ページでも設定可能です
18	 保存パス設定	ライブビューでの動作のキャプチャ画像およびビデオ録画の保存パスを設定します。
19	 デジタルズームを有効にします	有効にすると、マウスホイールを使用してビデオ画像の特定の領域を拡大表示できます。
20	 通話開始	有効にすると、リアルタイムで話し始めることができます
21		クリックしてシステム言語を選択してください

5.2 再生

このセクションでは、SDカードまたはNASに保存されている録画ビデオファイルを表示する方法について説明します。ステップ1：メニューバーの「**Playback（再生）**」をクリックして、再生画面に入ります。



ステップ2：日付ボタンをクリックし、日付ウィンドウが表示されたら日付を選択します。



注：

- 明るい赤色の日付は現在の日付です；暗い赤色の数字と白い背景の日付は週末の日です；暗い赤色の数字と青い背景の日付は現在選択されている日付です。
- プラグイン不要の再生機能に対応しており、Firefox（バージョン65以降）およびGoogle Chrome（バージョン69以降）でプラグインをインストールせずに再生のプレビューが可能です。この機能を使用するには、事前にブラウザの設定を構成する必要があります。詳細なブラウザの設定方法は [こちら](#) をご参照ください。

ステップ3：再生したい日付の「」をクリックして、その日付の動画ファイルを再生します。

再生インターフェースの下部にあるツールバーを使用して、再生の進行を制御できます。

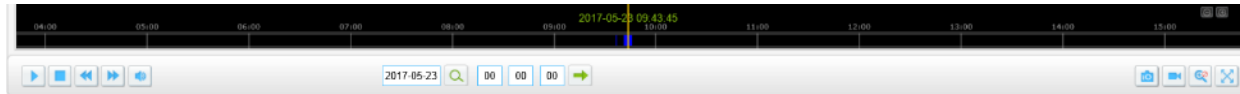
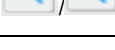


表2. ボタン説明

ボタン	動作
	再生
	一時停止
	停止
	速度を落とします
	速度を上げる
	音声オン/オフ
	検索
	移動
	時間絞り込み/拡大
	録画の開始/停止
	スナップショット
	ズームオン/オフ
	フルスクリーン

注:

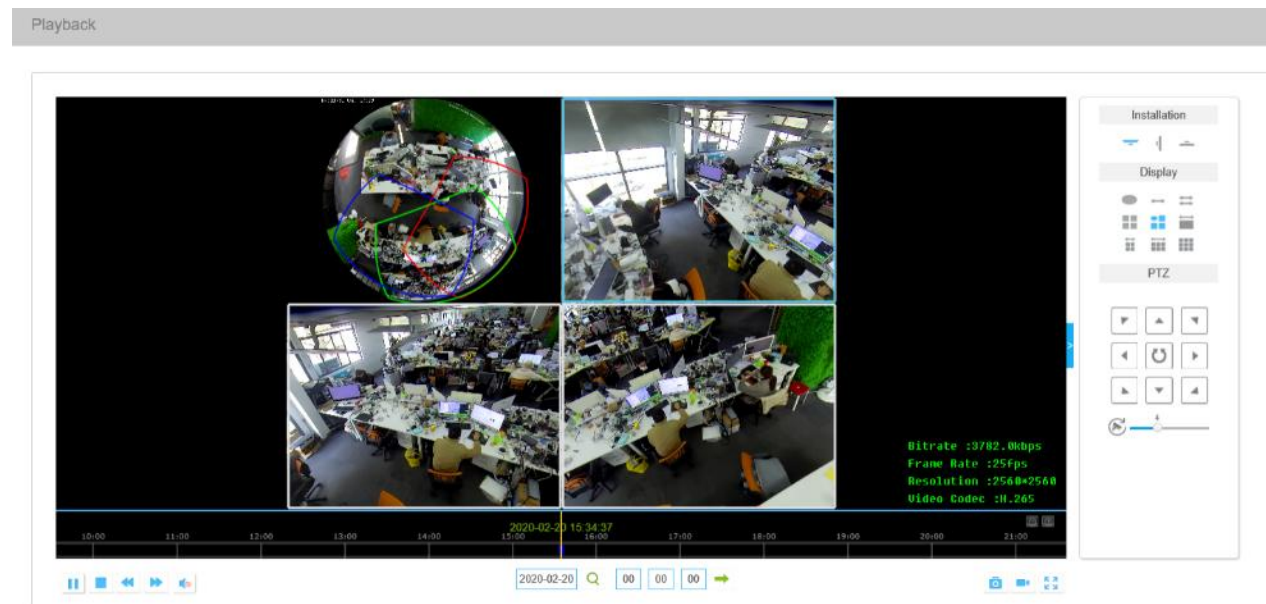
マウスでプログレスバーをドラッグして、正確な再生位置を指定します。また、時間を入力し、 をクリックして、[Set Playback Time] フィールドに再生位置を指定することもできます。



「」をクリックして、プログレスバーをズームアウト/ズームインすることもできます。

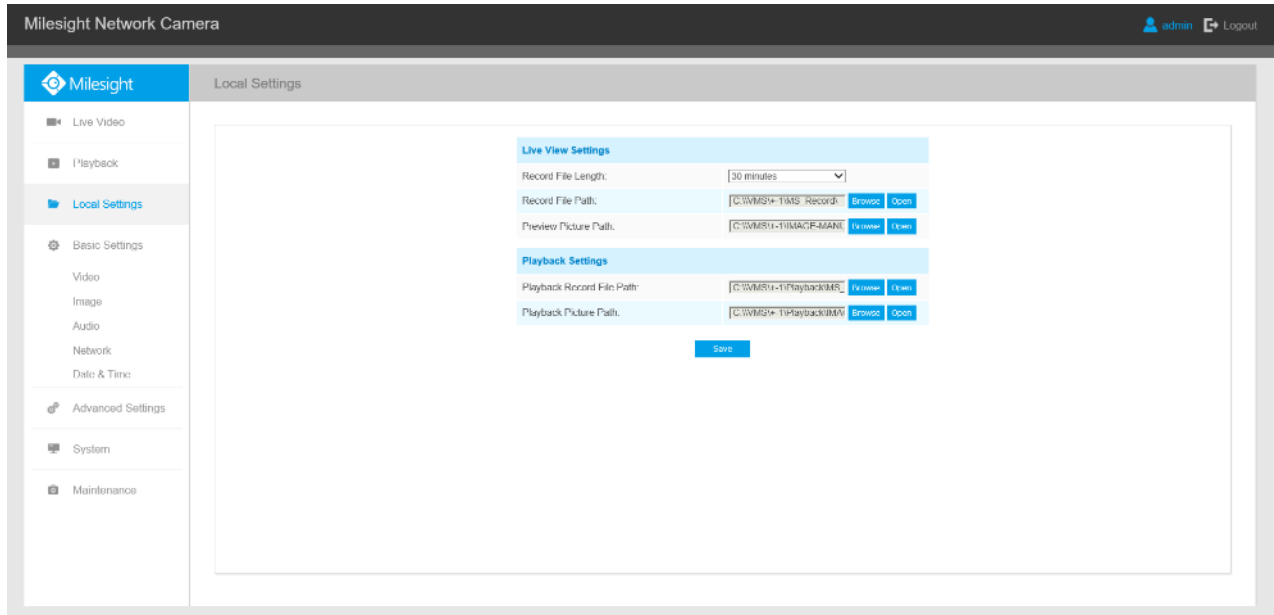


ステップ4: 録画に元のフィッシュアイビュー（10）が含まれている場合、再生インターフェースで元のビューに基づいてクライアント側でのデワーピングをサポートします。▶ をクリックして動画ファイルを再生し、以下の通り異なるインストールモードと表示モードを選択できます。パノラマビューと地域ビューのためのPTZ機能もサポートしています。



5.3 ローカル設定

記録ファイルの長さと保存パスはこの設定ページでカスタマイズできます。



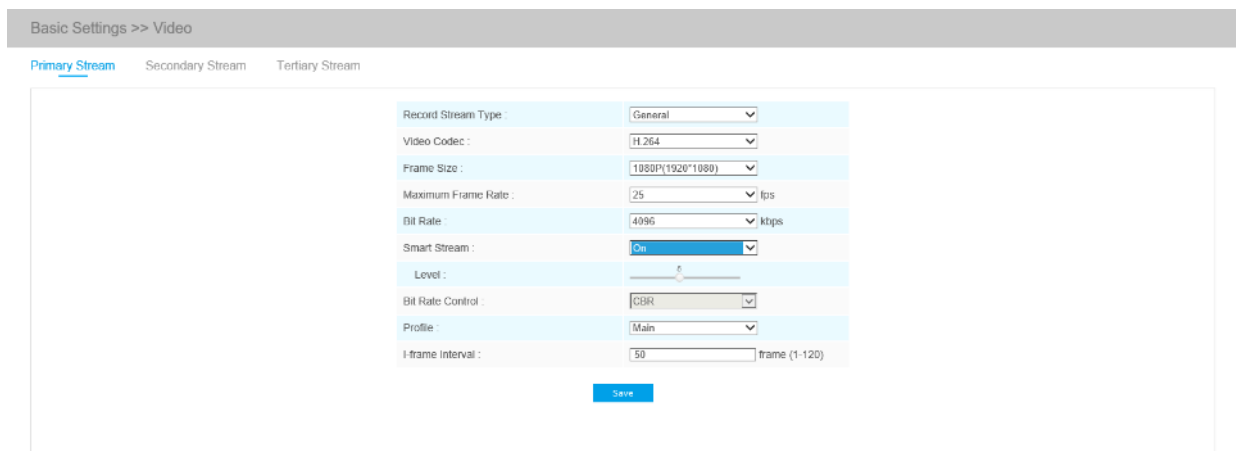
5.4 基本設定

5.4.1 ビデオ

ストリームパラメーターはこのモジュールで設定でき、異なるネットワーク環境や要件に対応できます。ストリームパラメーターはこのモジュールで設定でき、異なるネットワーク環境や要件に対応できます。ライブビューの表示モードに応じて、異なるチャンネルごとにストリームパラメーターを個別に設定できます（最大5チャンネル）。

主要ストリーム設定

記録ストリームタイプ（一般）



記録ストリームタイプ (イベント)

Basic Settings >> Video

Primary Stream Secondary Stream Tertiary Stream

Record Stream Type :

Enable Event Stream : ☒

Video Codec :

Frame Size :

Maximum Frame Rate : fps

Bit Rate : kbps

Smart Stream :

Bit Rate Control :

Profile :

I-frame Interval : frame(1-120)

セカンダリストリーム設定

Basic Settings >> Video

Primary Stream Secondary Stream Tertiary Stream

Enable: ☒

Video Codec:

Frame Size:

Maximum Frame Rate: fps

Bit Rate: kbps

Smart Stream:

Level:

Bit Rate Control:

Profile:

I-frame Interval: frame(1-120)

3次ストリーム設定

Basic Settings >> Video

Primary Stream Secondary Stream Tertiary Stream

Enable: ☒

Video Codec:

Frame Size:

Maximum Frame Rate: fps

Bit Rate: kbps

Smart Stream:

Level:

Bit Rate Control:

Profile:

I-frame Interval: frame(1-120)

マルチチャンネルモード (一般):

Basic Settings >> Video

Display Mode: 

Channel 01

Stream Type :	Primary Stream
Record Stream Type :	General
Video Codec :	H.265
Frame Size :	1280*1280
Maximum Frame Rate :	30 fps
Bit Rate :	2048 kbps
Smart Stream :	Off
Bit Rate Control :	VBR
Image Quality :	High
Profile :	Main
I-frame Interval :	60 frame (1-120)

Save

マルチチャンネルモード（イベント）：

Basic Settings >> Video

Display Mode: 

Channel 01

Stream Type :	Primary Stream
Record Stream Type :	Event
Enable Event Stream :	☒
Video Codec :	H.265
Frame Size :	1280*1280
Maximum Frame Rate :	25 fps
Bit Rate :	4096 kbps
Smart Stream :	Off
Bit Rate Control :	VBR
Image Quality :	High
Profile :	Main
I-frame Interval :	50 frame (1-120)

Save

バンドルストリームモード（一般）：

Basic Settings >> Video

Display Mode: ● ⇐ ≡ ⌂ ⌂ ⌂

Primary Stream Secondary Stream

Record Stream Type :
Video Codec :
Frame Size :
Maximum Frame Rate :
Bit Rate :
Smart Stream :
Bit Rate Control :
Image Quality :
Profile :
I-frame Interval :

General
H.265
1280*1280
30
2048
Off
VBR
High
Main
60 frame (1-120)

Save

バンドルストリームモード（イベント）：

Basic Settings >> Video

Display Mode: ● ⇐ ≡ ⌂ ⌂ ⌂

Primary Stream Secondary Stream

Record Stream Type :
Enable Event Stream :
Video Codec :
Frame Size :
Maximum Frame Rate :
Bit Rate :
Smart Stream :
Bit Rate Control :
Image Quality :
Profile :
I-frame Interval :

Event
☒
H.265
1280*1280
25
4096
Off
VBR
High
Main
50 frame (1-120)

Save

表3. ボタン説明

パラメーター	機能説明
Channel (マルチチャンネルモードのみ)	チャンネル数は、選択した表示モードに応じて変動します。 1Oと1Pは1つのチャンネルを表示します。 2Pは2つのチャンネルを表示します。 4R、1O3R、および1P3Rは4つのチャンネルを表示します。 1O1P3Rは5つのチャンネルを表示します。
Display Mode	1O/1P/2P/4R/1O3R/1P3R が利用可能です。

パラメーター	機能 説明
Stream Type (マルチチャンネルモードのみ)	Primary Stream/Secondary Streamが利用可能です。
Record Stream Type	General & EventはPrimary Streamでのみ利用可能です。Generalは連続録画動画を指し、Eventにはモーション、例外、LPRなどアラームをトリガーするイベントが含まれます。 General & Eventは、バンドルストリームモードのプライマリストリームおよびマルチチャンネルモードのチャンネル01でのみ利用可能です。一般は連続録画動画を指し、イベントにはモーション、例外、オーディオアラームなどアラームをトリガーするイベントが含まれます。 この項目では、異なる録画ストリームタイプに対して異なるビットレートとフレームレートを個別に設定できます。ユーザーがEventを選択した場合、イベントが発生した際に動画ストリームタイプの設定に従って動画が録画され、これにより録画ストレージ容量を大幅に削減できます。
Enable Event Stream	この項目は、 イベント を選択した場合のみオプションです。
Video Codec	「-A」と「-B」のカメラでは違いがあります。 -A: H.264/MJPEGが利用可能です -B: H.265/H.264/MJPEG が利用可能です H.265/H.264/MJPEG が利用可能です H.265/H.264が利用可能です。

パラメーター	機能 説明
Frame Size フレームサイズ	オプションには、8M (3840×2160)、6M (3072×2048)、5M (2592×1944)、5M (2560×1920)、5M (2560×1440)、4M (2592×1520)、3M (2304×1296)、3M (2048×1536)、1080P (1920×1080)、2M (1600×1200)、1.3M (1280×960)、720P (1280×720)、D1 (704×576)。 オプションには、5M (2592×1944) (5MPミニPTZパレットと5MPスピードドーム専用)、4M (2592×1520) (5MPミニPTZパレットと5MPスピードドーム専用)、3M (2304×1296)、1080P (1920×1080)、1.3M (1280×960)、720P (1280×720)、D1 (704×576)。 Secondary Streamには、704×576、640×480、640×360、352×288、320×240、320×192、320×176。 Tertiary Streamには、1920×1080、1280×720、704×576、640×480、640×360、352×288、320×240、320×192、320×176が含まれます。 Multi-Channel Modeの場合： 4000×3000、3000×3000、2560×2560、1920×1920、1280×1280、1280×960、1024×1024、720×720、320×320 は、1O のオリジナルフィッシュアイビューで利用可能なフレームサイズです。 2560×2560、2560×640、1920×1920、1920×480、1280×1280 は、1O3R および 1O1P3R でのオリジナルフィッシュアイビュー用のフレームサイズです。 3000×752、2560×2560、2560×640、1920×480、1280×320、960×240は、1P、1P3R、および1O1P3Rの360°パノラマビュー用の利用可能なフレームサイズです。 2560×640、1920×480は、1O1P3Rでの360°パノラマ表示に対応するフレームサイズです。 3000×1680、2688×1520、2592×1460、1920×1080、1280×720 は、2P で 2 つの 180° パノラマビューに対応するフレームサイズです。 1920×1080、1280×720、640×480 が地域ビュー用のフレームサイズとして利用可能です。 Bundle Stream Modeの場合： 4000×3000、3000×3000、2560×2560、2592×1944、1944×1944、1920×1920、1536×1536、1280×1280 が利用可能なフレームサイズです。 3000×752、2592×648、2560×640、1920×480、1280×320 が 1P 用の利用可能なフレームサイズです。 3000×1680、2688×1520、2592×1460、1920×1080、1280×720 が 2P の利用可能なフレームサイズです。 4000×3000、3840×2160、3072×1728、2592×1944、2304×1296は、4R、1O3R、および1P3R用のフレームサイズです。 注：AIシリーズの-PAモデルでは、フレームサイズとして最大3000×3000まで対応しています。
Maximum Frame Rate	1秒あたりの最大リフレッシュフレームレート 選択した表示モードに応じて変動します。

パラメーター	機能 紹介
Bit Rate	1秒あたりに送信されるデータビット数。この項目は、H.265/H.264を選択した場合のみオプションです。 ビットレートを 32~16384 Kbps に設定します。値が大きいくほどビデオの画質が高くなりますが、必要な帯域幅も大きくなります。
Smart Stream	スマートストリームモードは、ネットワークカメラの帯域幅とデータストレージ要件を大幅に削減しつつ、高画質の映像を保持する機能で、10段階調整可能なコーデックです。 スマートストリームモードのオン/オフはオプションです。 Level : レベル1~10が利用可能で、ご要望に合わせて選択できます。
Bit Rate Control	CBR : 定ビットレート。CBRの出力レートは一定です。
	VBR : 可変ビットレート。VBRファイルは、時間単位の出力データ量を変動させます。
Image Quality	Low/Medium/High が選択可能です。この項目はVBRを選択した場合のみオプションです。
Profile	H.264用のオプションです。Main/High/Baseから必要に応じて選択できます。
I-frame Interval	Iフレーム間隔を1~120に設定できます。デフォルトは50です。この項目は、H.265/H.264を選択した場合にのみオプションです。数値はフレーム数の倍数でなければなりません。
JPEG Quality	Low/Medium/High/Higher が選択可能です。この項目は、MJPEGを選択した場合にのみオプションです。

 注 : **Frame Size**のオプションは、選択したモデルによって異なります。

5.4.2 画像

表示情報、画像の強化、およびデイ/ナイト設定をこのモジュールで設定できます。OSD（オンスクリーンディスプレイ）コンテンツと動画時間を表示して、画像情報を充実させることができます。

表示

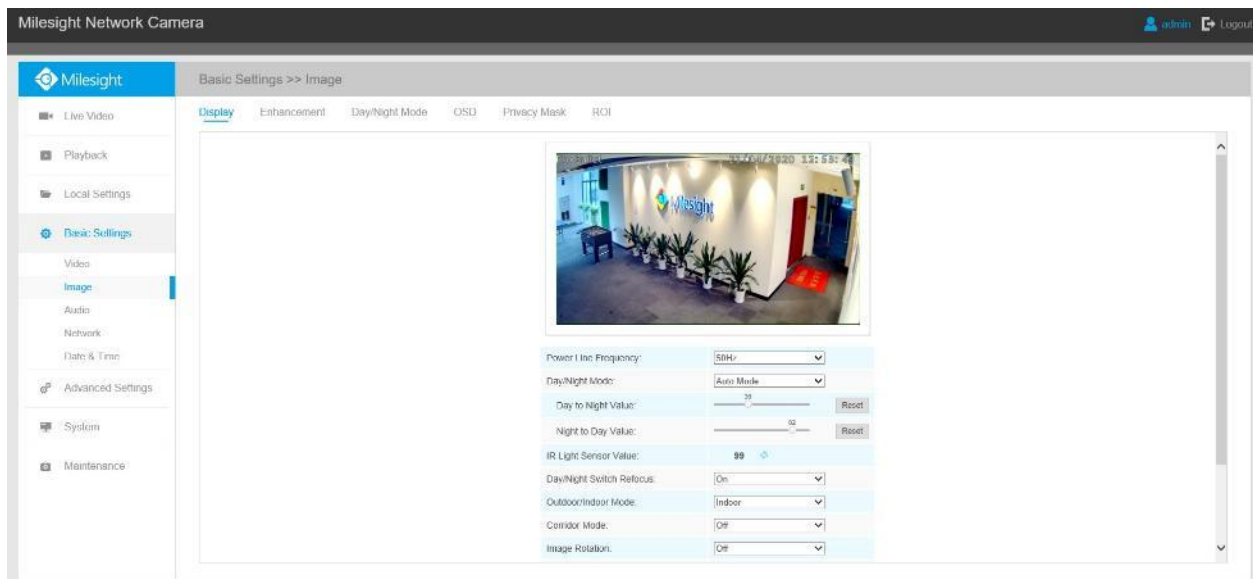


表4. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Power Line Frequency	30fps カメラモデルでは 60Hz のフリッカー、25fps カメラモデルでは 50Hz のフリッカー
Day/Night Mode	このモードには、露出レベル、最大露出時間、IRカット間隔など、複数のパラメーターが関連付けられています Night Mode : ナイトモードの設定に基づいてライブビューに表示されます Day Mode : デイモードの設定に基づいてライブビューに表示されます Auto Mode : 環境に応じてライブビューに表示されます。デイモードからナイトモード、またはナイトモードからデイモードへの切り替え感度を設定できます Customize : ナイトモードの開始/終了時間を、ご自身の設定に基づいてライブビューに表示します。
Day To Night Value	これは、 Day Mode から Night Mode に切り替える感度です。IR ライトセンサーの電流値がこの値より低くなると、デイモードからナイトモードに切り替わります。
Night To Day Value	これは、 Night Mode から Day Mode に切り替える感度です。IR ライトセンサーの電流値がこの値よりも高い場合、ナイトモードからデイモードに切り替わります。

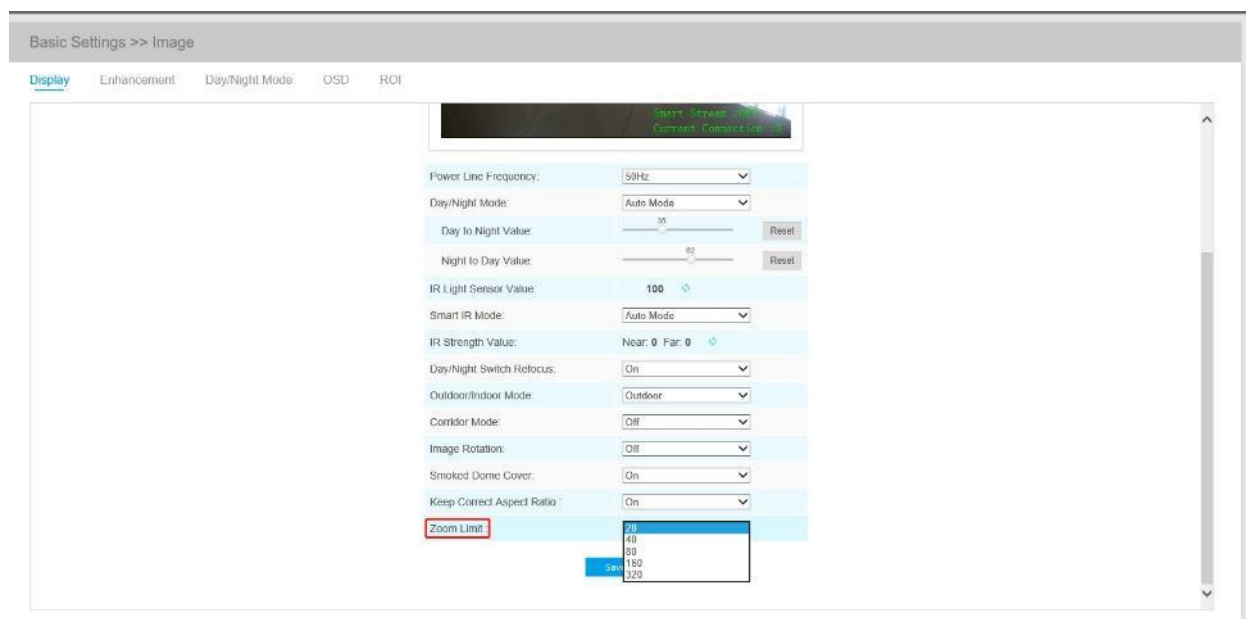
パラメーター	機能 説明
IR Light Sensor Value	IR ライトセンサーの現在の値です。
Smart IR Mode	ハイビームとロービームの組み合わせにより、IR LED技術が向上し、対象物の距離に関わらず、よりクリアで高品質な画像を提供します。また、ロービームとハイビームの明るさは、ズーム比に基づいて手動または自動で調整可能です。さらに、IR 反射防止パネルにより、赤外線透過率が大幅に向上しています。 カスタマイズモードが利用可能です。 IRの強度をAuto ModeまたはCustomizeに設定し、最適な効果を実現できます。 スピードドームには8つのLEDライトが搭載されており、そのうち4つがハイビーム、4つがロービームです。 ミニPTZバレットには4つのLEDライトが搭載されており、そのうち2つがハイビーム、2つがロービームです。
Near view level	ロービームLEDライトの明るさを0から100まで調整できます。
Far view level	ハイビームLEDライトの明るさを0から100まで調整できます。
IR Strength Value	ロービーム LED およびハイビーム LED ライトの現在の値です。
Day/Night Switch Refocus	このオプションを有効にすると、カメラは昼間モードと夜間モードを切り替える際に再フォーカスします。
Outdoor/Indoor Mode	ニーズに合わせて室内モードまたは屋外モードを選択します
Corridor Mode	3つのオプションから、ご希望に合わせて1つを選択できます Off : 画像を通常の方法に保持します Clockwise 90° : 画像を時計回りに90°回転させます Anticlockwise 90° : 画像を反時計回りに90°回転させます
Image Rotation	4つのオプションが利用可能です。ご希望に応じて1つを選択してください Off: 画像を通常の向きに保持します Rotating 180° : 画像を上下反転します Flip Horizontal: 画像を水平方向に反転します Flip vertical : 画像を垂直方向に反転します

パラメーター	機能 紹介
Local Display Video (Pro Bulletのみ)	ローカル表示用にNTSCまたはPALを選択します
Smoked Dome Cover	この機能はPro Dome専用です。Pro Domeにスモークドームカバーが装着されている場合、この機能を有効にすると通常の映像が表示されます。
Lens distort correct (180° Panoramic Mini Bullet専用)	2つのオプションが利用可能です。必要に応じていずれかを選択してください Off : 180°パノラマミニバレットのオリジナル画像を選択します On : 180°パノラマミニバレットの歪み補正後の画像を選択します



注意:

光学ズーム20倍以上のPTZネットワークカメラはズーム制限機能に対応しています。20XミニPTZドームカメラを例に説明します:



機能強化

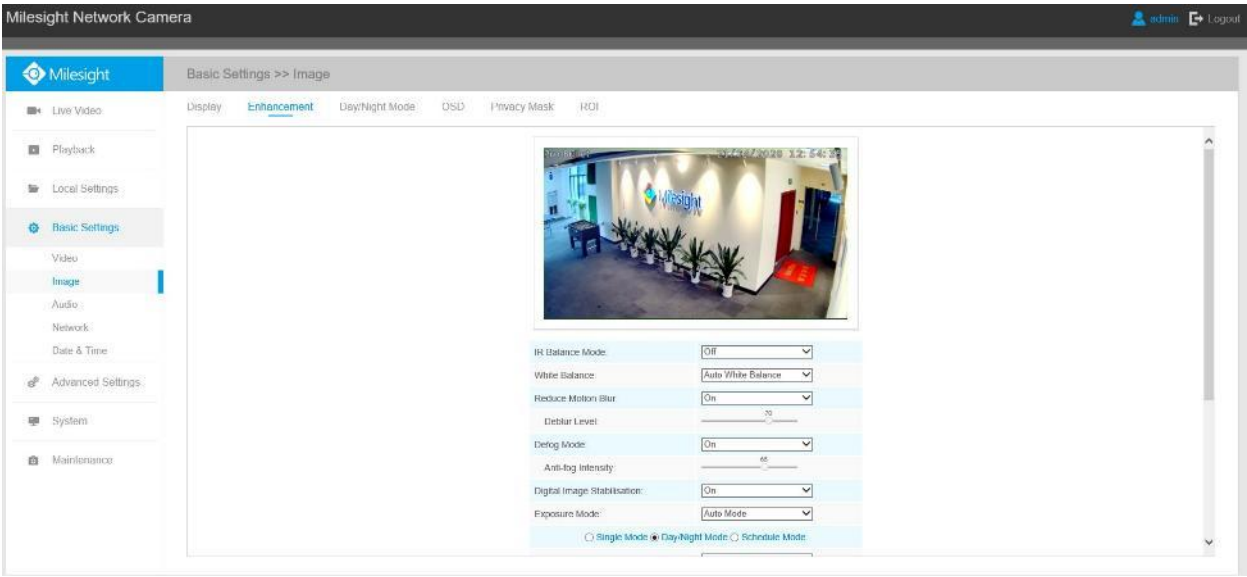


表5. ボタン説明

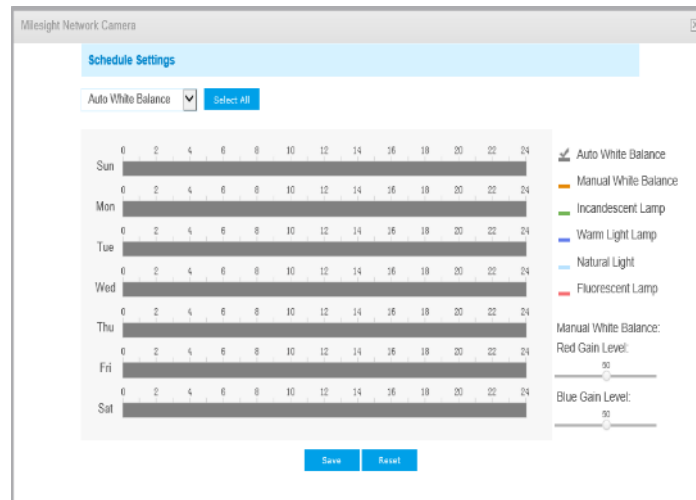
パラメーター	機能 説明
IR Balance Mode	IR LED のオン/オフを切り替えるオプションがあります。 IRバランスモードは、露出過多や暗さの問題を回避し、IR LEDは実際の照明状況に応じて変化します。
White Balance	環境光による色かぶりを除去し、白い物体を元の白色に復元します。 Auto White Balance : このオプションを選択すると、ホワイトバランス機能が自動的に有効になります。 Manual White Balance : このオプションはH.265シリーズ専用です。赤のゲインレベルと青のゲインレベルを手動で設定します。 Incandescent Lamp : 照明が白熱灯と似ている場合、このオプションを選択してください。 Warm Light Lamp : 光が暖色系ランプに似ている場合、このオプションを選択してください。 Natural Light : 自然光以外の光がない場合、このオプションを選択してください。 Fluorescent Lamp : 光が蛍光灯に似ている場合、このオプションを選択してください Schedule mode : 上記のモードのオン/オフをカスタマイズできるスケジュールを設定する場合に選択してください

パラメーター	機能 説明
Reduce Motion Blur	この機能を有効にすると、対象物のモーションブラーを効果的に軽減できます。デブラーレベルを1から100まで調整できます。
Defog Mode	霧の多い天候での画像効果を向上させます。  注意： AIシリーズにおける-PAモデルではデフオグモードはサポートされていません。
Digital Image Stabilisation	画像のブレと揺れを軽減します。
Exposure Mode	オートモード、マニュアルモード、スケジュールモードが利用可能です。 Auto Mode： カメラは光環境に応じて明るさを自動的に調整します； Manual Mode： カメラは、設定した値に応じて明るさを調整します。露出時間は1~1/100000 秒から設定でき、値が高いほど画像が明るくなります。 Schedule Mode： スケジュールをカスタマイズして、オートモードとマニュアルモードのオン/オフを設定できます。
Single Mode	BLC/WDR/HLCのシングルモードを設定できます。
Day/Night Mode	デイエンハンスメントモード/ナイトエンハンスメントモードでBLC/WDR/HLCを個別にサポートします。
Schedule Mode	BLC/WDR/HLC のスケジュールモードを設定します。
BLC Region	オフ、カスタマイズ、中央が選択可能です（シングルモード時、WDRが無効の場合のみ有効になります） Off： 視野の全範囲を計算し、適切な光補正を行います。 Customize： このオプションを選択すると、包含または除外する領域を手動でカスタマイズできます Centre： このオプションを選択すると、ウィンドウの中央に包含領域が自動的に追加され、必要な光補正が行われます。

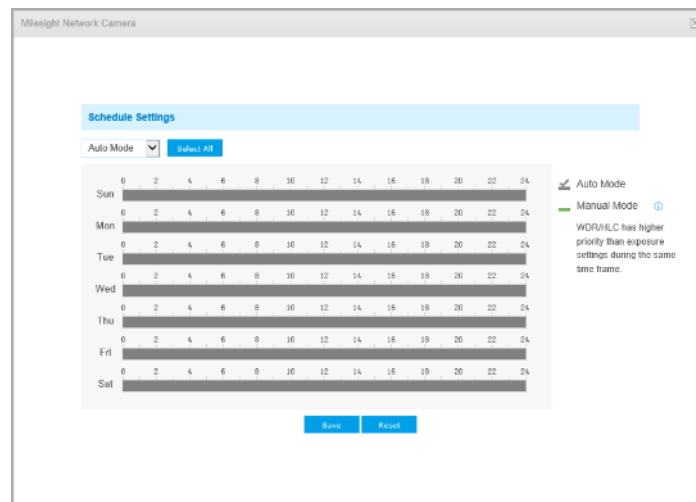
パラメーター	機能 説明
Wide Dynamic Range	この機能は、同じフレーム内の明るい領域と暗い領域の両方をキャプチャして表示し、明るい領域と暗い領域の両方の対象物の詳細を可視化します。 Off : WDR機能を無効にします On : WDRを有効にします。Low/High/Autoの3つのレベルがあります Customize : WDR 機能の有効/無効のスケジュールをカスタマイズし、レベルを低/高/自動から設定します
Wide Dynamic Level	WDRをLow/High/Autoのレベルで設定します
Anti-flicker Level	一部の照明条件下で画面に表示されるフリッカーを軽減し、10段階のアンチフリッカー調整が可能です
High Light Compensation	この機能は、H.265 シリーズでのみ、光が強い場合に明るさを通常の範囲に調整するための機能です。図 4-4-11 を参照してください。 Off : HLC機能を無効にします General Mode : HLCの一般モードを有効にし、HLCレベルの設定が可能です Enhanced Mode : HLCの拡張モードを有効にし、HLCレベルの設定が可能です
HLC Level	HLC のレベルを選択します
Day Enhancement Mode	BLC/WDR/HLC が利用可能です。
Night Enhancement Mode	BLC/WDR/HLC が利用可能です。
Schedule Setting	BLC/WDR/HLC モードの有効/無効をスケジュールでカスタマイズできます。

注

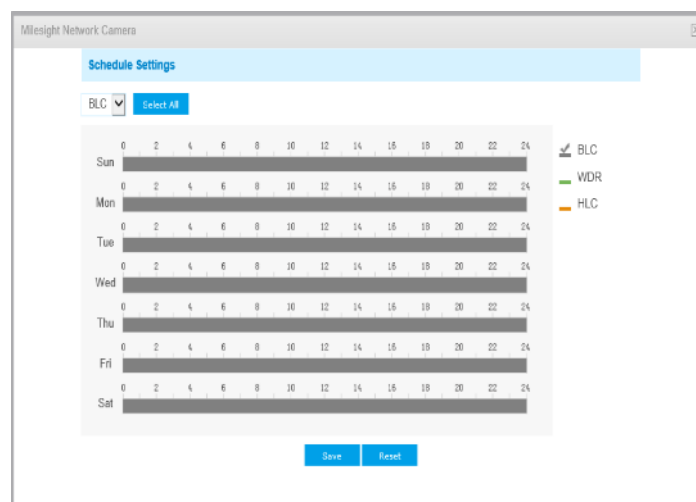
- ホワイトバランスモードの差分設定を有効/無効にするためのスケジュールをカスタマイズできます。



- スケジュールをカスタマイズして、露出モードの差を有効/無効にできます。



- スケジュールをカスタマイズして、BLC/WDR/HLC モードを有効/無効にできます。



- WDR/HLCは、同じ時間枠において露出設定よりも優先されます。
- 除霧画像。



- HLC画像。



昼/夜モード

Milesight Network Camera
admin Logout

Milesight
Live Videos
Playback
Local Settings
Basic Settings
Video
Image
Audio
Network
Date & Time
Advanced Settings
System
Maintenance

Basic Settings >> Image
Display
Enhancement
Day/Night Mode
OSD
Privacy Mask
ROI

Day/Night Mode
Exposure Level
Minimum Shutter
Maximum Shutter
Limit Gain Level
IR CUT Latency
IR CUT
IR LED
Color Mode

Day/Night Mode	Exposure Level	Minimum Shutter	Maximum Shutter	Limit Gain Level	IR CUT Latency	IR CUT	IR LED	Color Mode
Night Mode	5	125	1/100000	120	12	On	On	B/W
Day Mode	5	125	1/100000	120	12	On	On	Color

Schedule Mode
Exposure Level
Minimum Shutter
Maximum Shutter
Limit Gain Level
IR CUT Latency
IR CUT
IR LED
Color Mode

Timer	Exposure Level	Minimum Shutter	Maximum Shutter	Limit Gain Level	IR CUT Latency	IR CUT	IR LED	Color Mode
00:00 - 00:05	5	125	1/100000	120	12	On	On	B/W
00:05 - 00:10	5	125	1/100000	120	12	On	On	B/W
00:10 - 00:15	5	125	1/100000	120	12	On	On	B/W
00:15 - 00:20	5	125	1/100000	120	12	On	On	B/W
00:20 - 00:25	5	125	1/100000	120	12	On	On	B/W

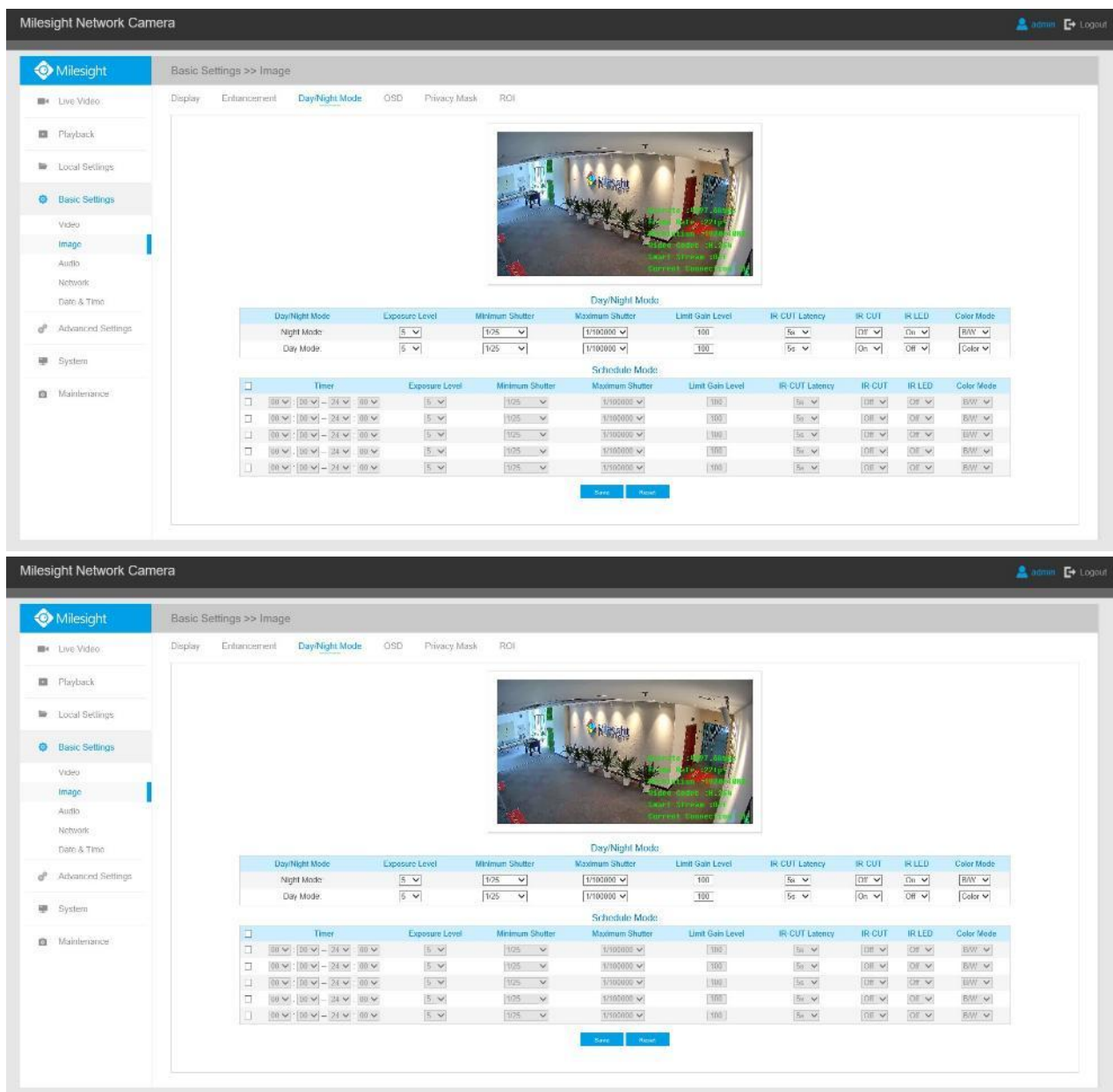


表 6. ボタンの説明

パラメーター	機能説明
Exposure Level	レベル0～10が利用可能で、ご要望に合わせて選択できます
Minimum Shutter	最小シャッター速度は最大露出時間と同じです。最小シャッター速度を1～1/100000秒に設定してください

パラメーター	機能 説明
Maximum Shutter	最大シャッターは最小露光時間と同じです。最大シャッターを1～1/100000秒に設定してください
IR-CUT Latency	モードを切り替える際のインターバル時間です。
IR-CUT	IR-CUTをオンまたはオフにします
IR LED	IR-LEDのオン/オフを切り替えます
Color Mode	デイ/ナイトモードで白黒またはカラーモードを選択します
Schedule Mode	ここでは、異なる時間帯に合わせた特別な設定をカスタマイズできます。設定に従って、デイモードとナイトモードが自動的に切り替わります

画面表示（OSD）

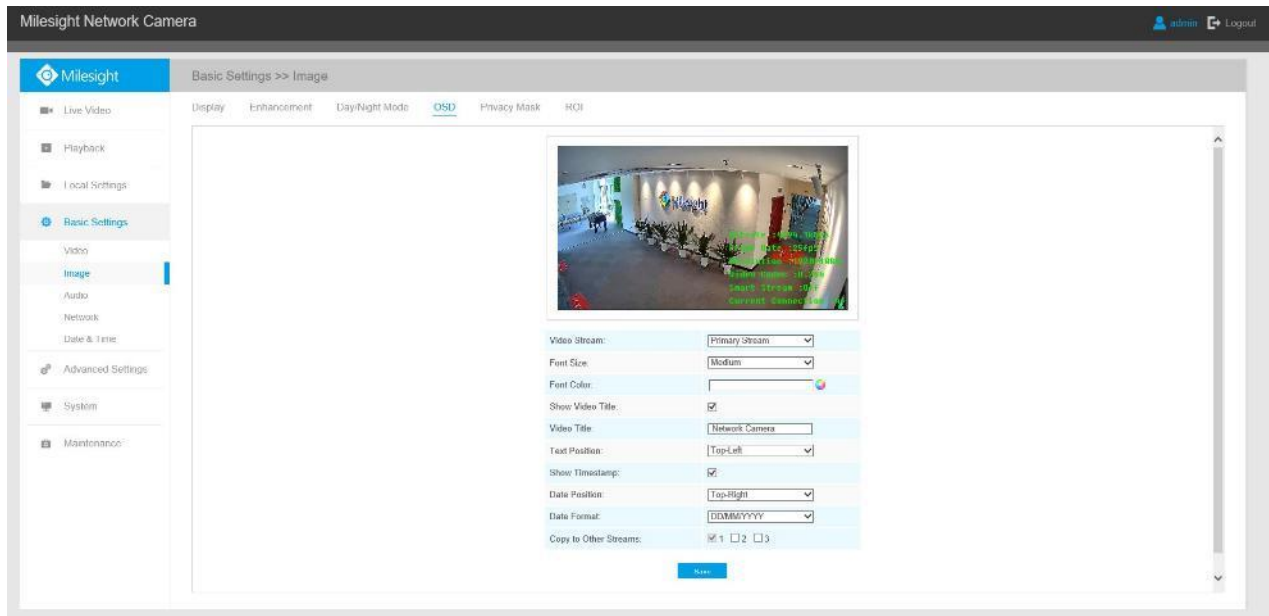
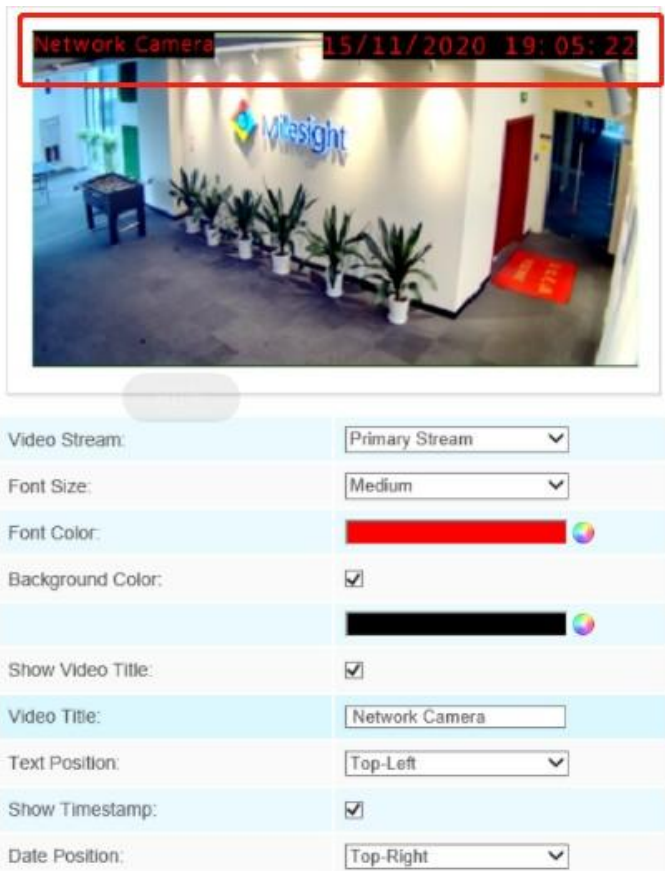


表7. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Video Stream	OSD をプライマリ ストリームとセカンダリ ストリームに設定します
Font Size	タイトルと日付には「最小/小/中/大/最大/自動」が利用可能です
Font Color	タイトルと日付に異なる色を設定可能
Background Color	画面に表示される情報背景の色を個別に設定できます 画像のフォントと背景の色を別々に設定できます。その場合、画像のOSDは以下のように表示されます:  The screenshot shows a camera view of an office interior. At the top, there is a red-bordered OSD box containing the text 'Network Camera' and '15/11/2020 19:05:22'. Below the image, there is a configuration panel with the following settings: - Video Stream: Primary Stream - Font Size: Medium - Font Color: Red - Background Color: Checked - Show Video Title: Checked - Video Title: Network Camera - Text Position: Top-Left - Show Timestamp: Checked - Date Position: Top-Right
Show Video Title	チェックボックスをオンにすると、動画タイトルが表示されます
Video Title	OSD コンテンツをカスタマイズします

パラメーター	機能 説明
Text Position	画像上の OSD 表示位置
Show Timestamp	画像に日付を表示するには、チェックボックスをオンにしてください
Date Position	画像上の日付の表示位置
Date Format	日付の形式
Copy to Other Streams	設定を他のストリームにコピーします

プライバシーマスク

プライバシーマスクは、ライブ動画の特定の領域を覆い、監視エリア内の特定の場所が閲覧や記録されないようにします。最大で24つのマスク領域を設定できます。最大で28つのマスク領域を設定でき、そのうち24つがマスク領域、4つがモザイク領域です。

プライバシーマスク

最大で24つのマスク領域を設定できます。

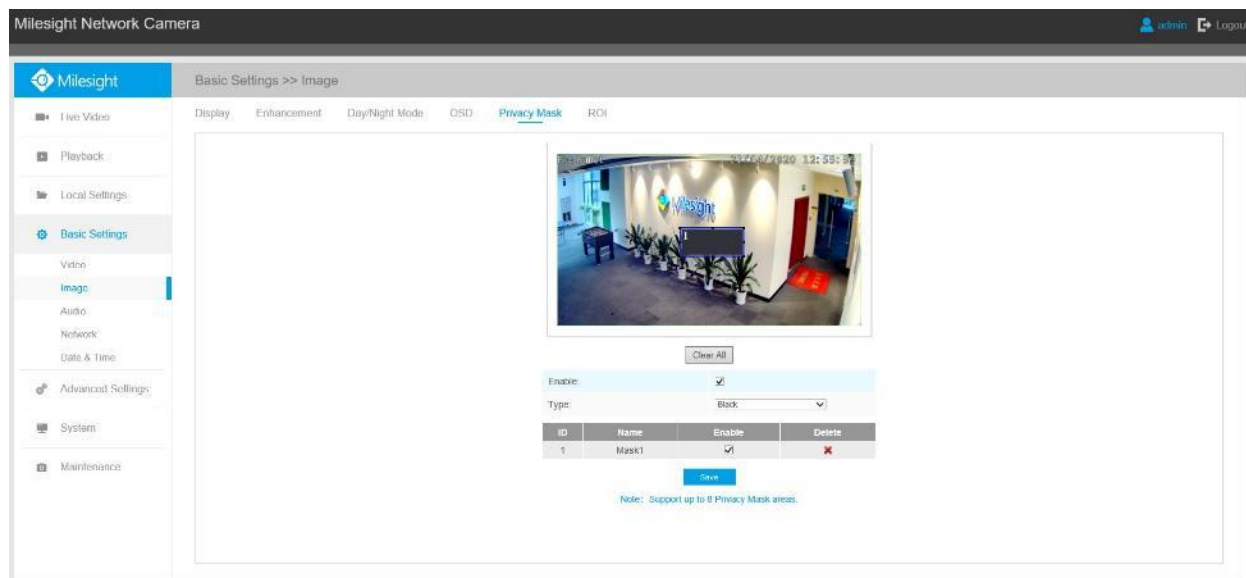


表8. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Enable	チェックボックスをオンにすると、プライバシーマスク機能を有効にします
Clear All	以前に描いたすべての領域をクリアします
Type	プライバシー領域に使用する色を選択してください。8色から選択できます：白、黒、青、黄、緑、茶、赤、紫

注意

- プライバシーマスク領域は、フィッシュアイビューチャンネルでのみ設定可能です。
- AI シリーズの -PA モデルでは、プライバシーマスクには黒色のみ対応しています。

プライバシーマスクのモザイクタイプ (オプション)

最大で28つのマスク領域を設定できます。これには24つのマスク領域と4つのモザイク領域が含まれます。モザイクタイプは画像の連続性を維持し、視覚効果を向上させます。

注： カメラモデルがMS-CXXXX-XXCであることを確認してください。

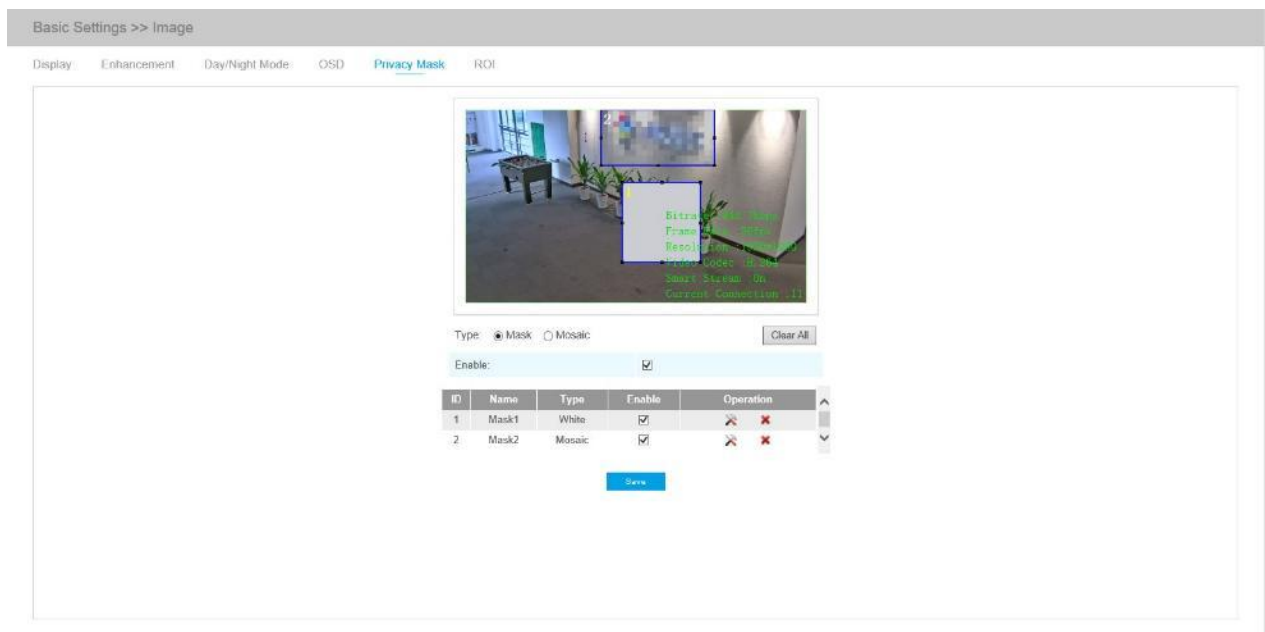


表9. ボタン説明

パラメーター	機能 説明	
Type	プライバシー領域に使用するタイプを選択します。利用可能なタイプは2つあります：マスクとモザイク	
Operation		マスク領域の色を変更します。8つの色から選択できます：白、黒、青、黄、緑、茶色、赤、紫
		プライバシーマスク領域を削除します

ROI

関心領域（ROIと略されることが多い）は、特定の目的のためにデータセット内のサンプルから選択されたサブセットです。ユーザーは、シーン内の最大8つの主要な領域を選択し、ターゲットを絞ったプレビューと記録のために別々のストリームで送信できます。

Milesight ROI テクノロジーを使用すると、ビットレートを 50% 以上節約できるため、必要な帯域幅が少なく、ストレージの使用量を削減できます。したがって、高解像度には小さなビットレートを設定することができます。

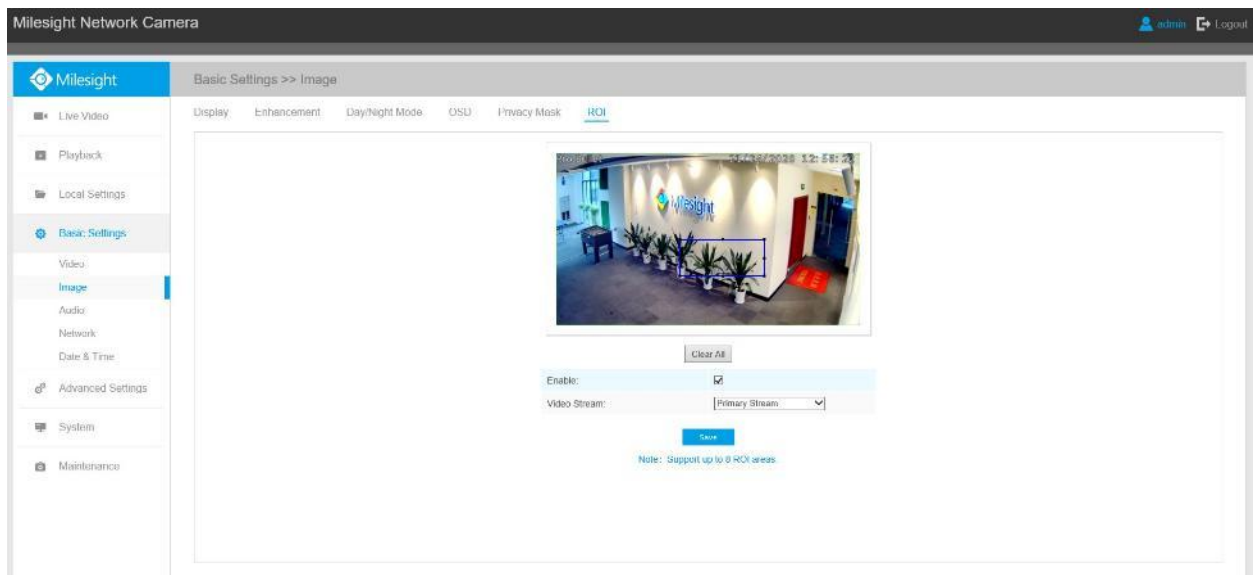


表10. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Enable	チェックボックスをオンにすると、ROI 機能が有効になります

パラメーター	機能 説明
Clear All	以前に描いたすべての領域をクリアします
Video Stream	ビデオストリームを選択します

注意

- 低ビットレートを設定できます。例えば、ビットレートを512Kbps、解像度を1080Pに設定すると、ROI領域の映像品質が他の領域よりもクリアで滑らかになります。
- ライブビューの表示モードに応じて、異なるチャンネルごとにROI領域を個別に設定できます。
- AIシリーズにおける-PAモデルでは、解像度が8MPを超える場合、ROI機能は有効にできません。

5.4.3 オーディオ

このオーディオ機能により、カメラからの音声を聴くか、音声カメラ側に送信できます。この機能を使用すると、双方向通信も可能です。設定したアラームレベルを超える音声入力時にアラームをトリガーでき、アラーム発生時に設定した音声再生が可能です。





Enable Audio:	☒
Audio Mode:	Both Audio Input & Output

Audio Input	
Denoise:	☐
Encoding:	AAC LC
Sample Rate:	48KHz
Audio Bit Rate:	144kbps
Input Gain:	79

Audio Output	
Auto Gain Control:	☒
Output Volume:	78

表11. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Enable Audio	チェックボックスをオンにすると、オーディオ機能を有効にします
Audio Input	Denoise: オン/オフを設定します。機能をオンに設定すると、検出されたノイズがフィルタリングされます Encoding : G.711-ULaw、G.711-ALaw、AAC LC、G.722、およびG.726が利用可能です Audio Bit Rate: この機能はAAC LCのみで使用可能で、最大256kbpsまで対応しています Sample Rate: 8KHz、16KHz、32KHz、44.1KHz、および48KHzが利用可能です Input Gain: 入力音声のゲインレベル、0~100 Alarm Level: 音声アラームが有効で、入力ゲインのボリュームがアラームレベルを超えるとアラームがトリガーされます。1~100
Audio Output	Auto Gain Control: この機能はH.265シリーズ専用で、オーディオの品質を向上させます Output Volume : 出力音量を調整します

 注:

32KHz、44.1KHz、48KHzは、5MP、4Kカメラモデルおよび2MP@120fpsカメラモデルで利用可能です。

オーディオウェブページで、FlashまたはSDカードに最大5つのオーディオファイルを手動でアップロードでき、アップロード時にオーディオファイルの名前を編集することもできます。

Audio File Storage Type:
Flash

Audio File Upload

Audio File Name:

Audio File:

ID	Audio File Name	Delete
1	audio	

Note: Only support '.wav' audio files with codec type PCM/PCMU/PCMA, 64kbps or 128kbps bitrate and no more than 500k!

 注

- オーディオモードとオーディオ出力は、特定のモジュールでのみ利用可能です。
- サポートされるオーディオファイルは、コーデックタイプPCM/PCMU/PCMA、64kbpsまたは128kbpsで、500k以下の『.wav』ファイルのみです。

 **注意：**PCM/PCMU/PCMAコーデックタイプ、64kbpsまたは128kbpsの『.wav』オーディオファイルのみ対応し、ファイルサイズは500k以下です。

5.4.4 ネットワーク

TCP/IP

☐ Get IPv4 address automatically

☒ Use fixed IPv4 address

IP Address:	192 . 168 . 8 . 156	Test
IPv4 Subnet Mask:	255 . 255 . 252 . 0	
IPv4 Default Gateway:	192 . 168 . 8 . 1	
Preferred DNS Server:	8 . 8 . 8 . 8	
IPv6 Mode:	Manual	
IPv6 Address:		
IPv6 Prefix:		
IPv6 Default Gateway:		

Save

表12. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Get IPv4 Address Automatically	DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得します

パラメータ	関数の紹介
Use fixed IP address	IPv4 Address: ネットワーク上のネットワークカメラを識別するために使用されるアドレス IPv4 Subnet Mask: ネットワークカメラが属するサブネットを識別するために使用されます IPv4 Default Gateway : デフォルトのルーターのアドレスです。 Preferred DNS Server: DNSサーバーはドメイン名をIPアドレスに変換します IPv6 Mode: IPv6 のモードを選択します: 手動/ルート広告/DHCPv6 IPv6 Address: ネットワーク上のネットワークカメラを識別するために使用する IPv6 アドレスです。 IPv6 Prefix: IPv6 アドレスのプレフィックス長を定義します IPv6 Default Gateway: デフォルトのルーターの IPv6 アドレス MTU : 最大伝送単位。デフォルト値は 1500 です。必要に応じて、1200 から 1500 までの間で値をカスタマイズできます

 **注:** テストボタンは、IP が競合していないかを確認するために使用します。

HTTP

HTTP Enable:	☒
HTTP Port:	80
HTTPS Enable:	☒
HTTPS Port:	443

HTTPS Settings

Installed Certificate:	C=US, H/IP=IPC Reset
Attributes:	Awarded to: C=US, H/IP=IPC Issuer: C=US, H/IP=IPC Period of Validity: Dec 18 06:46:09 2019 ~ Sep 12 06:46:09 2022
Installation Type:	Create a Private Certificate ▼
Create a Private Certificate:	Create

表 13. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
HTTP Enable	HTTP の使用を開始または停止します
HTTP Port	Web GUI ログインポート。デフォルトは 80 で、ONVIF ポートと同じです
HTTPS Enable	HTTPS の使用を開始または停止します
HTTPS Port	HTTPS経由のWeb GUIログインポート、デフォルトは443です
HTTP Settings	SSL 証明書をアップロードして設定します。

表 14. HTTP URL は以下の通りです:

ストリーム	URL
Main Stream	http://username:password@IP:port/ipcam/mjpeg.cgi
Secondary Stream	http://username:password@IP:port/ipcam/mjpegcif.cgi
Tertiary Stream	http://username:password@IP:port/ipcam/mjpegthird.cgi

 注 : H.264 カメラでモデル名に「-A」が付くもの以外は、メインストリームのコーデックタイプを MJPEG に変更する必要があります。

RTSP

RTSP Port:	554	
Playback Port:	555	
RTP Packet:	Better Compatibility 	
Multicast Group Address:	239 . 6 . 6 . 6	
QoS DSCP(0~63):	0	

[Save](#)

表 15. ボタンの説明

パラメーター	機能 説明
RTSP Port	RTSP のポートです。デフォルトは 554 です。
Playback Port	再生ポート再生のポートです。デフォルトは 555 です
RTP Packet	「互換性向上」と「パフォーマンス向上」の2つのオプションがあります。カメラの映像が乱れる場合は、このオプションを切り替えてください
Multicast Group Address	マルチキャスト機能に対応しています
QoS DSCP	DSCP の有効な値の範囲は 0~63 です。

表16. RTSP URLは以下の通りです:

ストリーム	URL
Main Stream	<u>rtsp://ユーザー名:パスワード@IP:ポート/メイン</u>
Secondary Stream	<u>rtsp://ユーザー名:パスワード@IP:ポート/sub</u>
Tertiary Stream	<u>rtsp://ユーザー名:パスワード@IP:ポート/third</u>

表 17. バンドルストリームモードの RTSP URL は以下の通りです:

ストリーム	URL
Main Stream	<u>rtsp://IP:RTSP ポート/main</u>
Secondary Stream	<u>rtsp://IP:RTSP ポート/sub</u>

表18. マルチチャンネルモードのRTSP URLは以下の通りです:

ストリーム	URL
Channel 01	rtsp://IP:RTSP ポート/main
Channel 02	rtsp://IP:RTSP ポート/サブ
Channel 03	rtsp://IP:RTSP ポート/third
Channel 04	rtsp://IP:RTSP ポート/forth
Channel 05	rtsp://IP:RTSP ポート/fifth

 注

- RTSP ポートの右側にある「」をクリックして、RTSP URL の形式を取得してください。
- 再生ポートの右側にある「」をクリックして、再生のヒントを取得してください。
- DSCP は、Differentiated Service Code Point（差別化サービスコードポイント）の略で、DSCP 値は IP ヘッダーでデータの優先順位を示すために使用されます。
- 設定を有効にするには、再起動が必要です。
- 3次ストリームは、「-A」または「-B」のモデル番号を持つカメラにのみ搭載されています。

UPnP

ユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP）は、ネットワーク機器、ソフトウェア、その他のハードウェアデバイス間の互換性を提供するネットワークアーキテクチャです。UPnPプロトコルは、デバイスがシームレスに接続し、家庭や企業環境でのネットワークの構築を簡素化します。この機能を有効にすると、各ポートのポートマッピングを設定する必要がなく、カメラはルーター経由で広域ネットワークに接続されます。

Enable UPnP: ☐

Port Mapping

Enable Port Mapping: ☐

Name: UPnP

Type: Auto ▼

Protocol Name	External Port	Internal Port	Status
HTTP	21202	80	Invalid
RTSP	23202	554	Invalid
Playback	25202	555	Invalid

Save

表19. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Enable	チェックボックスをオンにして UPnP 機能を有効にします
Enable Port Mapping	チェックボックスをオンにすると、ポートマッピングが有効になります
Name	オンラインで検出されたデバイスの名前を編集できます
Type	Auto: 設定なしで対応するHTTPとRTSPポートを自動的に取得します Manual : 適切な HTTP ポートおよび RTSP ポートを手動で設定する必要があります。手動を選択すると、ポート番号の値を自分でカスタマイズできます。

DDNS

DDNSを使用すると、IPアドレスではなくドメイン名でカメラにアクセスできます。IPアドレスの変更とドメイン情報の更新を動的に管理します。プロバイダーからアカウントを登録する必要があります

DDNS is not running

Enable DDNS:	☐
Provider:	ddns.milesight.com ▼
External HTTP Port :	80
External RTSP Port:	554
External Playback Port:	555
DDNS URL: http://ddns.milesight.com/210C1E	

Note: Recommend to enable and configure UPnP ports which can be used directly in DDNS.

Save

DDNS のプロバイダとして「ddns.milesight.com」を選択できます。有効にすると、
「http://ddns.milesight.com/MACの URL からデバイスにアクセスできます アドレス」。

表20. ボタン説明

パラメータ	機能 説明
Enable DDNS	チェックボックスをオンにすると、DDNS サービスが有効になります
Provider	DDNS プロバイダからサポートを取得します : ddns.milesight.com、freedns.afraid.org、dyndns.org、www.no-ip.com、www.zoneedit.com。DDNS のプロバイダをカスタマイズすることもできます。
Hash	検証に使用される文字列です。freedns.afraid.org でのみ使用されます
User name	DDNSプロバイダーのアカウント名。freedns.afraid.orgでは利用できません。
Password	アカウントのパスワード。「freedns.afraid.org」では使用できません。
Host name	アカウントで有効になっている DDNS 名

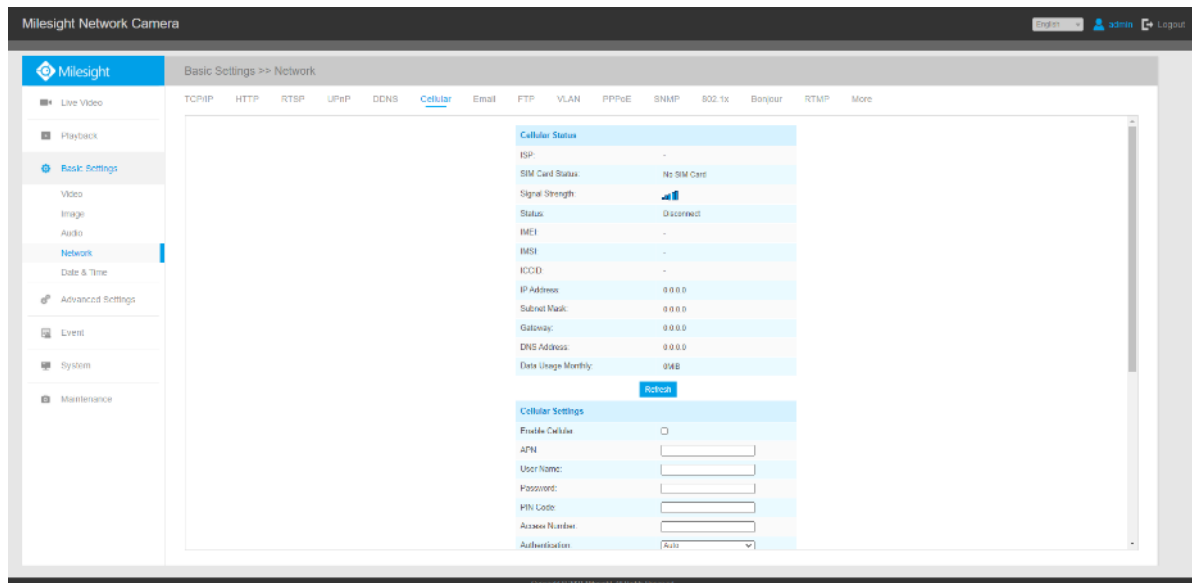
注意

- Milesight DDNS を使用する前に、HTTP ポートおよび RTSP ポートのポートフォワーディングを行ってください。
- RTSP の内部ポート番号と外部ポート番号が同じであることを確認してください。

セルラー（オプション）

5G AIoT Pro Bullet Plus ネットワークカメラは、ネットワーク配線が困難な一部のシーンにおいて、UHD画質、低遅延、高速伝送速度の新たな体験を提供します。

5Gカメラを使用する際は、以下の通り、セルラーの状態を確認し、セルラー設定を設定できます。



注意：

- 5Gカメラを初めて使用する場合、カメラのウェブページにアクセスして基本設定を行うため、ネットワークポート経由でカメラを接続する必要があります。
- 5Gネットワークを使用する前に、カメラの下部にあるSIMカードスロットにSIMカードを挿入してください。SIMカードスロットはNano SIMに対応しています。

ステップ1： インターネットサービスプロバイダー（ISP）から提供された情報をセルラー設定インターフェースに入力し、保存をクリックしてネットワークに正常に接続してください。

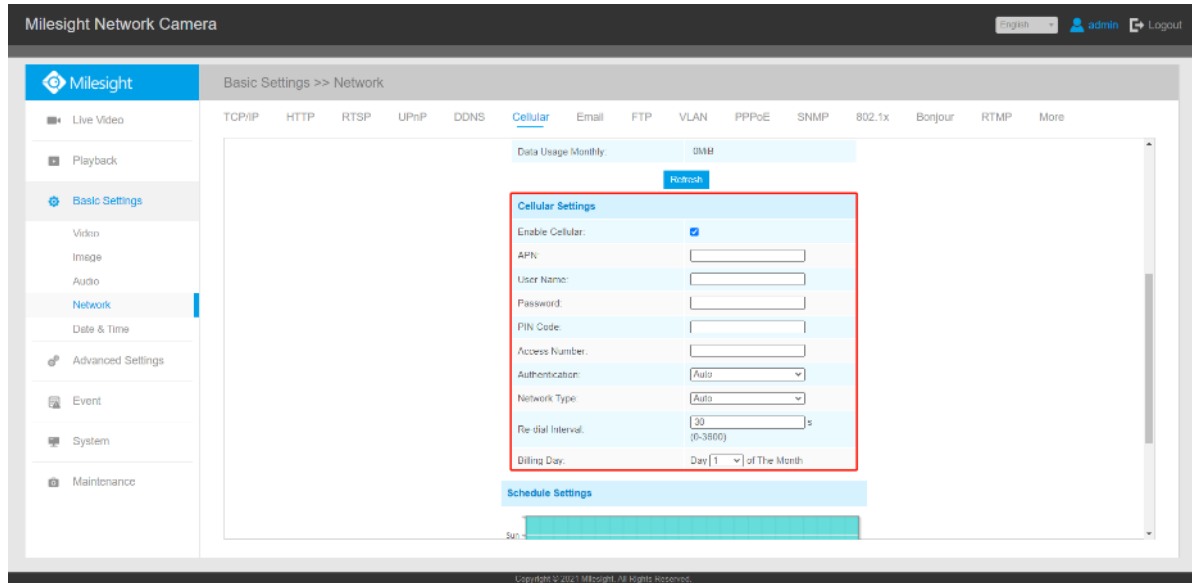


表21. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Enable Cellular	このオプションを選択して、5G ネットワークを有効にします。
APN	ローカル ISP から提供されたセルラー接続用のアクセスポイント名を入力してください。
User name	ローカル ISP から提供されたセルラーダイヤルアップ接続用のユーザー名を入力してください。
Password	ローカル ISP から提供されたセルラーダイヤルアップ接続のパスワードを入力してください。
PIN Code	SIM をロック解除するための 4～8 文字の PIN コードを入力してください。
Access Number	ローカル ISP から提供された携帯電話のダイヤルアップ接続用のダイヤルアップセンター番号を入力してください。
Authentication Type	認証タイプを選択してください。インターネットサービスプロバイダに合わせて、 Auto 、 PAP 、 CHAP 、 MS-CHAP 、 MS-CHAPv2 の 5 つのオプションがあります。デフォルトのオプションは自動で、インターネットサービスプロバイダに自動的に適合します。
Network Type	セルラーネットワークのネットワークタイプを選択してください。5つのオプション（Auto、5G、4G、3G、2G）があります。 Auto ：最も強い信号のネットワークに自動的に接続します。
Re-dial Interval	再接続間隔の時間を設定します。5G ネットワークがオフラインの場合、設定した間隔で再接続を試行します。再接続間隔は 0～3600 秒の間で設定する必要があります。
Billing Day	毎月データをクリアする日付を選択してください。ユーザーは1日から31日までを選択でき、システムは設定した日付に毎月データをクリアします。

 **注意：**一部のインターネットサービスプロバイダーでは、ユーザーはSIMカードを直接挿入するだけで5Gネットワークにアクセスできます。

ステップ2：ネットワークに正常に接続した後、セルラーステータスインターフェースでセルラーステータス情報を確認できます。以下の通りです。

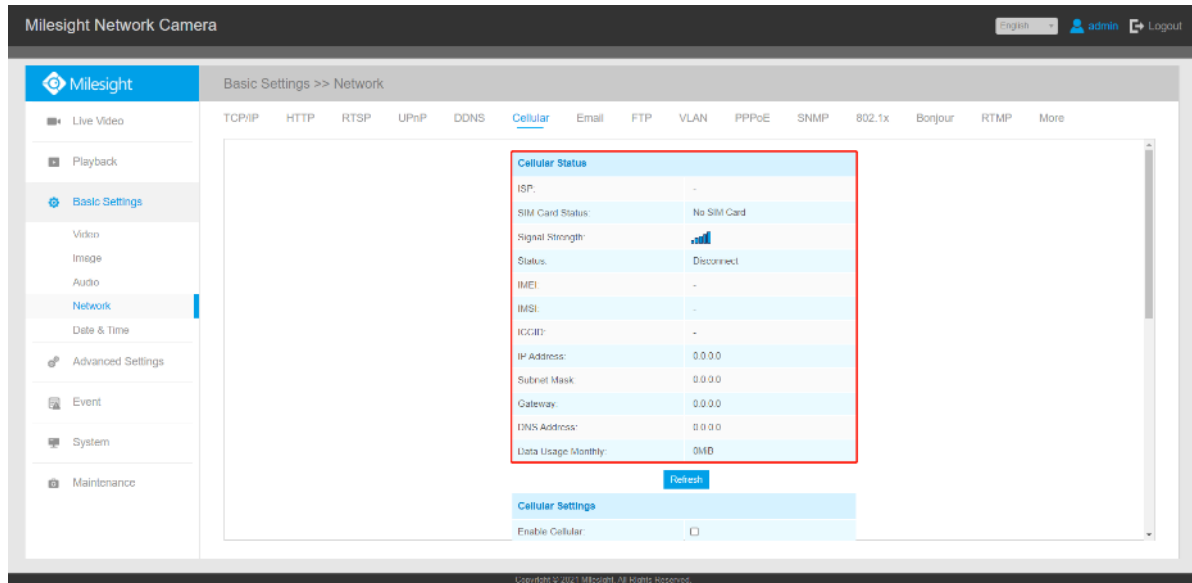
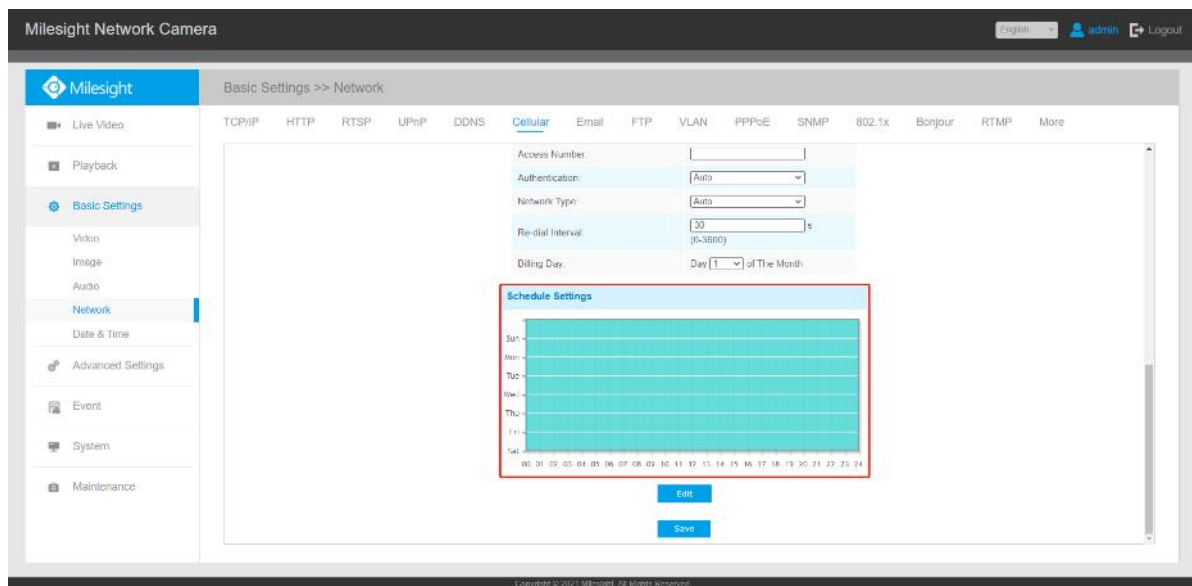


表22. ボタン説明

パラメーター	機能説明
ISP	SIM カードが登録しているネットワークプロバイダーを表示します。  注： SIM カードが挿入されていないか、認識されていない場合は「-」と表示されます。
SIM Card Status	SIMカードの接続状態を表示します。 No SIM Card： SIMカードが挿入されていません。 Invalid： SIM カードが挿入されていますが、ネットワークに接続できませんでした。 Valid： SIM カードが挿入されており、ネットワークに正常に接続されています。
Signal Strength	ネットワークの現在の信号強度を表示します。
Status	ネットワークの接続状態を表示します。接続状態には「接続中」と「切断中」が含まれます。
IMEI	モジュールの IMEI を表示します。
IMSI	SIM カードの IMSI を表示します。
ICCID	SIMカードのICCIDを表示します。

パラメータ	機能説明
IP Address	現在のネットワークのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびDNSアドレスを表示します。SIMカードが挿入されていないか、認識されていない場合は、0.0.0.0と表示されます。
Subnet Mask	
Gateway	現在のネットワークのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびDNSアドレスを表示します。SIMカードが挿入されていないか、認識されていない場合は、0.0.0.0と表示されます。
DNS Address	
Data Usage Monthly	現在の月間データ使用量を表示します。
	このボタンをクリックして、上記の状態を手動で更新します。

ステップ3：スケジュールを設定します。5Gネットワークは、設定したスケジュールに従って有効になります。

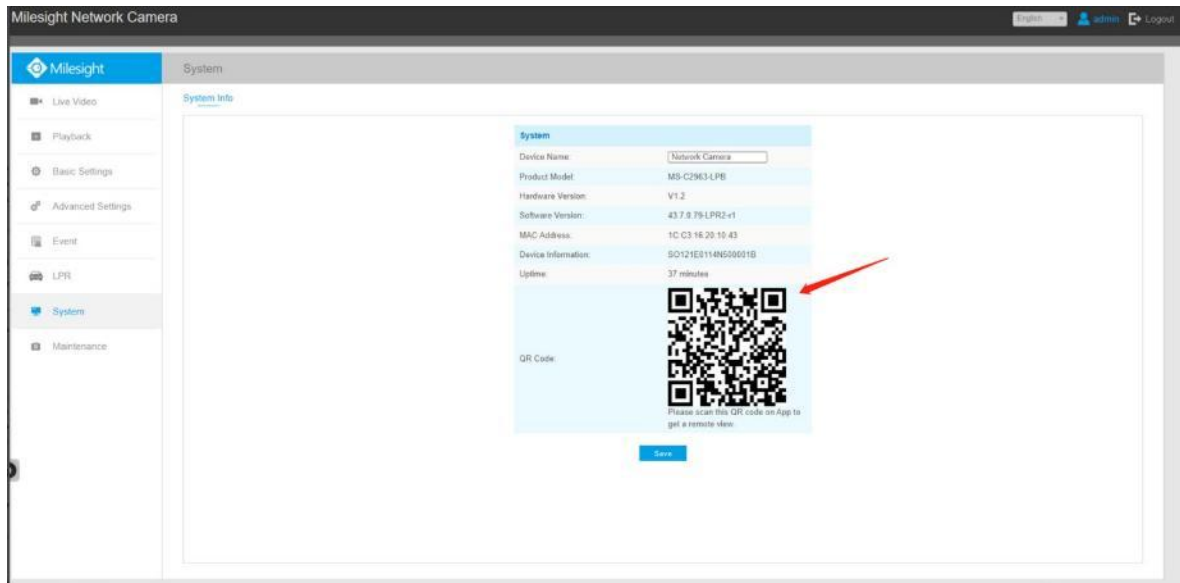


ステップ4：セルラー設定を構成した後、必要に応じてカメラの他の基本設定（イベント、録画など）も完了してください。

ステップ5：カメラの基本設定が完了したら、ネットワークケーブルを接続せずに5Gネットワーク経由でカメラにアクセスできます。

注意：

- 現在、5G ネットワークを使用して、5G カメラを P2P 経由で Milesight VMS Enterprise、Milesight CMS、および M-sight ProAPP に接続することができます。
- 5G カメラの場合、P2P 機能はデフォルトで有効になっています（下記参照）。



- 5Gネットワークを使用しない場合は、ネットワークケーブルでカメラに接続して使用できます。

メール

アラームビデオファイルは、SMTP サーバーを介して特定のメールアカウントに送信することができます。使用前に、メール設定を正しく設定する必要があります。

Enable:

☐

User Name:

hdipnc

Sender Email Address:

hdipnc@sina.com

Password:

••••••

Email Server:

smtp.sina.com

Email Port:

25

Recipient Email Address1:

user@domain.com

Recipient Email Address2:

Encryption:

☐ SSL ☐ TLS

Snapshot Settings

Alarm Snapshot File Name:

Customize

&Device_&Y&M&D_&h&m

Network Camera_2021061

Reset

Timing Snapshot File Name:

Add prefix

Save

Test

表23. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Enable	チェックボックスをオンにすると、メール機能が有効になります
User Name	送信者の名前。通常、アカウント名と同じです。
Sender Email Address	動画ファイルを添付したメールを送信するメールアドレス
Password	送信者のパスワード

パラメーター	機能 説明
SMTP Server	SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名（例：smtp.gmail.com）
SMTP Port	SMTP のデフォルトの TCP/IP ポートは 25（非暗号化）です。SSL/TLS ポートは、使用するメールサービスによって異なります
Recipient Email Address1	動画ファイルを受信するメールアドレス
Recipient Email Address2	動画ファイルを受信するメールアドレス
Encryption	SMTP サーバーで必要とされる場合、SSL または TLS を有効にするにはチェックボックスをオンにしてください。
Alarm Snapshot File Name	デフォルト(YYYY-MM-DD) /MM-DD-YYYY/ DD-MM-YYYY/ プレフィックスを追加/ ベースファイル名で上書き/ カスタマイズが可能です。
Timing Snapshot File Name	デフォルト(YYYY-MM-DD) /MM-DD-YYYY/ DD-MM-YYYY/ プレフィックスを追加/ ベースファイル名で上書き/ カスタマイズが可能です。

 **注：**ファイル名をカスタマイズするには、以下のファイル名ヒントを参照してください。

File Name Tip:
 &Device - Device Name
 &Y - Year
 &M - Month
 &D - Day
 &h - hour
 &m - minute
 &s - second
 && - &

FTP

アラームビデオファイルを特定の FTP サーバーに送信することができます。使用前に FTP 設定を正しく設定してください。

FTP Server Settings

Server Address:

192.168.5.1

Server Port:

21

User Name:

admin

Password:

●●●●●●

FTP over SSL/TLS(FTPS):

☐

FTP Storage Settings

Storage Path:

Child Directory

Parent Directory:

Date

Child Directory:

IP Address

Alarm Action File Name:

Customize

Video File Name:

YYYY-MM-DD

Image File Name:

YYYY-MM-DD

Timing Snapshot File Name:

Default(YYYY-MM-DD)

Pre-record:

0 second

Save

Test

表24. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Server Address	FTP サーバーのアドレス
Server Port	FTP サーバーのポート番号です。通常は 21 です
User Name	FTP サーバーにログインする際に使用するユーザー名
Password	ユーザーパスワード

パラメータ	機能 説明
Storage Path	FTP サーバーに動画と画像をアップロードする保存パスです。 FTP 保存パスには、ルートディレクトリ、親ディレクトリ、子ディレクトリ、およびカスタムの 4 種類があります。
Parent Directory	親ディレクトリのフォルダー名としてIPアドレス/デバイス名/日付を選択するか、フォルダー名をカスタマイズします。
Child Directory	子ディレクトリのフォルダー名としてIPアドレス/デバイス名/日付を選択するか、フォルダー名をカスタマイズします。
Multilevel Folder Name	ストレージパスが2階層を超える場合は、ここにマルチレベルFTPストレージパスを手動で入力してください。
Alarm Action File Name	デフォルト (YYYY-MM-DD) を選択するか、アラームアクションファイル名をカスタマイズしてください。
Video File Name	アラームアクションファイル名をカスタマイズする場合、YYYY-MM-DD/ MM-DD- YYYY/ DD-MM-YYYY/ プレフィックスを追加の形式が利用可能です。
Image File Name	アラームアクションファイル名をカスタマイズする場合、YYYY-MM-DD/ MM-DD- YYYY/ DD-MM-YYYY/ プレフィックスを追加が利用可能です。
Timing Snapshot File Name	デフォルト (YYYY-MM-DD)/MM-DD-YYYY/ DD-MM-YYYY/ プレフィックスを追加/ベースファイル名で上書きが利用可能です。

注

- 親ディレクトリはルートディレクトリの下に配置され、子ディレクトリは親ディレクトリの下に配置されます。
- ファイル名をカスタマイズする際は、以下のファイル名ヒントを参考にしてください。

File Name Tip:
 &Device - Device Name
 &Y - Year
 &M - Month
 &D - Day
 &h - hour
 &m - minute
 &s - second
 && - &

VLAN

仮想ローカルエリアネットワーク（VLAN）は、コンピュータネットワークのデータリンク層（OSI レイヤー 2）で分割され、隔離されたブロードキャストドメインです。LAN はローカルエリアネットワークの略称です。VLAN を使用すると、ネットワーク管理者は、ホストが同じネットワークスイッチに接続されていない場合でも、ホストをグループ化できます。これにより、ネットワーク設計と展開が大幅に簡素化されます。なぜなら、VLAN のメンバーシップはソフトウェアで設定できるからです。VLAN がない場合、リソース要件に応じてホストをグループ化するには、ノードの移動やデータリンクの再配線といった手間がかかります。

VLAN Enable:	☒
VLAN ID(1~4094):	1
VLAN IP:	. . .
VLAN Netmask:	. . .
VLAN Gateway:	. . .

Save

 **注：**スイッチでのVLANの設定方法については、お使いのスイッチのユーザーマニュアルをご参照ください。

PPPoE

このカメラはPPPoE自動ダイヤルアップ機能に対応しています。カメラがモデムに接続されると、ADSLダイヤルアップ経由でパブリックIPアドレスを取得します。ネットワークカメラのPPPoEパラメーターを設定する必要があります。

Enable PPPoE:	☐
Dynamic IP:	0.0.0.0
User Name:	
Password:	
Confirm Password:	

Save

 **注：**

- 取得したIPアドレスはPPPoE経由で動的に割り当てられるため、カメラを再起動するとIPアドレスが常に変更されます。動的IPの不便さを解消するには、DDNSプロバイダ（例：DynDns.com）からドメイン名を取得する必要があります。
- ユーザー名とパスワードは、ISP から割り当てられる必要があります。

SNMP

SNMP機能を設定することで、カメラがネットワークに接続されている際に、カメラの状態、パラメーター、アラーム関連情報を取得し、リモートでカメラを管理できます。

SNMPを設定する前に、SNMPソフトウェアをダウンロードし、SNMPポート経由でカメラ情報を受信できるように設定してください。トラップアドレスを設定することで、カメラはアラームイベントや例外メッセージを監視センターに送信できます。

SNMP v1/v2	
SNMP V1 Enable:	☐
SNMP V2c Enable:	☐
Write Community:	public
Read Community:	private

SNMP v3	
SNMP V3 Enable:	☐
Read Security Name:	
Level of Security:	no auth,no priv
Write Security Name:	
Level of Security:	no auth,no priv

SNMP Port	
SNMP Port:	161

表25. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
SNMP v1/2/3	SNMP のバージョンです。SNMP ソフトウェアのバージョンを選択してください。 SNMP v1: セキュリティを提供しません SNMP v2: アクセスにパスワードが必要です SNMP v3: 暗号化を提供し、HTTPS プロトコルを有効にする必要があります
Write Community	書き込みコミュニティの名前を入力してください
Read Community	読み取りコミュニティの名前を入力してください
Read Security Name	読み取りセキュリティコミュニティの名前を入力してください
Level of Security	3つのレベルが利用可能です : (auth, priv)、(auth, no priv)、および (no auth, no priv)
Write Security Name	書き込みセキュリティコミュニティの名前を入力してください
Level of Security	3つのレベルが利用可能です : (auth, priv)、(auth, no priv)、および (no auth, no priv)
SNMP Port	SNMP のポートです。デフォルトは 161 です

注意

- SNMP ソフトウェアの設定は、ここで設定する設定と一致している必要があります;
- 設定を有効にするには再起動が必要です。

802.1x

ネットワークカメラはIEEE 802.1X規格に対応しています。この機能を有効にすると、カメラデータが保護され、IEEE 802.1Xで保護されたネットワークにカメラを接続する際にはユーザー認証が必要です。

Enable 802.1x:	☒
Protocol:	EAP-MD5 ▼
Eapol Version:	1 ▼
User Name:	
Password:	
Confirm Password:	

Save

Bonjour

BonjourはAppleのマルチキャストDNSサービスに基づいています。Bonjourデバイスは、サービス情報を自動的にブロードキャストし、他のデバイスのサービス情報を受信できます。

カメラの情報が不明な場合、同じ LAN 内の Bonjour サービスを使用してネットワークカメラデバイスを検索し、そのデバイスにアクセスできます。

Enable Bonjour:	☒
Bonjour Name:	MS-C2962-FPB-1CC316210991

Save

RTMP

Real-Time Messaging Protocol (RTMP) は、当初、Flash プレイヤーとサーバーの間でインターネット経由でオーディオ、ビデオ、データをストリーミングするためのプロプライエタリなプロトコルでした。RTMP は TCP ベースのプロトコルで、永続的な接続を維持し、低遅延通信を可能にします。ライブ配信機能を実現し、ユーザーはネットワーク接続可能な場所からカメラにログインできます。

Enable RTMP:	☒
Stream Type:	Secondary Stream ▼
Server Address:	rtmp://a.rtmp.youtube.com/

Save

詳細については、[トラブルシューティング-RTMPを使用したライブ配信の方法](#)をご参照ください。

注意：

- YouTubeライブ配信の場合、新規作成したアカウントでライブ配信を行う際は、ライブ機能の利用を有効にするため24時間お待ちください。
- RTMP では、G.711 は YouTube で使用できないため、YouTube では H.264 ビデオコーデイングおよび AAC オーディオコーデイングを使用した Milesight ネットワークカメラからのビデオのみ再生できます。
- ネットワークカメラのRTMPインターフェースのサーバーアドレスには、以下の形式で入力してください：rtmp://<サーバーURL>/<ストリームキー>。<サーバーURL>と<ストリームキー>の間には必ず"/"を挿入してください。

詳細

ここでは、プッシュメッセージ設定や ONVIF 設定など、追加の機能を設定できます。

プッシュメッセージ設定

Push Message Settings	
Enable Push Message:	☒
Push Event Type:	Edit

プッシュメッセージ機能を有効にすると、[Edit](#) をクリックして、M-sight Pro アプリにプッシュされるイベントメッセージの種類を選択できます（以下を参照）。

Push Event Type	
☒ All	
☒ Motion Detection	☒ Region Entrance
☒ Region Exiting	☒ Advanced Motion Detection
☒ Tamper Detection	☒ Line Crossing
☒ Loitering	☒ Human Detection
☒ People Counting	☒ Object Left/Removed
☒ Face Detection	

Save

 **注:** M-sight Pro アプリで対応するカメラの「アラームプッシュを有効」がオンになっている必要があります。

ONVIF 設定

ここでは、カメラの ONVIF 機能を有効または無効にするかどうかを選択できます。カメラの ONVIF 機能が有効になっている場合、ONVIF プロトコルを介してサードパーティ製ソフトウェアでカメラを検索、追加、接続できます。通常、ONVIF 機能のデフォルト状態は有効です。

ONVIF Setting	
Enable ONVIF:	☒

Save

5.4.5 日付と時間

Current System Time	
Date:	26/04/2020
Time:	14:49:33

Set the System Time	
Time Zone:	(UTC+08:00) China(Beijing, Hong Kong) ▼
Daylight Saving Time:	Disabled ▼
☒ NTP server	
Server Address:	192.168.14.101
NTP Sync:	☒ Interval: 1 day ▼
☐ Manual	
Time:	26/04/2020 14:48:34 
☐ Synchronize with computer time	
Date:	26/04/2020
Time:	14:49:35

[Save](#)

現在のシステム日時

システムの日付と時刻

システム時刻を設定します

表26. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Time Zone	お住まいの地域のタイムゾーンを選択してください
Daylight Saving time	夏時間を有効にします
NTP server	NTP サーバーのアドレスを入力してください

パラメーター	機能 説明
NTP Sync	指定した間隔で時間を定期的に更新します
Manual	システム時刻を手動で設定します
Synchronize with computer time	コンピュータと時刻を同期します

5.5 詳細設定

5.5.1 ストレージ

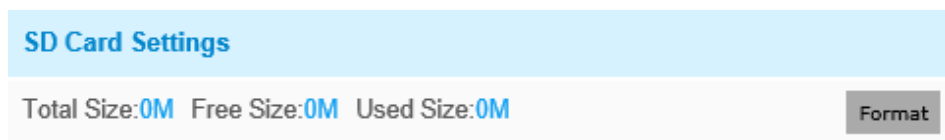
開始する前に

記録設定を構成するには、ネットワーク内にネットワークストレージデバイスがあるか、カメラに SD カードが挿入されていることを確認してください。

必要に応じてストレージモードを選択してください。

ストレージ管理

SD カード:



Note: Please insert SD card.

表 27. ボタンの説明

パラメ	機能 説明
Format	SD カードをフォーマットします。SD カード内のファイルは削除されます
Mount/UnMount	SD カードをマウント/アンマウントします

パラメータ	機能 説明
Delete	循環保存を有効にします。空きディスク容量が特定の値に達すると、設定に応じて特定の割合のファイルが自動的に削除されます。

NAS

ネットワークディスクはネットワーク内で利用可能であり、記録されたファイルなどを保存するために適切に構成されている必要があります。

NAS (Network-Attached Storage) は、ストレージデバイスを既存のネットワークに接続し、データやファイルのサービスを提供します。

NAS Settings

Server Address:	
File Path:	
Mounting Type:	NFS

Add

表28. ボタン説明

パラメータ	機能 説明
Server Address	NASサーバーのIPアドレス
File Path	NAS のファイルパスを入力します。例：「\path」。
Mounting Type	NFS と SMB/CIFS が利用可能です。SMB/CIFS を選択した場合、セキュリティを確保するためにユーザー名とパスワードを設定できます。

 注：カメラには最大 5 台の NAS ディスクを接続できます。

記録設定

Storage Settings

Enable Recycle Storage:

☐

Pre-record:

0 second

▼

Save

Schedule Settings

Sun

Mon

Tue

Wed

Thu

Fri

Sat

00

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

Edit

表 29. ボタンの説明

パラメーター	機能 説明
Enable Recycle Storage	リサイクルストレージを有効/無効にします。このオプションを有効にすると、ディスクの空き容量が特定の値に達するとファイルが削除されます。
Pre-record	アラーム前の記録時間を予約します。0～10秒
Schedule Settings	編集ボタンをクリックして、記録スケジュールを編集します

 注：SDカードまたはNASを使用できます。

スナップショット設定

Snapshot Settings

Enable Timing Snapshot:

☐

Interval:

1

hour

▼

Save Into Storage:

☐ (Please mount storage device.)

File Name:

Add Time Suffix

▼

Upload Via FTP:

☐

Upload Via SMTP:

☐

Save

Schedule Settings

Sun

Mon

Tue

Wed

Thu

Fri

Sat

00

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

Edit

表 30. ボタンの説明

パラメータ	機能 説明
Snapshot Settings	Enable Timing Snapshot: チェックボックスをオンにすると、タイミングスナップショット機能が有効になります Interval: スナップショットの間隔を設定します。数値を入力し、単位（ミリ秒、秒、分、時間、日）を選択してください  注: 間隔は1から604800の間で設定する必要があります。 Save Into Storage: スナップショットをSDカードまたはNASに保存し、ファイル名に時間接尾辞を追加するか、ベースファイル名を上書きするかを選択します。 Save Into NAS : スナップショットをNASに保存し、ファイル名に時間 suffix を追加するか、ベースファイル名を上書きするかを選択してください Upload Via FTP : スナップショットをFTP経由でアップロードします。 Upload Via SMTP : スナップショットをSMTP経由でアップロードします。  注意: タイムスタンプを追加を選択した場合、すべてのスナップショット画像が保存されますが、ベースファイル名を上書きを選択した場合、最新の1枚のみが保存されます。SDカードまたはNASにベースファイル名を上書きを選択した場合、スナップショットを保存するための「Snapshot」という名前のファイルが作成されます。
Schedule Settings	編集ボタンをクリックして記録スケジュールを編集します

エクスプローラー

SDカードまたはNASに保存するように設定されたファイルはこのページに表示されます。動画の録画用に毎日の時間スケジュールを設定し、動画ファイルを任意の場所に保存できます。

 **注意 :** SDカードが挿入されている場合にのみファイルが表示されます。電源が入っている状態でSDカードを挿入または取り出さないでください

動画ファイルは日付順に並べられます。ファイルの種類と開始/終了時間を設定して、ファイルを検索します。各日のファイルは、対応する日付の下に表示されます。ここから、ファイルのコピーや削除などを行うことができます。FTP を使用して、SD カード内のファイルにアクセスすることができます。例：ftp://username:password@192.168.5.190（ユーザー名とパスワードはカメラのアカウントと同じで、IP はお使いのデバイスの IP アドレスです）。

Show entries Download

☐	File Name	Start Time	End Time	Type	Size
Please mount storage device first!					

Showing 0 to 0 of 0 entries First Previous Next Last Go

File Search

Main Type:

Sub Type:

Start Time:

End Time:

Search Reset

5.5.2 セキュリティ

ユーザー

Manage Privilege

Allow Anonymous Viewing: ☐

Security Question

Security Question: Edit

Account Management

Add Edit Delete

ID	User Name	Privilege
1	admin	Administrator

Admin Password:

User Level:

User Name:

Password:

Confirm:

User Privilege

☒ All

☒ Live Video

☒ Local Settings

☒ Audio Settings

☒ Network Settings

☒ Date & Time

☒ Storage Settings

☒ Security Settings

☒ Logs

☒ Maintenance

☒ Playback

☒ Video Settings

☒ Image Settings

☒ RTSP Access

☒ Event Settings

☒ Storage Format

☒ SIP Settings

☒ System

Note: You can only add 20 users

Save

表31. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Manage Privilege	Allow anonymous viewing: デバイスのアカウントを持っていないユーザーからのアクセスを許可するには、チェックボックスをオンにします

パラメーター	機能 説明
Security Question	「Edit」ボタンをクリックして、カメラ用の3つのセキュリティ質問を設定します。パスワードを忘れた場合、ログイン画面の「Forget Password」ボタンをクリックし、3つのセキュリティ質問に正しく回答することでパスワードをリセットできます。 Security Question Settings Admin Password: Security Question1: What's your father's name? Answer1: Security Question2: What's your father's name? Answer2: Security Question3: What's your father's name? Answer3: Save 以下の12つのデフォルトの質問がありますが、セキュリティ質問をカスタマイズすることもできます。 What's your father's name? What's your favorite sport? What's your mother's name? What's your mobile number? What's your first pet's name? What's your favorite book? What's your favorite game? What's your favorite food? What's your lucky number? What's your favorite color? What's your best friend's name? Where did you go on your first trip? Customized Question

パラメーター	機能 説明
Account Management	「Add」ボタンをクリックすると、アカウント管理ページが表示されます。管理パスワード、ユーザーレベル、ユーザー名、新しいパスワード、確認を入力し、☐をクリックしてユーザー権限を編集することで、カメラにアカウントを追加できます。追加されたアカウントはアカウント一覧に表示されます。 Admin Password : 正しい管理者パスワードを入力しないと、アカウントを追加できません。 User Level: アカウントの権限を設定します。 User Name : アカウントを作成するためのユーザー名を入力します。 Password : アカウントのパスワードを入力します。 Confirm : パスワードを確認します。 管理アカウント下のアカウント一覧から、アカウントの編集と削除が可能です。デフォルトの管理アカウントについては、パスワードの変更のみ可能で、削除はできません。

注意:

- デフォルトユーザーを含む最大20ユーザーまでサポートしています。
- デフォルトでは、すべてのオペレータ権限がチェックされています。
- カメラファームウェアバージョン 4X.7.0.69

以降では、デフォルトの管理者パスワードが削除され、初回ログイン時にパスワードを設定できるようになりました。また、デバイスのセキュリティ質問の設定もサポートされています。パスワードを忘れた場合、ユーザーは正しいセキュリティ質問に答えることでパスワードをリセットできますので、より便利になりました。

オンラインユーザー

カメラにログインしているユーザーのリアルタイムステータスが表示されます。

Online User				
Refresh				
No.	User Name	User Level	IP Address	User Login Time
1	admin	Administrator	192.168.7.110	2021-02-20 10:12:29
2	admin	Administrator	192.168.7.79	2021-02-20 09:16:06
3	admin	Administrator	192.168.7.25	2021-02-19 17:12:02

表32. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Refresh	クリックして、カメラにアクセスしているユーザーの最新のステータスを取得します。
No.	カメラにログインしたユーザーのシリアル番号を記録します。  注 • リストには最大30件の記録が表示されます。 • 同じユーザーが同じIPアドレスでカメラにログインした場合、1件の記録のみ表示されます。
User Name	カメラにログインしたユーザーの氏名です。
User Level	カメラにログインしているユーザーのレベルです。
IP Address	カメラにログインしているユーザーのウェブが配置されているデバイスのIPアドレスです。
User Login Time	カメラにログインしたユーザーのカメラシステム時間。

アクセスリスト

General Settings

Maximum Number of Concurrent Streaming:

IP Access List

Rule:

IP Address:

Add

Enable Access List Filtering:
☐

Filter Type:
☐ Allow ☒ Deny

Save

表33. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
General Settings	Maximum number of concurrent streaming: 同時ストリーミングの最大数を選択します。オプションには「無制限」、「1～10」があります
IP access list	Rule : Single、Network、およびRangeを使用できます。 IP address : デバイスへのアクセスを許可するIPアドレスを入力してください
Enable access list filtering	一部のIPアドレスへのアクセスを許可または制限できます
Filter type	アクセスまたはアクセス制限

セキュリティサービス

SSH Settings

Enable SSH:

☒

SSH Port:

Save

表 34. ボタンの説明

パラメーター	機能 説明
SSH Settings	Secure Shell (SSH) には多くの機能があります。Telnet の代替として使用でき、FTP、POP、さらには PPP 用のセキュアなチャネルを提供します。

ウォーターマーク

Watermark Settings

Enable Watermark:

☒

Watermark String:

Save

透かしは、情報セキュリティを保護し、偽造防止のトレーサビリティと著作権保護を実現する効果的な方法です。Milesight ネットワークカメラは、情報セキュリティを確保するために透かし機能をサポートしています。

About

Open Source Software Licenses

[View Licenses](#)

ユーザーは、ライセンスを表示ボタンをクリックすることで、カメラに関する一部のオープンソースソフトウェアのライセンスを確認できます。

5.5.3 SIP

セッション開始プロトコル (SIP) は、インターネットプロトコル (IP) ネットワーク上で音声や動画通話などのマルチメディア通信セッションを制御するために広く使用されるシグナリング通信プロトコルです。このページでは、SIPに関連するパラメーターを設定できます。Milesight ネットワークカメラは、アラームが作動したときに呼び出す SIP エンドポイントとして設定することができます。また、ビデオ IP 電話を使用している場合は、許可された番号からビデオを確認するための着信を許可することもできます。この機能を使用するには、SIP ページの設定を正しく行う必要があります。SIP を通じてビデオを取得するには 2 つの方法があります。1 つは IP アドレスを直接ダイヤルする方法、もう 1 つはアカウント登録モードです。詳細は以下の通りです。

方法1：IPダイレクトモード

SIP電話からカメラのIPアドレスを直接ダイヤルすることで、動画を表示できます。

 **注意：** SIP電話とカメラは同じネットワークセグメントに接続されている必要があります。

方法2：アカウント登録モード

- SIPを使用する前に、SIPサーバーからカメラ用のアカウントを登録する必要があります。
- 同じ SIP サーバーから SIP デバイス用に別のユーザーアカウントを登録してください。
- SIP デバイスからカメラのユーザー ID を呼び出すと、SIP デバイスに動画が表示されます。

SIP 設定

Unregistered	
Enable:	☐
Register Mode:	Enable ▼
User ID:	500
User Name:	sipclient
Password:	••••••••
Server Address:	192.168.5.101
Server Port:	5060
Connection Protocol:	UDP ▼
Video Stream:	Secondary Stream ▼
Max Call Duration:	1800 s (0 means no limitation.)

Note:SIP supports Direct IP call.

Save

表35. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Unregistered/Registered	SIP 登録状態。「Unregistered」または「Registered」を表示します
Enable	SIP の使用を開始または停止します
Register Mode	有効モードまたは無効モードを選択します。有効モードは、登録アカウントを使用してSIPを使用することを意味します。無効モードは、登録アカウントを使用せずにSIPを使用し、IPアドレスのみで通話を行うことを指します。
User ID	SIP ID
User Name	SIP アカウント名
Password	SIP アカウントのパスワード

パラメータ	機能 説明
Server Address	サーバー IP アドレス
Server Port	サーバーのポート
Connection Protocol	UDP/TCP
Video Stream	ビデオストリームを選択してください
Max Call Duration	SIPを使用する際の最大通話時間

 注：SIP は直接 IP コールをサポートしています。

アラーム電話リスト

Phone Type:	Phone Number ▼
To Phone Number:	
Remark Name:	
Duration:	From 00 : 00 To 24 : 00

[Add](#)

表 36. ボタンの説明

パラメータ	機能 説明
Phone Type	Phone Number（電話番号で通話） Direct IP Call（ピアツーピアIP通話を許可する場合にチェック）。
To Phone Number/IP Address	電話番号またはIPアドレスで通話します。
Remark Name	表示名。
Duration	SIPを使用する時間スケジュール。

ホワイトリスト

Phone Type:	Phone Number ▼
Phone Number:	
Add	
Enable White List Number Filter:	☐
Save	

表 37. ボタンの説明

パラメータ	機能 説明
Phone Type	電話番号（電話番号で通話） & 直接IP通話
Phone Number/IP Address	ホワイトリストに電話番号またはIPアドレスを含めます
Enable White List Number Filter	有効にすると、指定された電話番号またはIPアドレスのみがアクセスできます

5.5.4 IoT（オプション）

Milesight 組み込み IoT モジュールは、LPWAN テクノロジーに対応しており、低消費電力で長距離の通信が可能です。

IoT カメラを使用する場合、ここでエンドデバイスを管理し、アラーム設定を行うことができます。

デバイス設定

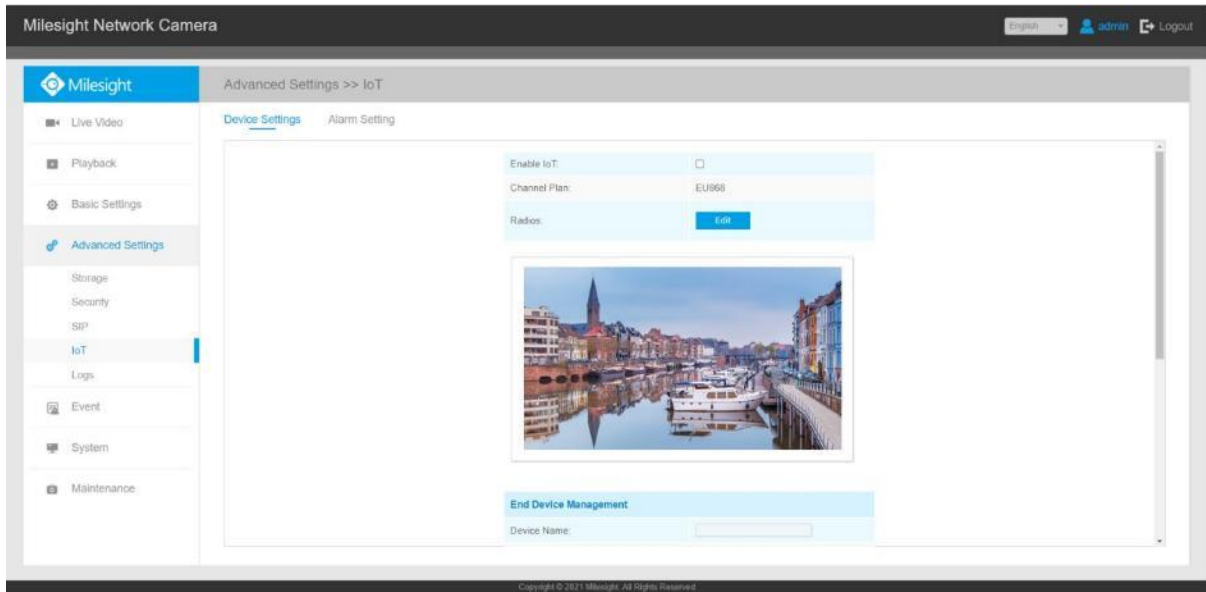


表38. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Enable IoT	保存ボタンをクリックせずに、IoT 機能の使用を開始または停止します。
Channel Plan	IoT カメラに対応するチャンネルプランを表示します。
Radios	ラジオの設定を行います。

ステップ 1: IoT 機能を有効にするチェックボックスをオンにします;

ステップ 2: 無線設定を構成します;

注意

- 現在、当社の IoT カメラは、**915M**（対応チャンネルプランは **US915/AU915/KR920/A S923/AS923-2**）、**868M**（対応チャンネルプランは **IN865/EU868/RU864**）、**470M**（対応チャンネルプランは **CN470**）の 3 つの IoT 周波数帯域に対応しています。カメラを購入する前に、弊社営業までご連絡いただき、お住まいの国でサポートされている周波数帯域をお選びください。
- 通常、ラジオ設定を構成せずにデフォルト設定を直接使用できます。ラジオ設定をカスタマイズする必要がある場合は、以下の画面のように「編集」ボタンをクリックして、さらに設定を行うことができます。

 注：ここでの設定は、エンドデバイスと同じである必要があります。

Radio Channel Settings

Channel Plan:
EU868

Center Frequency of Radio 0:
867.5

Center Frequency of Radio 1:
868.5

	Channel	Radio	Frequency/MHz
☒	0	Radio 1	868.1
☒	1	Radio 1	868.3
☒	2	Radio 1	868.5
☒	3	Radio 0	867.1
☒	4	Radio 0	867.3
☒	5	Radio 0	867.5
☒	6	Radio 0	867.7
☒	7	Radio 0	867.9

Lora Channel Settings

Enable:
☒

Radio:
Radio 1

Frequency:
868.3

BandWidth:
250KHz

Data Rate:
SF7

FSK Channel Settings

Enable:
☒

Radio:
Radio 1

Frequency:
868.8

BandWidth:
125KHz

Data Rate:
50000

Additional Channels

Add

Save

Cancel

表39. ボタン説明

パラメーター		機能 説明																																			
Radio Channel Settings	Channel Plan	国や地域に応じて、必要なチャンネルプランを選択できます。たとえば、ここでは、IoT 周波数帯域 915M の IoT カメラを選択すると、この周波数帯域でサポートされているすべてのチャンネルプラン（US915、AU915、AS923、AS923-2、KR920 など）が一覧表示されます。																																			
	Channel Mask	使用可能な周波数は、チャンネルマスクを使用して制御されます。空白のままにすると、LoRaWAN® 地域パラメータ文書で指定されているすべてのデフォルトの標準使用可能チャンネルが使用されます。ChMask フィールドのビットが 1 に設定されている場合、そのチャンネルがエンドデバイスで現在使用されているデータレートに対応している場合、そのチャンネルはアップリンク送信に使用できます。ビットが 0 に設定されている場合、対応するチャンネルは使用しないでください。このオプションは、CN470、US915、および AU915 ではオプションです。																																			
	Center Frequency of Radio 0	 パケットの送信と受信をサポートします； 注：さまざまな地域におけるデフォルト値および設定範囲の詳細については、Milesight トラブルシューティング-5G AIoT カメラをご覧ください。																																			
	Center Frequency of Radio 1	 ノードからのパケットの受信のみをサポートします； 注：さまざまな地域におけるデフォルト値および設定範囲の詳細については、Milesight トラブルシューティング-5G AIoT カメラをご覧ください。																																			
	Multi-channel list	すべてのチャンネルに対応する無線と周波数がここに一覧表示されます。デフォルトでは、すべてのチャンネルが有効になっています。チェックボックスをオンにして、対応するチャンネルを有効にすることもできます。 <table><thead><tr><th>☒</th><th>Channel</th><th>Radio</th><th>Frequency/MHz</th></tr></thead><tbody><tr><td>☒</td><td>0</td><td>Radio 1 ▾</td><td> 868.1 </td></tr><tr><td>☒</td><td>1</td><td>Radio 1 ▾</td><td> 868.3 </td></tr><tr><td>☒</td><td>2</td><td>Radio 1 ▾</td><td> 868.5 </td></tr><tr><td>☒</td><td>3</td><td>Radio 0 ▾</td><td> 867.1 </td></tr><tr><td>☒</td><td>4</td><td>Radio 0 ▾</td><td> 867.3 </td></tr><tr><td>☒</td><td>5</td><td>Radio 0 ▾</td><td> 867.5 </td></tr><tr><td>☒</td><td>6</td><td>Radio 0 ▾</td><td> 867.7 </td></tr><tr><td>☒</td><td>7</td><td>Radio 0 ▾</td><td> 867.9 </td></tr></tbody></table>	☒	Channel	Radio	Frequency/MHz	☒	0	Radio 1 ▾	868.1	☒	1	Radio 1 ▾	868.3	☒	2	Radio 1 ▾	868.5	☒	3	Radio 0 ▾	867.1	☒	4	Radio 0 ▾	867.3	☒	5	Radio 0 ▾	867.5	☒	6	Radio 0 ▾	867.7	☒	7	Radio 0 ▾
☒	Channel	Radio	Frequency/MHz																																		
☒	0	Radio 1 ▾	868.1																																		
☒	1	Radio 1 ▾	868.3																																		
☒	2	Radio 1 ▾	868.5																																		
☒	3	Radio 0 ▾	867.1																																		
☒	4	Radio 0 ▾	867.3																																		
☒	5	Radio 0 ▾	867.5																																		
☒	6	Radio 0 ▾	867.7																																		
☒	7	Radio 0 ▾	867.9																																		

パラメーター		機能 説明
LoRa Channel Settings	Radio	中心周波数として、ラジオ 0 またはラジオ 1 を選択します。
	Frequency	このチャンネルの周波数を入力します。 例： 1. US915 および AU915 の周波数範囲の計算式：中心周波数 ± 0.55 2. その他の地域（US915 および AU915 を除く）の周波数範囲の計算式：中心周波数 ± 0.4625 たとえば、中心周波数を 867.5 に設定した場合、各チャンネルに対応する周波数範囲は $867.5-0.4625 \sim 867.5+0.4625$ となります。
	Bandwidth	このチャンネルの帯域幅を入力してください。125KHz、250KHz、500KHz が利用可能です。デフォルトは250KHzです；  注：AU915 および US915 のデフォルトオプションは 500KHz です。
	Data Rate	SF7 から SF12 にかけて、伝送速度は低下し、伝送距離は長くなります。通常、データレートの範囲は SF7 から SF12 であり、デフォルト値は SF7 です。チャンネルプラン AU915 および US915 のデフォルト値のみ SF8 です。
FSK Channel Settings	Radio	中心周波数として、ラジオ 0 またはラジオ 1 を選択します。
	Frequency	このチャンネルの周波数を入力します。
	Bandwidth	このチャンネルの帯域幅を入力してください。125KHz、250KHz、500KHz が利用可能です。デフォルトは 125KHz です。  注：AU915 および US915 のデフォルトオプションは 250KHz です。
	Data Rate	データレートを入力してください。データレートは 500～250000 の範囲内で設定してください。
Additional Channels		一部の地域バリエーションでは、LoRaWAN® 地域で許可されている場合、追加プランを使用して、LoRaWAN® 地域パラメーターで定義されていない追加のチャンネル（EU868 や KR920 など）を構成できます。  注意: チャンネルプランとしてCN470、AU915、またはUS915を選択した場合、追加チャンネルはサポートされていません。

ステップ 3：エンドデバイスを追加および管理します。

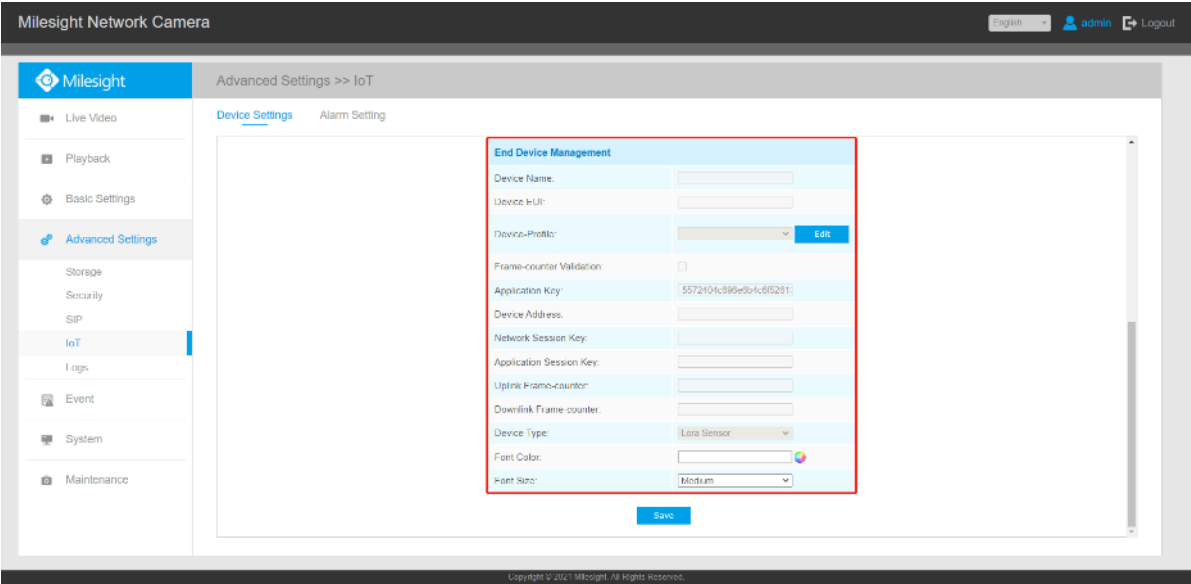
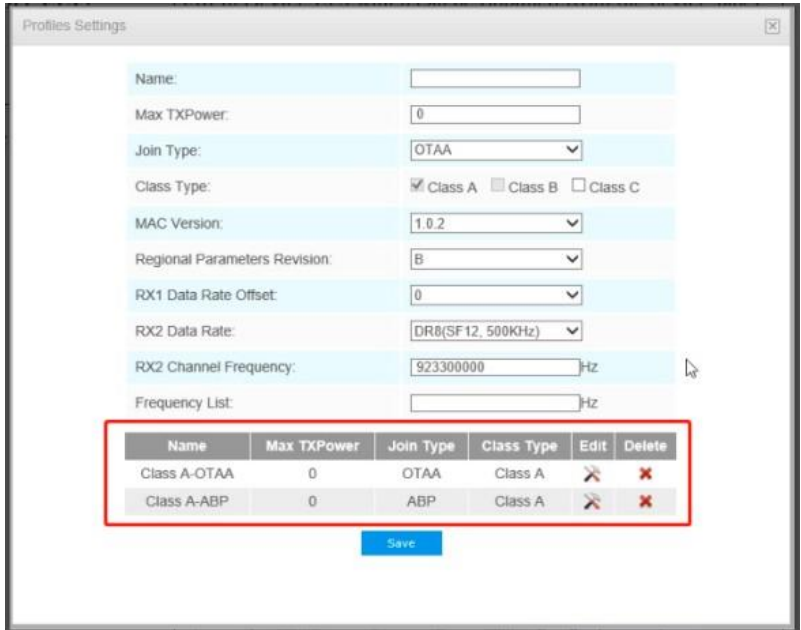


表40. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Device Name	デバイス名をカスタマイズします。
Device EUI	デバイスラベルから取得できるデバイス EUI を入力します。Milesight Lora センサーを使用している場合は、Milesight ツールボックスからデバイス EUI を取得することもできます。

パラメーター	機能説明
デバイスプロファイル	通常は、プロファイル設定を構成せずにデフォルト設定を使用できます。プロファイル設定をカスタマイズする必要がある場合は、編集ボタンをクリックして詳細設定を行い、保存ボタンをクリックすると、作成したデバイスプロファイルが一覧表示されます。  オプションの意味は以下の通りです： [Name]: プロファイルの名前をカスタマイズします。 [Max TXPower]: 最大送信電力を入力します。TXPower は、エンドデバイスの最大 EIRP レベルに対する電力レベルを示します。0 は、最大 EIRP を使用することを意味します。EIRP は、等方放射電力の等価値です。最大 TXPower は 0～16 の間で指定する必要があります。 [Join Type]: OTAA と ABP はオプションで、デフォルトは OTAA です。 • OTAA: オーバー・ザ・エア・アクティベーション。 無線によるアクティベーションの場合、エンドデバイスはネットワークサーバーとのデータ交換に参加する前に、参加手続きを行う必要があります。エンドデバイスは、セッションのコンテキスト情報を失った場合、毎回新しい参加手続きを行う必要があります。 • ABP: パーソナライゼーションによるアクティベーション。 特定の状況下では、エンドデバイスはパーソナライズによってアクティベーションすることができます。パーソナライズによるアクティベーションでは、参加要求 - 参加承諾の手順を省略して、エンドデバイスを特定のネットワークに直接結び付けます。 [Class Type]: デバイスタイプはデフォルトでクラスAです。ユーザーはクラスBまたはクラスCのチェックボックスを選択して、クラスタイプを追加できます。 [MAC Version] : エンドデバイスがサポートする LoRaWAN® のバージョンを選択します。1.0.0/1.0.1/1.0.2/1.1.0 はオプションで、デフォルトは 1.0.2 です。 [Regional Parameters Revision]: 地域パラメータ文書の改訂は、エンドデバイスでサポートされています。A および B はオプションで、デフォルトは B です。 [RX1 Data Rate Offset]: RX1 データレートの計算に使用されるオフセットは、アップリンクデータレートに基づきます。

パラメーター	機能 説明
Device-profile	[RX2 Data Rate]: RX2 受信ウィンドウに使用される RX2 データレートを入力します。 [RX2 Channel Frequency]: RX2 チャンネル周波数は、RX2 周波数受信ウィンドウに使用されます。 [Frequency List]: 工場出荷時に設定済みの周波数のリストです。範囲は、LoRaWAN® 地域パラメータ文書で指定されている内容に基づいています。
Frame-counter Validation	フレームカウンター検証を無効にすると、セキュリティが低下し、リプレイ攻撃が可能になります。この機能は、パケット損失が発生したかどうかを判断するために使用できます。
Application Key	エンドデバイスが無線によるアクティベーションによってネットワークに参加するたびに、アプリケーションキーはアプリケーションセッションキーの導出に使用されます。主に、対応するデバイスアドレス/ネットワークセッションキー/アプリケーションセッションキーの生成に使用されます。 注 - デフォルトのキーは、エンドデバイスから取得できます。 - Milesight センサーのデフォルトキーは 5572404c696e6b4c6f52613230313823 です。
Device Address/ Network Session Key/ Application Session Key	ネットワークにアクセスするために必要な情報です。ABP ネットワークアクセスモードを選択した場合は、これらの項目を入力する必要があります。これらの情報は、エンドデバイスから取得できます。たとえば、Milesight Lora センサーを使用している場合は、Milesight Tool Box からこれらの情報を取得できます。 Device Address : デバイスアドレスは、現在のネットワーク内のエンドデバイスを識別します。 Network Session Key : ネットワークセッションキーは、エンドデバイスに固有のもので、エンドデバイスは、このキーを使用して、すべてのアップリンクデータメッセージの MIC (メッセージ整合性コード) またはその一部を計算し、データの整合性を確保します。 Milesight センサーのデフォルトのキーは 5572404c696e6b4c6f52613230313823 です。 Application Session Key : AppSKey は、エンドデバイスに固有のアプリケーションセッションキーです。アプリケーションサーバーとエンドデバイスの両方で、アプリケーション固有のデータメッセージのペイロードフィールドを暗号化および復号化するために使用されます。 Milesight センサーのデフォルトキーは 5572404c696e6b4c6f52613230313823 です。
Uplink Frame-counter	エンドデバイスからネットワークサーバーに送信されたアップリンクフレームの数を計算します。このカウントは増加し、エンドデバイスによって受信されます。デフォルト値は 0 です。
Downlink Frame-counter	ネットワークサーバーにアップリンクで送信されたデータフレームの数です。これはエンドデバイスによってインクリメントされ、エンドデバイスによって受信されます。ユーザーは、パーソナライズされたエンドデバイスを手動でリセットすることができます。そうすると、そのエンドデバイスのフレームカウンタと、そのエンドデバイスに対応するネットワークサーバーのフレームカウンタが 0 にリセットされます。デフォルト値は 0 です。
Device Type	実際の状況に応じてデバイスタイプを選択します。Lora Sensor と Lora Sensor Node はオプションです。Lora Sensor は LoraWAN プロトコルをサポートするセンサーの一種であり、Lora Sensor Node は RS485、AI、GPIO のインターフェースからデータを受信するデバイスの一種です。

パラメーター	機能 説明
Font Color	OSDのフォント色を設定します。
Font Size	OSD のフォントサイズを設定します。

 注意：

- デバイス名とデバイス EUI は重複できません。
- デバイス
EUI、アプリケーションキー、デバイスアドレス、ネットワークセッションキー、およびアプリケーションセッションキーは、エンドデバイスの設定と一致している必要があります。
- アップリンク フレーム カウンターとダウンリンク フレーム カウンターは、ABP モードでのみリセットできます。

ステップ 4: センサー設定。 [Sensor](#)

をクリックして、センサー設定ページに入ることができます。設定が完了したら、[Save](#) をクリックして設定を保存するか、[Cancel](#) をクリックして設定をキャンセルできます。

Lora Sensor

Sensor ID:	1
Sensor Type:	Temperature Sensor
Sign:	☒
Decimal Place:	1
Unit:	°C
Show OSD:	☒

[Save](#)
[Cancel](#)

LoRa Node
RS485

Port Type:

RS485

Channel ID:

5

Sensor Type:

Temperature Sensor

Sign:

☐

Decimal Place:

Unit:

°C

Show OSD:

☐

Save

Cancel

No	Port Type	Channel ID	Sensor Type	Edit	Delete
1	RS485	1	Temperature Sensor		
2	RS485	2	Humidity Sensor		
3	RS485	3	CO2		

LoRa Node
GPIO

Port Type:

GPIO

Channel ID:

GPIO 2

Sensor Type:

Temperature Sensor

Show OSD:

☐

Save

Cancel

No	Port Type	Channel ID	Sensor Type	Edit	Delete
1	RS485	1	Temperature Sensor		
2	RS485	2	Humidity Sensor		
3	RS485	3	CO2		
4	RS485	4	Pressure Sensor		
5	GPIO	GPIO 1	Gate		

Only AI of LoRa Node

Port Type:

AI

Channel ID:

AI 1

Sensor Type:

Temperature Sensor

Osh:

20

Osl:

4

Unit:

°C

Show OSD:

☐

Save

Cancel

No	Port Type	Channel ID	Sensor Type	Edit	Delete
1	RS485	1	Temperature Sensor		
2	RS485	2	Humidity Sensor		
3	RS485	3	CO2		

表41. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Sensor ID	設定したいセンサー ID を選択します。センサー ID の数は、センサーが持つデータの種類によって異なり、ID とデータは 1 対 1 の対応関係にあります。
Port Type	実際の状況に応じて適切なポートタイプを選択してください。RS485、GPIO、AI が利用可能です。  注 : LoRa ノードのみ ;
Channel ID	設定するチャンネルIDを選択してください。各インターフェースには8つのチャンネルIDが用意されています。
Osh	デバイスの範囲の上限値です。  注 : LoRa ノードの AI のみ ;
Osl	デバイスの範囲の最小値です。  注 : LoRa ノードの AI のみ ;
Sensor Type	センサータイプの設定です。以下に示すように、一般的に使用されるセンサータイプがいくつかあります : または、カスタマイズすることも可能です:
Sign	チェックマークは、値にプラスまたはマイナスの符号があることを示します。

パラメーター	機能 説明
Decimal Place	小数点の設定です。例えば、1を入力すると、小数点を1つ左に移動し、小数になります。
Unit	データ単位の設定です。ここでは一般的な単位が用意されていますが、ユーザーはカスタマイズすることもできます。
Show OSD	以下の図のように、この機能を有効にすると、検出されたデータを画面に表示できます。 

 注：

- チャンネル ID および Sign は、エンドデバイスと同じである必要があります。
- 小数点以下の桁数は、センサーの特性に応じて設定します。たとえば、Milesight 温度センサーを使用する場合、正しい温度を取得するには、この値を 1 に設定する必要があります。

ステップ 5 : [] をクリックして、エンドデバイス管理の設定を変更できます。

End Device Management

Device Name:

Device EUI:

Device-Profile:

Class A-OTAA

Edit

Frame-counter Validation:

☐

Application Key:

5572404c696e6b4c6f5261

Device Address:

Network Session Key:

Application Session Key:

Uplink Frame-counter:

Downlink Frame-counter:

Device Type:

Lora Sensor

Font Color:

Font Size:

Medium

Save

Device ID	Device Name	Device EUI	Device-Profile	Device Type	Battery	Last Seen	Activation	Sensor	Edit	Delete
1	EM500-CO2-915M	24E124126B021036	Class A-OTAA	Lora Sensor	88%	1 minute ago	Yes	Sensor		

ステップ6: をクリックして、追加したデバイスを削除できます。

Device ID	Device Name	Device EUI	Device-Profile	Device Type	Battery	Last Seen	Activation	Sensor	Edit	Delete
1	EM500-CO2-915M	24E124126B021036	Class A-OTAA	Lora Sensor	88%	1 minute ago	Yes	Sensor		

アラーム設定

Milesight Network Camera

English | admin | Logout

Milesight

- Live Video
- Playback
- Basic Settings
- Advanced Settings**
 - Storage
 - Security
 - SIP
 - IoT**
 - Logs
- Event
- System
- Maintenance

Advanced Settings >> IoT

Device Settings: Alarm Setting

Alarm Rules: (Alarm Rule 1) v
 Enable: ☐
 Effective to Sensor: Edit

Schedule Settings

Day	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
Sun																									
Mon																									
Tue																									
Wed																									
Thu																									
Fri																									
Sat																									

Edit

Alarm Action

Save Into Storage: ☐ File Format: (Please mount storage device.)

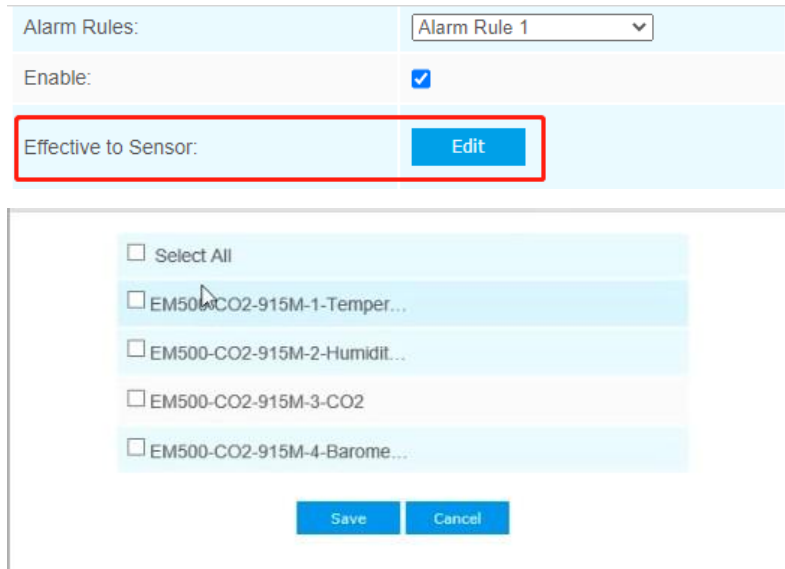
Upload Via FTP: ☐ File Format: (Please enable the Email.)

Upload Via Email: ☐ File Format: (Please enable the Email.)

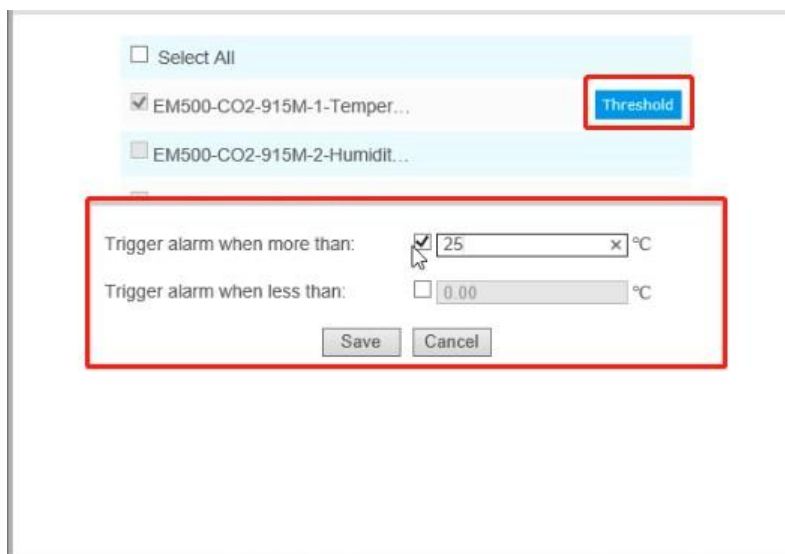
ステップ1 : 設定したいアラームルールを選択し、4種類のルールを設定できます。

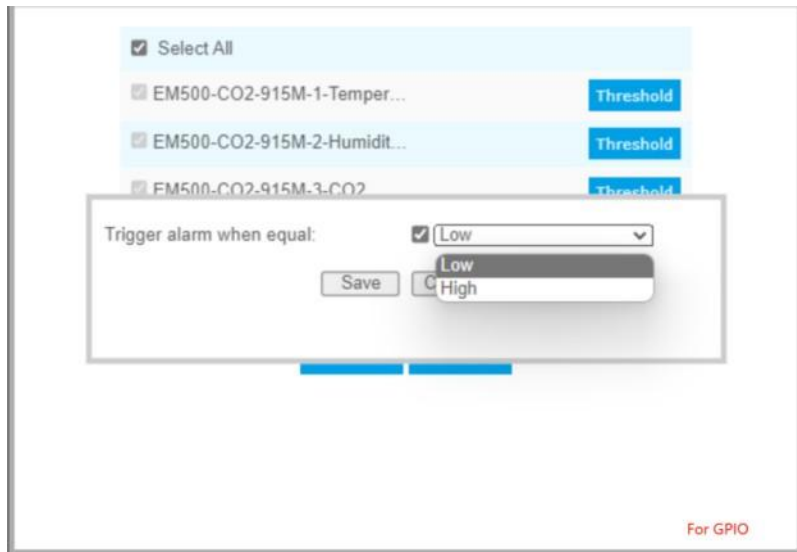
ステップ2 : アラームルールを有効にするには、チェックボックスをオンにします。

ステップ3 :  をクリックして、アラーム対象のセンサーを選択します。

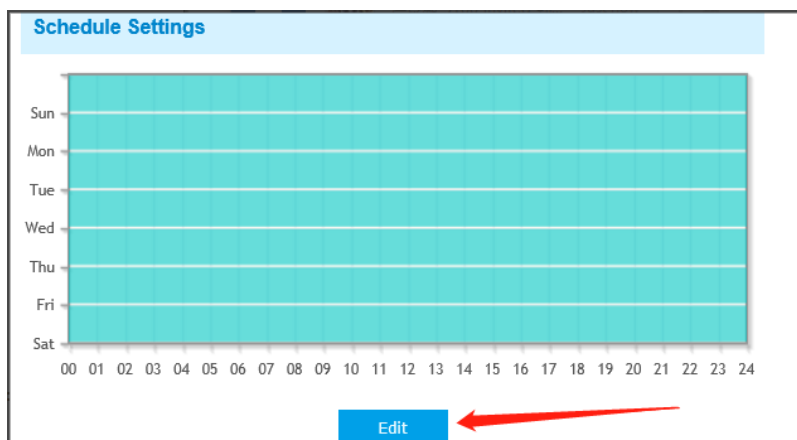


ステップ 4 : 選択したセンサーのしきい値を設定します。データがしきい値に達すると、アラームが作動します。上限しきい値と下限しきい値の両方を設定できます。上限しきい値または下限しきい値のみを設定することもできます。





ステップ5: [Edit](#) をクリックして、IoTのアラームスケジュールを設定します。



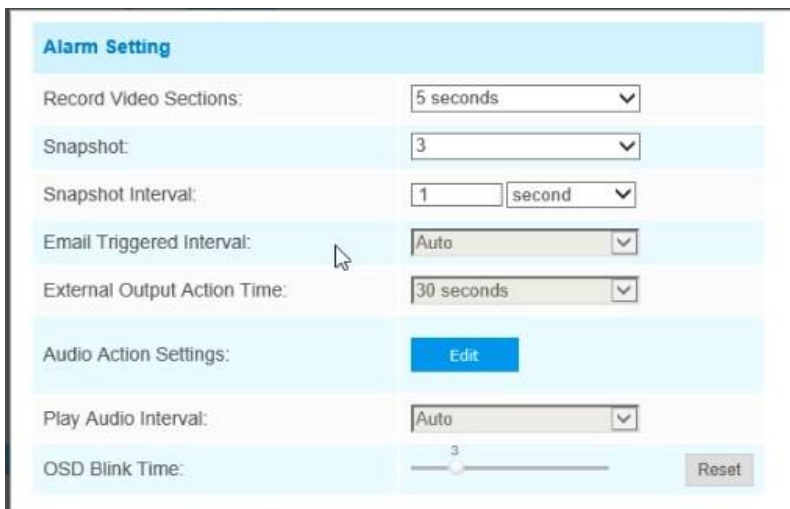
ステップ6: アラームアクションを設定します。

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼ (Please enable the Email.)
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐
OSD Blink:	☒ (Please check the Show OSD.)

表42. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Save Into Storage	アラーム記録ファイルを SD カードまたは NAS に保存します。
Upload Via FTP	記録ファイルをFTP経由でアップロードします。
Upload Via Email	ファイルをメールでアップロードします。
External Output	カメラに外部出力が搭載されている場合、トリガーの持続時間を設定した後、アクションを有効にすることができます。
Alarm to SIP Phone	SIP機能を有効にすると、SIP電話への通話をサポートします。
HTTP Notification	指定したHTTP URLにアラーム通知を表示する機能に対応しています。
OSD Blink	センサー設定ページの「OSDを表示」がチェックされている場合、アラームがトリガーされるとOSDが点滅します。

ステップ 7: アラーム設定を設定します。

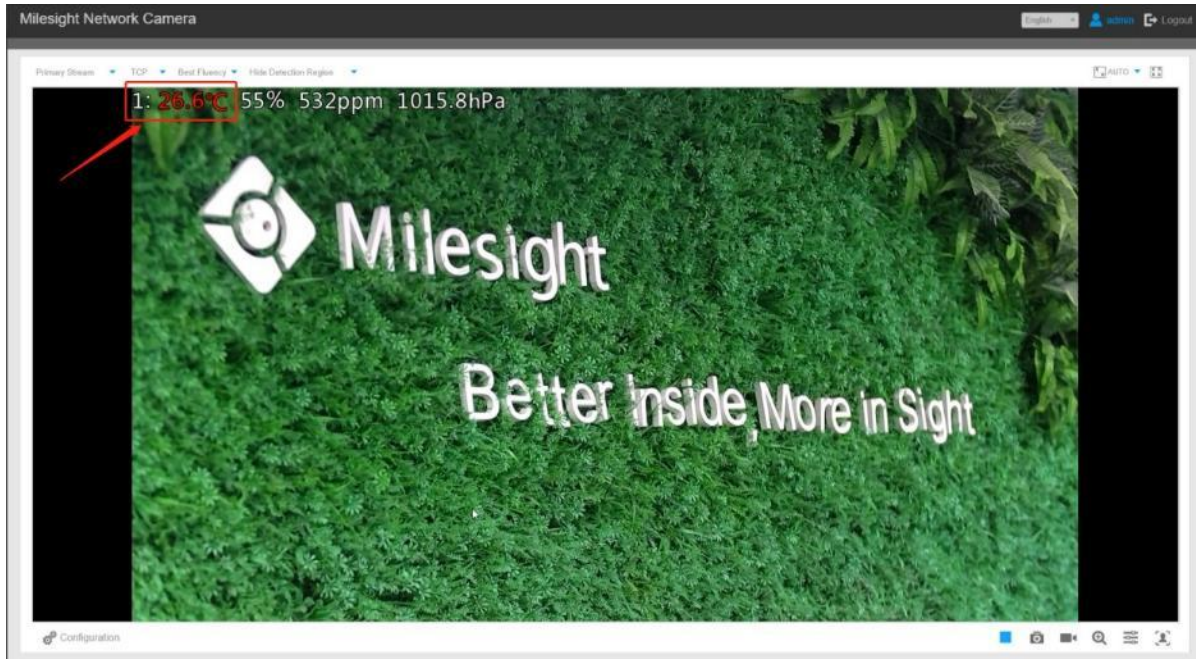


The screenshot shows the 'Alarm Setting' configuration page. It contains several settings with dropdown menus or input fields: 'Record Video Sections' is set to '5 seconds'; 'Snapshot' is set to '3'; 'Snapshot Interval' is set to '1 second'; 'Email Triggered Interval' is set to 'Auto'; 'External Output Action Time' is set to '30 seconds'; 'Audio Action Settings' has an 'Edit' button; 'Play Audio Interval' is set to 'Auto'; and 'OSD Blink Time' is set to '3' with a slider bar and a 'Reset' button.

表43. ボタンの説明

パラメーター	機能説明
Record Video Sections	6つの異なる期間が利用可能です（5秒、10秒、15秒、20秒、25秒、30秒）。
Snapshot	スナップショットの枚数、1～5枚です。
Snapshot Interval	スナップショットを1つ以上選択しない限り、編集できません。
Email Triggered Interval	自動 / 10秒 / 20秒 / 40秒 / 60秒 / 100秒 / 5分 / 15分 / 30分 / 1時間 / 8時間 / 12時間 / 24時間から選択可能です。
External Output Action Time	アラームが継続する時間です。アラームアクションで外部出力を有効にしない限り、編集できません。
Audio Action Settings	異なるオーディオファイルとアクション時間を異なる時間にトリガーするオーディオスケジュールを設定します。これはアラームアクションに対応しています。
Play Audio Interval	自動 / 10秒 / 30秒 / 1分 / 5分 / 10分から選択できます。
OSD Blink Time	OSDの点滅時間を設定できます。1～10が利用可能です。

たとえば、アラームアクションが3秒間隔でOSD点滅に設定されている場合、データがしきい値に達すると、アラームが作動し、ライブビューインターフェースでOSDが点滅します。



5.5.5 ログ

ログには、ウェブ経由でカメラにアクセスした日時とIPアドレスに関する情報が含まれています。

Show entries

Time	Main Type	Sub Type	Param	User	IP	Detail
2017-09-04 13:35:41	Operation	RTSP Session Stop	-	-	192.168.8.50	stop one session.
2017-09-04 13:29:18	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.8.50	start one session.
2017-09-04 13:29:14	Operation	RTSP Session Stop	-	-	192.168.8.50	stop one session.
2017-09-04 13:28:54	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.8.50	start one session.
2017-09-04 13:28:53	Operation	Login Remotely	-	admin	192.168.8.50	-
2017-09-04 05:50:00	Information	IR-CUT On	-	-	-	-
2017-09-03 18:35:25	Information	IR-CUT Off	-	-	-	-
2017-09-03 05:43:58	Information	IR-CUT On	-	-	-	-
2017-09-02 18:37:57	Information	IR-CUT Off	-	-	-	-
2017-09-02 05:41:22	Information	IR-CUT On	-	-	-	-
2017-09-01 18:43:37	Information	IR-CUT Off	-	-	-	-
2017-09-01 17:00:57	Operation	RTSP Session Stop	-	-	192.168.8.50	stop one session.
2017-09-01 16:55:24	Event	Motion Detection Stop	-	-	-	-
2017-09-01 16:55:19	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.8.50	start one session.
2017-09-01 16:55:17	Operation	RTSP Session Stop	-	-	192.168.8.50	stop one session.
Showing 1 to 30 of 1,221 entries						
First Previous 1 2 3 4 5 ... 41 Next Last						

Log Search

Main Type:

Sub Type:

Start Time:

End Time:

Save Period:

表 44. ボタンの説明

パラメーター	機能 説明
Main Type	メインログには、 [All Type] 、 [Event] 、 [Operation] 、 [Information] 、 [Exception] の 5 種類があります。
Sub Type	メインタイプを選択した上で、サブタイプを選択してログの範囲を絞り込みます。
Start Time	ログの開始時刻
End Time	ログの終了時刻です。
Log Export	ログをエクスポートします
Save Period	ログの保存期間を設定します。8つのオプションから選択できます： Permanent 保存と 30/60/120/180/240/300/360 日
Go	ログのページ数を入力してください

5.6 イベント

5.6.1 基本イベント

モーション検出

ステップ1: 動作検出を有効にするにはチェックボックスをオンにしてください;

 **注**: 現在、モーション検出はバンドルストリームモードの1O、1P、および4Rでのみサポートされています。

ステップ2: 検出モードを選択します;

ステップ3: モーション領域を設定します;

Enable Motion Detection:	☐
Detection Mode:	Normal Mode ▼
Sensitivity:	<input type="range" value="5"/>
Onvif Motion ActiveCells Settings:	Normal ▼
Enable Motion Analysis:	☐

Set Motion Region

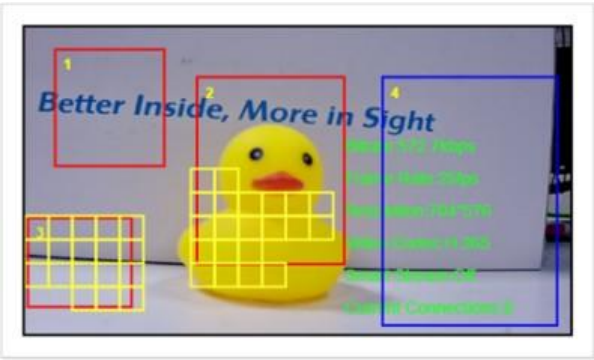


Select All
Clear All

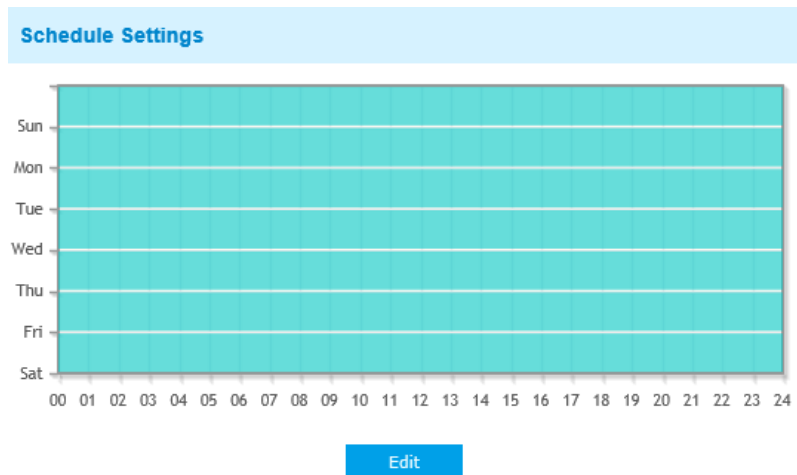
Note: Please draw the screen for setting!

表45. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Enable Motion Detection	チェックボックスをオンにすると、モーション検出機能が有効になります
Detection Mode	オプションとして「標準モード」と「詳細モード」が利用可能です。詳細モードを選択した場合、ユーザーは最大4つの検出領域を設定し、各検出領域の感度を調整できます。
Onvif Motion ActiveCells Settings	オプションとして「標準」と「互換」が利用可能です。サードパーティ製ソフトウェアのモーション領域の設定が当社の設定と異なる場合、このオプションを「互換」に設定してください

パラメーター	機能 説明
Enable Motion Analysis	モーション分析を有効にすると、動きのある領域が黄色に表示され、ユーザーが動きが発生した正確な位置を確認できます。  注：ライブビューでHTTPが選択されている場合のみ対応しています。 
Select All	ボタンをクリックすると、領域内のモーションが検出されます
Clear All	ボタンをクリックすると、以前に描画された領域が削除されます
Sensitivity	感度レベル、1～10

ステップ4：動作検出スケジュールを設定します；



ステップ5：アラーム動作を設定します；

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record v (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record v
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot v (Please enable the Email.)
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record v (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record v
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot v (Please enable the Email.)
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐
White LED:	☐
PTZ Motion:	☒

表46. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Save Into Storage	アラーム記録ファイルをSDカードまたはNASに保存します
Upload Via FTP	FTP経由で記録ファイルをアップロードします
Upload Via SMTP	SMTP経由でファイルをアップロードします
External Output	カメラに外部出力が搭載されている場合、トリガーの持続時間を設定後にアクションを有効にできます

パラメーター	機能 説明
Play Audio	カメラにスピーカーが搭載されている場合、オーディオスピーカーを設定後にアクションを有効にできます
Play Buzzer	カメラにブザーが搭載されている場合、チェックボックスをオンにすることで機能を有効にできます。
Alarm to SIP Phone	SIP 機能有効化後に SIP 電話を呼び出すサポート。
HTTP Notification	指定したHTTP URLにアラーム通知をポップアップ表示する機能をサポートしています。  注 • 同じイベントに追加できるHTTP通知は最大3件までです。 • HTTP通知はBasicおよびDigest認証に対応しています。
White LED	アラームがトリガーされると、検出された対象物を警告するためにホワイトLEDが点灯します（Mini PTZ Bulletのみ）。
PTZ Motion	モーションアラームがトリガーされると、PTZモーションはカメラのレンズをモーションがトリガーされた位置に移動し、ズームインします。
Call Preset/Call Patrol/Call Pattern (only for External Input)	モーションアラームがトリガーされると、指定されたプリセット/パトロール/パターンを呼び出すことができます。

 **注意：**HTTP通知機能は、カメラがVMSソフトウェアにメッセージを送信する一つの方法に過ぎません。メッセージの意味を定義し、受信後の処理を決定するのはVMSです。したがって、当社のカメラのHTTP通知機能を使用するには、VMSがこのメッセージ形式をサポートしている必要があります。

ここでは、Digifortを例にHTTP通知機能について説明します。

以下は、Digifort VMSと当社のカメラでのHTTP通知の設定手順の詳細です。

ステップ1：アラームを有効にし、モーション領域と検出スケジュールを設定します；

ステップ2：アラームアクションとしてHTTP通知を選択し、各フィールドを入力します。その後、アラーム設定を保存します。同じイベントに最大3つのHTTP通知を追加できます

HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1 ▼
Enable:	☒
Trigger Interval:	5 (0-900) s
URL:	192.168.8.75:8601/Interface/Ca meras/MotionDetection/Notify? Camera=annie
User Name:	admin
Password:	●●●●●●●●

HTTPユーザー名 : admin (カメラのユーザー名)

HTTP パスワード: (カメラのパスワード)

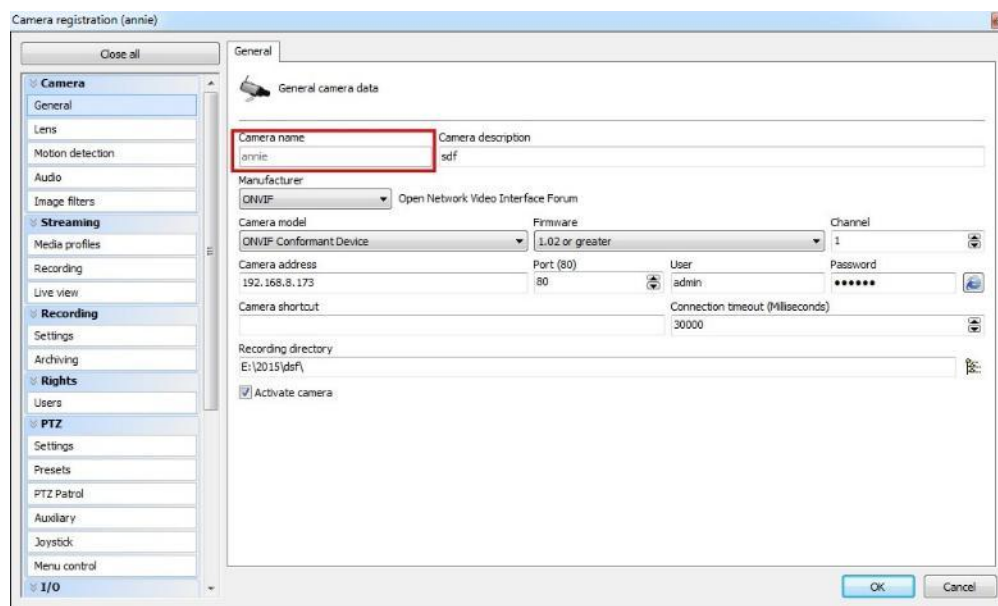
HTTP通知URL :

<http://IP:8601/Interface/Cameras/MotionDetection/Notify?Camera=CameraName>

IP は、Digifort がインストールされているPCのIPアドレスを指します。

8601 は Digifort でのモーション信号のポート番号です。

カメラ名は、Digifort VMS で設定したカメラ名です。以下の図を参照してください。

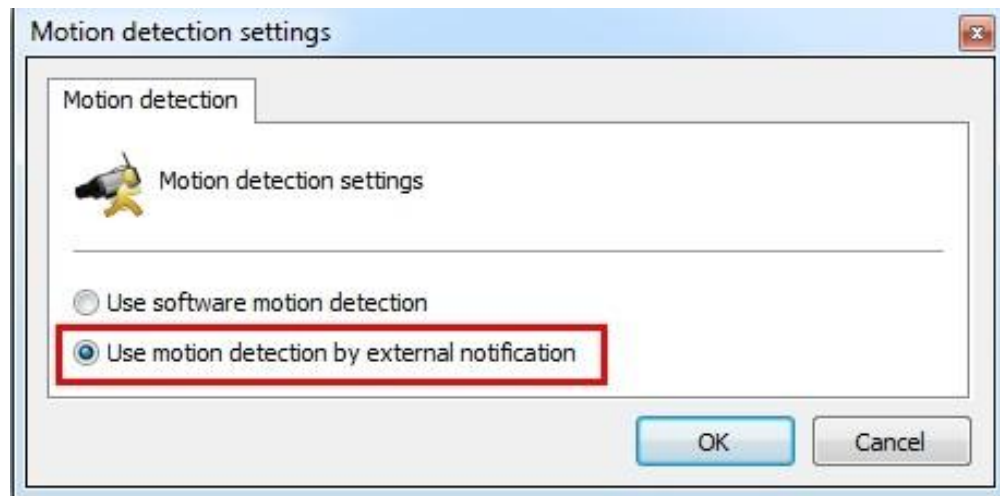


例:

[http://192.168.8.75:8601/Interface/Cameras/MotionDetection/Notify?Camera=annie,](http://192.168.8.75:8601/Interface/Cameras/MotionDetection/Notify?Camera=annie)

このURL形式はDigifort VMSで正確にサポートされていますので、カメラに上記のように設定すれば正常に動作します。

ステップ3：外部通知によるモーション検出を使用を選択します；



ステップ4: 成功した場合、カメラがモーション検出アラーム状態になると、監視画面でデバイスアイコンが黄色に変わります；



したがって、この機能を正常に使用できるかどうかは、VMS ソフトウェアが決定します。

ステップ5: アラーム設定を設定します。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot:	3 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	30 seconds ▼
Audio Action Settings:	Edit
Play Audio Interval:	Auto ▼

[Save](#)

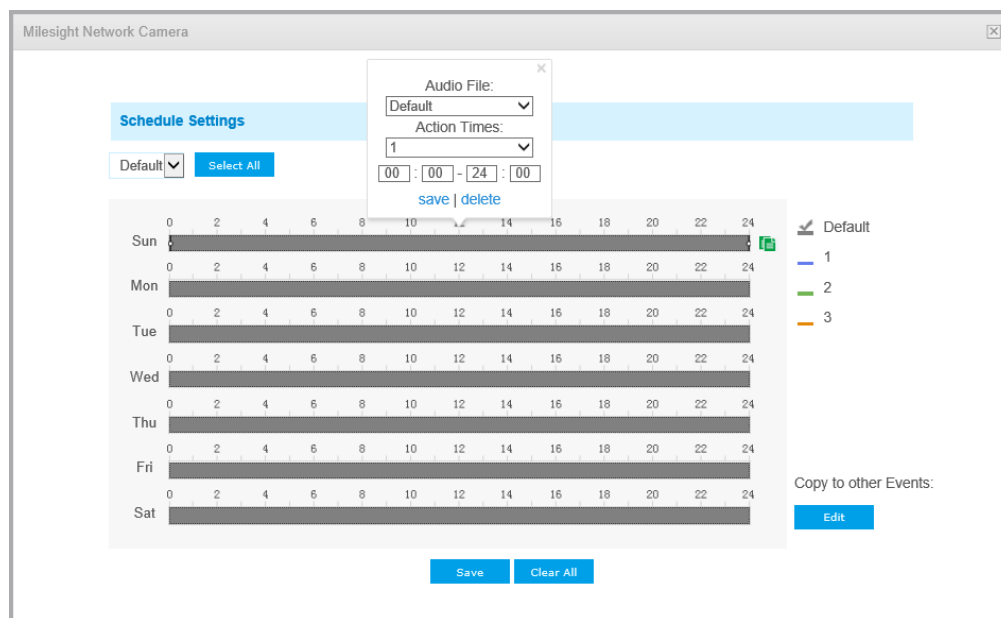
表47. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Record Video Sections	6つの異なる期間が利用可能です（5、10、15、20、25、30秒）
Snapshot	スナップショットの枚数、1～5枚
Snapshot Interval	スナップショットを1つ以上選択しない限り編集できません
External Output Action Time	アラームが継続する時間。アラームアクションで外部出力を有効にしない限り、編集できません。
Audio Action Settings	オーディオスケジュールを設定して、アラームアクションに対応する異なる時間に異なるオーディオファイルとアクション時間をトリガーします。
Play Audio Interval	自動/ 10秒/ 30秒/ 1分/ 5分/ 10分から選択可能です。
White LED Flash Mode	Twinkle : ホワイトLEDは回復するまで連続点滅します； Always : ホワイトLEDは回復するまで常に点灯します。

パラメーター	機能 説明
White LED Flash Time	点滅の持続時間です。 1秒から10秒の間で点滅； 常に1秒から60秒の間で点滅します。
Proportional Zoom Times	PTZモーションがトリガーされた際に比例ズームをサポートします。
PTZ Motion Recovery Time	1つのアラームの持続時間。フラッシュ時間よりも長くなければなりません。

注

- 回復時間はフラッシュ時間より短くしないでください。
- オーディオアクションのスケジュールをカスタマイズできます。



オーディオアラーム

オーディオアラーム機能を使用する前に、オーディオを有効にしてください。

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼ (Please enable the Email.)
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐

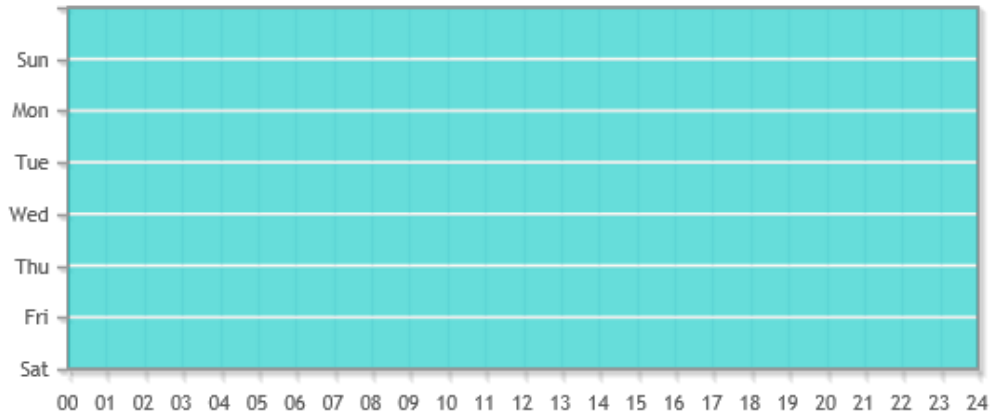
Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot:	3 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	30 seconds ▼
Audio Action Settings:	Edit
Play Audio Interval:	Auto ▼

Save

項目の意味については、モーション検出の章の表を参照してください。ここでは繰り返し説明しません。

外部入力

Enable External Input:

☐**Schedule Settings**[Edit](#)**Alarm Action**

Save Into Storage:

☐ File Format: Record ▼
(Please mount storage device.)

Upload Via FTP:

☐ File Format: Record ▼

Upload Via Email:

☐ File Format: Snapshot ▼
(Please enable the Email.)

External Output:

☐ (Please configure the External Output
Action Time.)

Play Audio:

☐ (Please enable the Audio Speaker.)

Alarm to SIP Phone:

☐ (Please open the SIP.)

HTTP Notification:

☐

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot:	3 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	30 seconds ▼
Audio Action Settings:	Edit
Play Audio Interval:	Auto ▼

[Save](#)

項目の意味については、モーション検出の章の表を参照してください。ここでは繰り返し説明しません。

外部出力

External Output	
Normal Status:	☐ Open ☒ Grounded
Current Status:	Grounded

[Test](#)
[Save](#)

Current Statusが**Normal Status**と異なる場合、アラームが発生します。まず、**Normal Status**を設定してください。

例外

Alarm Type

Enable Record Failed Alarm:

Network Disconnected

IP Address Conflict

Record Failed

SD Card Full

SD Card Uninitialized

SD Card Error

No SD Card

Alarm Action

Upload Via FTP:

☐ File Format: Record

Upload Via Email:

☐ File Format: Snapshot
(Please enable the Email.)

External Output:

☐ (Please configure the External Output Action Time.)

Play Audio:

☐ (Please configure the Audio Action Settings and Audio Interval.)

Alarm to SIP Phone:

☐ (Please open the SIP.)

HTTP Notification:

☐

Alarm Setting

Record Video Sections:

5 seconds

Snapshot:

3

Snapshot Interval:

1second

Email Triggered Interval:

Auto

External Output Action Time:

30 seconds

Audio Action Settings:

Edit

Play Audio Interval:

Auto

Save

表48. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Alarm Type	Network Disconnected、IP Address Conflicted、Record Failed, SD Card Full、SD Card Uninitialized、 SD Card Error、No SD Card 選択したアラームタイプを有効にするには、チェックボックスをオンにしてください

パラメーター	機能 説明
Alarm Action	Save Into Storage : アラーム記録ファイルをSDカードに保存します Upload Via Email : アラーム記録ファイルを E メール経由でアップロードします。このオプションは、記録フェイル、SD カードがいっぱい、SD カードが初期化されていない、SD カードエラー、および SD カードがない場合に利用できます。 External Output: カメラに外部出力機能が搭載されている場合、トリガー期間を設定後にこのアクションを有効にできます Play Audio : カメラにスピーカーが搭載されている場合、オーディオスピーカーを設定後にこのアクションを有効にできます Alarm to SIP Phone : SIP機能を有効にした後、SIP電話に電話をかけることができます。 HTTP Notification: HTTP通知を有効にします HTTP Notification URL : HTTP通知URLには、URL1、URL2、URL3の3種類があります。 • Enable : HTTP通知URLの種類を有効にするには、チェックボックスをオンにしてください。 • Trigger Interval: カメラが情報を第三者デバイスに送信するトリガー間隔を設定します。 • HTTP Method: HTTP プッシュメソッドには、Post と Get の 2 種類があります。 •  URL : カメラは、API URL を使用して、顔検出情報がキャプチャされたときに、バックエンドデバイスに顔検出情報を送信することができます。API URL の形式は、サーバー、ポート、その他の必要な形式など、バックエンドデバイスによって異なります。 注 : HTTP Post の HTTPS をサポートしています。 • User Name : 受信者名。 • Password : 受信者のパスワードです。 Play Buzzer : カメラにブザーが搭載されている場合、チェックボックスをオンにすると機能を有効にできます。 White LED : カメラにホワイトLEDが搭載されている場合、アラームがトリガーされた際に警告信号として点滅します (Mini PTZ Bulletのみ)

パラメーター	機能 説明
Alarm Setting	Record Video Sections : 6つの異なる期間が選択可能です (5、10、15、20、25、30 秒) Snapshot : スナップショットの枚数 (1~5枚) Snapshot Interval : スナップショットを1より多く選択した場合のみ編集可能です Email Triggered Interval : 自動 / 10秒 / 20秒 / 40秒 / 60秒 / 100秒 / 5分 / 15分 / 30分 / 1時間 / 8時間 / 12時間 / 24時間から選択可能です。これは、[Record Failed]、[SD Card Full]、[SD Card Uninitialized]、[SD Card Error]、または [No SD Card] を選択し、関連するアラームタイプの [E メールでアップロード] チェックボックスをオンにした場合のみ設定できます。 External Output Action Time : アラームが継続する時間です。この設定は、アラームアクションで「外部出力」を最初に有効にした場合のみ編集可能です。 Audio Action Settings : 異なる時間に対応する異なるオーディオファイルとアクション時間をトリガーするオーディオスケジュールを設定します。これはアラームアクションに対応しています。 Play Audio Interval : 自動/10秒/30秒/1分/5分/10分から選択可能です。この設定は、まず「オーディオ再生」チェックボックスにチェックを入れた場合のみ編集可能です。 White LED Flash Mode: TwinkleとAlwaysが利用可能です。 White LED Flash Time : フラッシュの持続時間です。Twinkleは1秒から10秒、Alwaysは1秒から60秒です White LED Effective Mode : 常時点灯、照明環境、およびカスタマイズが選択できます。常時点灯モードでは、白色 LED を常に点灯したままにすることができます。照明環境モードでは、現在の照明の明るさに応じて白色 LED を点灯する有効光強度を設定できます。カスタマイズモードでは、白色 LED を制御するための開始時間と終了時間を設定できます。

 **注意:** 事前にメール情報を設定してください。

5.6.2 VCA イベント

スマートイベントは、Milesight VCA（ビデオコンテンツ分析）テクノロジーを使用しており、Milesight ネットワークカメラに高度で正確なスマートビデオ分析を提供します。AIチップを搭載した新世代のビデオ分析は、人間、車両、およびオブジェクトのパターン認識モデルの膨大な属性を認識することができます。車両や人間に関連するイベントはセキュリティ監視において非常に重要であるため、効率を最適化するためにフィルタリングがサポートされています。

注

- Milesight ネットワークカメラには、AI カメラと非 AI カメラがあります。
- フィッシュアイカメラのスマートイベントは、バンドルストリームモードの10モードおよびマルチチャンネルモードの10、103R、101P3Rモードでのみサポートされています。

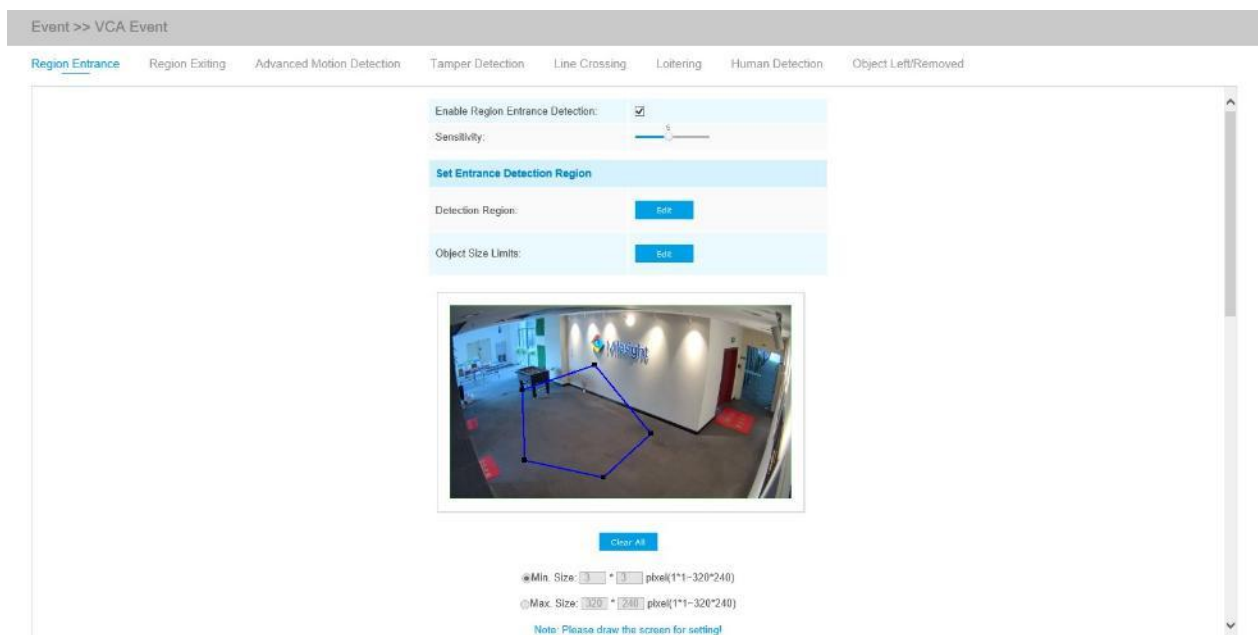
- AIシリーズにおける-

PAモデルでは画像回転機能はサポートされていません。カメラをインストールする際は、デワープ後に画像が前方に向けた状態で表示されることを確認してください。

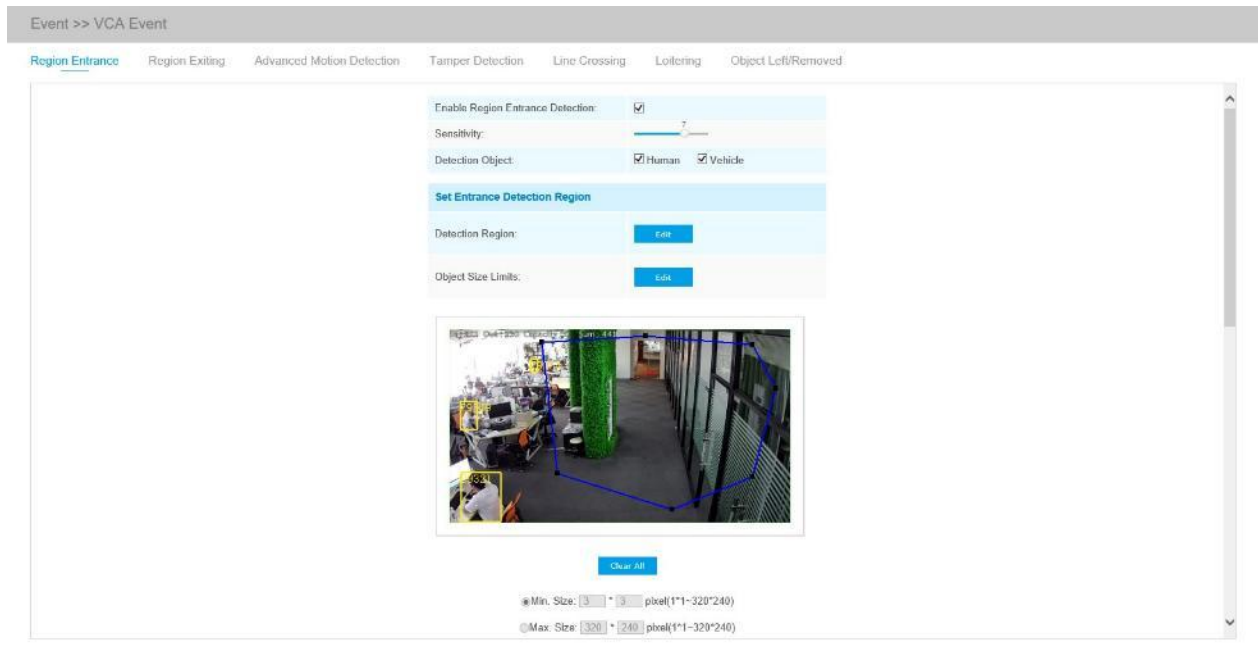
領域進入

領域進入は、不審な人物や物体の進入による潜在的な脅威から特定の領域を保護するのに役立ちます。領域進入を有効にすると、選択した領域に物体が進入した際にアラームがトリガーされます。

領域進入インターフェース (AIカメラ以外)



領域進入インターフェース (AIカメラ用)



領域進入インターフェース (AI非対応カメラ用)

地域進入インターフェース (AIカメラ用)

ステップ1：地域進入検出を有効にし、検出感度を設定します；

検出対象を選択します。人間または車両の属性をチェックすると、カメラは人や車両を検出して関連イベントをトリガーするとアラームを鳴らします。

注：すべてのAIカメラがこの機能に対応しています。

ステップ2：入口検出領域と対象物のサイズ制限を設定してください；

ステップ1：領域の入口検出を有効にし、検出感度を設定してください；

検出対象を選択します。人間または車両の属性をチェックすると、カメラは人間または車両を検出するとアラームを発し、関連するイベントをトリガーします；

注：すべてのAIカメラがこの機能に対応しています。

ステップ2：入口検出領域を設定します。**NormalMode**を選択した場合、現在の領域の検出領域を設定できます。**AdvancedMode** (PTZシリーズのみ) を選択した場合、異なるPTZプリセット (現時点ではプリセット1~4のみ対応) の検出領域を設定できます。また、対象物のサイズ制限を設定します。

ステップ1：領域入口検出を有効にし、検出感度を設定します；

ステップ2：入口検出領域と対象物サイズ制限を設定します；

表49. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Minimum Size	画面を描画するか、ピクセル数を入力して、検出対象オブジェクトの最小サイズを設定します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは 3×3 です。
Maximum Size	画面を描画するか、ピクセル数を入力して、検出対象の最大サイズを設定します。対象がこのサイズを超える場合、検出されません。デフォルトの最大サイズは 320×240 です。

ステップ3: 検出スケジュールを設定します；

ステップ4: アラームアクションを設定します；

ステップ4：アラームアクションを設定します。PTZ自動追跡と領域進入検出を有効にした場合、カメラは自動的にオブジェクトを追跡し、選択した領域にオブジェクトが進入するとアラームをトリガーします；

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1 ▼
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post ▼
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	
PTZ Auto Tracking:	☒ (Please enable the Auto Tracking.)

ステップ5：アラーム設定を設定します。External Outputを有効にし、External Output Action Timeを「Constant」を選択した場合、対象物が選択した領域に入ると、アラームが解除されるまで外部出力アクションのアラーム時間は常に一定になります。

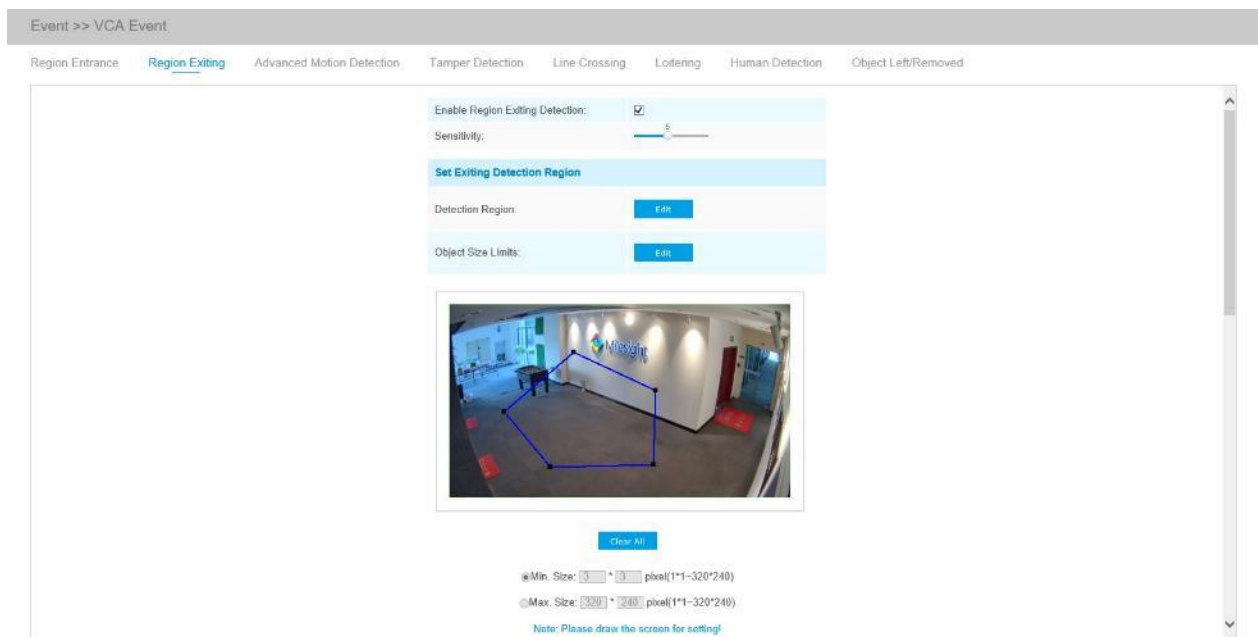
Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot:	3 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant s(1~999)
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto ▼

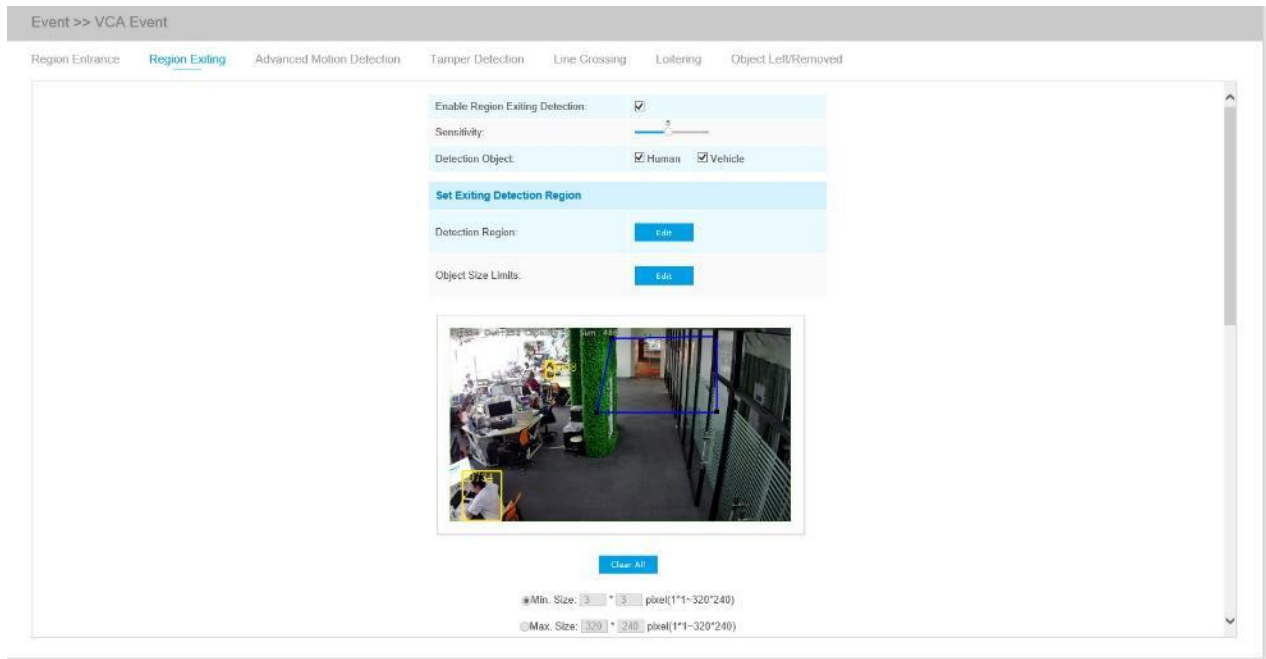
注意：

- まず、PTZ インターフェースで自動追跡を有効にしてください。
- PTZ自動追跡はデフォルトでチェックされています。

領域退出

領域退出は、監視対象領域から人またはオブジェクトが退出しないことを確認するための機能です。人またはオブジェクトの退出はアラームをトリガーします。

領域退出インターフェース (AIカメラ以外)**領域退出インターフェース (AI カメラ用)**



領域退出インターフェース (AI非対応カメラ用)

領域退出インターフェース (AI非対応カメラ用)

ステップ1：領域退出検出を有効にし、検出感度を設定します；

検出対象を選択します。人間または車両の属性をチェックし、カメラが人間または車両を検出し、関連するイベントをトリガーするとアラームが鳴ります；

 **注：**すべてのAIカメラがこの機能に対応しています。

ステップ2：退出検出領域と対象物のサイズ制限を設定します。

ステップ2：退出検出領域を設定します。**NormalMode**を選択した場合、現在の領域の検出領域を設定できます。**AdvancedMode** (PTZシリーズのみ) を選択した場合、異なるPTZプリセット (現在、プリセット1~4のみ対応) の検出領域を設定できます。また、対象物のサイズ制限を設定します；

ステップ3：検出スケジュールを設定します；

ステップ4：アラームアクションを設定します。PTZ自動追跡と領域退出検出を有効にすると、カメラは対象物を自動的に追跡し、監視領域から人または対象物が退出するとアラームをトリガーします；

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record v (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record v
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot v
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1 v
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post v
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1 ▼
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post ▼
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	
PTZ Auto Tracking:	☒ (Please enable the Auto Tracking.)

ステップ5：アラーム設定を設定します。External Outputを有効にし、External Output Action Timeを「Constant」に設定した場合、選択した領域からオブジェクトが退出すると、アラームが解除されるまで外部出力アクションのアラーム時間は常に一定になります。

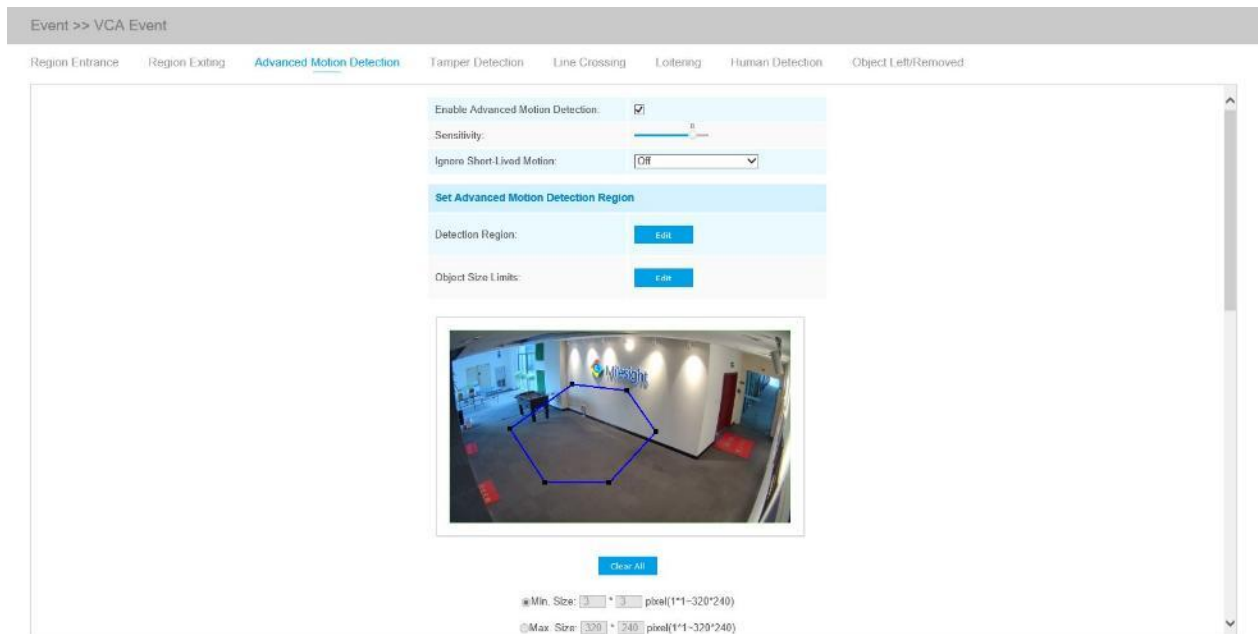
Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot:	3 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant s(1~999)
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto ▼

高度なモーション検出

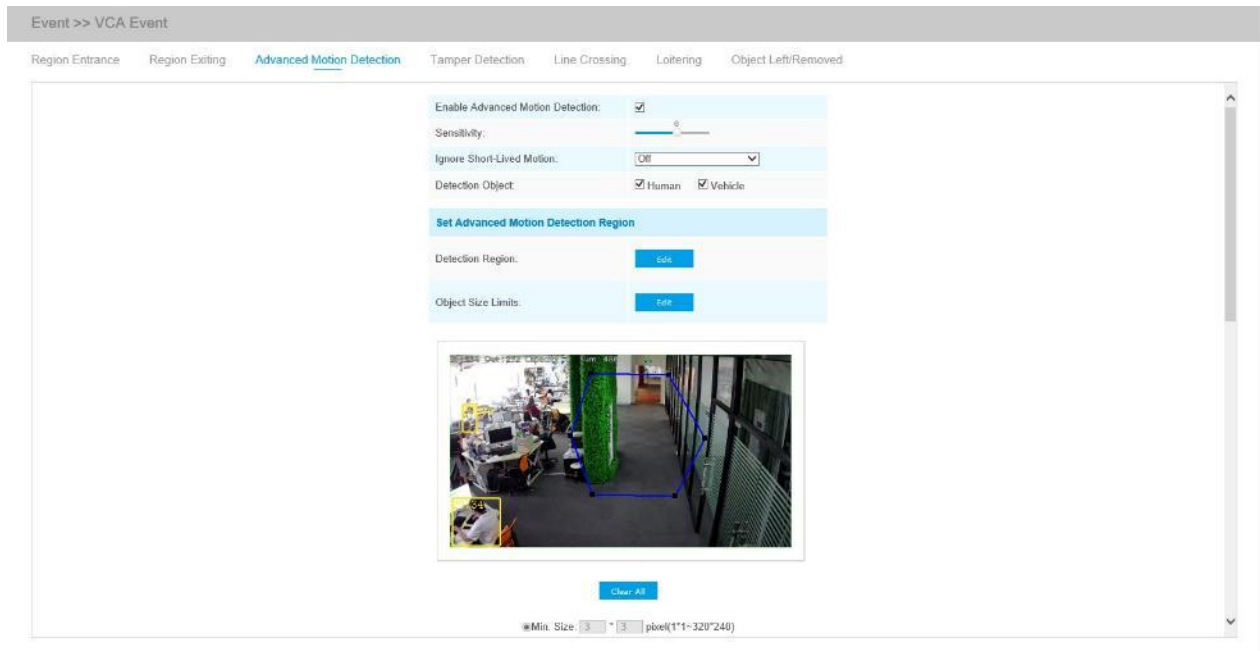
従来のモーション検知とは異なり、Milesight

の高度なモーション検知は、照明の変化、樹木の自然な動きなどの「ノイズ」をフィルタリングすることができます。選択したエリア内でオブジェクトが移動すると、アラームが作動します。

高度なモーション検出インターフェース (AI非対応カメラ用)



高度なモーション検出インターフェース (AIカメラ用)



高度なモーション検出インターフェース (AI カメラ用)

高度なモーション検出インターフェース (AIカメラ用)

ステップ1：領域検出を有効にし、検出感度を設定します；

ステップ2：短時間動作無視時間を設定します。時間を設定した場合、対象物の動作時間が設定時間以内の場合、アラームは発動しません；

検出対象を選択します。人間または車両の属性をチェックし、カメラが人間または車両を検出するとアラームが鳴り、関連するイベントがトリガーされます；

 **注：**すべてのAIカメラがこの機能に対応しています。

ステップ3：高度なモーション検出領域と対象物のサイズ制限を設定します；

ステップ3：高度な動き検出領域を設定します。**NormalMode** を選択した場合、現在の領域の検出領域を設定できます。**AdvancedMode** (PTZ シリーズのみ) を選択した場合、異なる PTZ プリセットの検出領域を設定できます（現時点ではプリセット 1~4 のみ対応）。また、オブジェクトのサイズ制限を設定します。

ステップ4：検出スケジュールを設定します。

ステップ5 : アラームアクションを設定します ;

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record v (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record v
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot v
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1 v
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post v
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	
PTZ Motion:	☐

ステップ6：アラーム設定を設定します。External Outputを有効にし、External Output Action Timeを「Constant」を選択した場合、選択した領域で設定した「Ignore Short-Lived Motion time（短時間動作無視時間）」を超えるオブジェクトの動作時間が継続すると、アラームが解除されるまで外部出力アクションのアラーム時間は常に一定になります。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto

注意：

- 感度は、異なる要件に応じてさまざまな動きを検出するように設定できます。感度レベルが低い場合、わずかな動きではアラームがトリガーされません。

- 短時間動作無視時間は、設定時間内の瞬時のオブジェクト動作による誤報を防止するためです。

改ざん検出

Tamper Detection は、カメラがピン트가合っていない、遮蔽されている、または移動されたなどの不正操作を検出するために使用されます。この機能は、上記のいずれかの動作が発生した場合、セキュリティ担当者に即時通知します。

The screenshot shows the 'Event >> VCA Event' configuration window. The 'Tamper Detection' tab is selected. The interface includes the following sections:

- Enable Tamper Detection:** A checkbox that is currently unchecked.
- Sensitivity:** A slider control set to level 5.
- Schedule Settings:** A calendar grid showing detection schedules for the days of the week (Sun to Sat) and hours (00 to 24). The grid is currently empty, and an 'Edit' button is located below it.
- Alarm Action:**
 - Save Into Storage:** Includes a checkbox and a 'File Format' dropdown menu set to 'Record'. A note below says '(Please mount storage device.)'.
 - Upload Via FTP:** Includes a checkbox and a 'File Format' dropdown menu set to 'Record'.
 - Upload Via Email:** Includes a checkbox and a 'File Format' dropdown menu set to 'Snapshot'. A note below says '(Please enable the Email)'.

ステップ1：改ざん検出を有効にし、検出感度を設定します；

ステップ2：検出スケジュールを設定します；

ステップ3：アラームアクションを設定します；

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	

ステップ4：アラーム設定を設定します。External Outputを有効にし、External Output Action Timeで「Constant」を選択した場合、不正操作が検出されると、アラームが解除されるまで外部出力アクションのアラーム時間は常に一定になります。

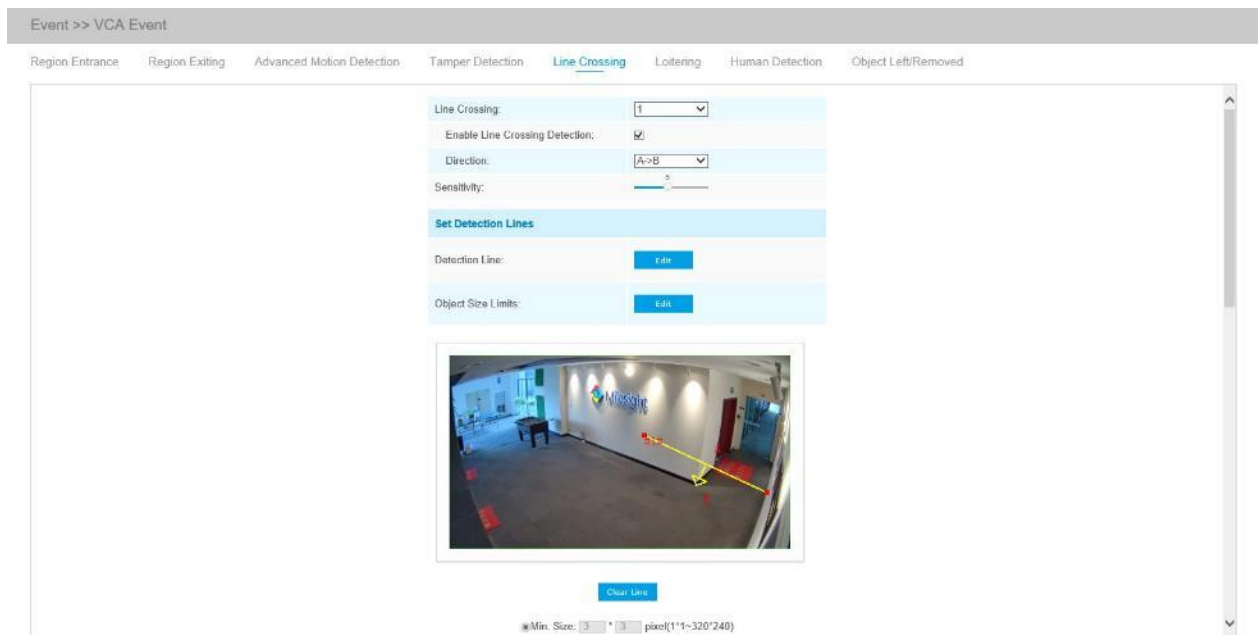
Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto

 注：このアルゴリズムは、改ざん検出機能でピント外れ検出をサポートしています。

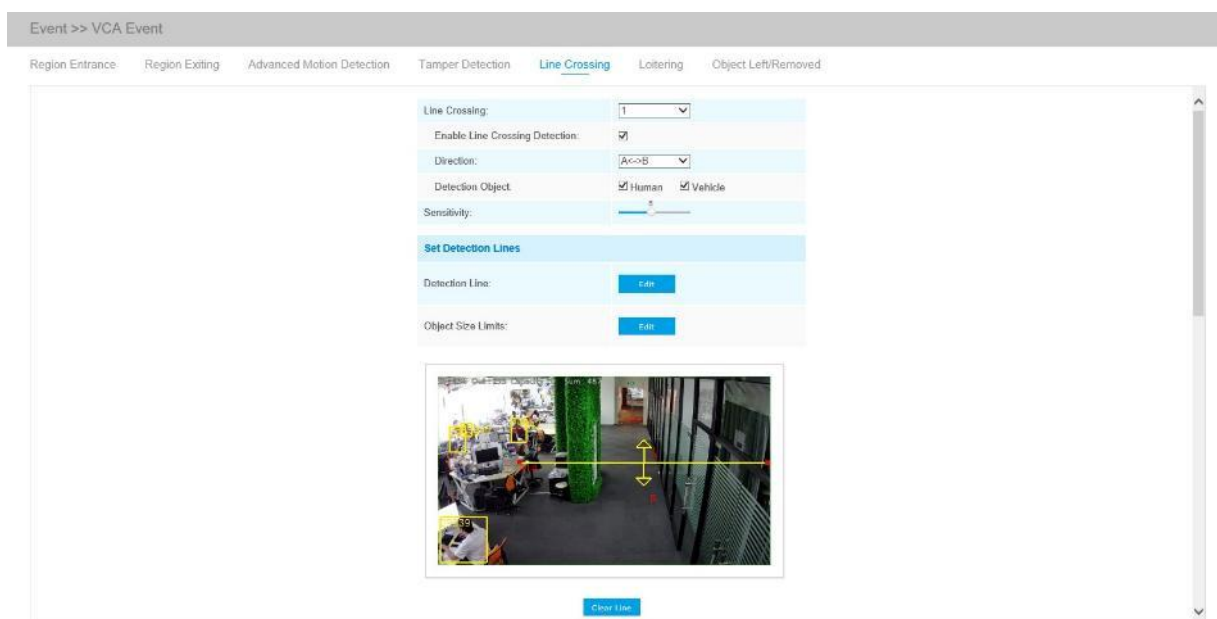
ラインクロス

ラインクロス検出は、ほとんどの室内および屋外環境で動作するように設計されています。カメラが定義された仮想ラインを横切るオブジェクトを検出するたびにイベントがトリガーされます。

ラインクロスインターフェース (AI非対応カメラ用)



ラインクロスインターフェース (AIカメラ用)



ラインクロスインターフェース (AI非対応カメラ用)

ラインクロスインターフェース (AIカメラ用)

設定手順は次のとおりです：

ステップ1: ライン番号を選択してください；

Line Crossing:	1 2 3 4
Enable Line Crossing Detection:	
Direction:	A->B ▼
Sensitivity:	5

ステップ2: ライン越え検出を有効にし、その方向を定義します；

Line Crossing:	1 ▼
Enable Line Crossing Detection:	☐
Direction:	A->B B->A A<->B
Sensitivity:	

検出対象を選択します。人間または車両の属性をチェックし、カメラが人間または車両を検出し、関連するイベントをトリガーするとアラームが鳴ります；

 **注:** すべてのAIカメラがこの機能に対応しています。

ステップ3: 検出感度を設定します；

ステップ4: 検出ラインを描画し、対象物のサイズ制限を設定します；

ステップ4: 検出ラインを描画します。**NormalMode**を選択した場合、現在のエリアの検出ラインを設定できます。**AdvancedMode** (PTZシリーズのみ) を選択した場合、異なるPTZプリセットごとに異なる検出ラインを設定できます (現在はプリセット1~4のみ対応)。また、対象物のサイズ制限を設定します。

ステップ5: 検出スケジュールを設定します；

ステップ6: アラームアクションを設定します。PTZ自動追跡を有効にすると、カメラは自動的に対象物を追跡し、定義された仮想ラインを横切る対象物を検出するとアラームをトリガーします；

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1 ▼
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post ▼
Snapshot:	☐
URL:	▲▼
User Name:	
Password:	

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	
PTZ Auto Tracking:	☒ (Please enable the Auto Tracking.)

ステップ7：アラーム設定を設定します。External Outputを有効にし、External Output Action Timeを「Constant」に設定した場合、オブジェクトが定義された仮想ラインを横切ると、アラームが解除されるまで外部出力アクションのアラーム時間は常に一定になります。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto

注：Milesight ネットワークカメラでは、一度に 4 本までのラインを設定できます。アラームをトリガーする方向モードは 3 種類から選択できます。「A→B」は、「A」側から「B」側にオブジェクトがラインを越えた場合にアラームがトリガーされることを意味します。「B→A」は逆です。「A↔B」は、どちらの側からでもオブジェクトがラインを越えた場合にアラームがトリガーされることを意味します。

徘徊

オブジェクトが特定の期間、定義されたエリアに留まっている場合、アラームが作動します。

徘徊インターフェース (AI非対応カメラ用)

Event >> VCA Event

Region Entrance Region Exiting Advanced Motion Detection Tamper Detection Line Crossing **Loitering** Human Detection Object Left/Removed

Enable Loitering Detection: ☒

Min. Loitering Time: (3-1000) s

Set Loitering Detection Region

Detection Region:

Object Size Limits:

Min. Size: * pixel(1*1~320*240)

Max. Size: * pixel(1*1~320*240)

Note: Please draw the screen for setting!



徘徊インターフェース (AIカメラ用)

Event >> VCA Event

Region Entrance Region Exiting Advanced Motion Detection Tamper Detection Line Crossing **Loitering** Object Left/Removed

Enable Loitering Detection: ☒ !

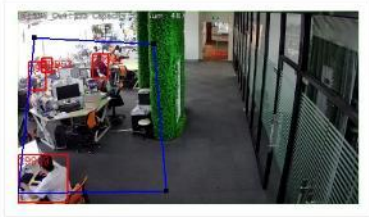
Min. Loitering Time: (3-1800) s

Detection Object: ☒ Human ☒ Vehicle

Set Loitering Detection Region

Detection Region:

Object Size Limits:



Min. Size: * pixel(1*1~320*240)

Max. Size: * pixel(1*1~320*240)

徘徊インターフェース (AI非対応カメラ用)

徘徊インターフェース (AIカメラ用)

ステップ1：滞留検出を有効にし、最小滞留時間を設定します；

検出対象を選択します。人間または車両の属性をチェックし、カメラが人間または車両を検出した際にアラームを発し、関連するイベントをトリガーします；

 **注：**この機能はすべてのAIカメラでサポートされています。

ステップ2：徘徊検出領域と対象物のサイズ制限を設定します；

ステップ2：徘徊検出領域を設定します。**NormalMode**を選択した場合、現在の領域の検出領域を設定できます。**AdvancedMode** (PTZシリーズのみ) を選択した場合、異なるPTZプリセットの検出領域を設定できます (現在はプリセット1~4のみ対応)。また、対象物のサイズ制限を設定します。

ステップ3：検出スケジュールを設定します；

ステップ4：アラームアクションを設定します。PTZ自動追跡とローリング検出を有効にすると、カメラは対象物を自動的に追跡し、定義された領域で対象物が**Min. Loitering Time** (最小ローリング時間) を超えて滞在した場合にアラームをトリガーします；

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record v (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record v
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot v
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1 v
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 v (0-900) s
HTTP Method:	Post v
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	
PTZ Auto Tracking:	☒ (Please enable the Auto Tracking.)

ステップ5：アラーム設定を設定します。External Outputを有効にし、External Output Action Timeを「Constant」に設定した場合、選択した領域で対象物が滞留すると、アラームが解除されるまで外部出力アクションのアラーム時間が常に一定になります。

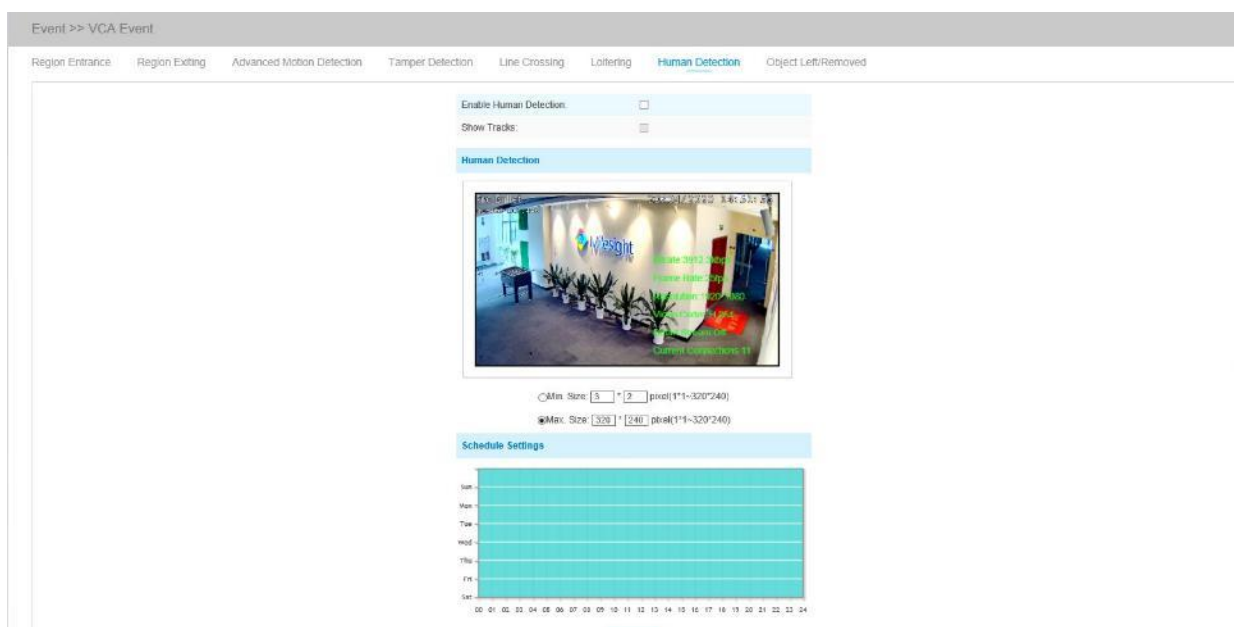
Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto

注意: 最小滞留時間を3秒から1800秒に設定した場合、選択した領域で最小滞留時間を超えて滞留しているすべてのオブジェクトがアラームをトリガーします。

人間検出

人間検出は、対象物が人間かどうかを判断するために使用されます。人間検出を有効にすると、検出領域に対象物が出現すると、フレームにIDが表示されます。対象物が人間の場合、「人」とマークされます。移動対象物の軌跡を表示する設定が有効の場合、移動対象物の軌跡が画面に表示されます。

注: 人間検出タブは、すべてのAIカメラで個別に表示されなくなりました。



ステップ1: 人検知を有効にします;

ステップ2: トラック表示を確認;

ステップ3: オブジェクトのサイズ制限を設定します;

ステップ4: スケジュール設定を設定します;

ステップ5: アラームアクションを設定します。PTZ自動追跡を有効にした場合、検出されたオブジェクトが人物の場合、カメラは「人物」としてマークし、自動的に追跡します;

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐
White LED:	☐
PTZ Auto Tracking:	☒

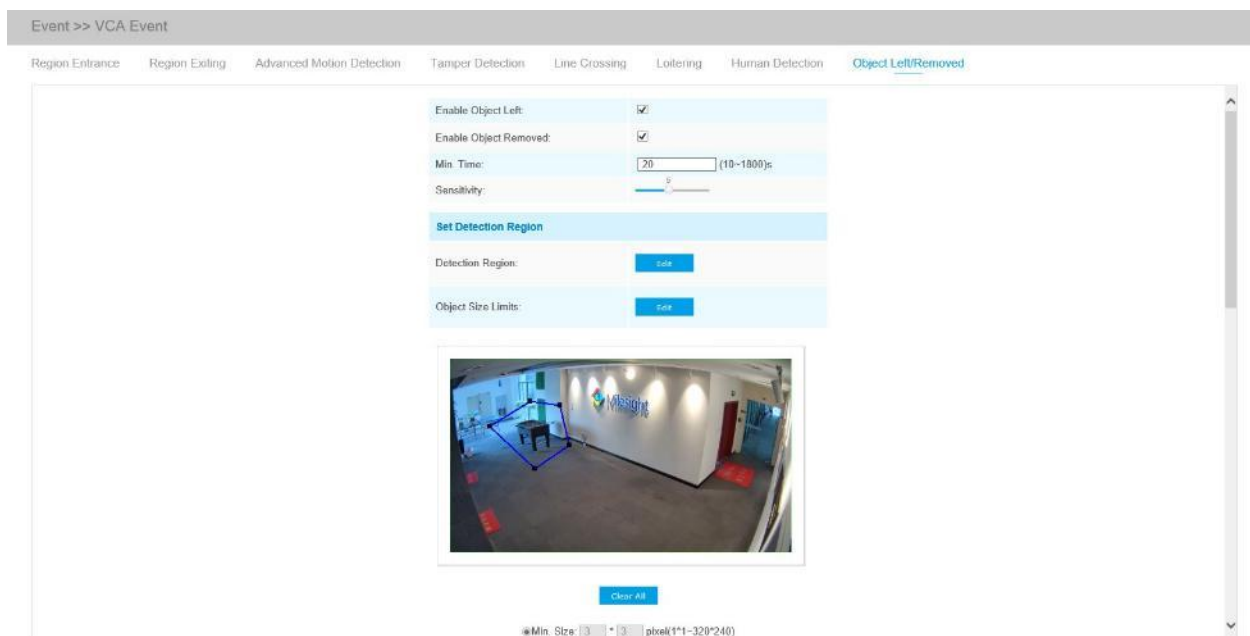
ステップ6：アラーム設定を設定します。External Outputを有効にし、External Output Action Timeを「Constant」に設定した場合、検出された対象が「人」とマークされると、アラームが解除されるまで外部出力アクションのアラーム時間は常に一定になります。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
Email Triggered Interval:	Auto
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto

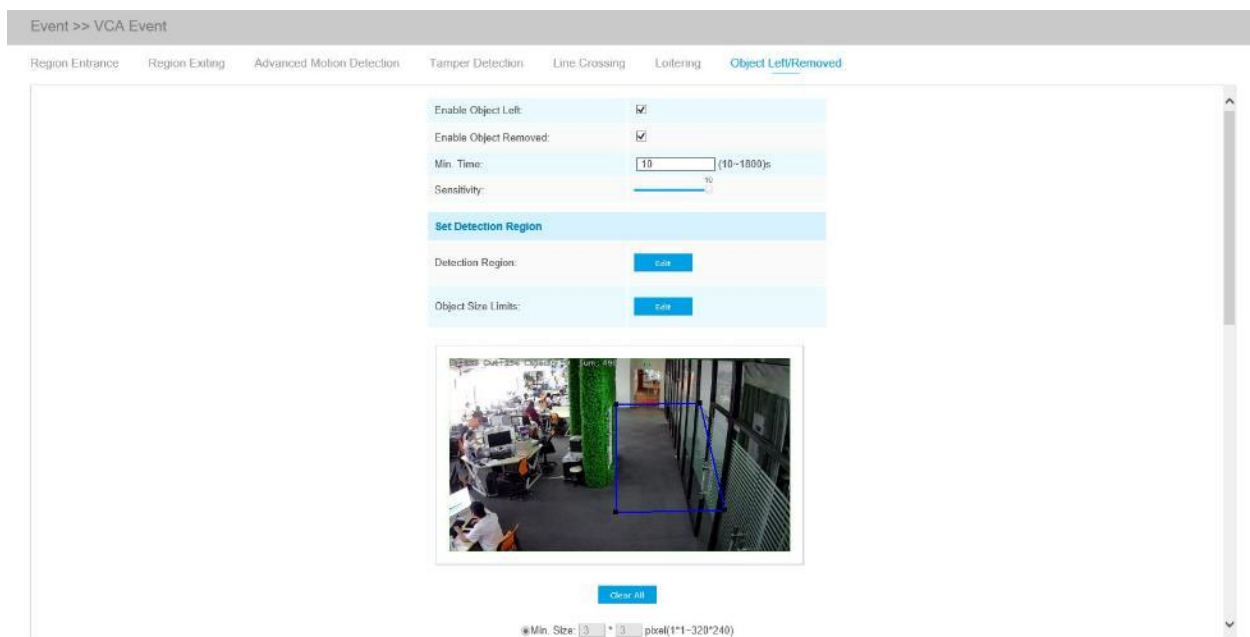
オブジェクトの残置/除去

オブジェクト残置は、事前に定義された領域にオブジェクトが残された場合にアラームを通知します。オブジェクト除去は、事前に定義された領域からオブジェクトが除去された場合にアラームを通知します。

オブジェクト残置/除去インターフェース (AIカメラ非対応)



オブジェクトの残置/除去インターフェース (AIカメラ用)



オブジェクト残置/除去インターフェース (非AIカメラ用)

オブジェクトの残置/除去インターフェース (AIカメラ用)

ステップ1：オブジェクト残置またはオブジェクト除去を有効にします（または、両方の機能を同時に有効にすることもできます）；

ステップ2：最小時間を設定します；

ステップ3：検出感度を設定します；

ステップ4：検出領域とオブジェクトのサイズ制限を設定します。

ステップ4：検出領域を設定します。**NormalMode**を選択した場合、現在の領域の検出領域を設定できます。**AdvancedMode**（PTZシリーズのみ）を選択した場合、異なるPTZプリセットの検出領域を設定できます（現在はプリセット1～4のみ対応）。また、オブジェクトのサイズ制限を設定します。

ステップ5：検出スケジュールを設定します；

ステップ6：アラームアクションを設定します。PTZ自動追跡を有効にすると、カメラは自動的にオブジェクトを追跡し、定義された領域内でオブジェクトが放置または除去された場合にアラームをトリガーします；

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1 ▼
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 ▼ (0-900) s
HTTP Method:	Post ▼
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Snapshot ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1 ▼
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post ▼
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	
Password:	
PTZ Auto Tracking:	☒ (Please enable the Auto Tracking.)

ステップ7：アラーム設定を設定します。External Outputを有効にし、External Output Action Timeを「Constant」を選択した場合、選択した領域から物体が離れる/取り除かれると、外部出力アクションのアラーム時間はアラームが解除されるまで常に一定になります。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot:	3 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant s(1~999)
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto ▼

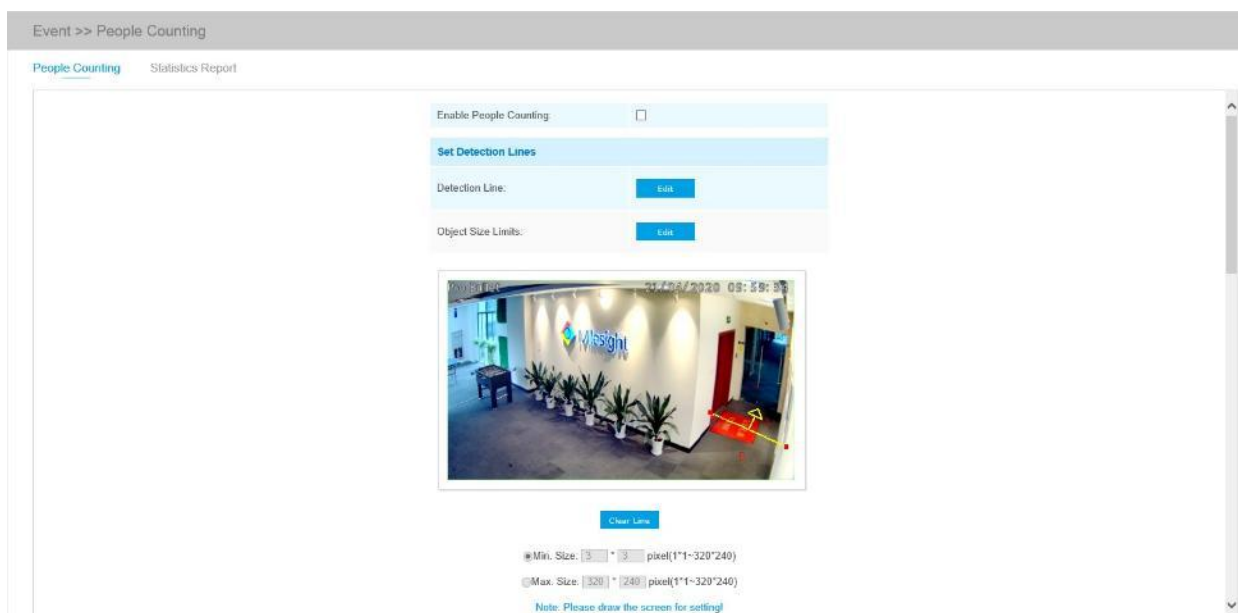
📌 注意 :

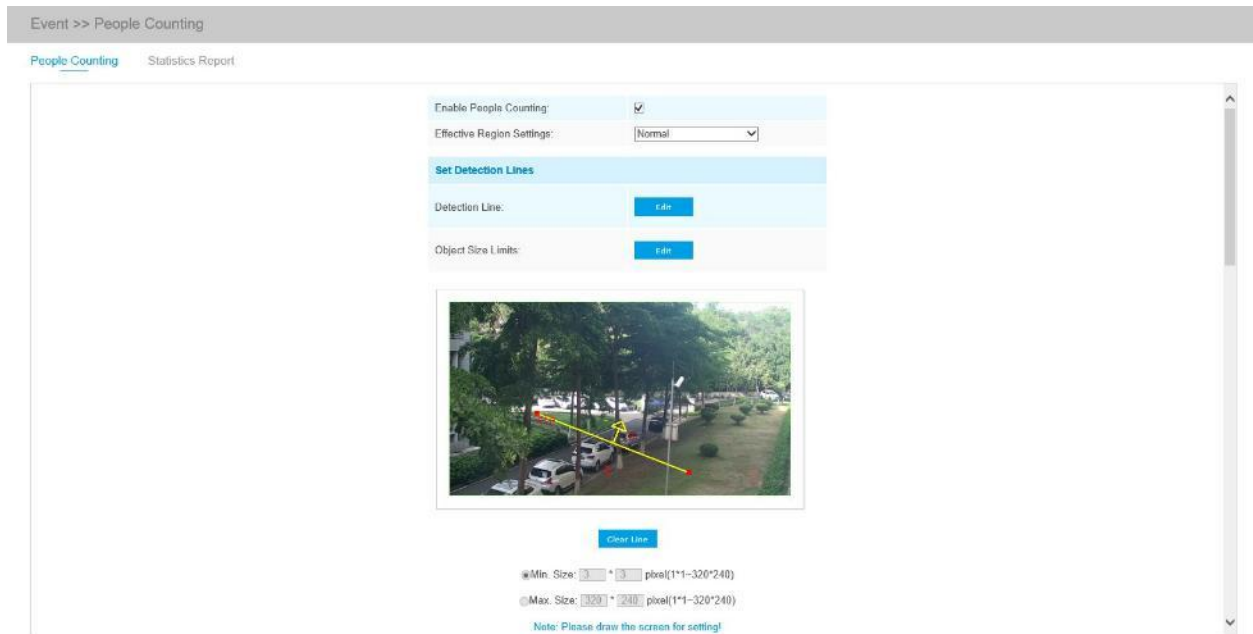
- 最小時間を3秒から1800秒に設定すると、選択した領域にオブジェクトが放置されたり、選択した領域からオブジェクトが移動されたりした場合、最小時間経過後にアラームがトリガーされます。

5.6.3 人数のカウント

人数のカウント

人数のカウントは、設定期間中に何人が入室または退室したかをカウントできます。





設定手順は以下のようにです:

ステップ1: 人数カウントを有効にします;

ステップ2: 検出ラインと対象物のサイズ制限を設定します。**NormalMode**を選択した場合、現在のエリアの検出ラインを設定できます。**AdvancedMode** (PTZシリーズのみ) を選択した場合、異なるPTZプリセットの検出ラインを設定できます (現在はプリセット1~4のみ対応)。

ステップ3: 検出スケジュールを設定します;

ステップ4: カウントOSDを設定します;

Counting OSD	
Show Video Title:	☒
Font Size:	Small
Font Color:	
Text Position:	Top-Left

人数のカウントOSDは手動リセットと自動ゼロリセットに対応しています;

Counting Reset:	Reset ☐ Reset the statistics report together?
Enable Auto Reset:	☒
Day:	Everyday ▼
Time:	00:00:00 

ステップ 5 : アラームトリガーを設定します。しきい値が 1 から 9999 までの特定の値に達すると、アラームがトリガーされます。

Alarm Trigger	
Enable Alarm	☒
Thresholds:	☐ In: 9999 ☐ Out: 9999 ☐ Capacity: 9999 ☐ Sum: 9999

ステップ 6 : アラームアクションを設定します ;

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1 ▼
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post ▼
Snapshot:	☐
URL:	▲▼
User Name:	
Password:	

ステップ7：アラーム設定を設定します。External Outputを有効にし、[Constant External Output Action Time,] を選択すると、しきい値が設定した値に達すると、アラームが解除されるまで外部出力アクションのアラーム時間は常に一定になります。

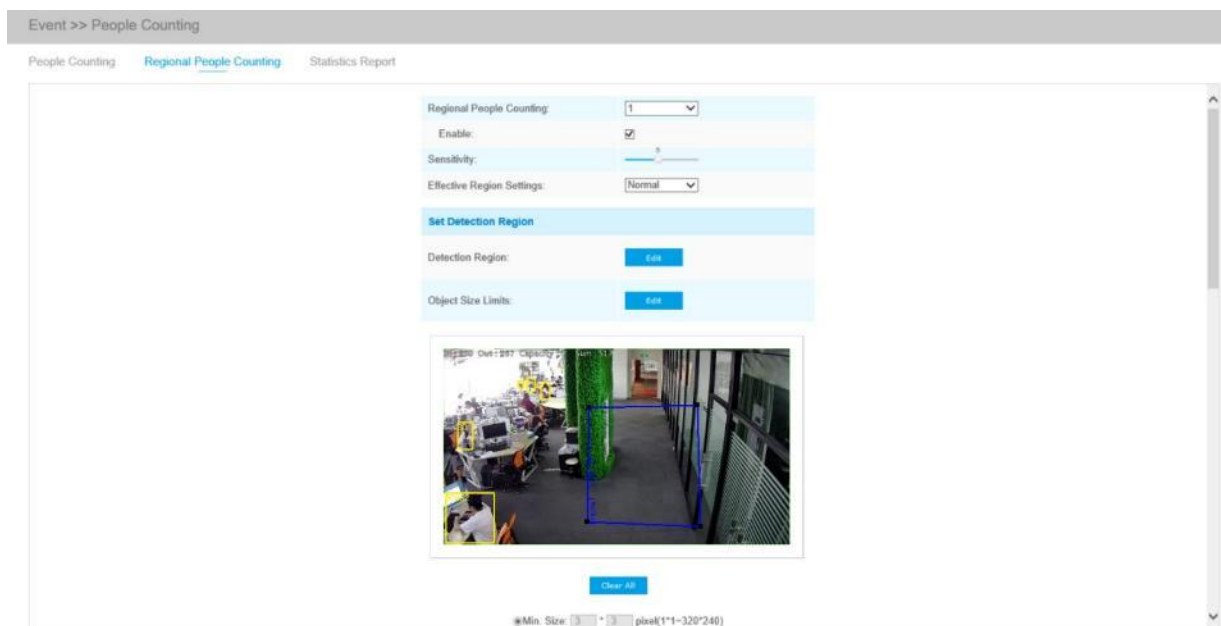
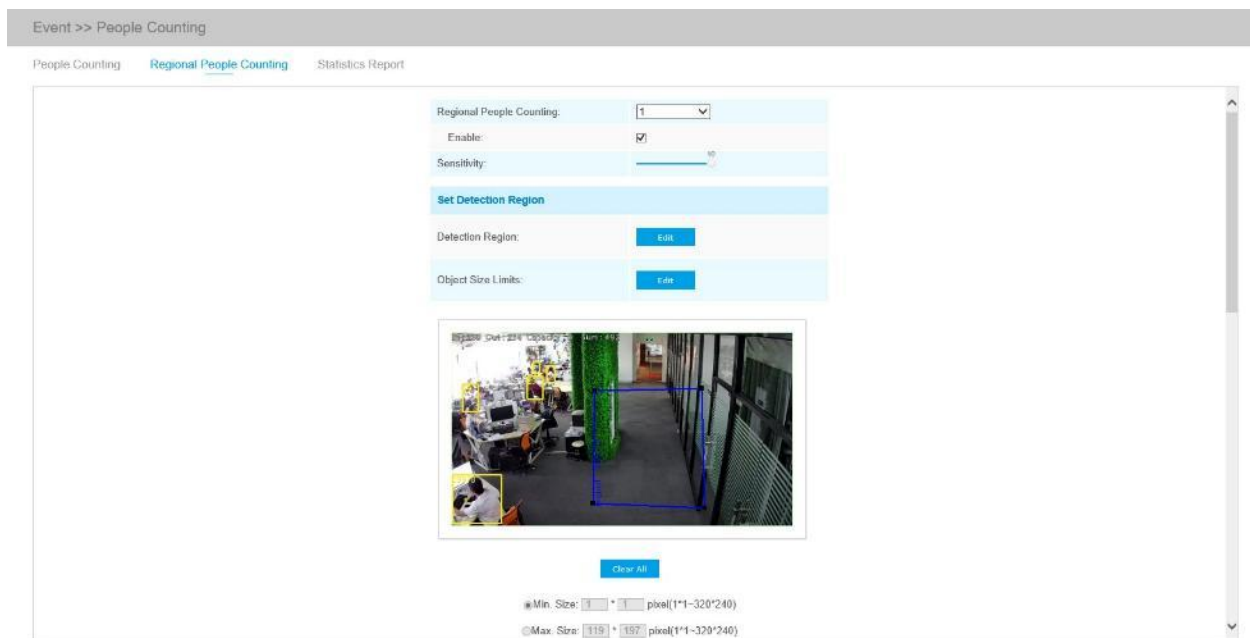
Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot:	3 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant (1~999)
Audio Action Settings:	
Play Audio Interval:	Auto ▼

Save

 注：矢印の方向に沿って通過すると「In」として記録され、逆方向は「Out」として記録されます。

地域別人流計数

地域別人流計数を有効にすると、ユーザーは検出領域内のリアルタイムの人数と各人の滞在時間を確認できます。



設定手順は以下のようになります：

ステップ1：地域人流計数機能を有効にします；

ステップ2：検出区域と対象物のサイズ制限を設定します；

ステップ3: 検出スケジュールを設定します；

ステップ4：アラームのトリガーを設定します。しきい値が特定の値を超えた場合にアラームが作動します。

Alarm Trigger	
Max. Stay:	☒ 60
Min. Stay:	☒ 1
Max. Length of Stay:	☒ 30 s

ステップ6: アラームアクションを設定します；

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot (Please enable the Email.)
External Output:	☐ (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	☐ (Please enable the Audio Speaker.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☒
HTTP Notification URL:	URL 1
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post
Snapshot:	☐
URL:	undefined
User Name:	undefined
Password:	••••••••

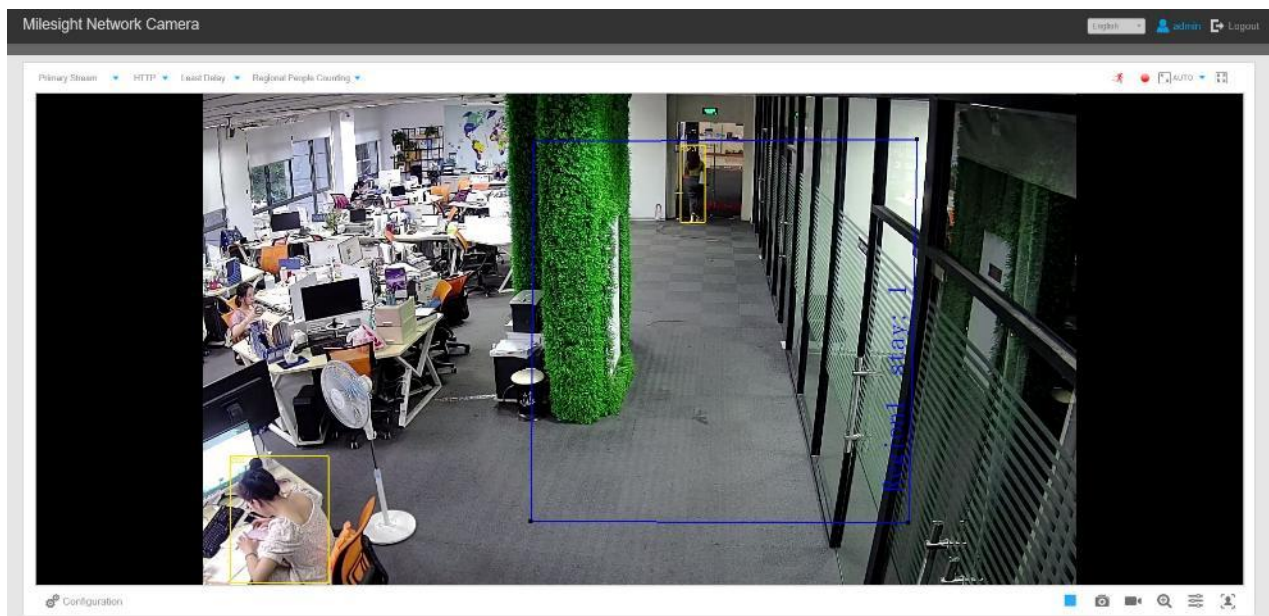
ステップ7：アラーム設定を設定します。External Outputを有効にし、[Constant External Output Action Time]を選択すると、しきい値が設定した値を超えると、アラームが解除されるまで外部出力アクションのアラーム時間は常に一定になります。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot:	3 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	Customize 10 seconds 30 seconds 1 minute 5 minutes 10 minutes Constant
Audio Action Settings:	(1~999)
Play Audio Interval:	Auto ▼

Save

注

- ユーザーは、ライブビュー インターフェースで検出領域内のリアルタイムの人数と各人の滞在時間を確認できます。



- 地域別人数カウントを使用する場合、カメラモデルがMS-CXXXX-XXCであることを確認してください。
- 地域別人数のカウントでは、最大4つの検出領域をサポートしています。

統計レポート

有効期間中の結果は、「**Statistics Report**」インターフェースに表示されます。

ステップ1：メインタイプを選択してください；

ステップ2：レポートタイプ（日次レポート、週次レポート、月次レポート、年次レポート）を選択してください；

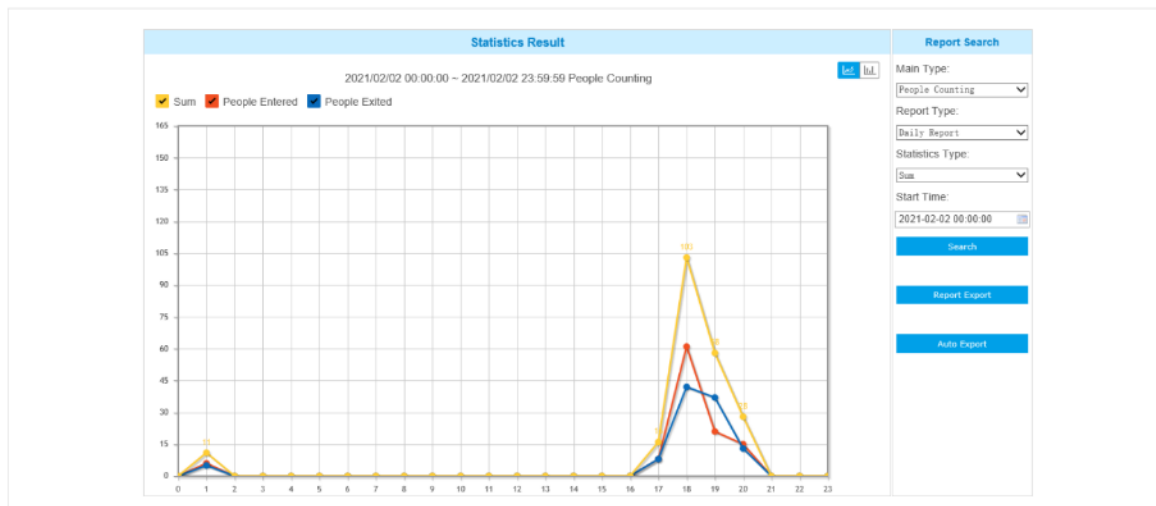
ステップ3：統計タイプ（入室者数、退室者数、合計）を選択します；

ステップ4：開始時間を選択し、[] ボタンをクリックすると、カメラがユーザーが選択したレポートの種類に応じて、その日/週/月/年のデータを自動的にカウントします。

時間、および対応するレポートを生成します。さらに、[] または [] をクリックして、統計レポートの表示モードを切り替えることもできます（下図を参照）。

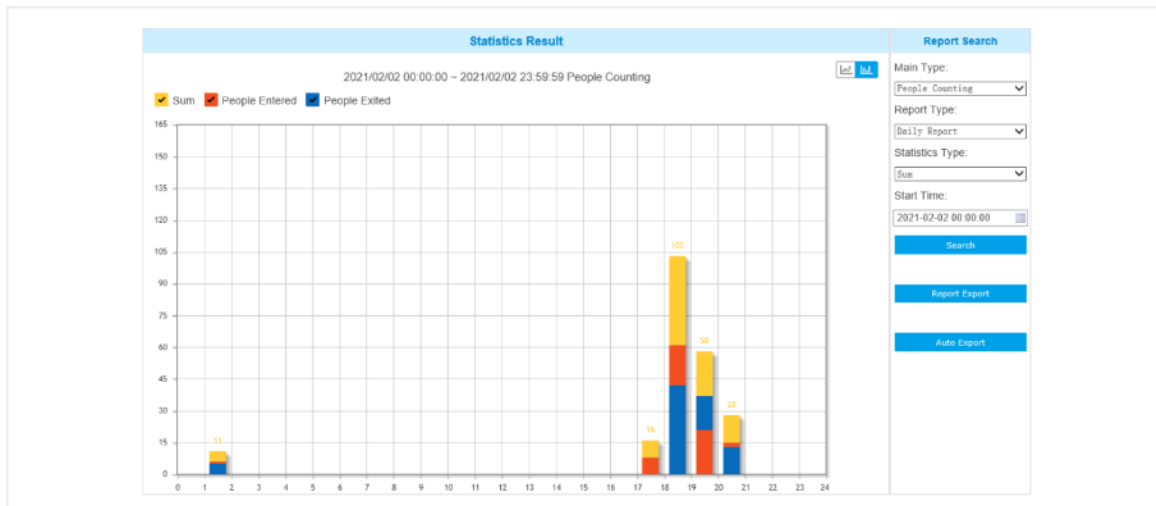
人数のカウント-統計レポート（折れ線グラフ）

Event >> People Counting

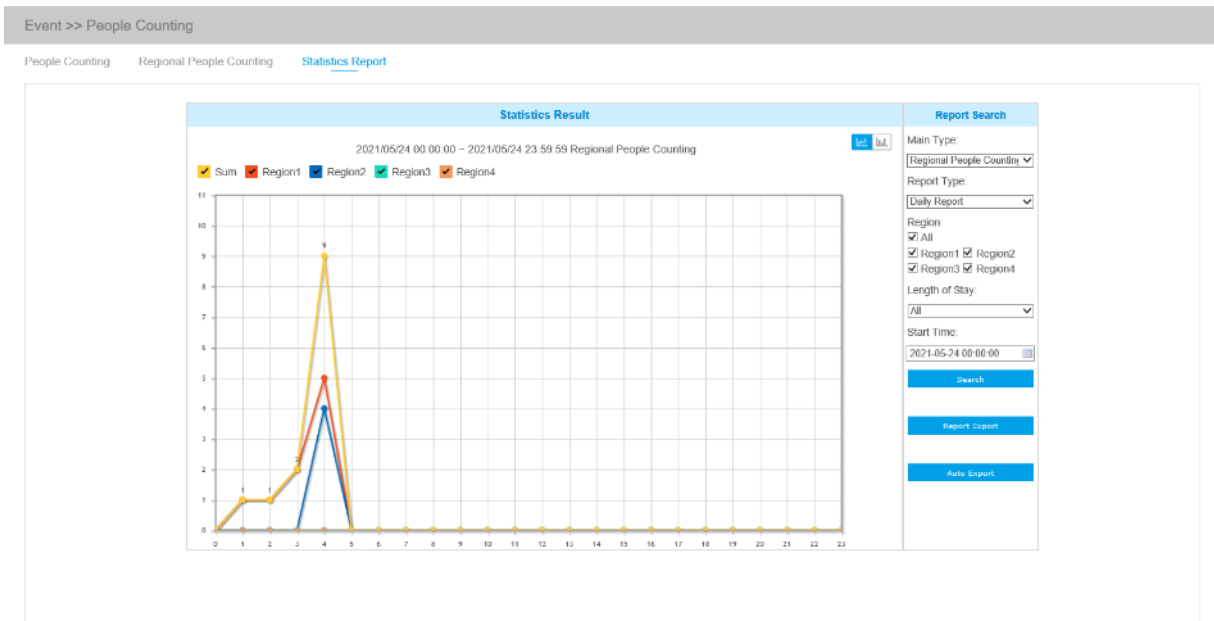
People Counting [Statistics Report](#)

人数の統計レポート (棒グラフ)

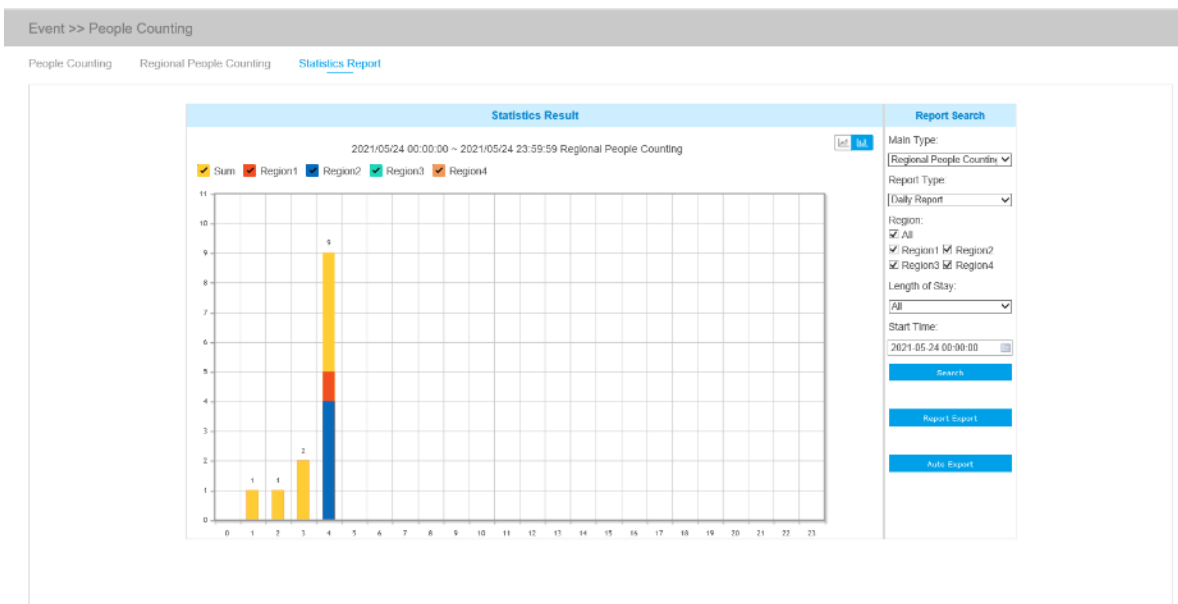
Event >> People Counting

People Counting [Statistics Report](#)

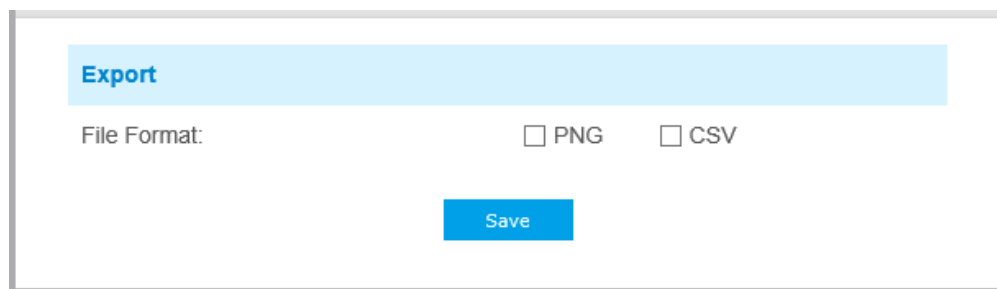
地域別人流量統計レポート (線グラフ)



地域別人流量統計レポート (棒グラフ)



ステップ 5 : **Report Export** ボタンをクリックして、以下のようにエクスポートウィンドウをポップアップ表示し、**File Format** を選択してレポートをローカルにエクスポートします。

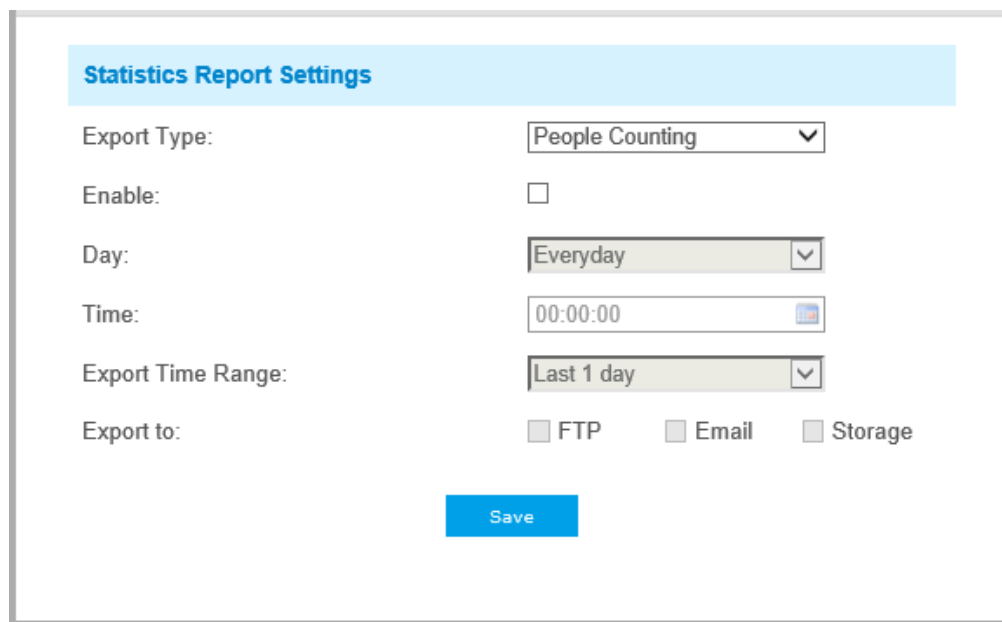


Export

File Format: ☐ PNG ☐ CSV

Save

ステップ6: **Auto Export** ボタンをクリックして、以下の画面のように統計レポート設定を表示します。



Statistics Report Settings

Export Type: **People Counting** ▼

Enable: ☐

Day: **Everyday** ▼

Time: 00:00:00

Export Time Range: **Last 1 day** ▼

Export to: ☐ FTP ☐ Email ☐ Storage

Save

- **Export Type**を設定します。ユーザーは「**People Counting**」にチェックを付けることができます。**People Counting**にチェックを付けると、灰色の項目が編集可能になります（以下の図を参照）。
- 「**Day**」を設定します。ユーザーは、「**Everyday**」を選択して毎日のレポートをエクスポートし、他の項目を選択して特定の曜日のレポートをエクスポートすることができます。

Statistics Report Settings

Export Type: Regional People Counting ▼

Enable: ☒

Length of Stay:

All
More Than
Less Than

60 ▼ s

Day: Everyday ▼

Time: 00:00:00

Export Time Range: Last 1 day ▼

Export to: ☐ FTP ☐ Email ☐ Storage

Save

- 時間を設定します。ユーザーは統計レポートを自動的にエクスポートする時間帯を選択できます。カレンダーアイコンをクリックすると、以下のクイック選択画面が表示されます；

Statistics Report Settings

Export Type: Regional People Counting ▼

Enable: ☒

Length of Stay: All ▼

Day:

Everyday
Sunday
Monday
Tuesday
Wednesday
Thursday
Friday
Saturday

Time:

Export Time Range:

Export to: ☐ FTP ☐ Email ☐ Storage

Save

- エクスポート時間範囲を設定します。

Day (Everydayを選択)

Statistics Report Settings

Export Type: People Counting

Enable: ☒

Day: Everyday

Time: 00:00:00

Export Time Range: Last 1 day (selected), Export All

Export to: ☐ FTP ☐ Email ☐ Storage

Save

Day (Weekを選択)

Statistics Report Settings

Export Type: Regional People Counting

Enable: ☒

Length of Stay: All

Day:

Time:

Export Time Range: Quick Selection

- 00:00:00
- 00:00:15
- 00:00:30
- 00:00:45
- 00:00:59

Time 0 : 0 : 0

Save

- 自動的にエクスポートされるレポートの保存先パスを設定します。レポートは、設定した曜日、時間、およびエクスポート時間範囲に従って、Excel スプレッドシート形式で FTP/E メール/ストレージに自動的にエクスポートされます。その後、「Save」をクリックします。

Statistics Report Settings

Export Type: People Counting

Enable: ☒

Day: Everyday

Time: 00:00:00

Export Time Range: Last 1 day

Export to: ☐ FTP ☐ Email ☒ Storage

Save

注：現在の統計レポートが生成されている場合、CSV形式で保存されます。

5.6.4 ヒートマップ (オプション)

ヒートマップ機能は、顧客の移動を分析し、時間や空間のパターンに応じて直感的で正確な統計分析結果を提供することで、より良いビジネス管理のための洞察を明らかにします。

注

- 現在、ヒートマップは、360°パノラマフィッシュアイネットワークカメラのオリジナルビューおよび180°パノラマミニバレットネットワークカメラと180°パノラマミニドームネットワークカメラのデワーピングビューでのみサポートされています。
- ヒートマップ機能を使用するには、カメラをV43.7.0.75以上にアップグレードしてください。
- SDカードまたはNASがない場合、レポートは7日以内にのみ閲覧可能です。

ヒートマップ

ステップ1：ウェブにログイン後、「**Advanced Settings**」→「**Heat Map**」に移動します。「**Enable Heat Map**」のチェックボックスをオンにし、以下の通りヒートマップの設定を行います。

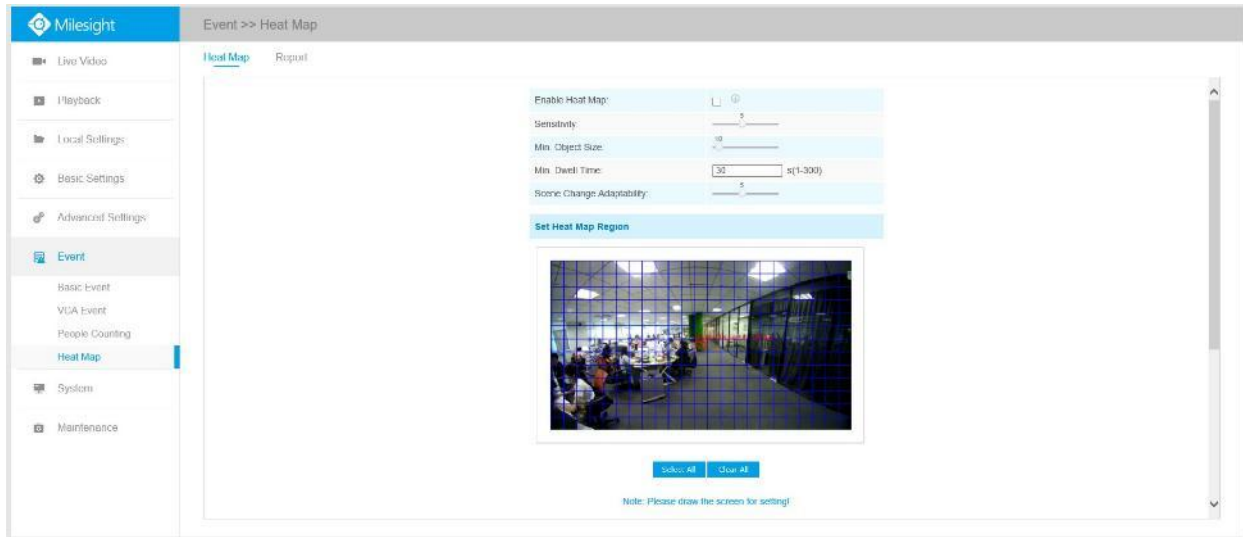


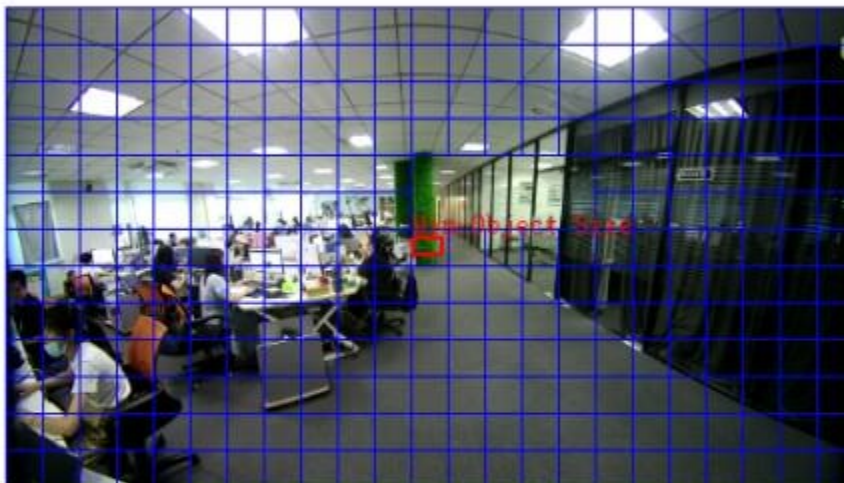
表50. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Sensitivity	レベル1～10が選択可能です。デフォルトは5です。感度が高いほど、移動するオブジェクトが結果に記録されやすくなります。
Min. Object Size	最小オブジェクトサイズを 1 から 100 まで設定できます。デフォルト値は 10 です。この値より小さいオブジェクトは結果に記録されません。
Min. Dwell Time	最小滞留時間を 1 から 300 まで設定できます。デフォルト値は 30 です。オブジェクトが、設定された「最小滞留時間」より長くエリア内に留まった場合、結果は記録されません。
Scene Change Adaptability	レベル 1～10 から選択でき、デフォルトは 5 です。シーン変化適応性は、シーンの変化に対するカメラの適応性を示し、検出の精度を高めることができます。この値が大きいくほど、変化の速いシーンにカメラが適応しやすくなります。

ステップ2：ヒートマップ領域の設定。検出領域を設定するために画面に描画します。

「**Select All**」ボタンをクリックするとすべての領域を選択でき、「**Clear All**」ボタンをクリックすると現在描画されている領域を削除できます。

Set Heat Map Region



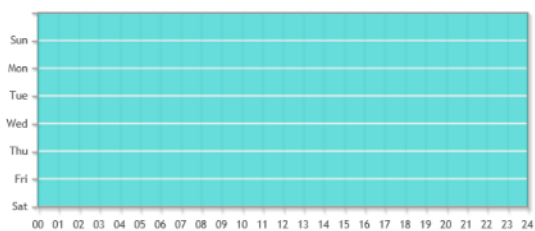
Select All

Clear All

Note: Please draw the screen for setting!

ステップ3：スケジュール設定。「**Edit**」ボタンをクリックしてスケジュールを描画できます。設定が完了したら、「**Save**」または「**Reset**」をクリックしてください。

Schedule Settings

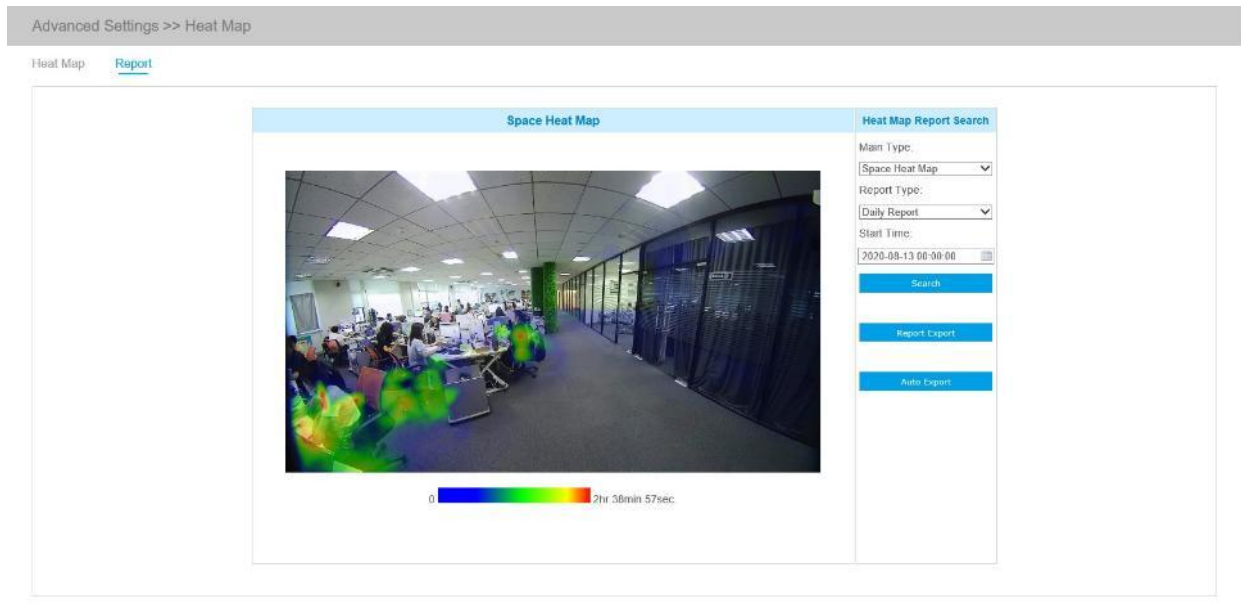


Edit

Time Schedule												
	Period1				Period2				Period3			
☒ Sunday	00	00	24	00	00	00	00	00	00	00	00	Copy to Other Days
☒ Monday	00	00	24	00	00	00	00	00	00	00	00	Copy to Other Days
☒ Tuesday	00	00	24	00	00	00	00	00	00	00	00	Copy to Other Days
☒ Wednesday	00	00	24	00	00	00	00	00	00	00	00	Copy to Other Days
☒ Thursday	00	00	24	00	00	00	00	00	00	00	00	Copy to Other Days
☒ Friday	00	00	24	00	00	00	00	00	00	00	00	Copy to Other Days
☒ Saturday	00	00	24	00	00	00	00	00	00	00	00	Copy to Other Days
												Save Reset

レポート

結果は「**Report**」画面に表示されます。



ステップ1: メインのヒートマップタイプを選択します。

[Space Heat Map] : スペースヒートマップは、さまざまな色の画像として表示されます。色は、ヒートの値を表します。赤は最高値、青は最低値を表します。

[Time Heat Map]: タイムヒートマップは、異なる時間帯の熱を線グラフで表示します。

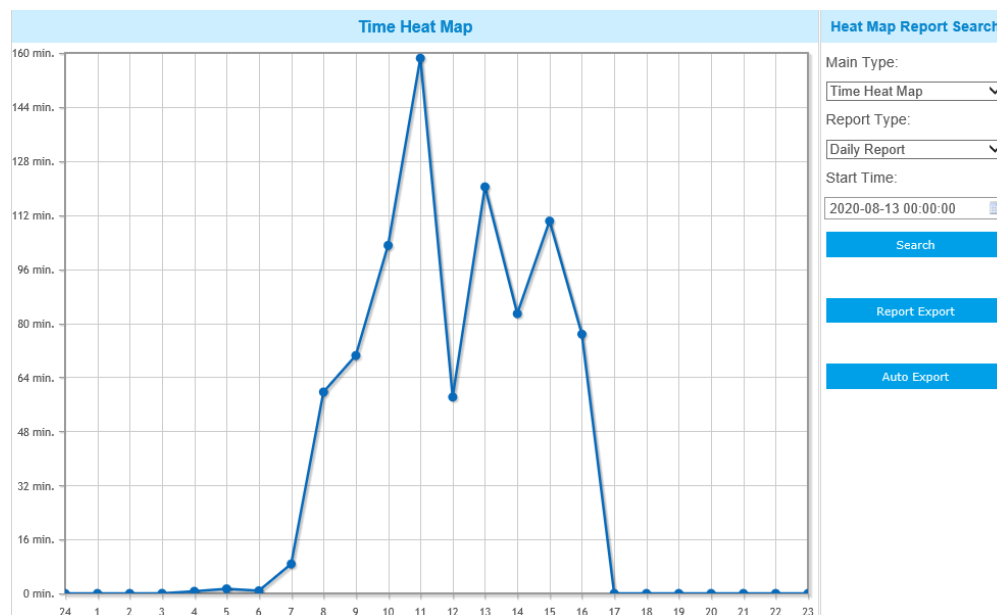
ステップ2: レポートの種類（日次レポート、週次レポート、月次レポート、年次レポート）を選択します。

ステップ3: 開始時間を選択し、「**Search**」ボタンをクリックすると、カメラがユーザーが選択したレポートの種類に応じて、開始時間から日/週/月/年のデータを集計し、以下の通り対応するレポートを生成します。

スペースヒートマップ

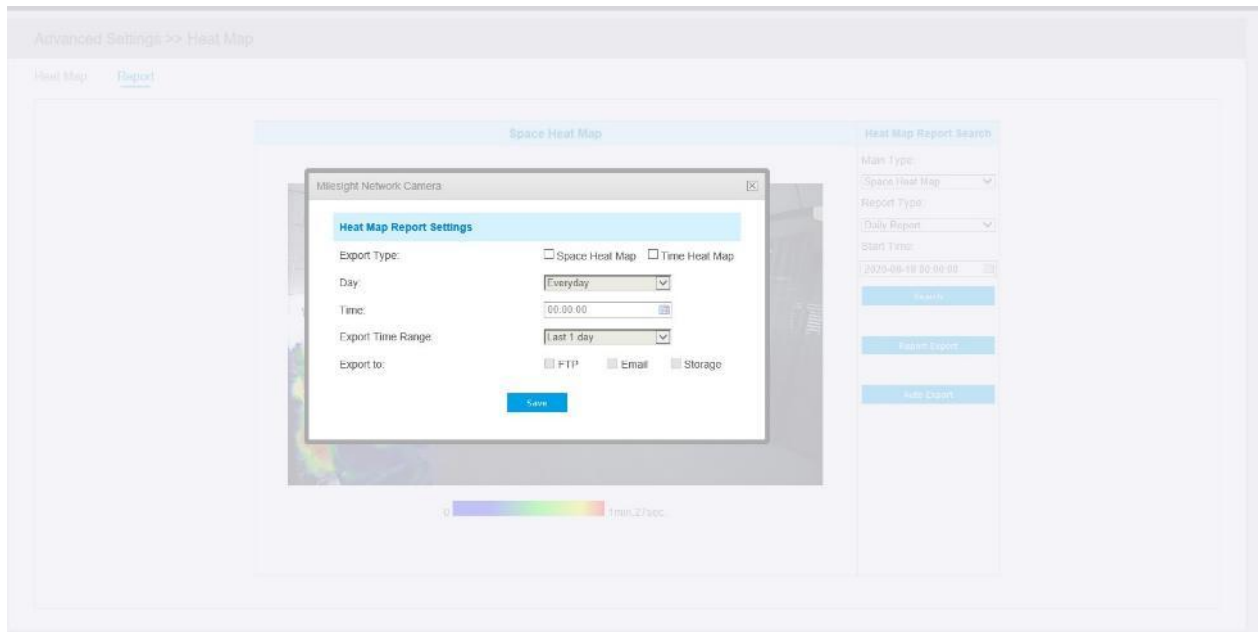


時間ヒートマップ

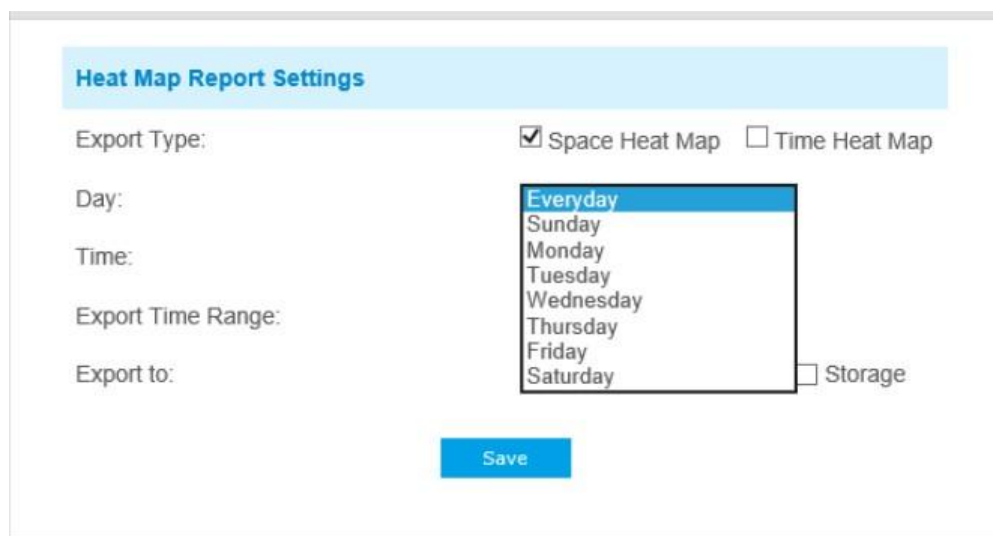


ステップ4: 「**Report Export**」 ボタンをクリックして、レポートをローカルにエクスポートします。

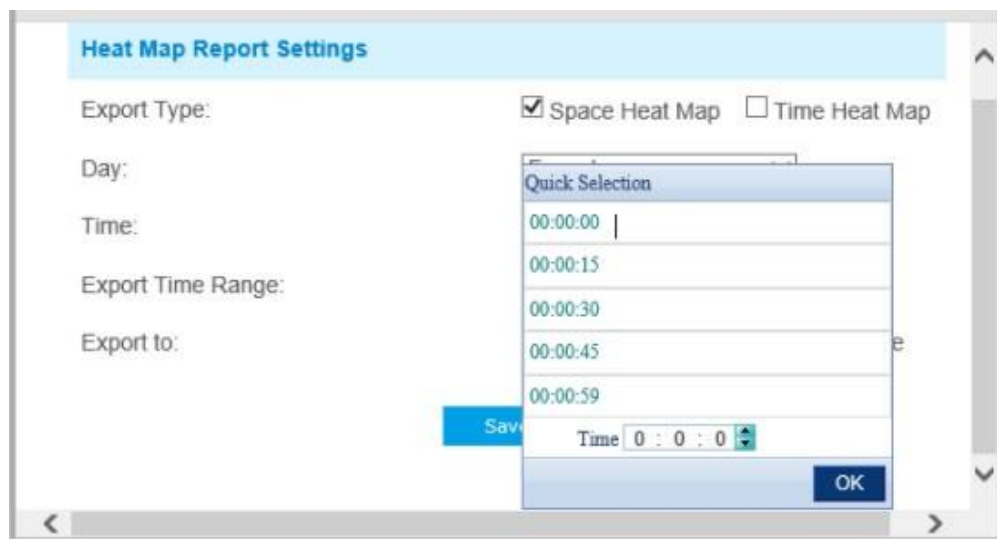
ステップ5: 「**Auto Export**」 ボタンをクリックすると、以下の通りヒートマップレポート設定がポップアップ表示されます。



- エクスポートタイプを設定します。ユーザーはスペースヒートマップまたはタイムヒートマップ、または両方を選択できます。スペースヒートマップまたはタイムヒートマップのいずれかが選択されると、グレーの項目が編集可能になります（以下を参照）。
- 「Day」を設定します。Everydayを選択すると毎日のレポートがエクスポートされ、「others」を選択すると特定の曜日のレポートがエクスポートされます。

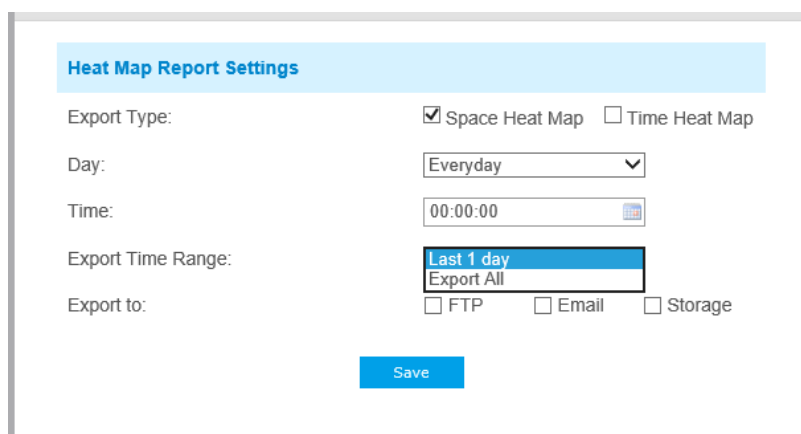


- 時間を設定します。ユーザーは、ヒートマップを自動的にエクスポートする時間帯を選択できます。カレンダーアイコンをクリックすると、以下のクイック選択画面が表示されます；



- エクスポート時間範囲を設定します。

Day (Everydayを選択)



Day (Weekを選択)

- 自動的にエクスポートされるレポートの保存先パスを設定します。レポートは、設定した日、時間、およびエクスポート時間範囲に応じて、Excel スプレッドシートまたは画像形式で FTP/E メール/ストレージに自動的にエクスポートできます。その後、「Save」をクリックします。

現在のスペースヒートマップが生成されている場合、PNG画像として保存されます。現在のタイムヒートマップが生成されている場合、CSV形式で保存されます。

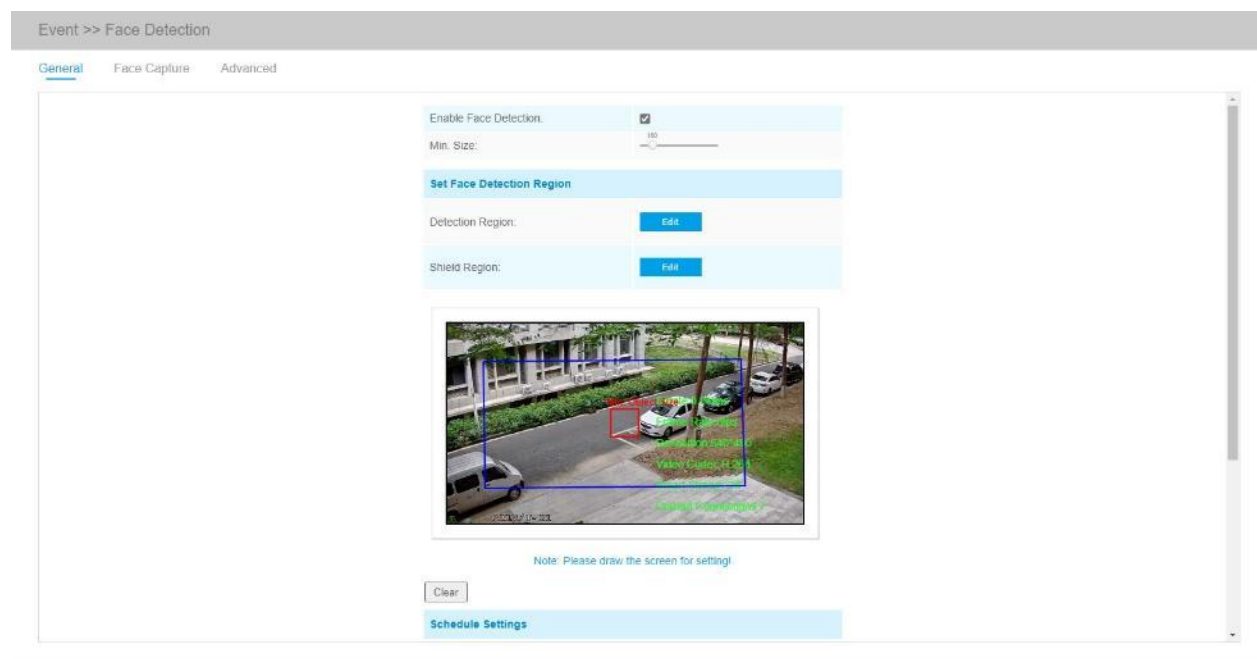
注意：スペースヒートマップの自動的にエクスポートされたレポートは、MS-CXX74-PBでのみ使用可能です。

5.6.5 顔検出 (オプション)

顔検出機能は、描画領域に表示される顔を検出し、顔のスナップショットをストレージに保存、FTPまたはメールでアップロード、ライブビューに表示する機能です。

一般

 **注：**現在、顔検出はAIカメラのみ対応しています。



設定手順は以下のようになります：

ステップ1: 顔検出を有効にします；

ステップ2: 最小オブジェクトサイズを設定します；

ステップ3: 検出領域を設定します。検出領域をドラッグしてサイズを調整できます。この領域内の顔のみが検出されます；

ステップ4：シールド領域を設定します。これにより、検出領域内の特定の場所にある顔は検出されなくなります。シールド領域を設定することで、検出領域内の特定の場所にある顔を検出対象から除外できます。まず、プレビュー画面でシールド領域を描画し、次に「Add」ボタンをクリックします。最大で4つのシールド領域を設定できます；

ステップ5: 検出スケジュールを設定し、「Save」をクリックします。

顔キャプチャ

ここでは、顔キャプチャのスナップショットの設定を行うことができます。

Face Capture Configuration	
Capture Mode:	Quality Priority ▼
Capture Quality:	1
Snapshot Type:	Face Only ▼ ☒ Background
Snapshot:	1 ▼
Record Video Sections:	30 seconds ▼
Save Into NAS:	☐ File Format: Snapshot ▼
Upload Via FTP:	☐ File Format: All ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼

Face Detection Message Post Settings	
Enable Face Detection Message Post:	☒
Post Type:	HTTP ▼
HTTP Notification URL:	URL 1 ▼
Enable:	☒
Trigger Interval:	0 (0-900) s
HTTP Method:	Post ▼
Snapshot:	☐
URL:	
User Name:	Leah
Password:	●●●●●●●●

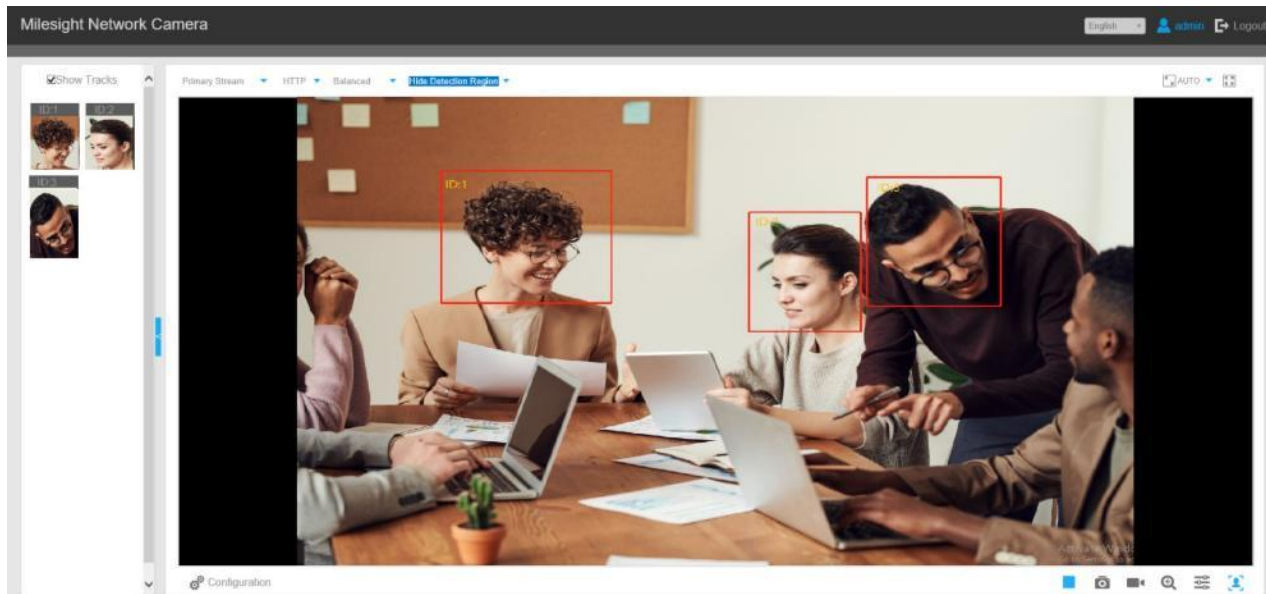
Save

表51. ボタン説明

パラメータ	機能 説明
Capture Mode	Auto Mode, Quality Priority, Timeliness Priority, Customizeが利用可能です。 Auto Mode : このモードでは、顔検出時にスクリーンショットの品質と送信速度に基づいて、顔のスクリーンショットを送信します。 Quality Priority: このモードでは、顔検出時に最高の品質の顔スクリーンショットを送信します。 Timeliness Priority : このモードでは、顔検出時に最も短い時間で顔のスクリーンショットを送信します。 Customize : このモードでは、スナップショット間隔、斜め顔角度制限、ピッチング顔角度制限、側面顔角度制限、ボケ制限などの検出条件をカスタマイズできます。
Snapshot Interval	80ミリ秒、200ミリ秒、500ミリ秒、1秒、2秒、4秒が選択可能です。  注 : カスタマイズモードでのみ選択可能です。
Oblique Face Angle Limit	Oblique Face Angle Limit to 1~180 値が大きいほど、検出できる斜め顔の角度が大きくなります。  注 : カスタムモードでのみ利用可能です。
Pitching Face Angle Limit	Pitching Face Angle Limit to 1~180 に設定します。値が大きいほど、検出できるピッチングフェースの角度が大きくなります。  注 : カスタムモードでのみ利用可能です。
Side Face Angle Limit	Side Face Angle Limit to 1~180。値が大きいほど、検出できるサイドフェイスの角度が大きくなります。  注 : カスタマイズモードでのみ利用可能です。
Blur Limit	Blur Limit to 1~10に設定します。値が大きいほど、顔のぼかし検出範囲が広がります。  注 : カスタマイズモードでのみ利用可能です。
Snapshot Type	Face Only, Upper Body, Whole Body、全身が選択可能です。 Face Only : 顔のみのスクリーンショットを撮影します。 Upper Body : 上半身のスクリーンショットを撮影します。 Whole Body : 全身のスクリーンショットを撮影します。 「背景」オプションにチェックを入れると、画像全体のスクリーンショットをもう1枚撮影します。

パラメーター	機能 説明
Snapshot	スクリーンショットの枚数を1〜5に設定します。設定したスナップショット間隔に基づいてスクリーンショットを撮影します。
Record Video Sections	6つの異なる期間（5、10、15、20、25、30秒）から選択できます。
Save Into NAS	アラームファイルをNASに保存します。
Upload Via FTP	アラームファイルをFTP経由でアップロードします。
Upload Via Email	アラームファイルをメールでアップロードします。
Enable Face Detection Message Post Settings	チェックボックスをオンにすると、顔検出メッセージの投稿が有効になります。これにより、一部のサードパーティ製デバイスまたは対応ソフトウェアに情報が送信されます。情報はTCPまたはHTTPで送信されます。
Post Type	情報は TCP または HTTP で送信されます。
HTTP Notification URL	HTTP通知URLには、URL1、URL2、URL3の3種類があります。
Enable	HTTP通知URLの種類を有効にするには、チェックボックスをオンにしてください。
Trigger Interval	カメラが第三者のデバイスに情報を送信するトリガー間隔を設定します。
HTTP Method	HTTP プッシュ方法には、 Post と Get の 2 種類があります。
Snapshot	スナップショットを添付して情報を第三者のデバイスまたはソフトウェアに送信するかどうかを選択します。  注：このオプションはURL1のみで使用可能です。
URL	カメラは、API URL を使用して、検出した顔をキャプチャしたときに、顔検出情報をバックエンドデバイスに送信することができます。 API URL の形式は、サーバー、ポート、その他の必要な形式など、バックエンドデバイスによって異なります。 たとえば、Milesight VMS Enterprise に情報を送信する場合、API URL の形式は次のとおりです。 http://VMSサーバーIP:VMSポート/api/httpEvent  注：HTTP Post に対応しています。
User Name	受信者名。
Password	受信者パスワード。

カメラは、設定した領域と条件に基づいてライブビューで顔を検出します。「Show Tracks」オプションをオンにすると、ライブビューの左側にID付きの顔のスクリーンショットが表示されます。



Advanced

ここでは、属性認識を有効にし、検出したい属性を設定できます。または、顔検出用の顔プライバシーモードを有効にできます。

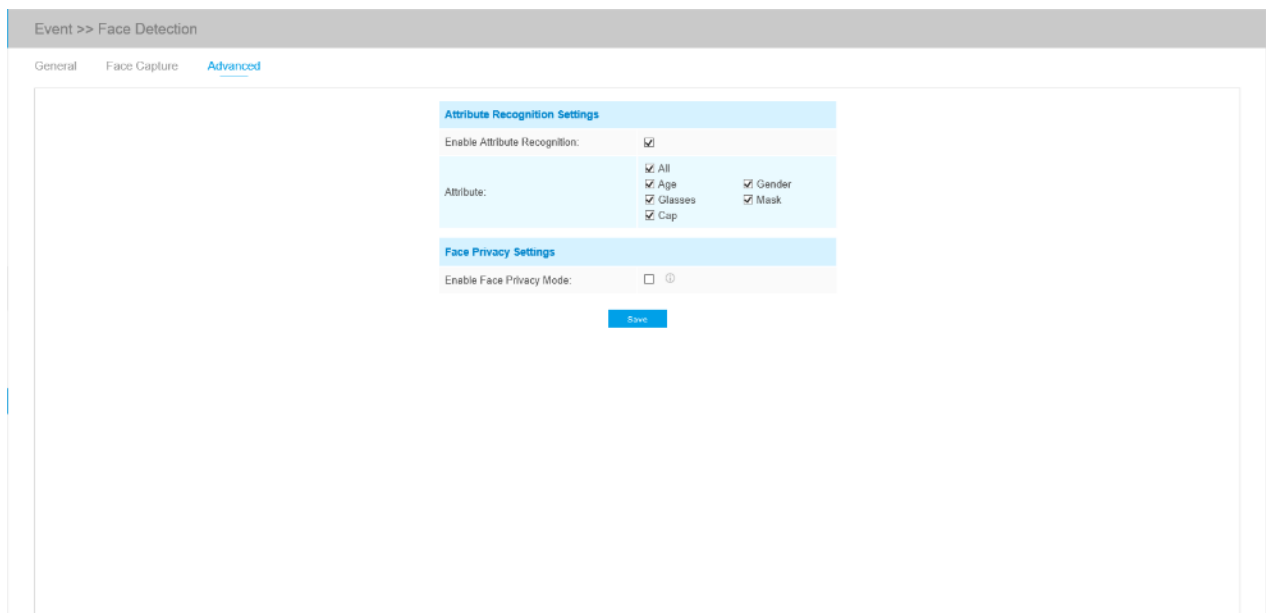
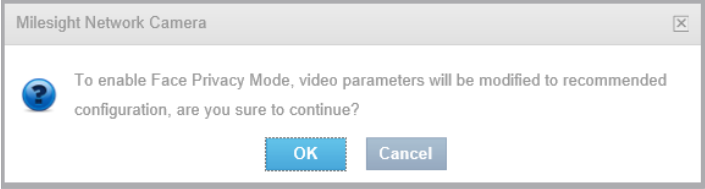
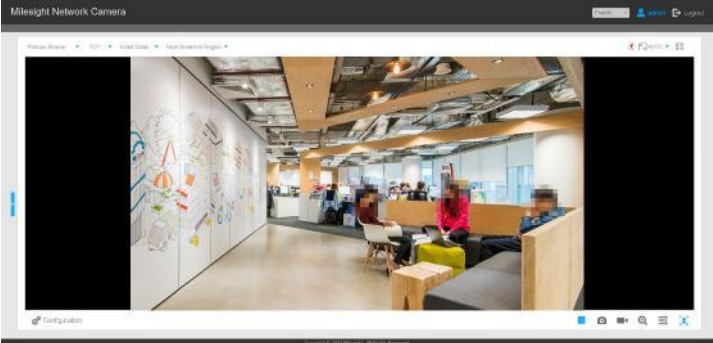


表52. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Enable Attribute Recognition	属性認識を有効にすると、検出された顔の属性がライブビューインターフェースの左側に表示されます。属性には、年齢、性別、眼鏡、マスク、帽子が含まれます。属性認識は、一部の特殊なシナリオにおけるユーザーのニーズに対応し、ユーザー体験を向上させます。  注意 - 顔検出機能が有効になっていることを確認してください。 - キャプチャモードオプションが「品質優先」に設定されていることを確認してください。 - 属性認識機能は、顔プライバシー機能と併用できません。 - カメラモデルがMS-CXXXX-XXCであることを確認してください。（LPRカメラシリーズを除く） 
Attribute	ユーザーは必要な属性を選択できます。 All : すべての属性を1クリックで選択または選択解除できます。 Age : 顔から年齢を認識します。種類には、子供（0～17歳）、成人（18～59歳）、高齢者（59歳以上）が含まれます。 Gender : 顔から性別を認識し、男性と女性の種類を識別します。 Glasses : 人が眼鏡を掛けているかどうかを認識します。 Mask : マスクを着用しているかどうかを認識します。 Cap : 人物が帽子を被っているかどうかを認識します。  注 : 認識できないまたは異常な属性は、「-」で表示されます。

パラメーター	機能 説明
Enable Face Privacy Mode	顔プライバシーモードを有効にすると、顔検出領域で検出された顔は自動的にモザイク処理されます。モザイクのサイズは検出された顔のサイズに依存し、ユーザーは必要に応じて検出された顔のサイズをカスタマイズできます。顔プライバシー機能は、一部の特殊なシナリオにおけるユーザーのニーズに対応し、人々の肖像権を大幅に保護します。  注意 #顔検出機能が有効になっていることを確認してください。 #顔プライバシーモードを有効にするには、動画パラメーターを次のように設定してください: • H.265 ビデオコーデック (すべてのストリーム) • メインストリーム: 1080P@25fps • セカンダリストリーム: 704×576@25fps • 3番目のストリーム: 無効 ポップアップウィンドウで、ビデオパラメータを推奨設定に変更することができます。  #顔検出/顔認識メッセージの投稿/属性認識は、顔プライバシーモードでは利用できません。 #カメラモデルがMS-CXXXX-XXCであることを確認してください。(LPRカメラシリーズを除く) 

5.7 LPR (オプション)

5.7.1 ライブ動画

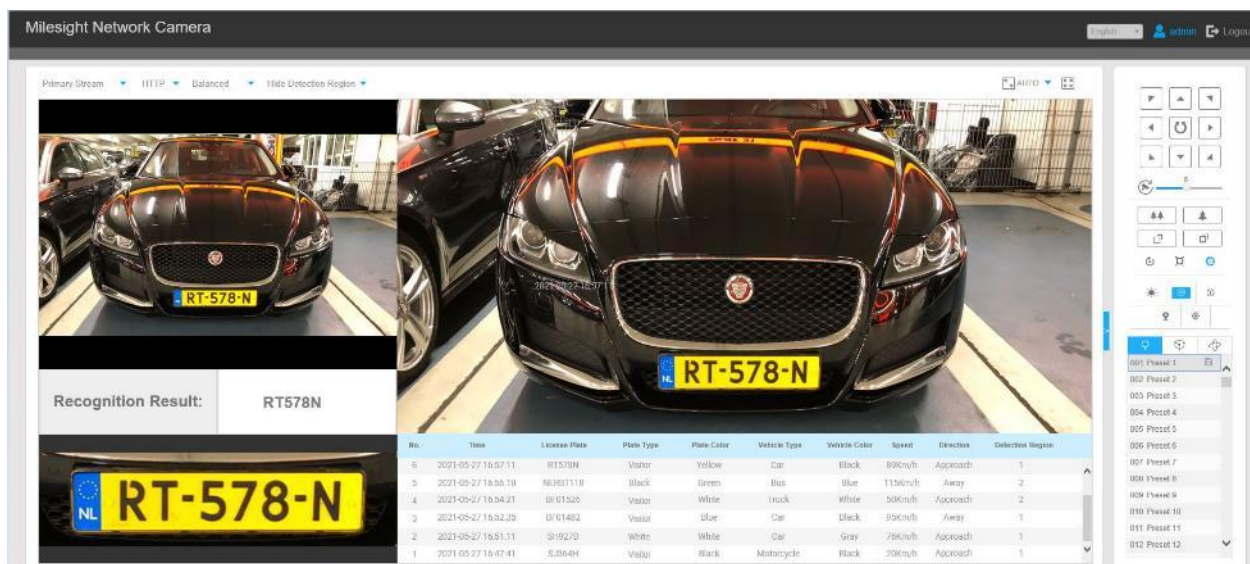
Milesight LPR カメラは、プロフェッショナルな LPR ライブビューインターフェースに対応しており、リアルタイムのナンバープレート認識結果と、検出したナンバープレートのスナップショットを表示することができ、スタンドアロンの LPR ソリューションを実現します。

ライブビューインターフェースの LPR モード (非 AI シリーズ)

The screenshot displays the Milesight Network Camera LPR interface. It features a live video feed of a dark-colored car with a yellow license plate reading "RT-578-N". Below the video feed, there is a "Recognition Result" box showing "RT578N". To the right of the video feed, there is a table with the following columns: No., Time, License Plate, Plate Type, Vehicle Speed, Direction, and Detection Region. The table contains five rows of data, all showing the license plate "RT578N" and a detection region of "1".

No.	Time	License Plate	Plate Type	Vehicle Speed	Direction	Detection Region
5	2020-04-12 15:57:11	RT578N	Visitor	-	-	1
5	2020-04-12 15:57:10	NLHJ1110	Visitor	-	-	1
4	2020-04-12 15:57:05	NLHJ1110	Visitor	-	-	1
3	2020-04-12 15:57:02	NLHJ1111	Visitor	-	-	1
2	2020-04-12 15:57:02	NLHJ1110	Visitor	-	-	1
1	2020-04-12 15:57:01	NLHJ1111	Visitor	-	-	1

ライブビューインターフェースの LPR モード (AI シリーズ)



注：スナップショット/録画（ / ）では、現在の画像/動画をキャプチャ/録画するためにクリックできますが、IEブラウザとプラグインを使用している場合のみ、設定されたパスに自動的に保存され、対応するフォルダーがポップアップ表示されます。

Chrome/Firefox/Safari/Edgeブラウザをプラグインフリーモードで使用している場合、対応するフォルダーが自動的にポップアップ表示されず、詳細を確認できません。

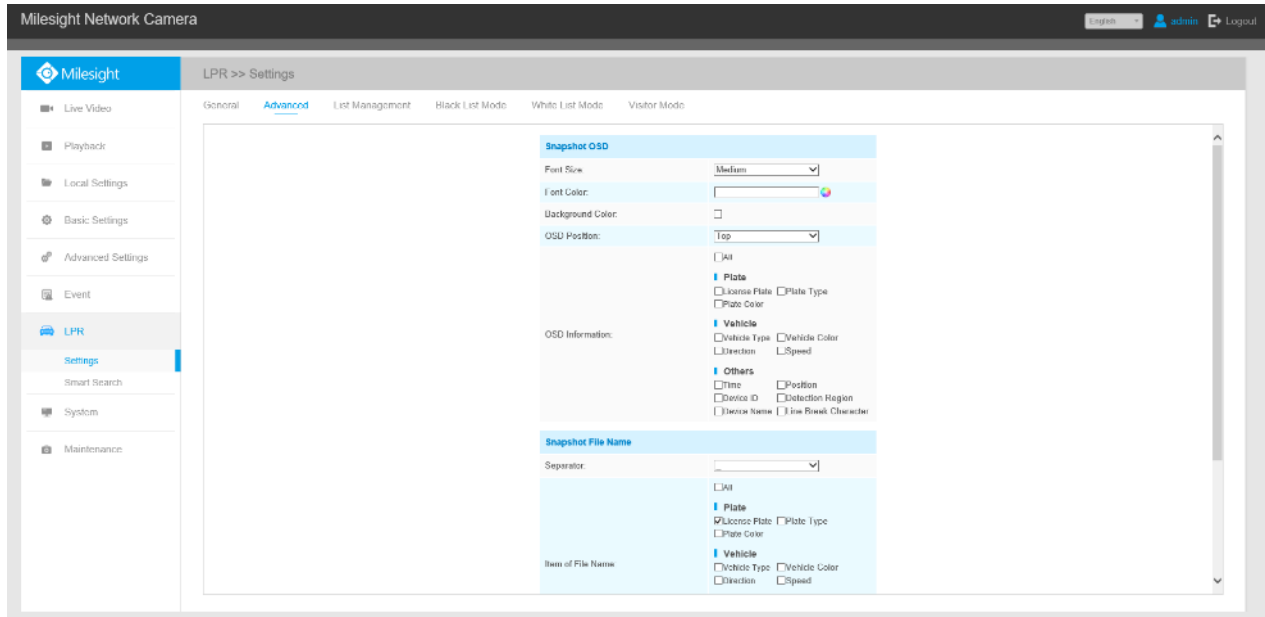
5.7.2 設定

LPR機能は、リアルタイムでナンバープレートを自動的に検出・キャプチャし、事前に定義されたリストと照合し、ナンバープレートが事前に定義されたブラックリストに存在する場合、アラートを生成するなどの適切なアクションを実行します。

注

- LPRは、12X AFモーター化プロバレット、ミニPoE PTZバレット、ABFプロボックス、防犯対策済みモーター化ミニバレット、モーター化プロバレットネットワークカメラ、ミニバレットネットワークカメラではオプションです。
- 現在、LPRには**LPR1**、**LPR2**、**LPR3**の3つのバージョンがあります。LPR1はアジア地域向け、LPR2はヨーロッパ地域および旧ソビエト連邦向け、LPR3は韓国向けです。
- LPRカメラの「イベント」タブには「基本イベント」のみが表示されます。

一般



ステップ1：ライセンスを入力し、保存をクリックします。ライセンスステータスが有効に変わると、カメラはナンバープレート検出を開始できます。

Enable License Plate Recognition:	☒
License:	7325220EC7B6C181B38A
License Status:	Valid
Processing Resolution:	1280*720

注意： LPR機能を有効にするには、LPR2とLPR3のみライセンスを入力する必要があります。

ステップ2：LPRナイトモードは、異なるパラメーターレベルを調整することで最適なLPR夜間認識効果を実現します。手動で有効時間を設定するには「Customize」を選択し、照明の明るさに応じて自動的にナイトモードに切り替えるには「Auto Mode」を選択します。

カスタムモード

Image Settings	
Enable LPR Night Mode:	☒
Effective Time:	Customize ▼
Start Time:	18 ▼ 00 ▼
End Time:	06 ▼ 00 ▼
Level:	<input type="range" value="4"/> 4 ⓘ

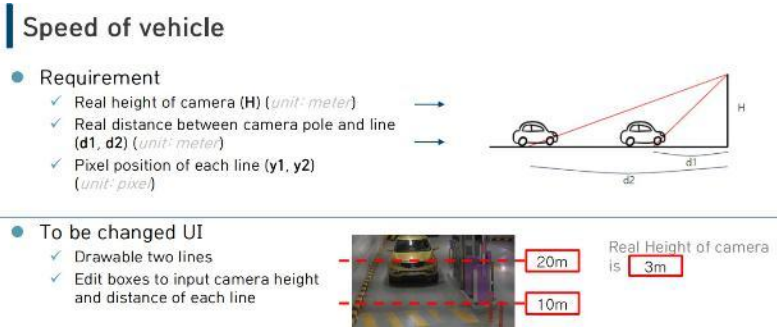
自動モード

Image Settings	
Enable LPR Night Mode:	☒
Effective Time:	Auto Mode ▼
Day to Night Value:	<input type="range" value="36"/> 36 Reset
Night to Day Value:	<input type="range" value="82"/> 82 Reset
IR Light Sensor Value:	100 ↻
Level:	<input type="range" value="4"/> 4 ⓘ

ステップ3：「Enable License Plate Recognition」チェックボックスをオンにし、画面をドラッグして興味のある領域を選択できます。

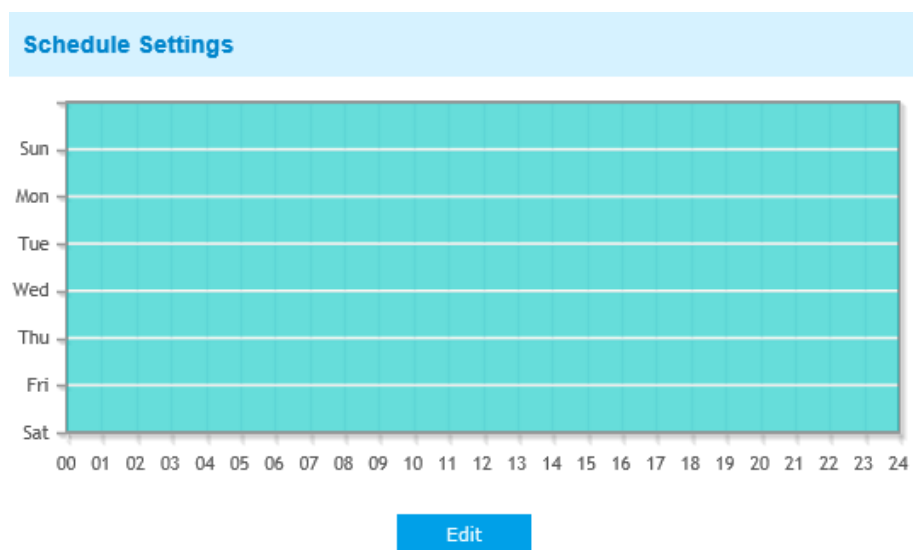
表53. ボタン説明

パラメーター	機能説明
License (Only for LPR2 and LPR3)	カメラの情報から生成されます
License Status (Only for LPR2 and LPR3)	現在のライセンスステータス（ Valid と Invalid を含む）を表示します。
Processing Resolution	LPR分析用のストリームの解像度（1920×1280、1280×720、640×360、320×176を含む）。

パラメーター	機能 説明
Country/ Region (LPR1のみ)	ナンバープレートを検出する国/地域を選択します。
Effective Region Settings (PTZ シリーズのみ)	Normal : 現在のエリアのLPR検出領域を設定します。 Advanced : 異なるPTZプリセットごとに異なるLPR検出領域を設定します（現時点ではプリセット1〜4のみ対応）。
Enable Day/Night Detection Mode (LPR3のみ)	このオプションを有効にすると、カメラは昼夜モードに応じて異なる検出モードを有効にします。
Enable Vehicle Speed Detection (LPR3のみ)	このオプションを有効にすると、カメラは車両の速度を検出し、結果をスマート検索インターフェースに表示します。 ライブビューに2本の線（Line1とLine2）を描き、カメラの設置高さ、水平距離1、水平距離2を入力してください。カメラは描いた線と入力したデータを組み合わせて車両速度を計算します。 Camera Installation Height : カメラの実際の高度です。 Horizontal Distance1 : カメラの支柱とライン1の間の実際の距離です。 Horizontal Distance2 : カメラポールと線2間の実際の距離。 Speed of vehicle ● Requirement ✓ Real height of camera (H) (unit: meter) ✓ Real distance between camera pole and line (d1, d2) (unit: meter) ✓ Pixel position of each line (y1, y2) (unit: pixel) ● To be changed UI ✓ Drawable two lines ✓ Edit boxes to input camera height and distance of each line 

パラメータ	関数 はじめに																			
Add	画面に選択したい領域を描画し、「Add」ボタンをクリックして領域を追加します。認識領域は最大4つまで追加可能です。																			
	以下のリストで領域の名前を編集したり、領域を削除したりできます。																			
	<table><tr><th>ID</th><th>Name</th><th>Edit</th><th>Delete</th></tr><tr><td>1</td><td> ROI_1 </td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>ROI_2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>ROI_3</td><td></td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>ROI_4</td><td></td><td></td></tr></table>	ID	Name	Edit	Delete	1	ROI_1			2	ROI_2			3	ROI_3			4	ROI_4	
ID	Name	Edit	Delete																	
1	ROI_1																			
2	ROI_2																			
3	ROI_3																			
4	ROI_4																			
Clear	「Clear」ボタンをクリックして、描画中の領域をクリアします。																			
Delete All	「Delete All」ボタンをクリックすると、追加されたすべてのエリアを削除できます。																			

ステップ4：スケジュール設定。Editボタンをクリックしてスケジュールを描画できます。



ステップ5：検出設定とLPRメッセージ投稿設定を設定します。

Detection Settings	
Detection Trigger:	Always ▼
Confidence Level:	4
Repeat Plate Checktime:	0 millisecond ▼ (0~60000ms)
Features Identification:	☐ All ☐ Direction ☐ Detection Region ☐ Region

LPR Message Post Settings	
Enable LPR Message Post:	☒
Post Type:	HTTP ▼
HTTP Method:	Post ▼
Snapshot Type:	All ▼
HTTP Notification URL:	
User Name:	
Password:	

表54. ボタンの説明

パラメーター	機能 説明
Detection Trigger	Always : このモードでは、カメラは常にナンバープレートを検出します。 Alarm Input : このモードでは、カメラはアラーム入力トリガーされている間のみナンバープレートを検出します。
Confidence Level (LPR1 およびLPR2のみ)	信頼度を1から10まで設定できます。 ナンバープレートの信頼度が設定された信頼度を超えると、ナンバープレートの画像をスマート検索インターフェースに送信します。
Repeat Plate Checktime	駐車車両の重複識別を効果的に回避するため、ナンバープレートを繰り返し読み取る時間間隔を設定します。 繰り返しプレートチェック時間を0から60分または0から60000ミリ秒の範囲で設定できます。

パラメーター	機能 説明
Feature Identification	チェック Region (LPR2のみ) 、 Direction Region 、 Direction または All を選択して特徴識別を有効にすると、対応する情報がスマート検索インターフェースに表示されます。
Enable LPR Message Post	チェックボックスをオンにすると、LPRメッセージの投稿が有効になります。これにより、当社のシステムと互換性のある一部の第三者デバイスまたはソフトウェアに情報が送信されます。
Post Type	情報は RTSP 、 TCP 、または HTTP で送信できます。
HTTP Method	HTTP 送信方法には、 Post と Get の 2 種類があります。
Snapshot Type	3 種類のスナップショットを選択できます : All 、 License Plate 、および Full Snapshot 。 All を選択すると、 License Plate Snapshot と Full Snapshot が送信されます。 注：このオプションは Post HTTP メソッドでのみ利用可能です。
HTTP Notification URL	LPR カメラは、 API URL を使用して、ナンバープレートが認識されたときに LPR 情報をバックエンドデバイスに送信することができます。 API URL の形式は、以下のとおりです。 http://IP:Port/api/lpr?
User Name	受信者名
Password	受信者パスワード

 **注：**ナンバープレートシリアルフォーマット機能は、識別ルールを定義し、非標準形式のナンバープレートを自動的にフィルタリングして、よりスマートで正確なナンバープレート認識を実現します。

Settings

Add
Delete All

ID	License Plate Character Count	License Plate Serial Format	Enable	Edit	Delete
0	ALL	*	☐		
1	6	AA111A	☒		
2	7	AA111A*	☒		

☒ Filter out results with incorrect character count
A - Letters Only
1 - Numbers Only
* - Unrestricted Type
Example: AA111*

Save

Advanced

インターフェースでは、ナンバープレート認識のスナップショットに表示する情報を設定でき、FTPまたはメールでアップロードされたスナップショットまたはローカルLPR画像ファイルパスに保存されたスナップショットのファイル名をカスタマイズできます。

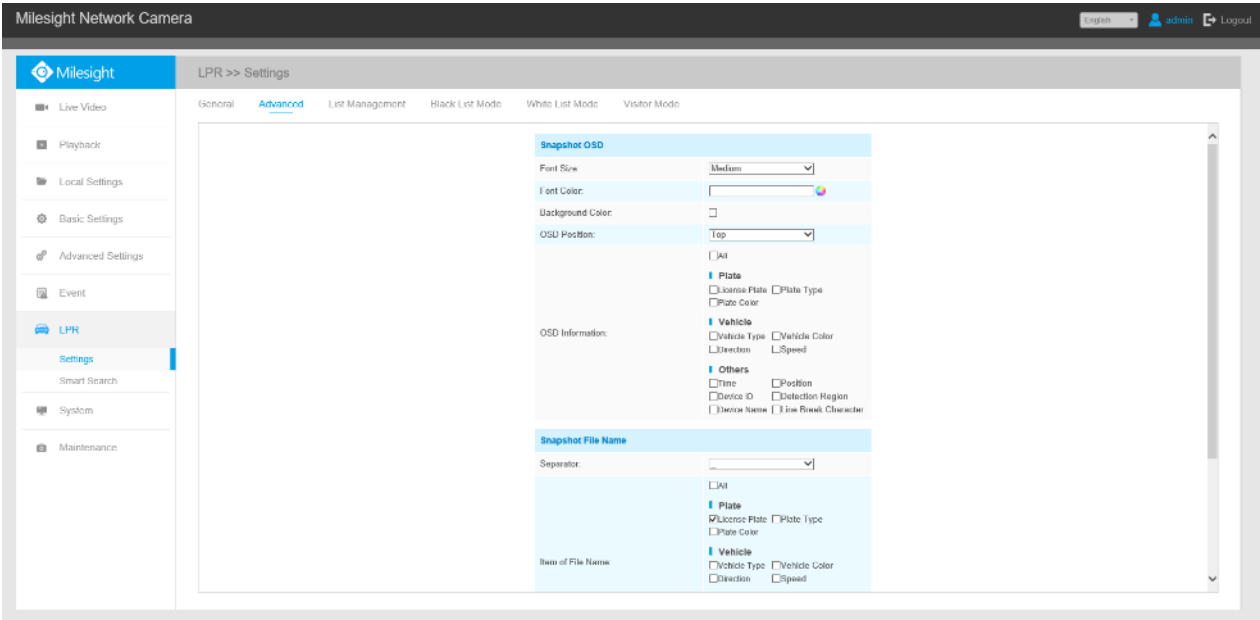


表55. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Font Size	OSD 情報には、小/中/大の 3 種類があります。  注：スナップショット OSD フォントサイズと画像 OSD フォントサイズは対応しています。
Font Color	OSD 情報の色を個別に設定できます。  注：スナップショット OSD フォントの色と画像 OSD フォントの色は対応しています。
Background Color	チェックボックスをオンにすると、スナップショット OSD 情報の背景色を選択できます。  注：背景色はフォントの色と同じにできません。
OSD Position	OSD 情報の位置を表示するには、チェックボックスをオンにしてください。

パラメーター	機能 説明
OSD Information	OSD の内容をカスタマイズします。以下の通り、OSD 情報を設定できます: OSD Information: ☐ All ☒ Plate ☐ License Plate ☐ Plate Type ☐ Plate Color ☒ Vehicle ☐ Vehicle Type ☐ Vehicle Color ☐ Direction ☐ Speed ☒ Others ☐ Time ☐ Position ☐ Device ID ☐ Detection Region ☐ Device Name ☐ Line Break Character ナンバープレートが認識され、アラームがトリガーされた場合、ナンバープレート認識のスナップショットが以下のように表示されます: 
Separator	ファイル名セパレーターの形式には「-」、「_」、およびスペースが使用可能です。デフォルトのセパレーターは「-」です。

パラメーター	機能 説明
Item of File Name	選択した項目に応じてスナップショットファイル名をカスタマイズできます。 Item of File Name: ☐ All Plate ☒ License Plate ☐ Plate Type ☐ Plate Color Vehicle ☐ Vehicle Type ☐ Vehicle Color ☐ Direction ☐ Speed Others ☒ Time ☐ Position ☐ Device ID ☐ Detection Region ☐ Device Name

項目がチェックされるたびに、項目名と のソート動作を含む項目行がリストに追加されます。

と ボタンをクリックしてこれらのアイテムを並べ替え、アイテム名を接続する区切り文字を選択できます。また、PositionとDevice IDのアイテムの内容もカスタマイズ可能です。すべてのアイテムを選択すると、機能インターフェースは以下のように表示されます:

Snapshot File Name	
Separator:	- ▼
Item of File Name:	☒ All ☒ Time ☒ License Plate ☒ Plate Type ☒ Vehicle Speed ☒ Direction ☒ Detection Region ☒ Position ☒ Device Name ☒ Device ID

Item of File Name	Sorting
Plate Type	≡↑ ≡↓
Vehicle Speed	≡↑ ≡↓
License Plate	≡↑ ≡↓
Direction	≡↑ ≡↓
Detection Region	≡↑ ≡↓
Position: Position	≡↑ ≡↓
Device Name	≡↑ ≡↓
Time	≡↑ ≡↓
Device ID: Device ID	≡↑ ≡↓

Note: The file name of full-snapshot will be preceded by a number of 4.

 **注意：**少なくとも1つの項目を選択する必要があります。

例えば、アイテム、セパレーター、アイテムの並べ替えを以下のように選択できます：

Snapshot File Name	
Separator:	_
Item of File Name:	☐ All
	☒ Time ☒ License Plate
	☐ Plate Type ☐ Vehicle Speed
	☐ Direction ☐ Detection Region
	☐ Position ☐ Device Name
	☐ Device ID

Item of File Name	Sorting
Time	⇅ ⇅
License Plate	⇅ ⇅

Note: The file name of full-snapshot will be preceded by a number of 4.

Save

ライセンスプレートが認識されると、スナップショットはFTPまたはメールでアップロードされるか、ローカルのLPR画像ファイルパスに保存されます。その後、カスタマイズしたスナップショットファイル名が表示されます:

フルスナップショット認識に成功しました



フルスナップショットの認識に失敗しました



420201116021729_RT528N

ナンバープレートスナップショット認識に成功しました



20201116021729_RT528N

ナンバープレートのスナップショットの認識に失敗しました



20201116021729_##528N

 注:

- チェックした項目が正常に認識されなかった場合、その項目は「#」の記号で表示されます。
- フルスナップショットのファイル名には、4桁の番号が先頭に付きます。

リスト管理

このインターフェースにナンバープレートを「ブラック」または「ホワイト」タイプ（ブラックリスト/ホワイトリスト）として追加し、対応するブラックリストモードまたはホワイトリスト

モードインターフェースで設定できます。これらのナンバープレートが検出されると、カメラは設定に従って対応します。

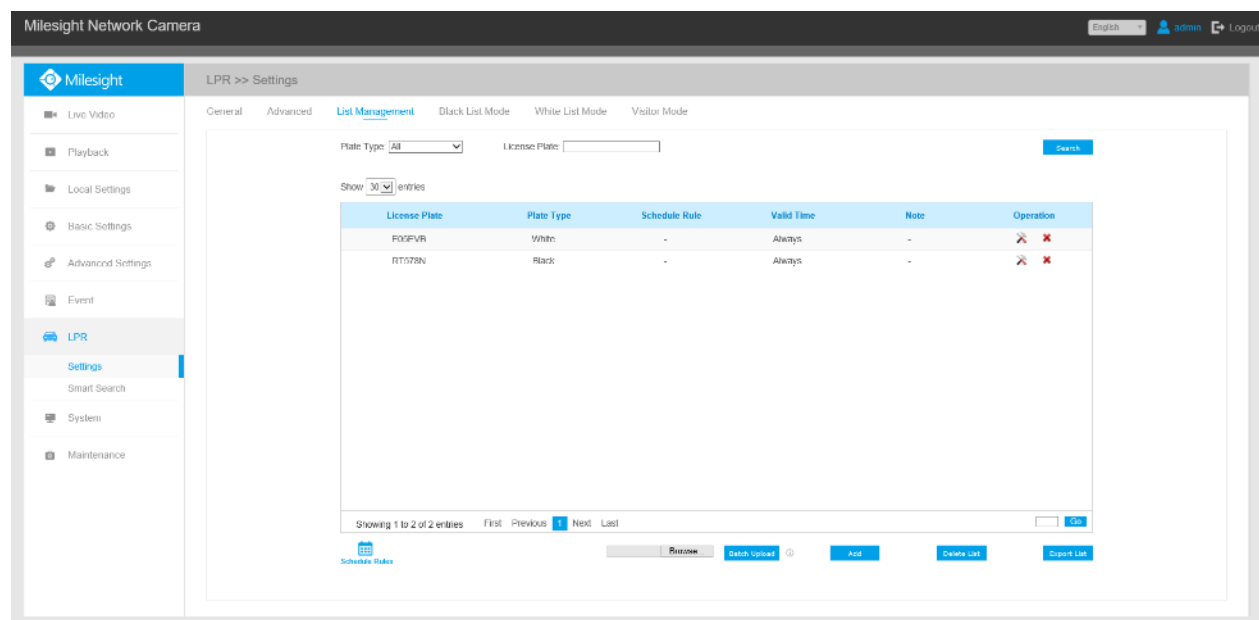
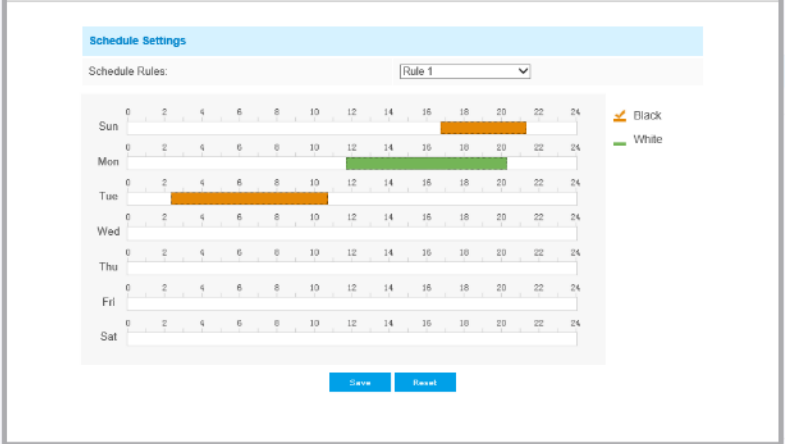
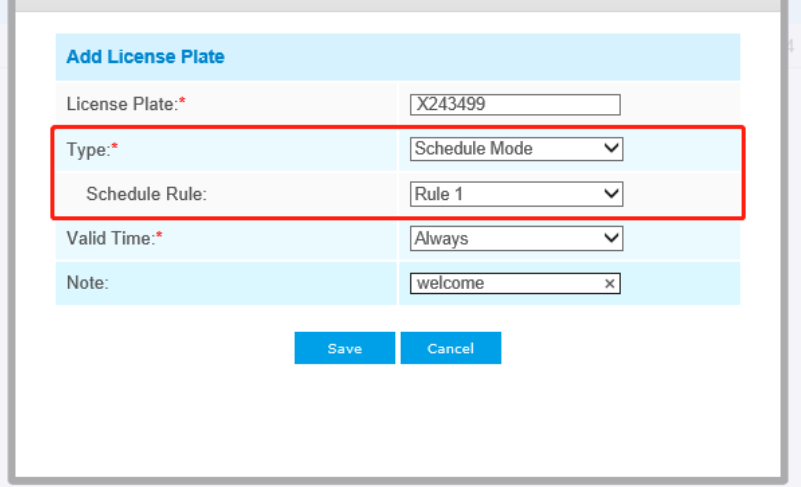


表56. ボタン説明

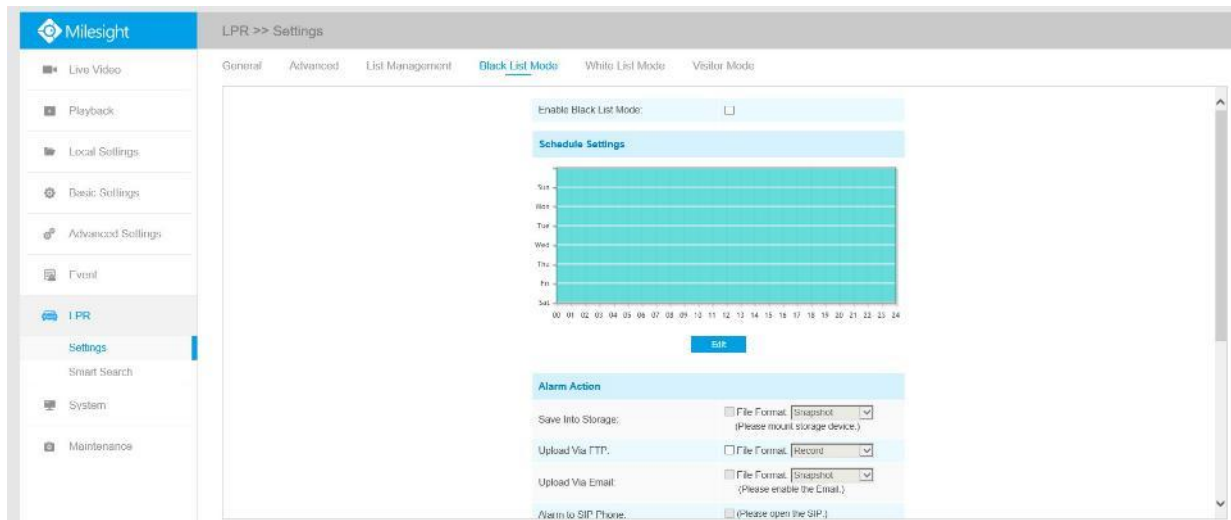
パラメーター	機能説明
Add License Plate	ナンバープレートの種類を黒または白から選択し、ナンバープレートを入力し、「Add」ボタンをクリックすると、ナンバープレートが正常に追加されます。 Add License Plate License Plate:* X243499 Type:* Black Valid Time:* Customized Start Time: 2021-06-10 00:00:00 End Time: 2021-06-10 23:59:59 Note: welcome Save Cancel

パラメーター	機能 説明
Batch Upload	追加したいライセンスプレートを含むCSVファイルをアップロードできます。ファイルを選択し、「Browse」ボタンをクリックしてこのインターフェースにファイルをインポートし、「Upload」ボタンをクリックすると、ライセンスプレートが正常に追加されます。  注： このインターフェースからテンプレートを最初にダウンロードして参照できます。
List Search	プレートタイプを選択するか、直接ナンバープレート番号を入力し、「Search」ボタンをクリックすると、対応するナンバープレートが下のリストに表示されます。
Export List	「Export List」ボタンをクリックすると、現在のリストの車番をCSV形式でローカルにエクスポートできます。
Delete List	「Delete List」ボタンをクリックすると、現在のリスト内のすべてのナンバープレートが削除されます。

パラメーター	機能 説明
Schedule Rules	「スケジュールルール」ボタンをクリックして、ルールをカスタマイズします。  その後、ナンバープレートをスケジュールモードに設定し、異なる時間帯にナンバープレートをブラックリストまたはホワイトリストとして設定できるカスタムスケジュールルールを選択します。   注：スケジュールモードでは、最大4つのスケジュールルールを設定できます。

 注：ブラックリストとホワイトリストにそれぞれ1000件まで追加可能です。

ブラックリストモード



ステップ1：ブラックリストモードを有効にするチェックボックスをオンにします。

ステップ2：スケジュール設定。Editボタンをクリックしてスケジュールを編集できます。

ステップ3：アラームアクションを設定します。

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Snapshot ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼ (Please enable the Email.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐

ステップ4：アラーム設定を設定します。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot Type:	License Plate ▼
Snapshot:	1 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	30 seconds ▼
Play Audio Interval:	Auto ▼

その後、ブラックリストにマークされたナンバープレートが検出されると、カメラは設定に従って対応します。

ホワイトリストモード

The screenshot shows the Milesight LPR Settings page with the 'White List Mode' tab selected. The 'Enable White List Mode' checkbox is currently unchecked. Below it, the 'Schedule Settings' section displays a 24-hour timeline grid for scheduling. The 'Alarm Action' section at the bottom includes options for saving snapshots to storage, uploading via FTP or email, and sending SIP phone alerts, each with a corresponding file format dropdown menu.

ステップ1：ホワイトリストモードを有効にするチェックボックスをオンにします。

ステップ2：スケジュール設定。Editボタンをクリックしてスケジュールを指定できます。

ステップ3：アラームアクションを設定します。

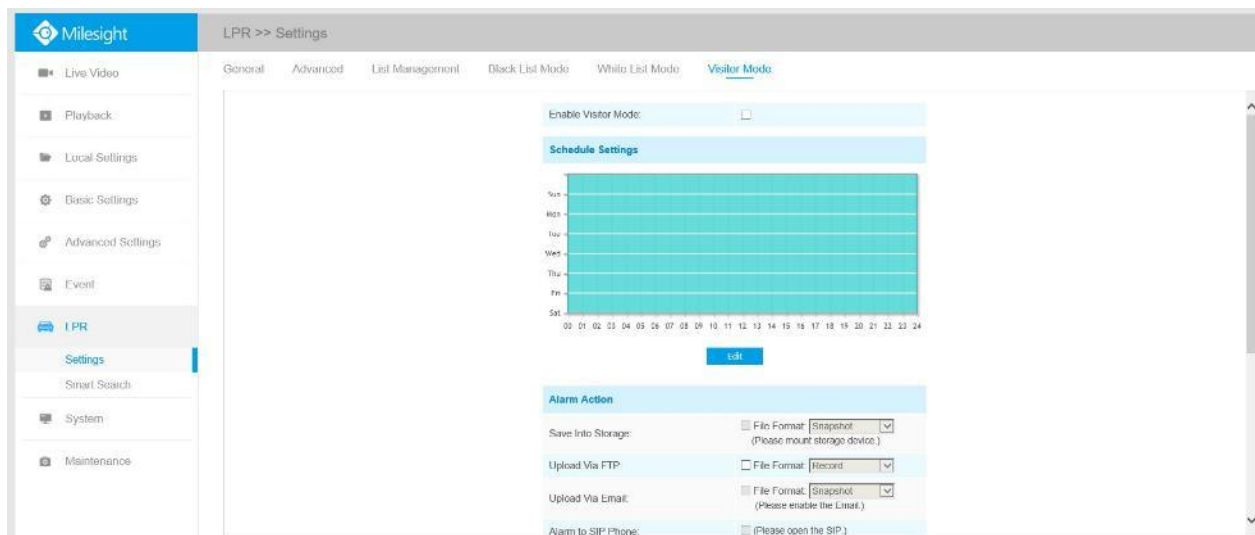
Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Snapshot ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼ (Please enable the Email.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐

ステップ4：アラーム設定を設定します。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot Type:	License Plate ▼
Snapshot:	1 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	30 seconds ▼
Play Audio Interval:	Auto ▼

その後、ホワイトとマークされたナンバープレートが検出されると、カメラは設定に従って対応します。

ビジターモード



ステップ1: 訪問者モードを有効にするチェックボックスをオンにします。

ステップ2: スケジュール設定。Editボタンをクリックしてスケジュールを記入できます。

ステップ3: アラームアクションを設定します。

Alarm Action	
Save Into Storage:	☐ File Format: Snapshot ▼ (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	☐ File Format: Record ▼
Upload Via Email:	☐ File Format: Snapshot ▼ (Please enable the Email.)
Alarm to SIP Phone:	☐ (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	☐

ステップ4: アラーム設定を設定します。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Snapshot Type:	License Plate ▼
Snapshot:	1 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
Email Triggered Interval:	Auto ▼
External Output Action Time:	30 seconds ▼
Play Audio Interval:	Auto ▼

その後、黒または白とマークされていないナンバープレートが検出されると、カメラは設定に従って対応します。

5.7.3 スマート検索

リアルタイムの検出結果は、スマート検索ページの右側に、検出時間、ライブスクリーンショット、およびナンバープレートが表示されます。

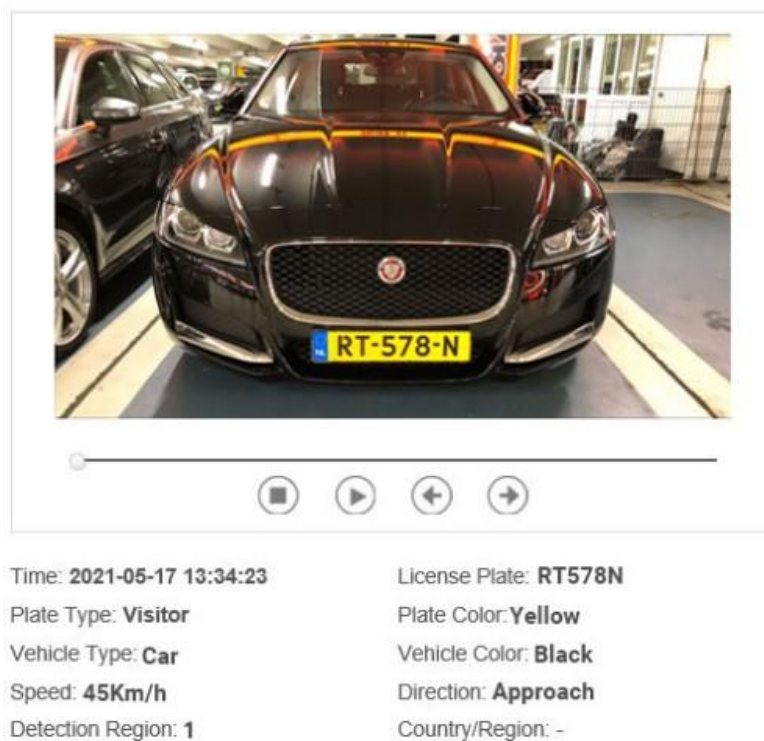
ステップ1: プレートタイプを選択するか、ナンバープレート番号を直接入力し、開始時間と終了時間を選択します。**Search**ボタンをクリックすると、関連するナンバープレート情報が以下のように表示されます。

The screenshot displays the 'LPR >> Smart Search' interface. On the left is a navigation menu with options like Live Video, Playback, Local Settings, Basic Settings, Advanced Settings, Event, LPR, Settings, Smart Search, System, and Maintenance. The main area contains search filters: Plate Type (All), License Plate (empty), Speed (All), Directions (All), Start Time (2021-05-01 00:00:00), End Time (2021-05-27 23:59:59), Plate Color (All), Vehicle Type (All), and Vehicle Color (All). A 'Search' button is present. Below the filters, a car image is shown with license plate RT-578-N. Metadata for this entry includes: Time: 2021-06-17 12:34:23, License Plate: RTS78N, Plate Color: Yellow, Vehicle Color: Black, Direction: Approach, and Country/Region: -. To the right, an 'LPR Logs' section shows a grid of license plate images with their corresponding timestamps. At the bottom, it indicates 'Showing 1 to 25 of 718 entries' and provides navigation links like First, Previous, Next, Last, and a 'Go' button.

注意

- 4,000件のログを表示可能です。
- ストレージ管理でSDカードまたはNASが設定されている場合のみ、ログが保存され、スマート検索ページに表示されます。
- ナンバープレート色/車両色認識および車両タイプ分類機能をご利用の場合は、モデルがMS-CXXXX-XXCであることをご確認ください。

ステップ2：LPRログの下サムネイル写真をクリックすると、ナンバープレート詳細が以下のように表示されます：



ステップ3: 「Export」または「Export All」ボタンをクリックして、現在のリストから希望するファイルをローカルフォルダーにエクスポートします。

Export

Export File:

☐ Plate List ☐ Video ☐ Picture
☐ Plate List(With pictures)

Video File Format:

MP4

Export

Cancel

ステップ4: 「**Auto Export**」 ボタンをクリックすると、ログがFTP、メール、またはストレージに自動的にエクスポートされます。

Log Settings

Enable Auto Export Logs:

☐

Day:

Everyday

Time:

00:00:00

Export Time Range:

Export All

Export to:

☐ FTP ☐ Email ☐ Storage

Save

5.8 システム

カメラのハードウェアとソフトウェアに関するすべての情報は、このページで確認できます。

System

Device Name:	Network Camera
Product Model:	MS-C2962-FPB
Hardware Version:	V1.0
Software Version:	40.7.0.78
MAC Address:	1C:C3:16:21:09:91
Device Information:	SA100EE3F0N
Alarm Input:	1
Alarm Output:	1
Uptime:	1 days 6 hours 12 minutes
QR Code:	 Please scan this QR code on App to get a remote view.

Save

表57. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
Device Name	デバイス名はカスタマイズ可能です。動画ファイルのファイル名に表示されます
Product Model	カメラの製品モデル
Hardware Version	カメラのハードウェアバージョンです
Software Version	カメラのソフトウェアバージョンはアップグレード可能です

パラメータ	機能 説明
MAC Address	メディアアクセス制御アドレス
Device Information	アラーム I/O およびクリッパーチップに関する情報を含むデバイス情報
Alarm Input	アラーム入力インターフェースの数
Alarm Output	アラーム出力インターフェースの数
Up Time	デバイスの最後の再起動からの経過時間

 注：アラーム入力/アラーム出力は、カメラにアラーム入力/出力インターフェースがある場合のみ表示されます。

5.9 メンテナンス

5.9.1 システムメンテナンス

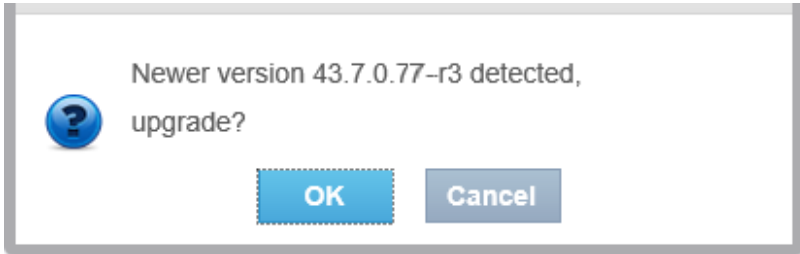
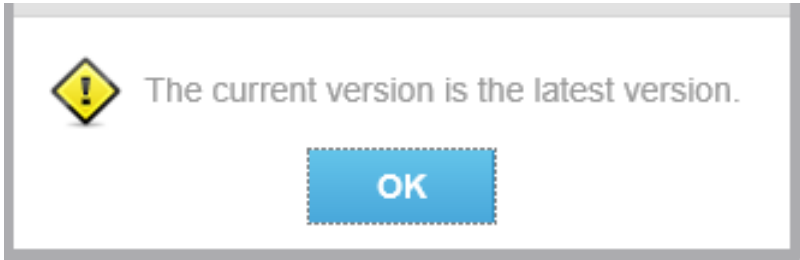
System Upgrade	
Software Version:	43.7.0.77
Local Upgrade:	Browse... Upgrade ☐ Reset after Upgrading
Online Upgrade:	Check

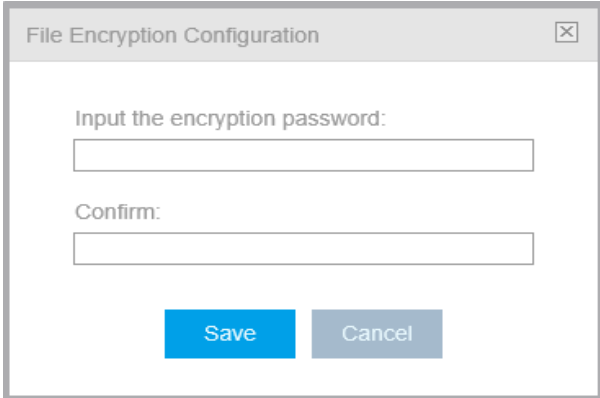
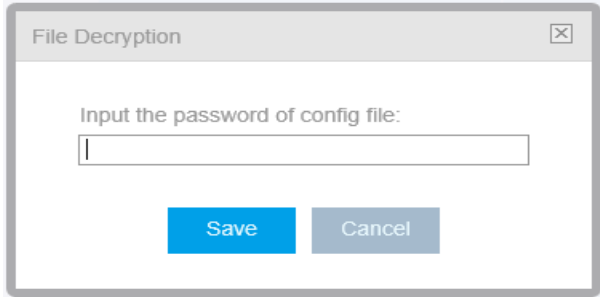
Note: Do not disconnect the power of the device during the upgrade.

Maintenance	
Reset ☒ Keep the IP Configuration ☒ Keep the User Information	Reset
Export Diagnose Information:	Export
Export Config File:	Export
Config File:	Browse...
Import Config File:	Import

Reboot	
Reboot the Device:	Reboot

表58. ボタン説明

パラメーター	機能 説明
System Upgrade	Software Version: カメラのソフトウェアバージョンです。 Local Upgrade : 「Browse」 ボタンをクリックし、アップグレードファイルを選択し、次に「Upgrade」 ボタンをクリックしてアップグレードします。システムが正常に再起動すると、更新が完了します。 「Reset after Upgrading」 にチェックを入れると、アップグレード後にカメラをリセットできます。 Online Upgrade: 「Check」 ボタンをクリックして、当社のウェブサイトで現在の最新ファームウェアバージョンを確認し、その後「OK」 をクリックしてこのバージョンにアップグレードします。 カメラが既に最新バージョンである場合、「The current version is the latest version」 と表示されます。  Newer version 43.7.0.77-r3 detected, upgrade? OK Cancel カメラが既に最新バージョンである場合、「The current version is the latest version」 と表示されます。  The current version is the latest version. OK 注意 : アップグレード中はデバイスの電源を切らないでください。デバイスはアップグレードを完了するために再起動されます。

パラメーター	機能 説明
Maintenance	Reset settings : リセットボタンをクリックして、カメラを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします Keep the IP Configuration : カメラをリセットする際、IP設定を維持するにはこのオプションを選択してください。 Keep the User information : カメラをリセットする際、ユーザー情報を保持するにはこのオプションを選択します。 Export Diagnose Information : このボタンをクリックすると、デバイスの動作状況のログおよびシステム情報をエクスポートできます。  注: ファイル形式は「.txt」です。 Export Config File : このボタンをクリックすると、以下のようなウィンドウが表示されます。  The dialog box titled "File Encryption Configuration" contains two input fields: "Input the encryption password:" and "Confirm:". Below the fields are two buttons: "Save" (blue) and "Cancel" (grey). パスワードを再入力し、確認後、保存ボタンをクリックして設定ファイルをエクスポートしてください。 Import Config File : このボタンをクリックすると、ウィンドウがポップアップ表示されますので、「OK」をクリックして設定を更新してください。 「Input the password of config file」というウィンドウが表示されますので、パスワードを入力し、「save」ボタンをクリックして設定ファイルをインポートしてください。  The dialog box titled "File Decryption" contains one input field: "Input the password of config file:". Below the field are two buttons: "Save" (blue) and "Cancel" (grey). 注意: 同じ設定ファイルをエクスポートおよびインポートしてください。パスワードは同じである必要があります。

パラメーター	機能 説明
Reboot	「Reboot」 ボタンをクリックして、デバイスをすぐに再起動します

5.9.2 自動再起動

日付と時間を設定して自動再起動機能を有効にします。カメラが長時間動作後に過負荷状態になった場合、設定された時間に自動的に再起動します。

Auto Reboot Settings

Enable Auto Reboot:

☐

Day:

Everyday 

Time:

00:00:00 

Save

第6章 サービス

Milesight Technology Co., Ltd は、お客様にタイムリーで包括的な技術サポートサービスを提供しています。エンドユーザーは、お近くの販売代理店に連絡して技術サポートを受けることができます。販売代理店および再販業者は、Milesight に直接技術サポートを依頼することができます。

テクニカルサポートメールボックス：support@milesight.com

ウェブサイト：<http://www.milesight.com>

オンライン問題報告システム：<http://www.milesight.com/service/feedback.asp>

MILESIGHT USA

TEL: +1-800-561-0485

住所：7509 N.W. 36th Street, Miami, Florida 33166, USA

MILESIGHT 韓国

電話番号：+82-2-839-3335

住所：925, Anyang SK V1 Center, LS-ro 116beon-gil, Dongan-gu, Anyang-si, Korea

MILESIGHT CHINA

電話番号：+86-592-5922772

住所：中国福建省廈門市王海路23号、第2ソフトウェアパーク